

uCosminexus Portal Framework
運用管理者ガイド

解説・操作書

3020-3-H72-50

対象製品

P-2443-7394 uCosminexus Portal Framework 09-00 (適用 OS : Windows Server 2008 x86 , Windows Server 2008 x64 , Windows Server 2008 R2 , Windows Server 2012 , Windows Vista , Windows XP , Windows 7 , Windows 8)

P-2943-7394 uCosminexus Portal Framework 09-00 (適用 OS : Windows Server 2008 x64 , Windows Server 2008 R2 , Windows Server 2012)

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

au は、KDDI 株式会社の登録商標です。

EZweb は、KDDI 株式会社の登録商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

i モードは、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by the Java Apache Project <<http://java.apache.org/>>.

マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

製品名称	略称
Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise	Windows 7
Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional	
Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate	
Microsoft(R) Windows(R) 8 (Core Edition)	Windows 8
Microsoft(R) Windows(R) 8 Pro	
Microsoft(R) Windows(R) 8 Enterprise	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise 32-bit 日本語版	Windows Server 2008 x86
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard 32-bit 日本語版	

製品名称	略称
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise 日本語版	Windows Server 2008 x64
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard 日本語版	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise 日本語版	Windows Server 2008 R2
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard 日本語版	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard	Windows Server 2012
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter	
Microsoft(R) Windows Vista(R) Business	Windows Vista
Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise	
Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate	
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System	Windows XP

このマニュアルでは、Windows Server 2008 を前提として操作方法を説明しています。ご使用の環境が異なる場合は、操作方法を読み替えてください。なお、特に断りのない場合は、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2008 x86、Windows Server 2008 x64、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Vista および Windows XP を総称して Windows と表記しています。

発行

2013年6月 3020-3-H72-50

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, 2013, Hitachi, Ltd.

All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, 2013, Hitachi INS Software, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-3-H72-50) uCosminexus Portal Framework 09-00

本文についての変更はありません。

はじめに

このマニュアルは、次のプログラムプロダクトで構築した企業ポータル運用管理の方法、および運用対象であるポータル標準画面レイアウトの作成方法について説明したものです。

- uCosminexus Portal Framework

対象読者

このマニュアルは、uCosminexus Portal Framework を使用して企業ポータルを運用される方を対象としています。また、次の知識を持っていることを前提としています。

- Cosminexus 上でサーブレットや JSP を運用できる知識
- ディレクトリサーバまたは DB を運用・管理できる知識
- HTML および XML の知識

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す編、章と付録から構成されています。

第 1 編 概要編

第 1 章 概要

uCosminexus Portal Framework の概要、ユーザ権限、運用管理の作業の流れ、および運用管理者の作業について説明しています。

第 2 章 ポータルの運用管理

ポータルの運用管理の流れと操作の概要について説明しています。

第 2 編 操作編

第 3 章 ポータルを運用管理する前に

ポータルを運用管理する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

第 4 章 ポートレットグループを管理する

ポートレットグループを管理するための運用管理ポートレットの操作方法を説明しています。

第 5 章 ポータル管理グループを管理する

ポータル管理グループを管理するための運用管理ポートレットの操作方法を説明しています。

第 6 章 ポートレットを管理する

ポートレットを管理するための運用管理ポートレットの操作方法を説明しています。

第 7 章 標準画面レイアウトを管理する

標準画面レイアウトを管理するための運用管理ポートレットの操作方法を説明しています。

第 8 章 ユーザを管理する

ユーザおよび組織を管理するための運用管理ポートレットの操作方法を説明しています。

はじめに

第 9 章 ポータルの運用管理例

ポータルの運用管理の例を説明しています。

第 3 編 画面編

第 10 章 運用管理の画面

運用管理ポートレットで表示される画面および画面の項目について説明しています。

付録 A 標準画面レイアウトの合成

複数のポータル管理グループに所属する利用者の標準画面レイアウトが合成されるときに規則について説明しています。

付録 B Collaboration - Online Community Management を使用する場合のアクセス権の設定

Collaboration - Online Community Management に対応しているポートレットにアクセス権を設定する場合について説明しています。

付録 C ディレクトリサーバから DB へのデータの移行

運用中にディレクトリサーバから DB にデータを移行する手順について説明しています。

付録 D ディレクトリサーバまたは DB の切り替え

運用中にディレクトリサーバまたは DB を切り替える手順について説明しています。

付録 E PSML ファイルのインポート・エクスポート時に出力されるメッセージ

PSML ファイルのインポート・エクスポート時に出力されるメッセージについて説明しています。

付録 F 各バージョンの変更内容

各バージョンでの変更内容について説明しています。

付録 G このマニュアルの参考情報

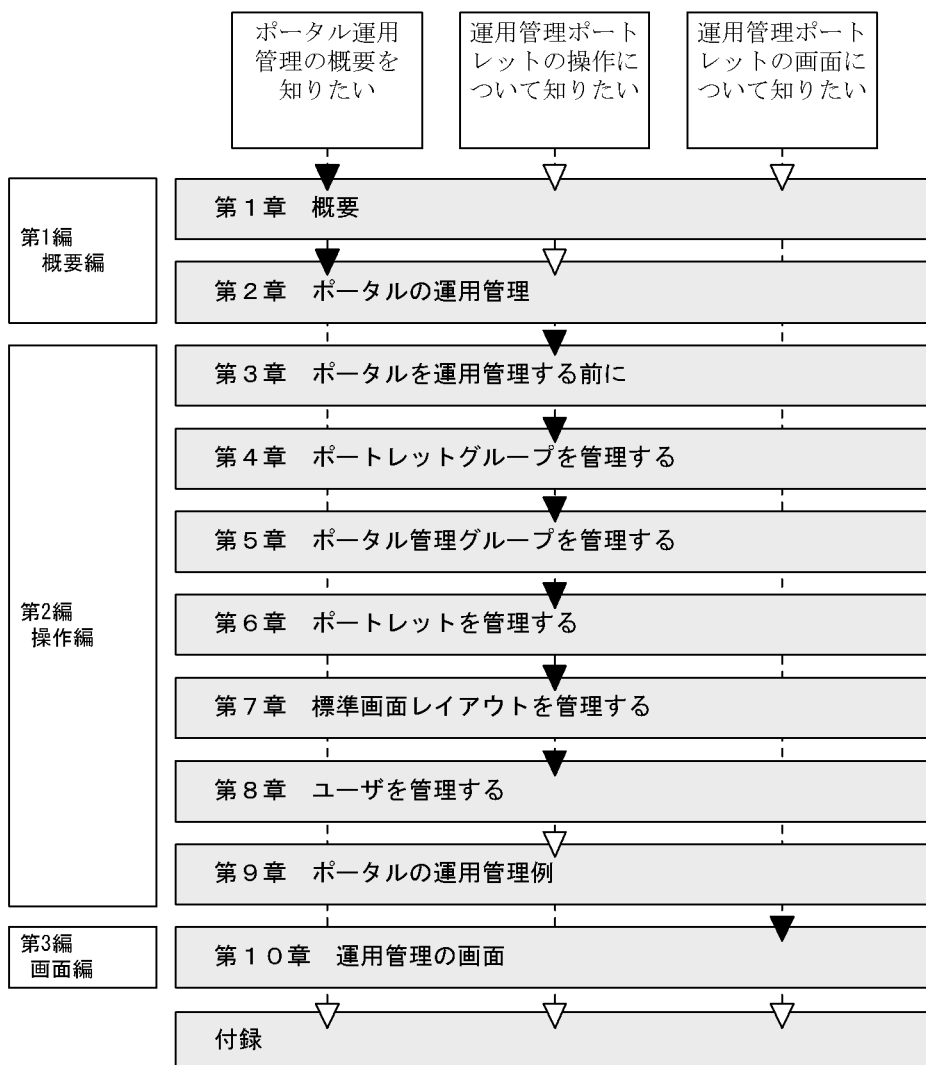
関連マニュアル、このマニュアルで使用している略語の意味などを説明しています。

付録 H 用語解説

このマニュアルで使用する用語について説明しています。

読書手順

このマニュアルは、利用目的に合わせて章を選択して読むことができます。利用目的別に次の流れに従ってお読みいただくことをお勧めします。



(凡例)



: 必ず読む項目



: 必要に応じて読む項目

操作方法の説明で使用する記号

このマニュアルでは、次に示す記号を使用して操作方法を説明しています。

記号	意味
[]	ウィンドウのボタン、メニュー、またはキーボードのキーを示します。
「 」	ユーザが指定する内容を示します。

構文の説明で使用する記号

このマニュアルでは、次に示す記号を使用して構文の要素を説明しています。

記号	意味
	横に並べられた複数の項目に対する項目間の区切りを示し、「または」の意味を表します。 (例) A B A または B を指定することを示します。
{ }	この記号で囲まれている複数の項目のうちから一つを選択することを意味します。項目が横に並べられ、記号 で区切られている場合は、そのうちの一つを選択します。 (例) {A B C} A, B, または C のどれかを指定することを示します。
[]	この記号で囲まれている項目は省略してもよいことを示します。複数の項目が横に並べて記述されている場合には、すべてを省略するか、記号 { } と同じくどれか一つを選択します。 (例) [A] 「何も指定しない」が「A を指定する」ことを示します。
斜体文字	変数名やファイル名のように、ユーザが任意に決めることのできる入力形式を意味します。 (例) <i>file</i> 適当なファイル名を付けることを示します。
...	この記号の直前の項目を繰り返し、複数個指定できることを示します。 (例) A... A を複数個指定できることを示します。

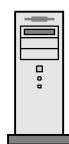
図中で使用する記号

このマニュアルの図中で使用する記号を、次のように定義します。

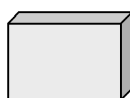
●ユーザ



●サーバ



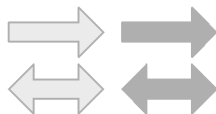
●プログラム



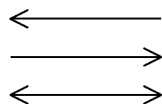
●工程, 作業項目の流れ



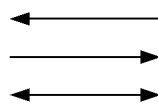
●データの流れ



●制御の流れ



●その他の流れ



目次

第1編 概要編

1	概要	1
1.1	uCosminexus Portal Framework の運用管理の概要	2
1.1.1	uCosminexus Portal Framework のユーザ権限	4
1.1.2	uCosminexus Portal Framework の構築から運用までの作業の流れ	6
1.2	ポータルを運用するための管理者の作業	7
1.2.1	運用管理者ができること	7
1.2.2	運用管理の実現方法	8
2	ポータルの運用管理	11
2.1	運用管理の流れ	12
2.2	ポートレットグループ	14
2.3	ポータル管理グループ	15
2.4	ポートレット	16
2.4.1	管理・利用するポートレットの設定	16
2.4.2	ポートレットの生成	16
2.4.3	Web コンテンツポートレットの作成	17
2.4.4	ポートレットのインポート・エクスポート	19
2.5	標準画面レイアウト	20
2.5.1	管理・利用する標準画面レイアウトの設定	21
2.5.2	標準画面レイアウトの表示の設定	21
2.5.3	標準画面レイアウトの形式	23
2.5.4	標準画面レイアウトのインポート・エクスポート	27
2.6	拡張レイアウト形式	28
2.6.1	拡張レイアウト形式とは	28
2.6.2	拡張レイアウトの動作	31
2.7	ユーザ情報	35
2.7.1	組織の管理	35
2.7.2	ユーザの管理	35
2.8	大規模システムの場合の運用管理例	36

第2編 操作編

3	ポータルを運用管理する前に	37
	3.1 運用管理ポートレットの画面構成	38
	3.2 運用管理ポートレットの画面階層	40
	3.3 運用管理ポートレットを使用するための設定	43
	3.4 標準画面レイアウトを設定する前に	44
	3.4.1 ポータルの標準画面レイアウトを設定する前に	44
	3.4.2 標準のウェルカム画面の設定	44
	3.4.3 標準のホーム画面の設定	44
	3.5 運用管理機能の障害対策	47
4	ポートレットグループを管理する	49
	4.1 ポートレットグループを新規作成する	50
	4.2 ポートレットグループ情報を編集する	51
	4.3 ポートレットグループにポートレットを登録・削除する	52
	4.4 ポートレットグループを削除する	53
5	ポータル管理グループを管理する	55
	5.1 ポータル管理グループを新規作成する	56
	5.2 ポータル管理グループのユーザを設定する	57
	5.2.1 部門管理者を設定する	57
	5.2.2 ポータル利用者を設定する	57
	5.3 ポータル管理グループ情報を編集する	59
	5.4 ポータル管理グループを複製する	60
	5.5 ポータル管理グループの表示順序を設定する	61
	5.6 ポータル管理グループを削除する	62
6	ポートレットを管理する	63
	6.1 ポートレットを生成する	64
	6.2 ポートレットを設定する	65
	6.3 ポートレットの基本情報を設定・変更する	66
	6.4 ポートレットをエクスポート・インポートする	67

6.4.1	ポートレットのエクスポート	67
6.4.2	ポートレットのインポート	68
6.5	ポートレットを削除する	69
6.6	Web コンテンツポートレットを作成する	70
6.6.1	Web コンテンツポートレットを新規作成する	72
6.6.2	Web コンテンツポートレットの基本情報を設定する	72
6.6.3	キャッシュを設定する	72
6.6.4	変数を設定する	73
6.6.5	取得するコンテンツを設定する	78
6.6.6	取得したコンテンツを加工する	78
6.6.7	テンプレートを作成する	82
6.6.8	テンプレートを適用する	87

7

標準画面レイアウトを管理する	89
7.1 標準画面レイアウトを作成する	90
7.2 標準画面レイアウトのアクセス権を設定する	91
7.3 標準画面レイアウト情報を設定する	92
7.4 標準画面レイアウトを編集する	93
7.4.1 カスタマイズする標準画面レイアウトの選択	93
7.4.2 標準画面レイアウトのレイアウト形式の選択	94
7.4.3 タブの編集	95
7.4.4 表示するポートレットの設定	97
7.4.5 行および列の編集	99
7.4.6 ポートレットの選択	101
7.4.7 ポートレットの表示スタイルの設定	102
7.4.8 ポートレットの強制表示の設定	103
7.4.9 標準画面レイアウトの適用	110
7.5 拡張レイアウトを編集する	111
7.5.1 ポートレット配置情報ファイルの作成	112
7.5.2 ポートレット配置情報ファイルのインポート・エクスポート	122
7.5.3 ポートレットの配置の設定	123
7.5.4 自動追加ポートレットの配置	127
7.5.5 拡張レイアウトのリニューアル	131
7.5.6 拡張レイアウト変更の反映範囲	132
7.6 標準画面レイアウトの表示順序を変更する	134
7.7 標準画面レイアウトをエクスポート・インポートする	135

7.7.1	標準画面レイアウトのエクスポート	135
7.7.2	標準画面レイアウトのインポート	136
7.8	標準画面レイアウトを削除する	137

8

	ユーザを管理する	139
8.1	組織を新規作成する	140
8.2	組織情報を変更する	141
8.3	組織を削除する	142
8.4	ユーザを新規作成する	143
8.5	ユーザ情報を変更する	145
8.5.1	所属組織を変更する	145
8.5.2	ユーザ名を変更する	145
8.5.3	パスワードを変更する	146
8.5.4	役職を変更する	147
8.5.5	ユーザ定義項目を変更する	147
8.6	ユーザを削除する	149

9

	ポータル運用管理例	151
9.1	ポータル運用前の設定例	152
9.1.1	ポータル運用前の設定例の概要	152
9.1.2	ポータル運用前の設定例の操作手順	156
9.2	Web コンテンツポートレットの作成例	167
9.2.1	Web コンテンツポートレットの作成例の内容	167
9.2.2	Web コンテンツポートレットの設定	169
9.3	組織およびユーザの変更例	175
9.3.1	組織およびユーザの変更例の内容	175
9.3.2	組織およびユーザの変更例の操作手順	175

第3編 画面編

10

	運用管理の画面	181
10.1	ポートレットグループを管理するための画面	182
10.1.1	ポートレットグループ管理トップ画面	182

10.1.2	ポートレットグループ新規作成画面	183
10.1.3	ポートレットグループ設定画面	184
10.2	ポータル管理グループを管理するための画面	189
10.2.1	グループ管理トップ画面	189
10.2.2	ポータル管理グループ新規作成画面	190
10.2.3	ポータル管理グループ複製画面	191
10.2.4	[表示順序設定] 画面	193
10.2.5	ポータル管理グループ設定画面	194
10.3	ポートレットを管理するための画面	203
10.3.1	ポートレット一覧表示画面	203
10.3.2	[ポートレット編集] 画面 (共通の画面項目)	205
10.3.3	[ポートレット編集] 画面 (日立 API ポートレットの画面項目)	206
10.3.4	[ポートレット編集] 画面 (Web Page / Web App / Multi Web ポートレットの画面項目)	208
10.3.5	[ポートレット編集] 画面 (Web コンテンツポートレットの画面項目)	211
10.3.6	[新規ポートレット作成] 画面	226
10.4	レイアウトを管理するための画面	228
10.4.1	レイアウト一覧表示画面	228
10.4.2	[ポートレット配置設定] 画面	230
10.4.3	[レイアウト情報設定] 画面	231
10.4.4	[レイアウト新規作成] 画面	233
10.4.5	レイアウト表示順序設定画面	235
10.4.6	[カスタマイズ対象指定画面]	237
10.4.7	[レイアウト編集画面]	238
10.4.8	[レイアウト編集画面] (拡張レイアウト)	242
10.4.9	[ポートレットの選択] 画面	246
10.4.10	[スタイル編集画面]	249
10.4.11	[強制レイアウト編集画面]	253
10.5	インポート・エクスポートするための画面	257
10.5.1	レイアウトインポート画面	257
10.5.2	レイアウトエクスポート画面	258
10.5.3	ポートレットインポート画面	259
10.5.4	ポートレットエクスポート画面	260
10.6	ユーザを管理するための画面	262
10.6.1	ユーザ管理トップ画面	262
10.6.2	ルート組織設定画面	263
10.6.3	組織情報設定画面	264

10.6.4 [新規組織作成] 画面	267
10.6.5 [新規ユーザ作成] 画面	268
10.6.6 [所属組織設定] 画面	270
10.6.7 [役職設定] 画面	271
10.6.8 [ユーザ定義項目設定] 画面	273
10.6.9 [ユーザ情報変更] 画面	274
10.6.10 [パスワード変更] 画面	276

付録	279
付録 A 標準画面レイアウトの合成	280
付録 A.1 標準画面レイアウトの合成規則	280
付録 A.2 タブの合成規則	283
付録 A.3 スタイルの合成規則	284
付録 B Collaboration - Online Community Management を使用する場合のアクセス権の設定	286
付録 B.1 すべてのコミュニティで同じポートレットを表示する場合	286
付録 B.2 コミュニティごとに個別のポートレットを表示する場合	288
付録 C ディレクトリサーバから DB へのデータの移行	291
付録 D ディレクトリサーバまたは DB の切り替え	292
付録 E PSML ファイルのインポート・エクスポート時に出力されるメッセージ	293
付録 F 各バージョンの変更内容	295
付録 G このマニュアルの参考情報	296
付録 G.1 関連マニュアル	296
付録 G.2 このマニュアルでの表記	296
付録 G.3 このマニュアルで使用する英略語	296
付録 G.4 KB (キロバイト) などの単位表記について	297
付録 H 用語解説	298

索引	305
-----------	------------

1

概要

この章では，uCosminexus Portal Framework で構築したポータル
の運用管理の概要，ユーザ権限，運用管理の作業の流れ，
および運用管理者の作業について説明します。

1.1 uCosminexus Portal Framework の運用管理の概要

1.2 ポータルを運用するための管理者の作業

1.1 uCosminexus Portal Framework の運用管理の概要

uCosminexus Portal Framework は、企業ポータルを構築および運用するフレームワークです。企業の内外にある多種多様なコンテンツ・業務システムの情報を集約する機能や、集約した情報をユーザー一人一人に対して最適な情報になるように組み合わせ提供機能などを備えています。

最適な情報をユーザに提供するには、各ユーザがどの情報を利用できるようにするか、各ユーザの画面に情報をどのようなレイアウトで表示するかを、ポータルの運用時に管理する必要があります。uCosminexus Portal Framework では、各ユーザに利用できる情報を適切なレイアウトで参照させるための管理や、情報を表示するレイアウトを作成します。uCosminexus Portal Framework では、これらの運用管理の作業をするためのツール（運用管理ポートレット）を提供しています。運用管理者と部門管理者は、運用管理ポートレットで運用に関するすべての作業をすることができます。このマニュアルでは、運用管理ポートレットを用いた運用管理の方法について説明します。

ポータルの運用管理の概要を次の図に示します。

図 1-1 ポータルの運用管理の概要



同じ情報（ポートレット）を同じレイアウトで表示するポータル利用者の集まりを、ポータル管理グループといいます。また、ポータル管理グループのポータル利用者の画面に表示される共通のレイアウトを標準画面レイアウトといいます。

運用管理者または部門管理者は、ポータル管理グループに所属させるポータル利用者を設定したり、標準画面レイアウトを作成したりします。ポータル利用者は、運用管理者または部門管理者に設定された標準画面レイアウトを参照できます。

運用管理の作業ができるのは、uCosminexus Portal Framework で運用管理者または部

1. 概要

部門管理者のユーザ権限を設定されているユーザだけです。運用管理者は、ポータル管理グループすべてを管理する管理者です。部門管理者は、特定のポータル管理グループについてだけ管理できる管理者です。

ポータルの運用管理にかかわる uCosminexus Portal Framework のユーザ権限、および各ユーザ権限を持つ管理者が行う構築から運用までの作業について説明します。

1.1.1 uCosminexus Portal Framework のユーザ権限

ポータルの運用管理にかかわる uCosminexus Portal Framework のユーザ権限の種類、および各ユーザ権限で作業できる内容を次に示します。

表 1-1 uCosminexus Portal Framework のユーザ権限

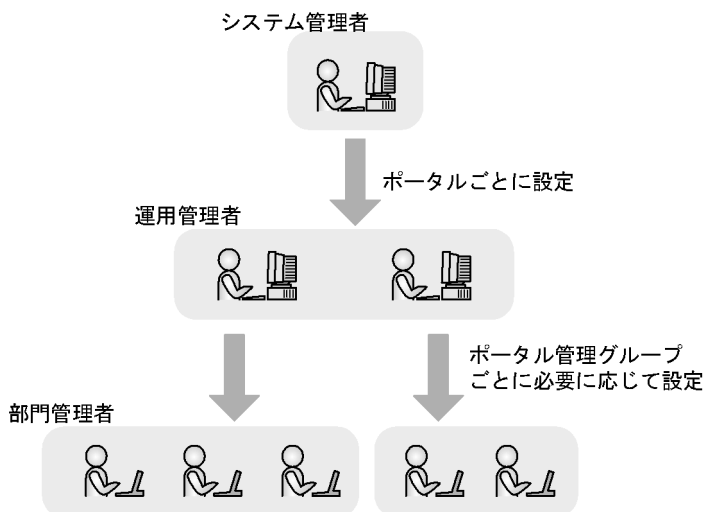
ユーザ権限	作業できる内容
システム管理者	ポータル全体を管理するユーザです。次の作業ができます。 <ul style="list-style-type: none">ポータルの構築ポータルレットの登録運用管理者の設定ポータルの起動・終了
運用管理者	ポータルの運用全体を管理するユーザです。次の作業ができます。 <ul style="list-style-type: none">ポータル管理グループの設定部門管理者の設定ポータルレットのアクセス権（管理および利用権限）の設定ポータルレットの生成¹標準画面レイアウトのアクセス権（管理および利用権限）の設定標準画面レイアウトの作成標準画面レイアウトの表示の設定ポータルレットグループの設定ユーザ、および組織の登録
部門管理者	特定のポータル管理グループだけの運用を管理するユーザです。管理権限を持つポータル管理グループに対して、次の作業ができます。 <ul style="list-style-type: none">ポータルレットのアクセス権（利用権限）の設定ポータルレットの生成¹標準画面レイアウトのアクセス権（利用権限）の設定標準画面レイアウトの作成標準画面レイアウトの表示の設定
ポータル利用者	ポータルを利用する一般ユーザです。次の作業ができます。 <ul style="list-style-type: none">利用権限を設定されたポータルレットの参照標準画面レイアウトのカスタマイズ（自分のポータル画面だけ）²

注 1 ポータルレットの生成とは、既存のポータルレットを複製して、新規にポータルレットを作成することです。詳細は「2.4.2 ポータルレットの生成」を参照してください。

注 2 ポータル利用者は、標準画面レイアウトをカスタマイズ（表示するポータルレットの選択やレイアウトの変更など）ができます。ただし、このカスタマイズが適用されるのは自分のポータル画面だけです。ポータル利用者がカスタマイズできる内容については、マニュアル「uCosminexus Portal Framework ユーザーズガイド」を参照してください。

運用管理者は、システム管理者によって設定されます。また、部門管理者は運用管理者によって設定されます。ユーザ権限の関係を次に示します。

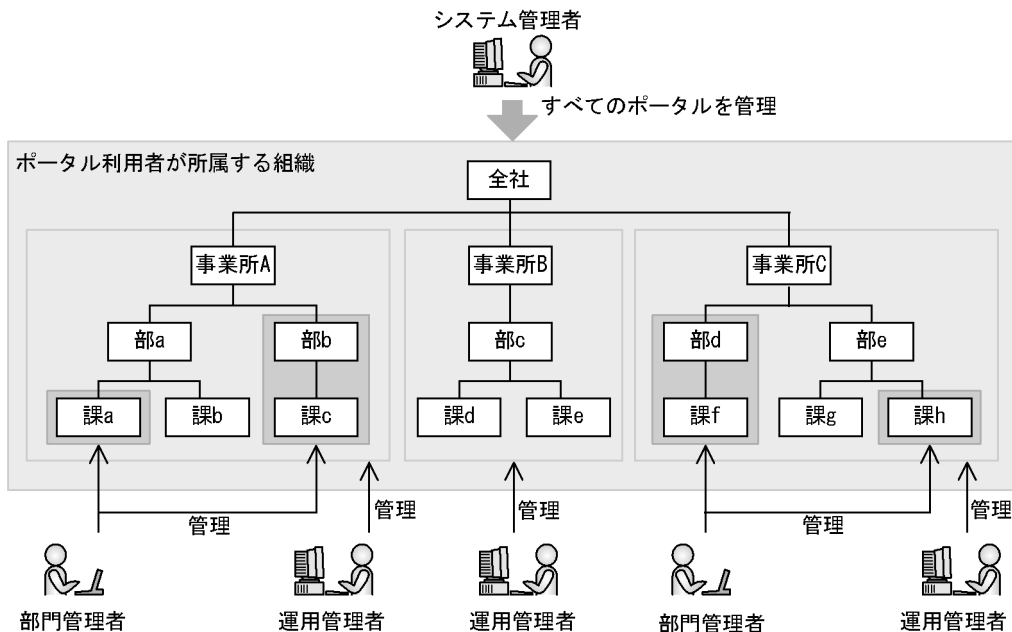
図 1-2 ユーザ権限の関係



システム管理者はポータルごとに運用管理者を設定します。運用管理者は、自分が管理するポータルのポータル管理グループごとに、必要に応じて部門管理者を設定します。

システム管理者、運用管理者、および部門管理者が管理する範囲を次の図に示します。

図 1-3 管理者が管理する範囲

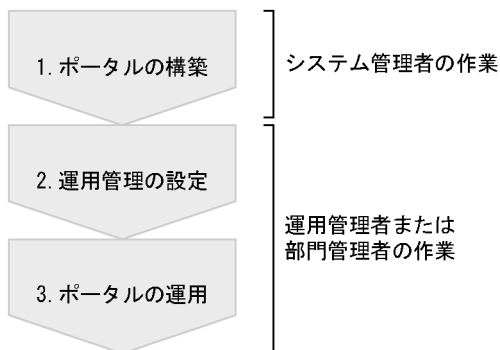


1. 概要

1.1.2 uCosminexus Portal Framework の構築から運用までの作業の流れ

uCosminexus Portal Framework の構築から運用までの流れを次の図に示します。

図 1-4 uCosminexus Portal Framework の構築から運用までの流れ



各作業の内容を次に説明します。

1. ポータルの構築

システム管理者がポータルを構築します。構築時に、ポータルの運用を管理する運用管理者を設定します。この作業の詳細は、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。

2. 運用管理の設定

1. で構築したポータルに運用管理者がログインして、ポータルの運用管理に必要な情報を設定します。この作業の詳細は、「2. ポータルの運用管理」を参照してください。

3. ポータルの運用

ポータル運用時の必要に応じて、運用管理者または部門管理者が運用管理の設定を変更します。この作業の詳細は、「2. ポータルの運用管理」を参照してください。

1.2 ポータルを運用するための管理者の作業

ここでは、ポータルを運用する管理者である運用管理者、および運用管理者によってポータル管理グループごとに設定された部門管理者の作業について説明します。

運用管理者および部門管理者は、ポートレットや標準画面レイアウトに対する権限などを設定することで、ポータルの運用を管理します。

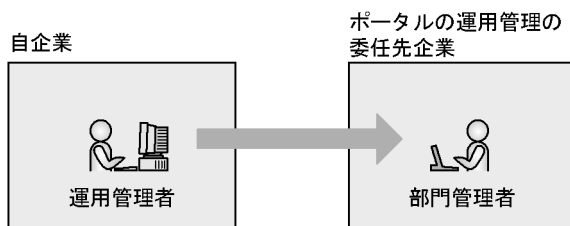
ここでは、運用管理者ができること、および運用管理の実現方法について説明します。

1.2.1 運用管理者ができること

運用管理者は、次のことができます。

- 管理者と利用者の権限の切り分け
ポータルの運用を管理する管理者と、ポータルを利用するユーザを明確に切り分けられます。例えば、ポータルの運用を管理する管理者には運用管理用のポートレット（運用管理ポートレット）だけを参照できるようにして、その他のポートレットのコンテンツは参照できないようにするという運用方法ができます。
このように運用するには、部門管理者を設定し、その部門管理者に対して運用管理ポートレットだけに利用権限を、管理対象のポートレットに管理権限を設定してください。
運用を管理する管理者に運用管理ポートレットだけを参照できるようにする方法を次の図に示します。

図 1-5 管理者と利用者の権限を切り分ける方法



運用管理ポートレットを利用する権限と、運用を管理して欲しい対象の管理する権限だけを設定

- 管理者の作業の切り分け
ポータル全体に対する情報を設定したり、構築したりするシステム管理者と、ポータルの運用を管理する運用管理者というように、管理者の作業を切り分けられます。このため、システム管理者の作業負担を軽減できます。
- 運用管理権限の一部の委譲
運用管理者の運用権限の一部を、部門管理者に委譲できます。このため、運用管理者の作業負担を軽減できます。また、部門ごとに運用管理者を設定することで、部門ご

1. 概要

とに独自の設定ができるようになります。

1.2.2 運用管理の実現方法

運用管理者は、ポータル管理グループを作成および編集することで、ポータルの運用管理を実現します。ポータル管理グループとは、リソースをだれが管理し、だれが利用できるかを定義するものです。

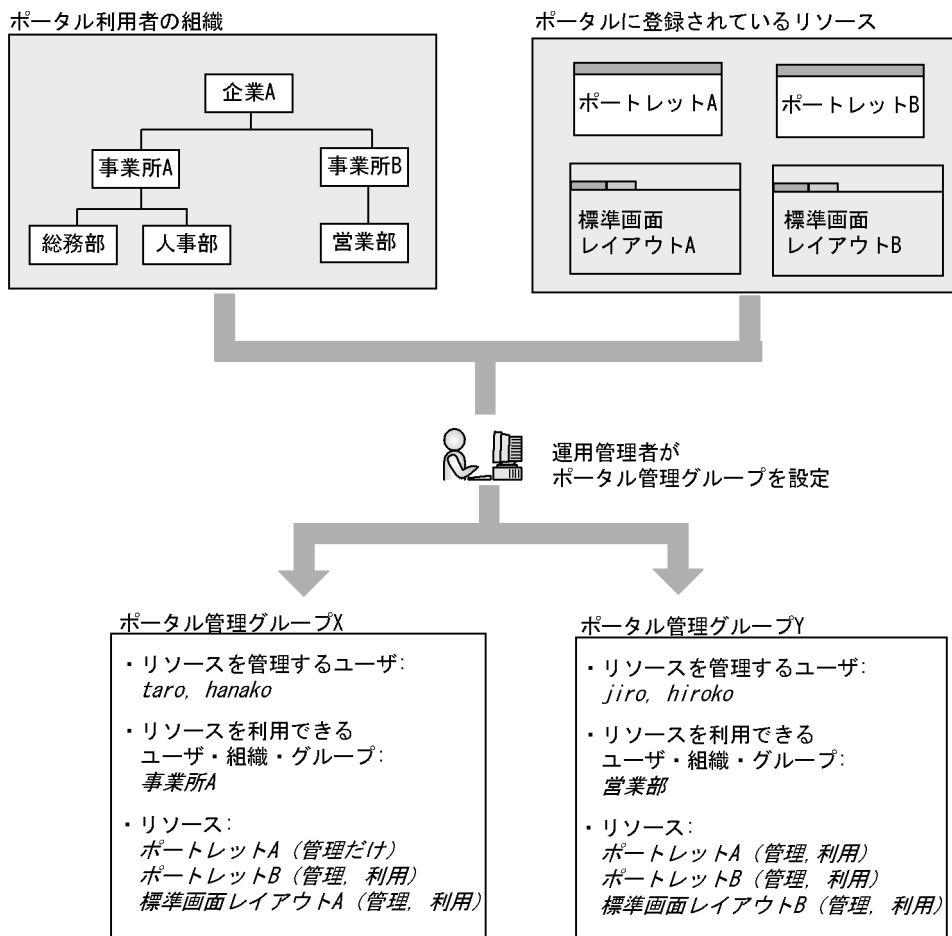
リソースとは、ポータルでアクセス権（管理または利用権限）を設定される情報の単位である、ポートレットおよび標準画面レイアウトのことです。

ポータル管理グループに定義する内容を次に示します。

- リソースを管理するユーザ
リソースの内容の編集や、アクセス権の変更ができるユーザを定義します。このユーザが、部門管理者となります。運用管理者だけが定義できます。
- リソースを利用するユーザ・組織・グループ
ポータル画面にリソースが表示されて、参照したり使用したりできるユーザを定義します。ユーザ、組織、およびグループ（任意のユーザの集まり）の単位でリソースのアクセス権を設定できます。運用管理者および部門管理者が定義できます。
- リソース
管理または利用できるポートレットおよび標準画面レイアウトを定義します。運用管理者および部門管理者が定義できます。

ポータル管理グループの概要を次の図に示します。

図 1-6 ポータル管理グループの概要



図中のポータル管理グループでは、次のように定義されています。

ポータル管理グループ X

定義されているリソースを管理できるのは、「taro」と「hanako」です。管理できるリソースは、「ポートレット A」、「ポートレット B」、および「標準画面レイアウト A」です。定義されているリソースを利用できるのは、「事業所 A 配下（総務部と人事部）」に所属するユーザです。利用できるリソースは、「ポートレット B」と「標準画面レイアウト A」です。

ポータル管理グループ Y

定義されているリソースを管理できるのは、「jiro」と「hiroko」です。管理できるリソースは、「ポートレット A」、「ポートレット B」、および「標準画面レイアウト B」です。定義されているリソースを利用できるのは、「営業部に所属するユーザ」です。利用できるリソースは、「ポートレット A」、「ポートレット B」、と「標準画面レイアウト B」です。

2

ポータル運用管理

ポータルの運用管理は、運用管理ポートレットで行います。この章では、ポータルの運用管理の流れと管理する対象となる情報と運用管理例について説明します。

2.1 運用管理の流れ

2.2 ポートレットグループ

2.3 ポータル管理グループ

2.4 ポートレット

2.5 標準画面レイアウト

2.6 拡張レイアウト形式

2.7 ユーザ情報

2.8 大規模システムの場合の運用管理例

2.1 運用管理の流れ

運用管理ポートレットを用いた運用管理の流れを次の図に示します。

図 2-1 運用管理の流れ



- 1. 運用管理ポートレットを使用するための設定**
運用管理ポートレットをポータル画面に表示するための設定をします。詳細は、「3.3 運用管理ポートレットを使用するための設定」を参照してください。
- 2. ポートレットグループの設定**
ポートレットグループを作成して、ポートレットをグループに分類します。詳細は、「4. ポートレットグループを管理する」を参照してください。
- 3. ポータル管理グループの設定**
ポータル管理グループを作成します。このとき、グループの部門管理者、所属するユーザ・組織を設定します。詳細は、「5. ポータル管理グループを管理する」を参照してください。
- 4. ポートレットの設定**
運用管理者または部門管理者が、必要に応じてポートレットの管理・利用権限を変更したり、ポートレットを生成したりします。詳細は、「6. ポートレットを管理する」を参照してください。
- 5. 標準画面レイアウトの設定**
運用管理者または部門管理者が、必要に応じて標準画面レイアウトの管理・利用権限の変更、標準画面レイアウト合成時の表示位置の変更、標準画面レイアウトのカスタマイズ、および標準画面レイアウトの新規作成をします。詳細は、「7. 標準画面レイアウトを管理する」を参照してください。
- 6. ユーザの設定**

ポータルユーザの登録、およびユーザが所属する組織の作成をします。詳細は、「8. ユーザを管理する」を参照してください。

7. ポータル運用開始後の管理

運用管理者または部門管理者は、ポータルの運用を開始したあとに、必要に応じてリソースや利用権限などを編集します。

2.2 ポートレットグループ

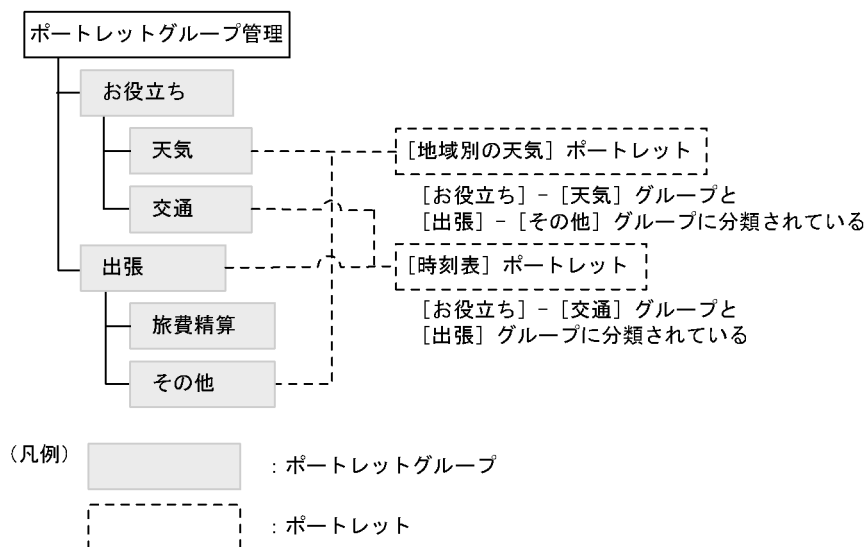
ポートレットグループは、ポートレットを分類するためのグループです。用途に合わせて作ったポートレットグループにポートレットを分類しておくことで、効率良く管理できます。

また、運用時に目的のポートレットを容易に選択するために、次の特長があります。

- ポートレットグループの下に別のポートレットグループを設定して、階層形式で表示できます。
- 一つのポートレットを複数のポートレットグループに所属させることができます。

ポートレットグループの作成例を次の図に示します。

図 2-2 ポートレットグループの作成例



なお、ポートレットはどのポートレットグループにも所属させないこともできます。

2.3 ポータル管理グループ

運用管理ポートレットでは、ポータル管理グループごとに、ポートレットおよび標準画面レイアウトを管理します。また、ポータル管理グループに利用者を設定することで、利用者はポートレットを利用できるようになります。設定をカスタマイズできるアクセス権を持つ部門管理者も設定します。

運用管理者、または部門管理者が、ポータル利用者を設定します。

複数のポータル管理グループを定義し、各グループに該当する条件を設定することで、ポータル利用者を複数のポータル管理グループに所属させることができます。ポータル管理グループに設定された情報を基に、ポータル利用者は標準画面レイアウトやポートレットを利用できるようになります。

ポータル管理グループを管理するための運用管理ポートレットの操作方法については、「5. ポータル管理グループを管理する」を参照してください。

なお、次に示すポータル管理グループがデフォルトで設定されています。

- **運用管理グループ**
運用管理者のためのポータル管理グループです。運用管理者が利用する標準画面レイアウトやポートレットを割り当てます。
- **部門管理グループ**
部門管理者のためのポータル管理グループです。運用管理者は、このポータル管理グループに対して部門管理するための標準画面レイアウトやポートレットを割り当て、部門管理者に対して利用権限を与えます。
- **サンプルグループ**
サンプルのポータル管理グループです。サンプルのポータル管理グループには、標準画面レイアウトとしてウェルカム画面（ログイン前に表示する画面）、およびサンプルポートレットが設定されています。必要に応じて表示するポートレットを登録し、利用権限および管理権限を設定してください。なお、サンプルグループはウェルカム画面が設定されているポータル管理グループであるため、削除できません。
- **ホーム画面グループ**
ホーム画面（ログイン後に表示する標準の画面）を管理するためのポータル管理グループです。必要に応じて表示するポートレットを登録し、利用権限および管理権限を設定してください。なお、ホーム画面グループにはデフォルトの標準画面レイアウト（レイアウトタイトルが「ホーム画面」でレイアウト名が「default」のもの）が設定されています。この標準画面レイアウトは、特定のポータル管理グループに所属するポータル利用者のための標準画面レイアウトではなく、どのポータル利用者でも参照してよい情報だけを表示する特殊な標準画面レイアウトです。

2.4 ポートレット

運用管理ポートレットでは、設定したポータル管理グループごとに、ポートレットについて次の設定および操作ができます。

- 管理・利用するポートレットの設定
- ポートレットの生成
- Web コンテンツポートレットの作成
- ポートレットのインポート・エクスポート

各内容を次に説明します。

2.4.1 管理・利用するポートレットの設定

運用管理者は、ポータル管理グループに所属するポートレットを設定できます。また設定したポートレットに対して、次の権限を設定します。

- 部門管理者が管理する権限
- ポータル利用者が利用する権限

ポートレットのアクセス権の設定方法については、「6.2 ポートレットを設定する」を参照してください。

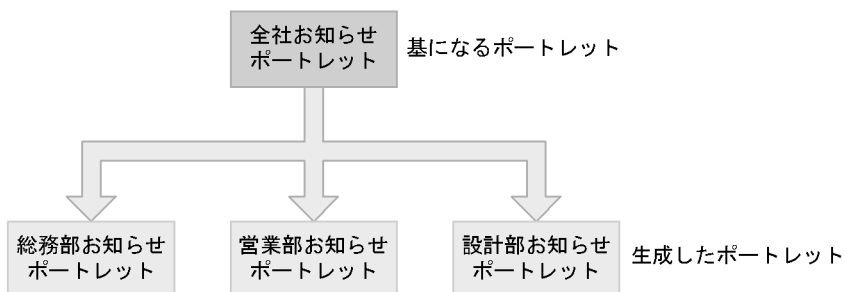
2.4.2 ポートレットの生成

ポートレットの生成とは、既存のポートレットを複製して新しいポートレットを作成することです。ポートレットを生成することで、新しいポートレットを作成する際の作業（ポートレットの開発・登録・ポータルの再起動）を軽減できます。

例えば、Web ポートレットや iframe ポートレットの場合、それぞれ一つずつポートレットを開発してポータルに登録しておけば、ポータルの運用中にポートレットを生成して、参照先 URL などのパラメタを変更することで、異なるページを表示するポートレットを作成できます。

ポートレットの生成の概要を次の図に示します。

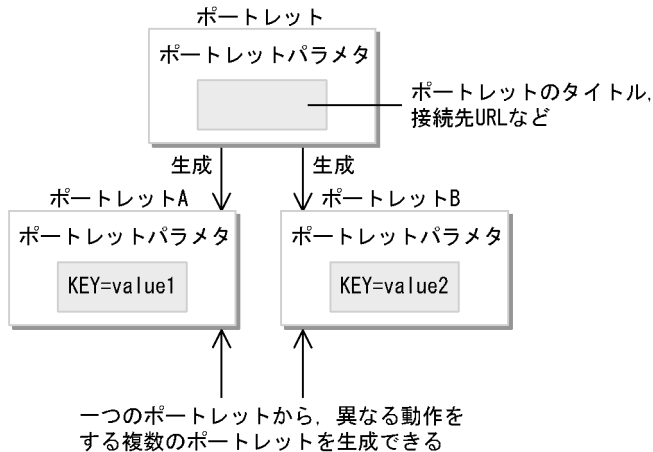
図 2-3 ポートレットの生成の概要



ポートレットの生成方法

ポートレットを生成するには、ポートレットパラメタ定義の設定を次のように変更します。

図 2-4 ポートレットパラメタ定義の設定変更



生成したポートレットは、生成元のポートレットがなくなる（アンデプロイされる）まで有効です。ポートレットを生成できるのは、運用管理者または部門管理者だけです。

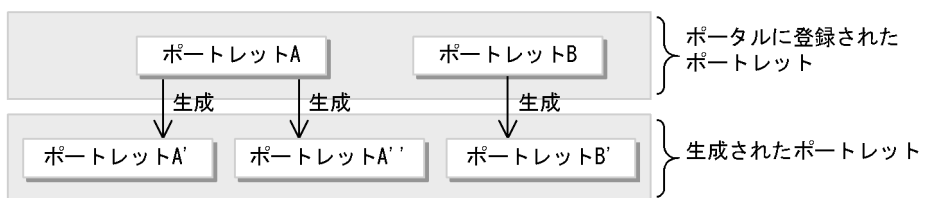
ポートレットの種類

ポートレットには、次の2種類があります。

- ポータルに登録（デプロイ）されたポートレット
- 生成されたポートレット

ポートレットの種類と関係を次の図に示します。

図 2-5 ポートレットの種類と関係



ポートレットの生成の詳細は、「6.1 ポートレットを生成する」を参照してください。

2.4.3 Web コンテンツポートレットの作成

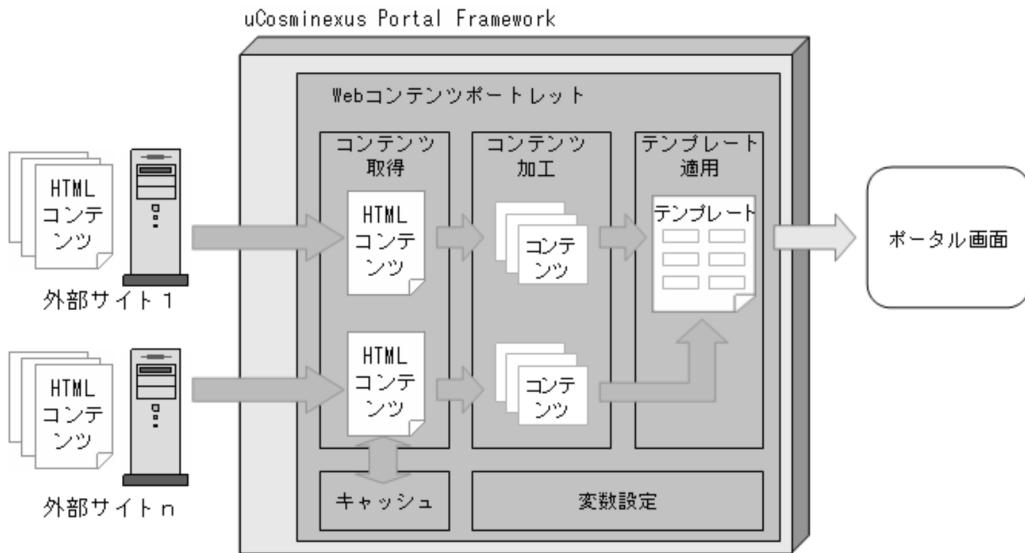
Web コンテンツポートレットは、外部の Web サイトからコンテンツを取得し、加工して、ポータルに表示するポートレットです。運用管理ポートレットでアクセスサイトや

2. ポータルの運用管理

加工の方法などを設定することで作成されます。

Web コンテンツポートレットの概要図を次の図に示します。

図 2-6 Web コンテンツポートレットの概要図



コンテンツ取得

外部 Web サイトからコンテンツを取得します。複数サイトの指定ができます。

コンテンツ加工

取得したコンテンツを次の順により加工できます。

- 正規表現での切り出し
取得したコンテンツの一部を切り出します。
- 正規表現での抽出
切り出したコンテンツからデータ項目を抽出します。
- ソート
抽出したデータ項目を並べ替えます。

テンプレート適用

テンプレートに、加工したコンテンツを適用します。

また、次の機能を使用することができます。

データキャッシュ

取得したコンテンツをキャッシュします。キャッシュを使用することでコンテンツ取得時間を短縮することができます。次に示す 2 種類のキャッシュ方法があります。

- セッションキャッシュ
ユーザごとにコンテンツをキャッシュします。ユーザごとに異なるコンテンツをキャッシュする場合に使用します。
- システムキャッシュ

ポートレット単位にコンテンツをキャッシュします。すべてのユーザで共通のコンテンツをキャッシュする場合に使用します。

変数設定

変数を設定することができます。コンテンツ取得時に使用するパラメタ（URL や認証情報など）を変数化して、ポートレット表示時に動的に変更できます。

Web コンテンツポートレットの作成方法については、「6.6 Web コンテンツポートレットを作成する」を参照してください。

2.4.4 ポートレットのインポート・エクスポート

ポートレットのエクスポートは、ポートレット情報を XML 形式のファイルに出力する機能です。出力したファイルをポートレットリソースファイルといいます。

ポートレットリソースファイルを別環境へインポートすることで、ポートレット情報の移行ができます。また、ポートレットを別のポートレットグループに所属させたい場合にも、インポート機能が使えます。

! 注意事項

- エクスポートしたファイルを別のサーバにインポートする場合には、インポート対象のポートレットの生成元ポートレットは、同じでなければなりません。
- 二つのサーバで同じ名称で別のポートレットが定義された場合は、動作を保証しません。

2.5 標準画面レイアウト

標準画面レイアウトとは、ポータル利用者がログインする前に表示されるウェルカム画面、およびログインしたあとに表示されるホーム画面のレイアウトのことです。標準画面レイアウトを作成すると、ユーザが所属する組織単位や役職ごとに、ポータル画面に表示されるポートレット、ポートレットの配置、画面の配色などを設定できます。

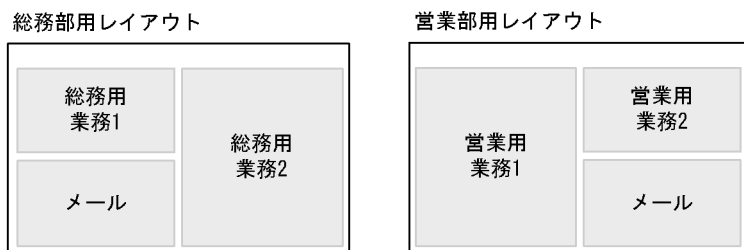
ウェルカム画面

ウェルカム画面とは、すべてのユーザがログインする前に表示される画面です。すべてのユーザに知らせてもよい情報（ポータルにログインしていなくても表示してよい情報）を表示します。

ホーム画面

ホーム画面とは、ユーザがログインしたあとに表示される画面です。運用管理者および部門管理者は、各ユーザのディレクトリ情報に基づいて、所属組織や役職ごとにホーム画面の標準画面レイアウトを割り当てられます。あらかじめ各部の業務に関するポートレットを標準画面レイアウトに設定しておくことで、各ユーザの所属組織や役職に応じたホーム画面を設定できます。総務部用と営業部用の標準画面レイアウト選択例を次の図に示します。

図 2-7 標準画面レイアウト選択例



総務部用のホーム画面には、総務部で使用する業務システムのポートレットを選択し、営業部用のホーム画面には、営業部で使用する業務システムのポートレットを選択します。

また、ホーム画面では、拡張レイアウト形式が使用できます。拡張レイアウト形式を使用すると、ポートレットをより自由度の高いレイアウトで配置できます。拡張レイアウト形式の概要については、「2.5.3 標準画面レイアウトの形式」を参照してください。なお、拡張レイアウトとは、拡張レイアウト形式を使用した標準画面レイアウトのことです。

運用管理ポートレットでは、標準画面レイアウトについて次の設定および操作ができます。

- 管理・利用する標準画面レイアウトの設定
- 標準画面レイアウトの表示の設定
- 標準画面レイアウトのインポート/エクスポート

また、レイアウト編集機能で、レイアウトの形式を選択します。

ここでは各内容と標準画面レイアウトの形式について説明します。

2.5.1 管理・利用する標準画面レイアウトの設定

運用管理者は、ポータル管理グループに標準画面レイアウトを設定できます。また、設定した標準画面レイアウトに対して、次の権限を設定します。

- 部門管理者が管理する権限
- ポータル利用者が利用する権限

標準画面レイアウトのアクセス権の設定については、「7.2 標準画面レイアウトのアクセス権を設定する」を参照してください。

2.5.2 標準画面レイアウトの表示の設定

標準画面レイアウトの表示に関する次の設定ができます。

標準画面レイアウトの合成時の表示順序設定

複数のポータル管理グループに所属しているポータル利用者の標準画面レイアウトは、合成して表示されます。このとき、どのような順番で表示するかを設定できます。表示順序を設定する方法については、「7.6 標準画面レイアウトの表示順序を変更する」を参照してください。

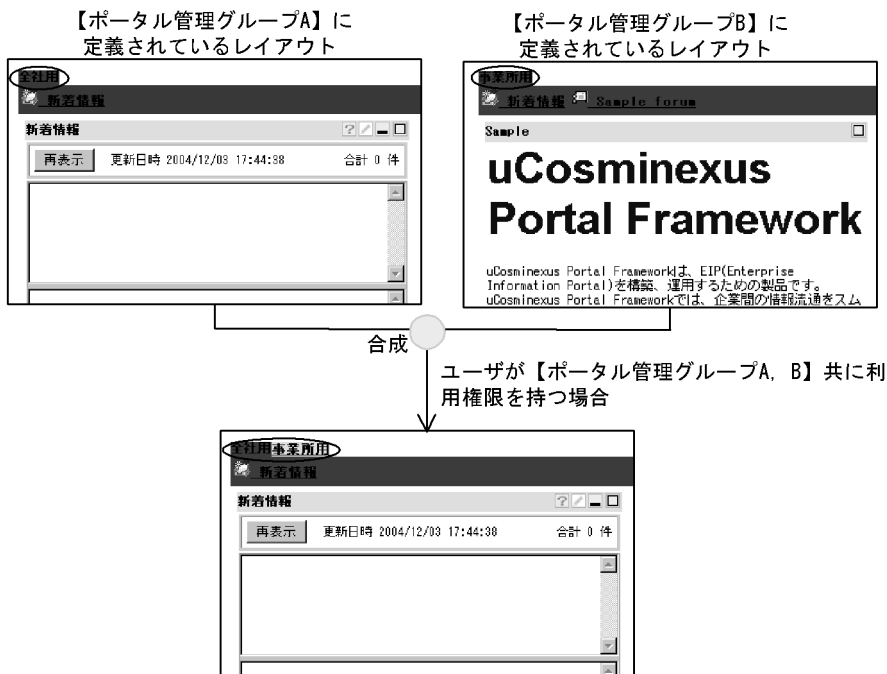
標準画面レイアウトの合成とは

例えば、管理グループ A と管理グループ B に所属している利用者 C がいるとします。

この場合、利用者 C はポータルにログインすると、二つのポータル管理グループの標準画面レイアウトがタブ形式で合成されて表示されます。管理グループ A の標準画面レイアウトが [管理グループ A] タブに、管理グループ B の標準画面レイアウトが [管理グループ B] タブに表示されます。

標準画面レイアウトの合成の概要を次の図に示します。

図 2-8 標準画面レイアウトの合成の概要



標準画面レイアウトを合成することで、複数の同一の標準画面レイアウトを作成する必要がなくなります。

例えば、複数の標準画面レイアウトに共通して表示したいポートレットがある場合、それぞれの標準画面レイアウトにポートレットを追加するのではなく、共通して表示したいポートレット用の標準画面レイアウトを作成します。この標準画面レイアウトにそれぞれの標準画面レイアウトの利用者を所属させると、利用者がログインしたときに標準画面レイアウトが合成されて、共通して表示したいポートレットを参照できます。

標準画面レイアウト内の情報がタブ形式ではない場合は、タブ形式に変更されて、タブに標準画面レイアウトのタイトル名が設定されます。

標準画面レイアウトのタイトル名が重複する場合は、重複しないような数字（1から始まる数字）が付加されます。

なお、iモード（CHTML形式）およびEZweb（HDML形式）の場合は、標準画面レイアウトは合成されません。

標準画面レイアウトの合成の詳細は、「付録A 標準画面レイアウトの合成」を参照してください。

標準画面レイアウトの表示順序とは

標準画面レイアウトが合成される時、ポータル管理グループの定義順序に並べて表示されます。ポータル管理グループが「ポータル管理グループA」、「ポータル管理グループB」の順に定義されていて、ユーザが両者に対してアクセス権限を持つ場合、左側から「ポータル管理グループA」と「ポータル管理グループB」

に含まれる標準画面レイアウトが並べて表示されます。

標準画面レイアウトの追加または削除

標準画面レイアウトの追加または削除ができます。

追加する際は、いちばん右側にあるタブの右側に追加されます。追加の方法は、新規に標準画面レイアウトを作成する方法と既存の標準画面レイアウトにアクセス権を設定する方法の2種類があります。新規に作成する方法は、「7.1 標準画面レイアウトを作成する」を、アクセス権を設定する方法は、「7.2 標準画面レイアウトのアクセス権を設定する」を参照してください。削除の方法は、「7.8 標準画面レイアウトを削除する」を参照してください。

標準画面レイアウトの表示種別の設定

標準画面レイアウトの表示種別を設定できます。表示種別の内容を次に示します。

表 2-1 標準画面レイアウトの表示種別

種別	内容
通常表示	通常表示の標準画面レイアウトとして画面に表示されます。利用者は、この種別の標準画面レイアウトを追加または削除できます。
強制表示	強制的に画面に表示されます。利用者は、この種別の標準画面レイアウトを削除できません。
表示しない	デフォルトでは表示されません。利用者は、この種別の標準画面レイアウトを追加または削除できます。

表示種別は、標準画面レイアウト追加後に設定します。標準画面レイアウトの表示種別の設定方法については、「7.3 標準画面レイアウト情報を設定する」を参照してください。

2.5.3 標準画面レイアウトの形式

HTML の場合、ならびに CHTML および HDML の場合の、標準画面レイアウトに適用できるレイアウト形式の種類について説明します。

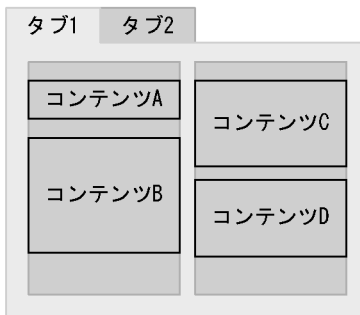
(1) HTML の場合

HTML は、次に示すレイアウト形式を設定できます。ユーザはレイアウト形式を変更できないので、ポータルの標準画面レイアウトを設定するときに、ユーザに適切なレイアウト形式を選択してください。

タブ形式

2. ポータルの運用管理

図 2-9 タブ形式



タブ形式の画面では、タブを使用して複数の画面を表示できます。タブをクリックすると異なる画面が表示されます。タブ内には、行列形式、ユーザ登録形式および拡張レイアウト形式の画面を表示できます。ただし、拡張レイアウト形式を表示する場合は、タブは一つしか使用できません。

タブ形式の画面では、必ず表示させるポートレットやタブを設定できます。強制表示するポートレットやタブについては、「7.4.8 ポートレットの強制表示の設定」を参照してください。

行列形式

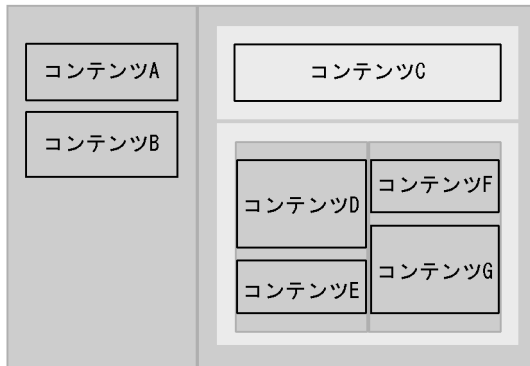
図 2-10 行列形式（列ベースまたは行ベース）



行列形式の画面では、ポートレットが縦方向、または横方向に並んで表示されます。図 2-9 では、ポートレットが横方向に並んで表示されています。なお、行列形式の場合、システム管理者が最大行・列数を設定する必要があります。詳細は、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。

拡張レイアウト形式

図 2-11 拡張レイアウト形式

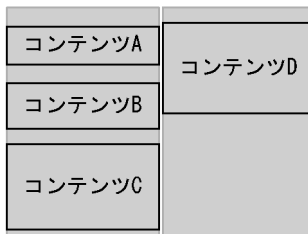


拡張レイアウト形式の画面では、行列形式を組み合わせることでポートレットが表示されます。拡張レイアウト形式では、例えば、行の中に列を入れ子にするなど、より複雑にポートレットを配置できます。また、利用者がポートレットの配置を変更できるかどうかを、ポートレットを配置する一つの行または列（エリア）ごとに設定できます。

拡張レイアウト形式の標準画面レイアウト（拡張レイアウト）については、「2.6 拡張レイアウト形式」を、作成方法については、「7.5 拡張レイアウトを編集する」を参照してください。

ユーザ登録形式

図 2-12 ユーザ登録形式



ユーザ登録形式は、システム管理者が登録したレイアウト形式です。行列形式（列ベース）をベースに、ポータル画面に表示するポートレットの列数、ポートレットの横幅サイズが設定できます。ユーザ登録形式の登録方法については、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。

グリッド形式

2. ポータルの運用管理

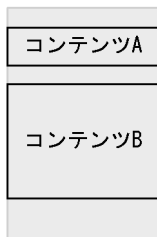
図 2-13 グリッド形式



グリッド形式の画面では、ポートレットが格子状に表示されます。

フロー形式

図 2-14 フロー形式



フロー形式の画面では、ポートレットが縦に 1 列に並んで表示されます。

参考 拡張レイアウト形式とその他のレイアウト形式との機能差異

拡張レイアウト形式とその他のレイアウト形式との機能差異について、次の表に示します。

表 2-2 拡張レイアウト形式とその他のレイアウト形式との機能差異

項番	機能	レイアウト形式	
		拡張レイアウト形式	その他のレイアウト形式
1	行列の組み合わせ指定		×
2	ポートレットの強制配置 ¹		×
3	ポートレットの自動追加 ²		×
4	ポートレット単位の表示属性の設定 ³		×
5	変更不可エリアにだけ配置できるポートレットの設定 ⁴		×
6	ポートレットをすべて削除 (レイアウト上に 0 個のポートレット)		×
7	レイアウト編集画面での行・列の追加および削除	×	
8	複数タブを持つレイアウトの作成	×	

項番	機能	レイアウト形式	
		拡張レイアウト形式	その他のレイアウト形式
9	行ベース（横方向）でのポートレットの配置	×	
10	ポートレットの強制表示（強制表示タブ、または強制表示ポートレットの配置）	×	

（凡例）

○：できます。

×

注 1 ポートレットの強制配置には、変更不可エリアを使用します。変更不可エリアについては、「2.6.1(1)(b) 変更不可エリア」を参照してください。

注 2 ポートレットの自動追加については、「2.6.1(2)(b) 自動追加ポートレット」を参照してください。

注 3 ポートレットの表示属性の設定については、「7.5.3(3) ポートレット表示属性の設定」を参照してください。

注 4 変更不可エリアにだけ配置できるポートレットの設定については、「2.6.1(2)(a) 変更不可エリアでだけ選択できるポートレット」を参照してください。

（2）CHTML および HDML の場合

携帯電話の画面など、CHTML および HDML の場合は、カード形式で表示されます。ほかの形式は選択できません。カード形式とは、フロー形式と同様にポートレットを縦に 1 列に並べて表示する形式です。

2.5.4 標準画面レイアウトのインポート・エクスポート

標準画面レイアウトのエクスポートは、標準画面レイアウト情報を XML ファイルに出力する機能です。出力したファイルをレイアウトリソースファイルといいます。レイアウトリソースファイルを別環境へインポートすることで、データの移行ができます。

2.6 拡張レイアウト形式







ここでは、標準画面で使用する拡張レイアウト形式の概要、および拡張レイアウトを構成する画面構成について説明します。

2.6.1 拡張レイアウト形式とは

拡張レイアウト形式とは、行列形式（列ベースまたは行ベース）を組み合わせて表示できるレイアウト形式のことです。拡張レイアウトのレイアウト概要図を次の図に示します。

図 2-15 拡張レイアウトのレイアウト概要図



- (凡例)
- | | | | |
|---|------------------|---|-----------|
|  | : 1段目の入れ子 (列ベース) |  | : ポートルレット |
|  | : 2段目の入れ子 (行ベース) |  | : 変更可能エリア |
|  | : 3段目の入れ子 (列ベース) |  | : 変更不可エリア |

注※1 変更可能エリアおよび変更不可エリアでは、ポートルレットを縦一列に配置します。

注※2 利用者は、変更不可エリア内のポートルレット(ポートルレット1、ポートルレット6、およびポートルレット7)の配置を変更できません。

拡張レイアウトの特長を次に示します。

- 拡張レイアウトの1列（または1行）には、一つの拡張レイアウト（入れ子）またはエリアを配置できます。
- 拡張レイアウトでは、入れ子を4段まで使用できます。
- 拡張レイアウトは、タブ形式のレイアウトに含めることができます。ただし、タブ形式のレイアウトに拡張レイアウトを含めた場合、使用できるタブは一つだけです。タ

ブ形式については、「2.5.3 標準画面レイアウトの形式」を参照してください。

なお、拡張レイアウトはHTMLの場合だけ使用できます。

拡張レイアウトに設定できるエリアおよびポートレットの属性について次に説明します。

(1) エリア

エリアとは、拡張レイアウト内のポートレットを配置する一つの行または列のことです。

エリアの特長を次に示します。

- エリアには、0個以上のポートレットを縦一列に配置できます。
- エリアに配置するポートレットが0個の場合、行は詰まって表示されます。列はその列の領域を空けて表示されます。なお、レイアウト形式が拡張レイアウト形式ではない場合、1個以上のポートレットを表示する必要があります。
- エリアには、区分（変更可能エリアまたは変更不可エリア）を設定する必要があります。エリアの区分は、ポートレット配置情報ファイル（PSMLファイル）で設定します。ポートレット配置情報ファイルでのエリアの設定については、「7.5.1 ポートレット配置情報ファイルの作成」を参照してください。
エリアの区分ごとに利用者、または管理者（運用管理者または部門管理者）が変更できるポートレットの配置内容を次の表に示します。

表 2-3 エリアの区分ごとに変更できるポートレットの配置内容

項番	エリアの区分	利用者によるポートレット配置変更		管理者によるポートレット配置変更	
		並べ替え	表示・非表示の切り替え	ポートレットの強制表示	自動追加ポートレットの配置
1	変更可能エリア			x	
2	変更不可エリア	x	x		x

（凡例）

：変更できます。

x：変更できません。

- エリアには、拡張レイアウト内でエリアを識別するためのID（エリアID）を設定する必要があります。エリアIDは、管理者（運用管理者または部門管理者）がポートレット配置情報ファイルで設定します。ポートレット配置情報ファイルでのエリアIDの設定については、「7.5.1 ポートレット配置情報ファイルの作成」を参照してください。
エリアIDに使用できる文字列の条件を次に示します。
 - 半角英数字で1文字～64文字（大文字・小文字は区別）

次に、変更可能エリア、および変更不可エリアについて説明します。

2. ポータルの運用管理

(a) 変更可能エリア

変更可能エリアとは、利用者がポートレットを配置できるエリアのことです。変更可能エリアの初期状態は、管理者が設定します。なお、利用者が変更可能エリアをカスタマイズしたあとに管理者が変更可能エリア内のポートレットの配置を設定し直した場合、利用者の画面には反映されません。利用者の画面にポートレットを強制的に表示したい場合は、自動追加ポートレットを使用する必要があります。自動追加ポートレットについては、「2.6.1(2)(b) 自動追加ポートレット」を参照してください。

(b) 変更不可エリア

変更不可エリアとは、利用者がポートレットの配置を変更できないエリアのことです。変更不可エリアのポートレットの配置を変更できるのは、管理者だけです。

利用者のログイン中に、管理者が変更不可エリアのポートレットの配置を変更した場合、その変更は利用者が次回ログインしたときに反映されます。

また、管理者が拡張レイアウト内で変更不可エリアを移動した場合、同一エリア ID のエリアのポートレット表示属性 を反映します。

注 ポートレット表示属性とは、拡張レイアウトごとにポートレット単位で設定できるポートレットのデザインおよび編集可否の設定のことです。ポートレット表示属性については、「7.5.3(3) ポートレット表示属性の設定」を参照してください。

(2) ポートレットの属性

拡張レイアウトでは、次に示す属性を持ったポートレットも使用できます。これらのポートレットを使用することによって、拡張レイアウトでポートレットの強制表示ができるようになります。

- 変更不可エリアでだけ選択できるポートレット
- 自動追加ポートレット

次に、変更不可エリアでだけ選択できるポートレット、および自動追加ポートレットについて説明します。

(a) 変更不可エリアでだけ選択できるポートレット

変更不可エリアでだけ選択できるポートレットとは、管理者（運用管理者または部門管理者）が変更不可エリアでポートレットを追加するときだけ [ポートレットの選択] 画面で選択できるポートレットのことです。このポートレットを使用すると、利用者の画面にポートレットを強制表示できます。

変更不可エリアでだけ選択できるポートレットに設定すると、変更不可エリアでポートレットを追加するときだけ [ポートレットの選択] 画面で選択できます。なお、変更不可エリア以外のすべてのエリア、および拡張レイアウト形式以外のすべてのレイアウト形式では、選択できなくなります。

このポートレットの配置については、「7.5.3(2) 変更不可エリアでだけ選択できるポー

「ポートレットの配置」を参照してください。

(b) 自動追加ポートレット

自動追加ポートレットは、利用者の画面に強制的に表示でき、利用者が自由に移動・削除できるポートレットです。そのため、新規に追加されたポートレットを紹介したい場合などに有効です。自動追加ポートレットを配置できるのは、管理者（運用管理者または部門管理者）だけです。また、表示できるエリアは、変更可能エリアだけです。

自動追加ポートレットの特長を次に示します。

- 自動追加ポートレットは、表示したい変更可能エリア、および変更可能エリア内の位置（最上部または最下部）を指定できます。また、自動追加ポートレットは、常に最上部または最下部に追加されます。
- 管理者（運用管理者または部門管理者）が変更した内容は、利用者が次回ログインしたときにだけ反映されます（セッションの途中では反映されません）。
- 一つの拡張レイアウト内に、すでに同じポートレットが配置されている場合、ポートレットは再配置されません。
- ポートレットの追加処理は、前回ログインしたときからの差分を取って追加されます。したがって、強制表示されたポートレットの表示順序は利用者によって異なります（管理者の設定とログインのタイミングに依存します）。

このポートレットの配置については、「7.5.4 自動追加ポートレットの配置」を参照してください。

2.6.2 拡張レイアウトの動作

拡張レイアウト内で管理者（運用管理者または部門管理者）が次の変更をした場合の、拡張レイアウトの動作について説明します。

拡張レイアウト内で、一般的な操作をした場合、および特殊な操作をした場合の動作について説明します。

一般的な操作

- 変更不可エリアにポートレットを追加および削除した場合

特殊な操作

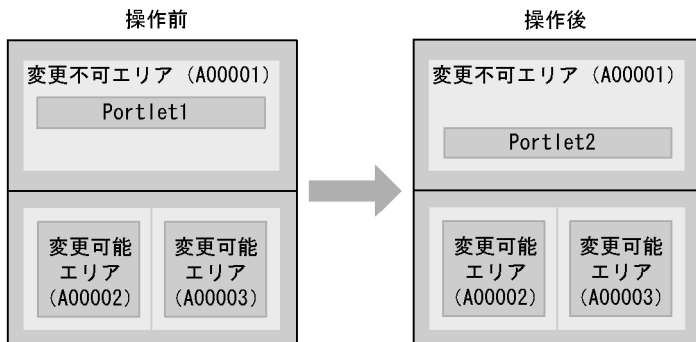
- 変更不可エリアと変更可能エリアに同じポートレットを配置した場合
- 拡張レイアウト内でエリア移動した場合

(1) 変更不可エリアにポートレットを追加および削除した場合

拡張レイアウト内で管理者が変更不可エリア内にポートレットを追加および削除した場合の、拡張レイアウトの動作について次に説明します。

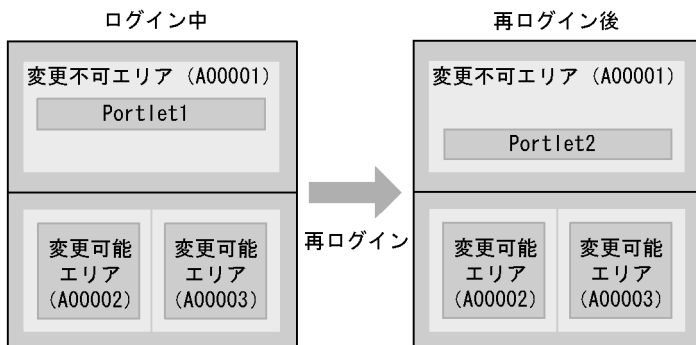
1. 管理者は、変更不可エリア（エリア ID：A00001）に Portlet2 を追加し、Portlet1 を削除します。
変更不可エリア（エリア ID：A00001）には、Portlet2 だけが表示されます。

2. ポータルの運用管理



2. 利用者は再ログインします。

変更不可エリア (エリア ID : A00001) には、管理者が 1. で変更した内容 (Portlet2 だけが表示された状態) が反映されます。



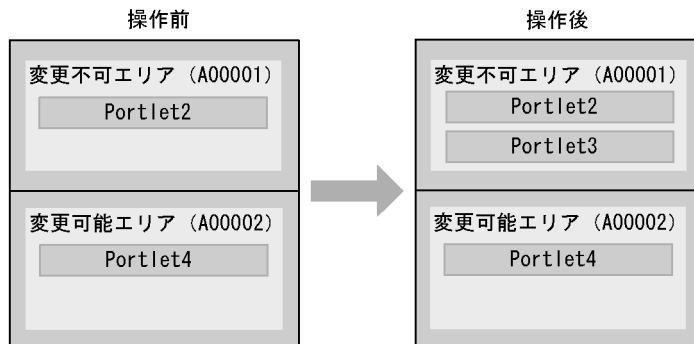
(2) 変更不可エリアと変更可能エリアに同じポートレットを配置した場合

一つの拡張レイアウト内では、同じポートレットを複数配置できません。そのため、利用者が変更可能エリアのレイアウトをカスタマイズしてポートレットを追加した場合、そのポートレットを管理者が変更不可エリアに追加したときには、変更不可エリアの表示が優先されます。したがって、利用者の拡張レイアウトに表示されていたポートレットは削除されます。

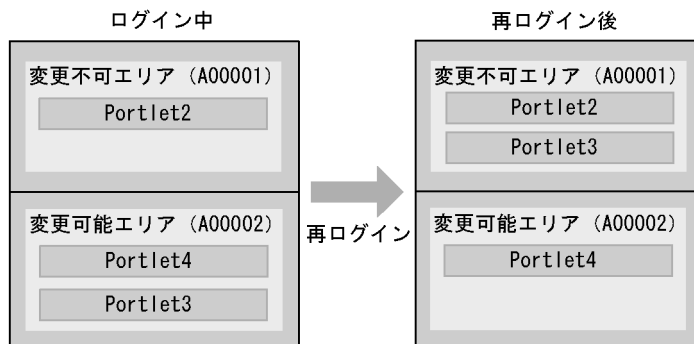
この場合の拡張レイアウトの動作について次に説明します。

1. 管理者は、変更不可エリア (エリア ID : A00001) に Portlet3 を追加します。

変更不可エリア (エリア ID : A00001) には、Portlet3 が追加されます。



2. 利用者は、変更可能エリア（エリア ID：A00002）に Portlet3 を配置した状態で再ログインします。
 変更不可エリア（エリア ID：A00001）には、1. で管理者が変更した内容（Portlet3 が追加された状態）が反映され、変更可能エリア（エリア ID：A00002）からは Portlet3 が削除されます。



この問題を回避するためには、変更不可エリアでだけ選択できるポートレットかどうかをポートレット単位に設定しておく必要があります。変更不可エリアでだけ選択できるポートレットについては、「7.5.3(2) 変更不可エリアでだけ選択できるポートレットの配置」を参照してください。

(3) 拡張レイアウト内でエリア移動した場合

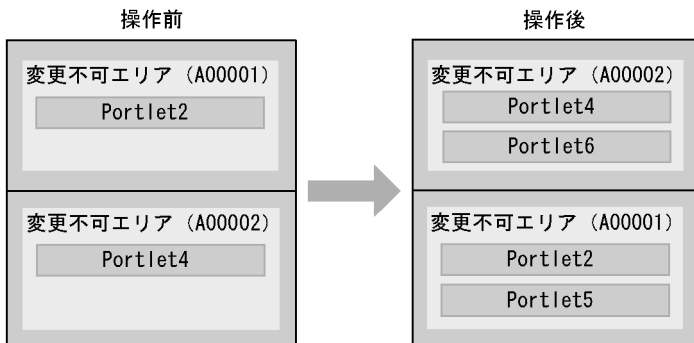
一つの拡張レイアウト内で、管理者がエリアの位置を移動した場合、利用者のエリアの位置は変更されません。ただし、管理者がエリア内のポートレットの配置を変更した場合は、利用者のエリア内のポートレット配置も変更されます。

この場合の拡張レイアウトの動作について次に説明します。

1. 管理者は、変更不可エリア（エリア ID：A00001）と変更不可エリア（エリア ID：A00002）の位置を変更し、変更不可エリア（エリア ID：A00001）に Portlet5 を、変更不可エリア（エリア ID：A00002）に Portlet6 を配置します。

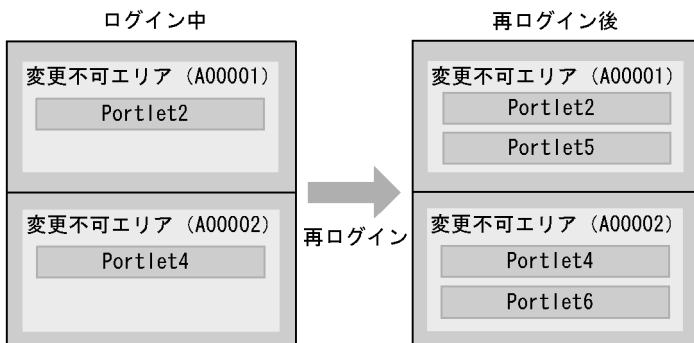
2. ポータルの運用管理

変更不可エリア（エリア ID：A00001，および A00002）の位置が変更され，変更不可エリア（エリア ID：A00001，および A00002）に管理者が変更した内容（A00001 に Portlet5 が追加され，A00002 に Portlet6 が追加された状態）が反映されます。



2. 利用者は再ログインします。

変更不可エリア（エリア ID：A00001，および A00002）には，管理者が 1. で変更した内容（A00001 に Portlet5 が追加され，A00002 に Portlet6 が追加された状態）が反映されます。ただし，変更不可エリア（エリア ID：A00001，および A00002）の位置は変更されません。



2.7 ユーザ情報

運用管理ポートレットでは、ポータルのユーザの情報を登録・管理できます。また、ユーザ情報に設定する役職や組織などの情報も管理します。

ユーザ情報を管理するための運用管理ポートレットの操作方法については、「8. ユーザを管理する」を参照してください。

2.7.1 組織の管理

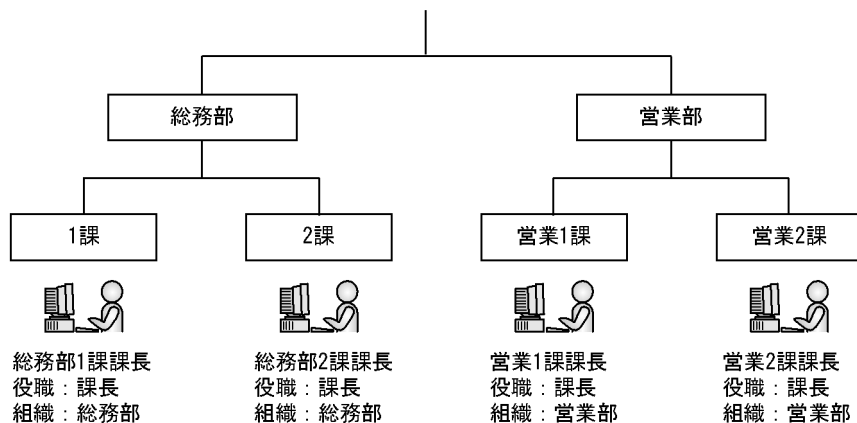
運用管理ポートレットでは、組織を階層形式で管理します。ポータル管理グループに部門管理者および利用者を設定するときに、登録内容がツリー形式で表示されます。階層的に組織情報を設定しておくことで、スムーズに設定できます。

2.7.2 ユーザの管理

ユーザ情報に役職、および組織を設定することで、役職および組織を利用者の設定条件にして、ポータル管理グループに所属させることができます。

ユーザ情報の設定例を次の図に示します。

図 2-16 ユーザ情報の設定



この組織で、ポータル管理グループの利用者の条件に、役職「課長」を指定すると、図の4人の課長が全員所属することになります。また、条件に、組織「総務部」を指定すると、総務部の2人の課長が所属することになります。

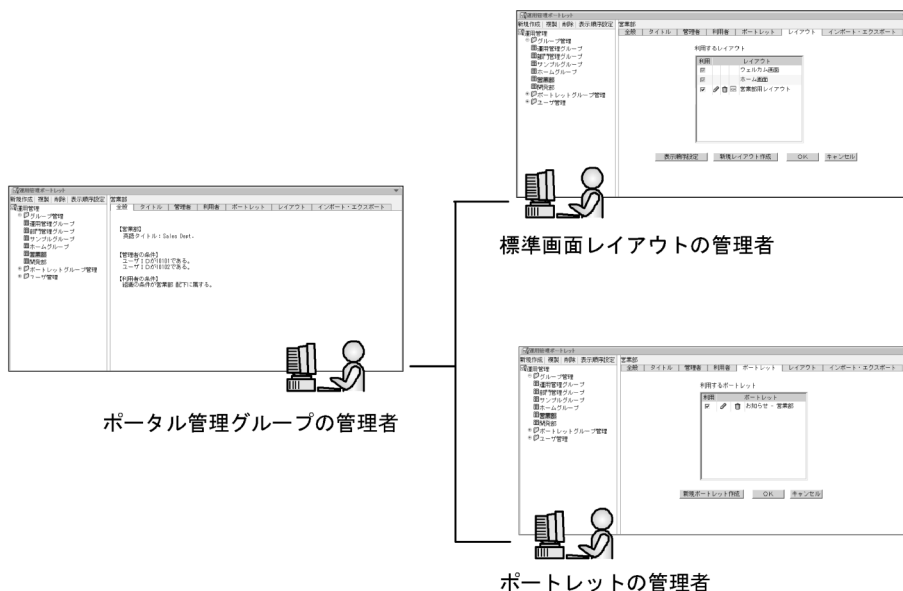
uCosminexus Portal Framework に設定されている役職、組織のほかに、運用に合わせて設定項目を増やすこともできます。設定の詳細は、「8.4 ユーザを新規作成する」を参照してください。

2.8 大規模システムの場合の運用管理例

大規模システムの場合、運用管理機能を利用すると、運用管理者および部門管理者に対して、ポータル管理グループのアクセス権全般を管理する管理者、標準画面レイアウトのカスタマイズを実施する管理者、ポートレットの更新をする管理者というように、管理者の作業を分担させることができます。

管理者の作業を分担した運用管理体制の例を次の図に示します。

図 2-17 運用管理体制の例



ポータル管理グループの管理者とは

ポータル管理グループのアクセス権全般の管理者です。標準画面レイアウトやポートレットに対して、管理権限および利用権限を設定します。なお、この管理者になれるのは、運用管理者だけです。

標準画面レイアウトの管理者とは

標準画面レイアウトの設定、および標準画面レイアウトに表示するポートレットの選択をする管理者です。標準画面レイアウトを公開して、利用できるようにします。

ポートレットの管理者とは

ポートレットの生成、およびポートレットのパラメタを設定する管理者です。ポートレットを公開して、利用できるようにします。

3

ポータルを運用管理する前に

この章では、ポータルを運用管理する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

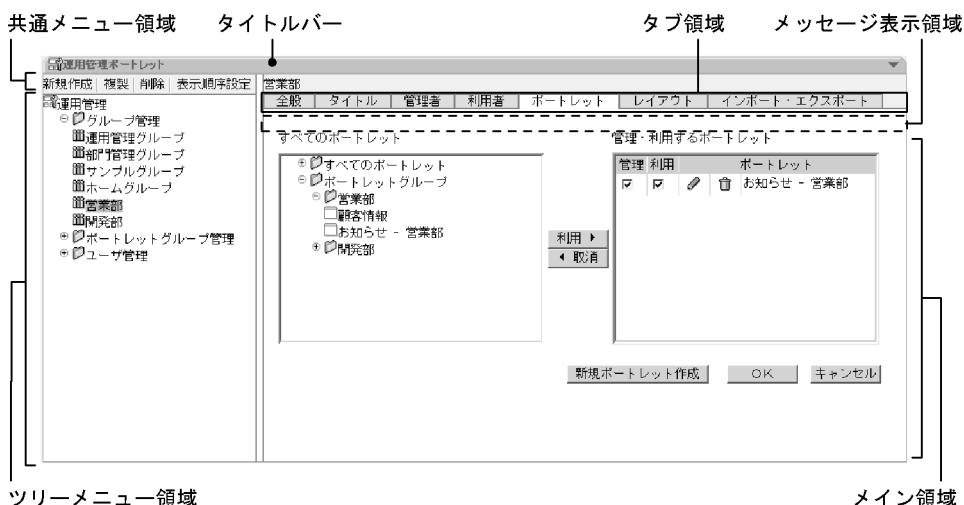
-
- 3.1 運用管理ポートレットの画面構成
 - 3.2 運用管理ポートレットの画面階層
 - 3.3 運用管理ポートレットを使用するための設定
 - 3.4 標準画面レイアウトを設定する前に
 - 3.5 運用管理機能の障害対策
-

3.1 運用管理ポートレットの画面構成

ここでは、運用管理ポートレットの画面構成を説明します。

運用管理ポートレットの画面を次の図に示します。

図 3-1 運用管理ポートレットの画面構成



タイトルバー

ポートレットのタイトルとボタンが表示されます。

[?] ボタンが表示されている場合は、このボタンをクリックしたときに表示されるメニューからヘルプを選択すると、このマニュアル「uCosminexus Portal Framework 運用管理者ガイド」が表示されます。ヘルプボタン (?) 表示されている場合は、このボタンをクリックすると、このマニュアル「uCosminexus Portal Framework 運用管理者ガイド」が表示されます。

その他のボタンの詳細は、マニュアル「uCosminexus Portal Framework ユーザーズガイド」を参照してください。

共通メニュー領域

すべての管理項目で共通して使うメニューが表示されます。ツリーメニュー領域で選択する項目に応じて、表示されるメニュー項目も変わります。

ツリーメニュー領域

ポータル管理グループ、ポートレットグループ、組織をツリー形式で表示します。

タブ領域

ツリーメニュー領域で選択する項目に応じて、操作項目がタブ形式で表示されます。

メッセージ表示領域

運用管理者によって運用管理環境が更新されるときに、メッセージが表示されます。異常が発生して更新できない場合は、エラーメッセージが表示されます。正常に更新された場合は、「運用管理情報が保存されました」というメッセージが表示されます。

なお、アイコンなどのクリックによって1アクションで処理が完結する場合も、メッセージが表示されます。

メイン領域

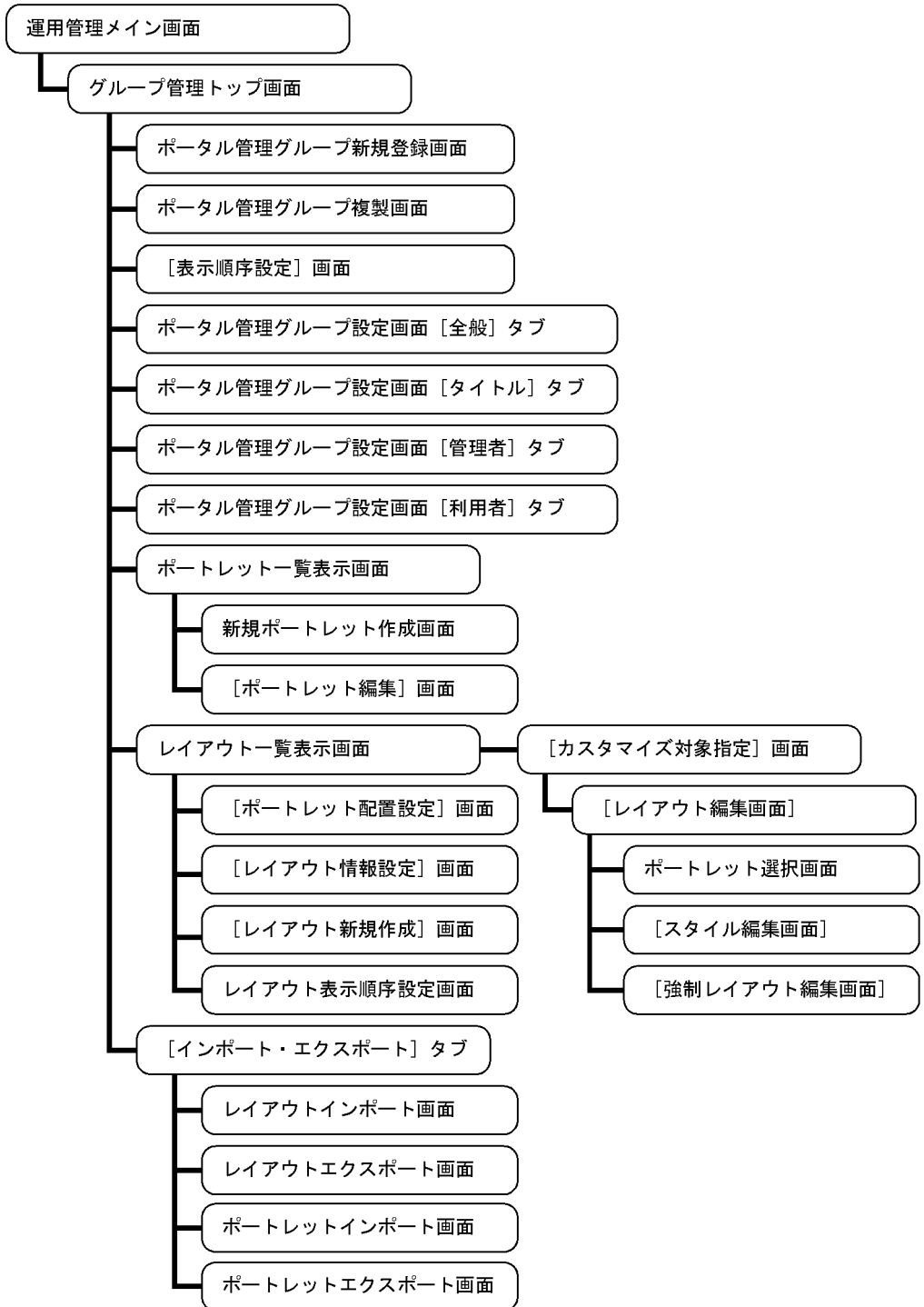
共通メニュー領域、ツリーメニュー領域またはタブ領域で選択した操作をするための内容が表示されます。

3.2 運用管理ポートレットの画面階層

運用管理ポートレットの画面階層を次の図に示します。

図 3-2 運用管理ポートレットの画面階層 (ポータル管理グループ)

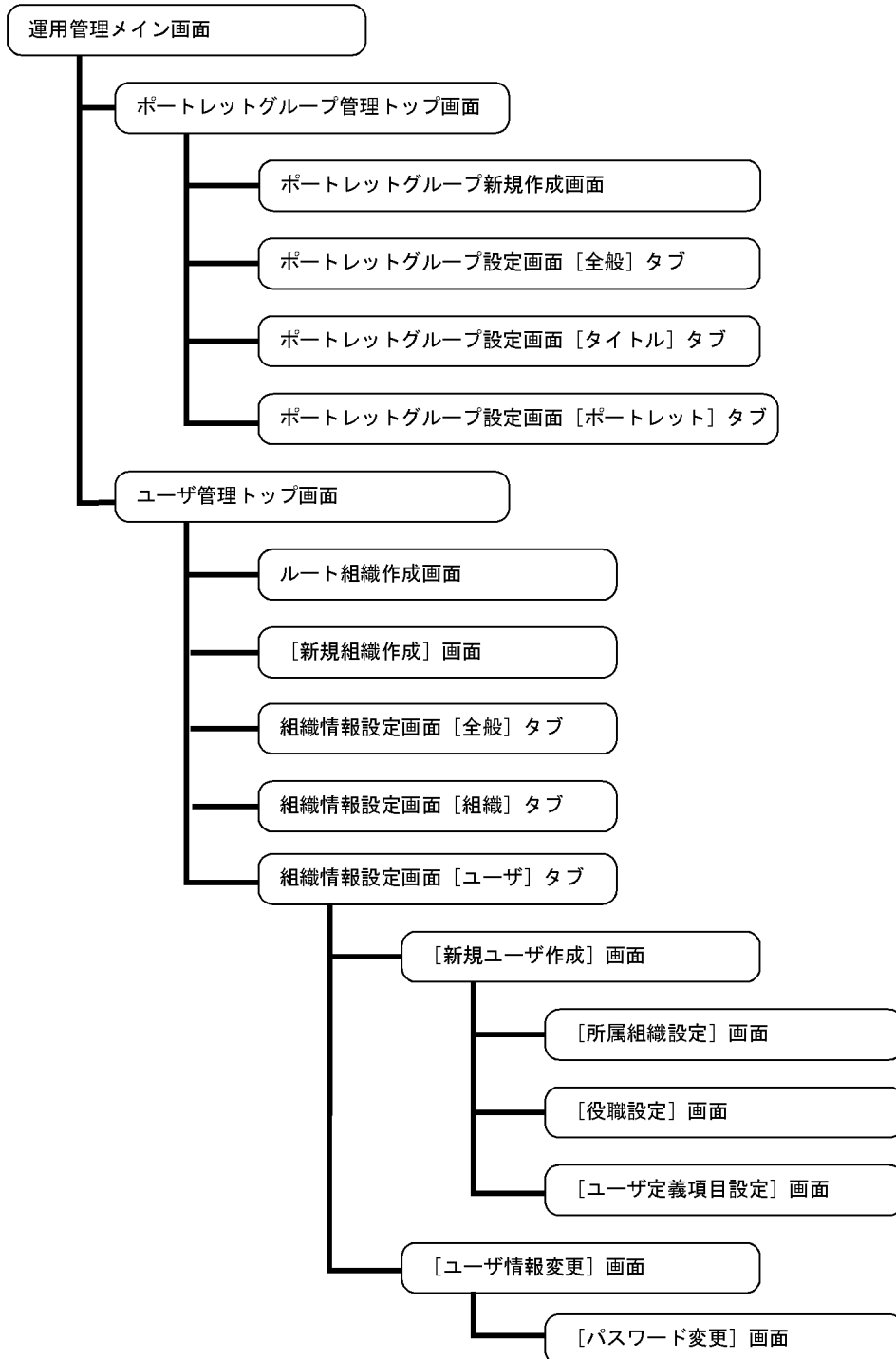
【運用管理ポートレット】



3. ポータルを運用管理する前に

図 3-3 運用管理ポートレットの画面遷移（ポートレット管理，ユーザ管理）

【運用管理ポートレット】



3.3 運用管理ポートレットを使用するための設定

運用管理者は、ポータルを最初に起動したときに、自分のポータル画面に運用管理ポートレットが表示されるように設定します。

運用管理ポートレットの表示手順を次に示します。

1. 運用管理者が、ポータルにログインします。
ホーム画面が表示されます。
2. [レイアウト変更] ボタン（または [レイアウト変更] アンカー）をクリックします。
[レイアウト編集画面] が表示されます。
3. [ポートレット追加] ボタンをクリックします。
[ポートレットの選択] 画面が表示されます。
4. 「運用管理ポートレット」を選択します。
ポートレットを選択する手順は、カスタマイザの種類によって異なります。カスタマイザの種類ごとのポートレットを追加する手順は、「7.4.6 ポートレットの選択」を参照してください。
5. [OK] ボタン（または [追加] ボタン）をクリックします。
[レイアウト編集画面] に戻ります。[レイアウト編集画面] には、「運用管理ポートレット」が追加されます。
6. [設定完了] ボタンをクリックします。
「カスタマイズ情報が保存されました。」というメッセージが表示されます。
7. [終了] ボタンをクリックします。
ホーム画面に戻ります。ホーム画面には、運用管理ポートレットの運用管理メイン画面が表示されます。

シンプルカスタマイザをご使用の場合

手順 6. でメッセージが表示されないで、ホーム画面に戻ります。また、手順 7. は不要です。

3.4 標準画面レイアウトを設定する前に

uCosminexus Portal Framework では、ポータルのウェルカム画面およびホーム画面の標準画面レイアウトをあらかじめ作成できます。標準画面レイアウトを作成すると、ユーザの業務内容に適したウェルカム画面およびホーム画面を表示できます。

ここでは、標準のウェルカム画面およびホーム画面を設定する前に必要な設定、標準のウェルカム画面を設定するときの手順、および標準のホーム画面を設定するときの手順について説明します。

3.4.1 ポータルの標準画面レイアウトを設定する前に

ウェルカム画面およびホーム画面の標準画面レイアウトは、管理者（運用管理者または部門管理者）が設定します。

標準画面レイアウトを設定する前に必要な作業を次に示します。

1. アクセス制御，パーソナライズのための設定
アクセス制御，パーソナライズのための設定をします。詳細は，マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。
2. 管理者の登録
運用管理者および部門管理者を登録します。運用管理者は，Portal Manager から登録します。運用管理者の登録方法については，マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。

部門管理者は，運用管理ポートレットから登録します。部門管理者の登録方法については，「5. ポータル管理グループを管理する」を参照してください。

3.4.2 標準のウェルカム画面の設定

ウェルカム画面は，ポータルにアクセスしたユーザ全員に表示される画面です。標準のウェルカム画面は，運用管理者または部門管理者用のカスタマイズ画面で設定します。運用管理者または部門管理者用のカスタマイズ画面の表示方法と設定手順については，「7. 標準画面レイアウトを管理する」を参照してください。

3.4.3 標準のホーム画面の設定

ホーム画面は，ポータルにログインしたユーザに表示される画面です。

標準のホーム画面の設定には，次の2種類があります。

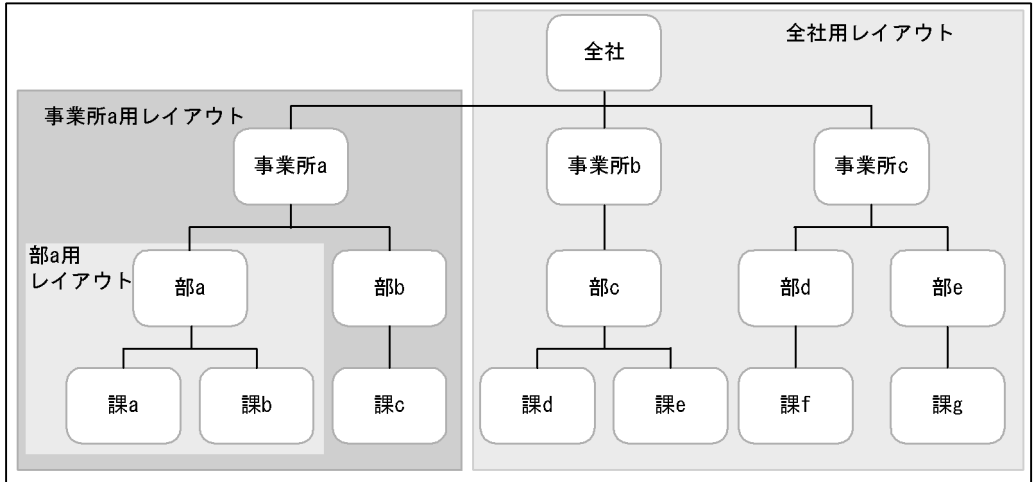
- 特定のポータル管理グループで使用する標準のホーム画面
特定のポータル管理グループに所属するポータル利用者のために，役職や組織に基づいて最適な情報を表示する標準のホーム画面を設定します。
- すべてのポータル管理グループで使用できる標準のホーム画面

どのポータル利用者でも参照してよい情報だけを表示する標準のホーム画面を設定します。役職や組織に基づいて情報を表示する必要のないポータル利用者のための、標準のホーム画面です。

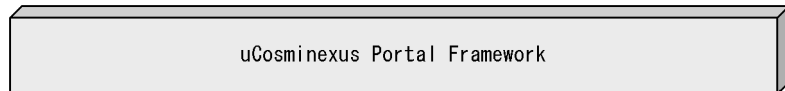
標準のホーム画面の表示方法を次の図に示します。

図 3-4 標準のホーム画面の表示方法

ディレクトリサーバまたはDBに登録された ポータル管理グループ



ポータル管理グループの情報を取り込む



部aの部課長

【部a用レイアウト】および
【事業所a用レイアウト】



部bの部課長

【事業所a用レイアウト】



部c, d, eの部課長

【全社用レイアウト】

標準のホーム画面を設定する手順を次に説明します。

(1) 特定のポータル管理グループで使用する標準のホーム画面

特定のポータル管理グループで使用する標準のホーム画面を設定する手順を次の図に示します。

3. ポータルを運用管理する前に

図 3-5 特定のポータル管理グループで使用する標準のホーム画面を設定する手順



(2) すべてのポータル管理グループで使用できる標準のホーム画面

uCosminexus Portal Framework では、すべてのポータル管理グループで使用できる標準のホーム画面を提供しています。レイアウトタイトルが「ホーム画面」、レイアウト名称が「default」という標準画面レイアウトです。必要に応じて、運用管理者または部門管理者がレイアウトカスタマイズ機能を使用してカスタマイズしてください。カスタマイズ方法については、「7. 標準画面レイアウトを管理する」を参照してください。

3.5 運用管理機能の障害対策

運用管理ポータルレットの使用時に障害が発生した場合は、メッセージが表示されます。メッセージの内容および対処方法については、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。

4

ポートレットグループを管理する

この章では、ポートレットグループを管理するための運用管理ポートレットの操作方法について説明します。なお、操作説明は、ポートレットグループ管理トップ画面が表示されていることを前提としています。

4.1 ポートレットグループを新規作成する

4.2 ポートレットグループ情報を編集する

4.3 ポートレットグループにポートレットを登録・削除する

4.4 ポートレットグループを削除する

4.1 ポートレットグループを新規作成する

ポートレットグループを新規作成する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から [ポートレットグループ管理] またはポートレットグループタイトルを選択して、共通メニュー領域の [新規作成] をクリックします。
ツリーメニュー領域から選択する項目によって、新規作成先が変わります。次のどちらかを選択してください。

- [ポートレットグループ管理] を選択する
[ポートレットグループ管理] の下にポートレットグループが作成されます。
- ポートレットグループタイトルを選択する
選択したポートレットグループの下に、ポートレットグループが作成されます。
例えば、ツリーメニュー領域の「営業部」を選択して、共通メニューの [新規作成] をクリックすると、ポートレットグループ「営業部」の下に新しいポートレットグループが作成されます。

[新規作成] をクリックすると、ポートレットグループ新規作成画面が表示されます。ポートレットグループ新規登録画面の詳細は、「10.1.2 ポートレットグループ新規作成画面」を参照してください。

2. ポートレットグループタイトル、ポートレットグループ英語タイトル、およびポートレットグループ説明文を設定します。
3. [OK] ボタンをクリックします。
作成が完了すると、作成したポートレットグループの [全般] タブ (ポートレットグループ設定画面) が表示されます。

4.2 ポートレットグループ情報を編集する

作成したポートレットグループの設定内容を変更する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、編集するポートレットグループを選択します。
2. [タイトル] タブをクリックします。
[タイトル] タブ (ポートレットグループ設定画面) が表示されます。
[タイトル] タブ (ポートレットグループ設定画面) の詳細は、「10.1.3(2) [タイトル] タブ (ポートレットグループ設定画面)」を参照してください。
3. 設定内容を変更します。
設定内容の詳細は、「4.1 ポートレットグループを新規作成する」の手順 2. を参照してください。
4. [OK] ボタンをクリックします。
ポートレットグループの設定情報が変更されて、[全般] タブ (ポートレットグループ設定画面) に戻ります。

4.3 ポートレットグループにポートレットを登録・削除する

ポートレットグループに所属するポートレットを追加、および削除する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、編集するポートレットグループを選択します。

2. [ポートレット] タブをクリックします。

[ポートレット] タブ (ポートレットグループ設定画面) が表示されます。

[ポートレット] タブ (ポートレットグループ設定画面) の詳細は、「10.1.3(3)

[ポートレット] タブ (ポートレットグループ設定画面)」を参照してください。

3. ポートレットグループに所属するポートレットを追加、または削除します。

ポートレットを追加する場合

[すべてのポートレット] ツリー領域から追加したいポートレットを選択して、
[追加 ▶] ボタンをクリックします。

ポートレットを削除する場合

[登録されているポートレット] 一覧領域から削除したいポートレットを選択して、
[◀ 取消] ボタンをクリックします。

4. [OK] ボタンをクリックします。

ポートレットグループに所属するポートレットが変更されて、[全般] タブ (ポートレットグループ設定画面) に戻ります。

4.4 ポートレットグループを削除する

ポートレットグループを削除する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から削除したいポートレットグループを選択して、共通メニュー領域の [削除] をクリックします。
削除してよいかどうかを確認するダイアログが表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。
ポートレットグループが削除され、ポートレットグループ管理トップ画面に戻ります。

5

ポータル管理グループを管理する

この章では、ポータル管理グループを管理するための運用管理ポートレットの操作方法について説明します。なお、操作説明は、グループ管理トップ画面が表示されていることを前提としています。

5.1 ポータル管理グループを新規作成する

5.2 ポータル管理グループのユーザを設定する

5.3 ポータル管理グループ情報を編集する

5.4 ポータル管理グループを複製する

5.5 ポータル管理グループの表示順序を設定する

5.6 ポータル管理グループを削除する

5.1 ポータル管理グループを新規作成する

ポータル管理グループを作成する手順を次に示します。

1. グループ管理トップ画面の共通メニュー領域の [新規作成] をクリックします。
ポータル管理グループ新規作成画面が表示されます。ポータル管理グループ新規作成画面については、「10.2.2 ポータル管理グループ新規作成画面」を参照してください。
2. ポータル管理グループタイトル、英語タイトルおよび説明文を設定します。
3. [OK] ボタンをクリックします。
作成が完了すると、作成したポータル管理グループの [全般] タブ (ポータル管理グループ設定画面) が表示されます。ツリーメニュー領域の表示は、いちばん下に追加されます。

新規作成したポータル管理グループには、ポートレットと標準画面レイアウトを設定する必要があります。ポートレットの設定方法については、「6.2 ポートレットを設定する」を参照してください。標準画面レイアウトの設定方法については、「7.2 標準画面レイアウトのアクセス権を設定する」を参照してください。

5.2 ポータル管理グループのユーザを設定する

ポータル管理グループにアクセスできるユーザを設定します。設定するユーザは次の2種類です。

- 部門管理者
- ポータル利用者

5.2.1 部門管理者を設定する

ポータル管理グループの部門管理者を設定する手順を次に示します。この設定をしない場合は、ポータル管理グループに所属するすべてのポータル利用者が部門管理者の権限を持つことになります。

1. ツリーメニュー領域から、管理者を設定したいポータル管理グループを選択します。
2. [管理者] タブをクリックします。
[管理者] タブ (ポータル管理グループ設定画面) が表示されます。
[管理者] タブ (ポータル管理グループ設定画面) については、「10.2.5(3) [管理者] タブ (ポータル管理グループ設定画面)」を参照してください。
3. 部門管理者の条件を指定します。
4. [OK] ボタンをクリックします。
部門管理者の設定が登録されます。登録が完了すると、[全般] タブ (ポータル管理グループ設定画面) が表示されます。

5.2.2 ポータル利用者を設定する

ポータル管理グループの利用者を設定する手順を次に示します。ここで指定した条件に一致するユーザが、ポータル管理グループに設定されたポートレットおよび標準画面レイアウトを利用できます。利用者の条件を設定しないと、すべてのポータル利用者がリソースを利用できることになります。


1. ツリーメニュー領域から、管理者を設定したいポータル管理グループを選択します。
2. [利用者] タブをクリックします。
[利用者] タブ (ポータル管理グループ設定画面) が表示されます。
[利用者] タブ (ポータル管理グループ設定画面) については、「10.2.5 ポータル管理グループ設定画面」を参照してください。
3. 利用者の条件を編集します。
次の項目を設定して、[条件追加] ボタンをクリックすると、[条件編集] 一覧領域に追加されます。[条件編集] 一覧に表示されているすべての条件に一致した場合にこのポータル管理グループを利用することができます。
 - 条件設定ドロップダウンリスト
 - 条件設定テキストボックス


5. ポータル管理グループを管理する


• 検索条件ドロップダウンリスト

利用者の条件の編集方法を次に示します。


条件に合致する特定の利用者を指定したい場合

条件設定ドロップダウンリストから設定する項目名を選択し、条件設定テキストボックスに条件を入力して検索ボタン () をクリックすると、「検索結果」表示領域に、条件に合致する利用者の一覧が表示されます。指定したい利用者をクリックすると、設定項目に反映できます。

例えば、役職名の設定項目に「部」を入力し、役職名の行の検索ボタン () をクリックすると、登録された役職名で「部」で始まる文字列が [検索結果] 表示領域に表示されます。この中から「部長」を選択すると、役職名の設定項目は「部長」になります。

なお、システムの設定によっては、検索ボタン () が表示されないことがあります。

ツリー表示から設定項目を指定したい場合

「ユーザ ID」のツリーボタン () をクリックすると、[全ての組織・ユーザ] ツリーに、組織およびユーザ ID が表示されます。「組織 ID」のツリーボタンをクリックすると、組織 ID が表示されます。指定したい利用者、または組織をクリックすると、設定項目に反映されます。

指定した条件を削除したい場合

[条件編集] 一覧から削除したい条件を選択して、[条件編集] 一覧の上部にある [削除] ボタンをクリックしてください。

4. 利用者の条件を設定します。

利用者の条件編集が終了したら、[適用] ボタンをクリックします。[適用] ボタンをクリックすると、利用者の条件が [利用者条件] 一覧領域に追加されます。[利用者条件] 一覧に表示されているいずれかの条件に一致した場合にこのポータル管理グループを利用することができます。

利用者の条件の設定方法を次に示します。

条件を変更したい場合

[利用者条件] 一覧から変更したい条件を選択してください。

条件を追加したい場合

3. の手順から行ってください。

指定した条件を削除したい場合

[利用者条件] 一覧から削除したい条件を選択して、[利用者条件] 一覧の上部にある [削除] ボタンをクリックしてください。

5. [OK] ボタンをクリックします。

利用者が登録されます。登録が完了すると、[全般] タブ (ポータル管理グループ設定画面) が表示されます。

5.3 ポータル管理グループ情報を編集する

作成したポータル管理グループの設定内容を変更する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、編集するポータル管理グループを選択します。
2. [タイトル] タブをクリックします。
[タイトル] タブ (ポータル管理グループ設定画面) が表示されます。
[タイトル] タブ (ポータル管理グループ設定画面) については、「10.2.5 ポータル管理グループ設定画面」を参照してください。
3. 設定内容を変更します。
各設定項目の設定内容については、「5.1 ポータル管理グループを新規作成する」の手順 2. の説明を参照してください。
4. [OK] ボタンをクリックします。
ポータル管理グループの設定情報が変更されます。変更が完了すると、[全般] タブ (ポータル管理グループ設定画面) が表示されます。

5.4 ポータル管理グループを複製する

登録されているポータル管理グループを複製して、新規のポータル管理グループとして登録する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、複製元にするポータル管理グループを選択して、共通メニュー領域の [複製] をクリックします。

ポータル管理グループ複製画面が表示されます。

ポータル管理グループ複製画面については、「10.2.3 ポータル管理グループ複製画面」を参照してください。

設定項目の初期値は、次のとおりです。

ポータル管理グループタイトル

複製元のポータル管理グループのタイトルに、「1」を付け加えた内容が表示されます。

(例)

複写元が「GROUP」の場合は「GROUP1」

複写元が「GROUP2」の場合は「GROUP21」

ポータル管理グループ英語タイトル、およびポータル管理グループ説明文

複製元のポータル管理グループの英語タイトル、および説明文が表示されます。

2. 必要に応じて設定内容を変更します。
変更できる設定内容は次のとおりです。
 - ポータル管理グループタイトル
 - ポータル管理グループ英語タイトル
 - ポータル管理グループ説明文

3. [OK] ボタンをクリックします。

指定した内容でポータル管理グループが複製されます。複製が完了すると、複製したグループの [全般] タブ (ポータル管理グループ設定画面) が表示されます。

5.5 ポータル管理グループの表示順序を設定する

登録されているポータル管理グループを標準画面レイアウトに表示する順序を設定します。

1. 共通メニュー領域の [表示順序設定] をクリックします。
[表示順序設定] 画面が表示されます。
表示順序設定画面については、「10.2.4 [表示順序設定] 画面」を参照してください。
2. 表示順序を変更したいポータル管理グループを選択して、表示順序を設定します。
表示順序を変更したいポータル管理グループタイトルを選択し、[上へ] ボタン [下へ] ボタンをクリックして表示順序を変更します。

5.6 ポータル管理グループを削除する

登録されているポータル管理グループを削除する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、削除するポータル管理グループを選択して、共通メニュー領域の [削除] をクリックします。
削除してよいかどうかを確認するダイアログが表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。
ポータル管理グループが削除されます。削除が完了すると、グループ管理トップ画面が表示されます。

6

ポートレットを管理する

この章では、ポートレットを管理するための運用管理ポートレットの操作方法について説明します。なお、操作説明は、グループ管理トップ画面が表示されていることを前提としています。

6.1 ポートレットを生成する

6.2 ポートレットを設定する

6.3 ポートレットの基本情報を設定・変更する

6.4 ポートレットをエクスポート・インポートする

6.5 ポートレットを削除する

6.6 Web コンテンツポートレットを作成する

6.1 ポートレットを生成する

すでに登録されているポートレットを複製して、新規ポートレットを作成する手順を次に示します。ポートレットの生成ができるのは、生成元ポートレットの管理権限がある場合だけです。

次のポートレットは生成元にできません。

- 運用管理ポートレットで生成したポートレット
 - 分散ポートレット
1. ツリーメニュー領域から、ポートレットの生成先にするポータル管理グループを選択します。
 2. [ポートレット] タブをクリックします。
ポートレット一覧表示画面が表示されます。
 3. [新規ポートレット作成] ボタンをクリックします。
[新規ポートレット作成] 画面が表示されます。
[新規ポートレット作成] 画面については、「10.3.6 [新規ポートレット作成] 画面」を参照してください。
 4. 生成元にするポートレットのポートレット ID (ポートレット名) をクリックします。
ポートレットの属性を設定する画面が表示されます。表示される画面は、作成元ポートレットの種類によって異なります。画面の詳細は、次の個所を参照してください。
 - 「10.3.2 [ポートレット編集] 画面 (共通の画面項目)」
 - 「10.3.3 [ポートレット編集] 画面 (日立 API ポートレットの画面項目)」
 - 「10.3.4 [ポートレット編集] 画面 (Web Page / Web App / Multi Web ポートレットの画面項目)」
 - 「10.3.5 [ポートレット編集] 画面 (Web コンテンツポートレットの画面項目)」
 5. ポートレットを生成するための項目を設定します。
 6. [完了] ボタンをクリックします。
変更した値が反映されて、ポートレット一覧表示画面が表示されます。

6.2 ポートレットを設定する

ポータル管理グループにポートレットを追加し、管理権限、および利用権限を設定する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、ポートレットを追加したいポータル管理グループを選択します。
2. [ポートレット] タブをクリックします。
ポートレット一覧表示画面が表示されます。
ポートレット一覧表示画面の詳細は、「10.3.1 ポートレット一覧表示画面」を参照してください。
3. ポータル管理グループに所属するポートレットを追加します。
対象となるポータル管理グループにポートレットを追加する場合は、[すべてのポートレット] ツリー領域からポートレットを選択して、[利用] ボタンをクリックします。
4. ポートレットに管理権限および利用権限を設定します。
[管理] チェックボックスおよび [利用] チェックボックスをチェックして、ポートレットの管理権限および利用権限を設定します。なお、管理権限を設定できるのは、運用管理者だけです。
5. [OK] ボタンをクリックします。
設定した内容が反映されて、[全般] タブ（ポータル管理グループ設定画面）に戻ります。


6.3 ポートレットの基本情報を設定・変更する

生成したポートレットの設定内容を変更する手順を次に示します。

運用管理ポートレットで編集できるのは、次の条件を満たすポートレットだけです。

- 運用管理ポートレットで生成された
- 作業対象のポータル管理グループで生成された
- 管理権限がある

Web コンテンツポートレットの編集画面の詳細は、「6.6 Web コンテンツポートレットを作成する」を参照してください。

1. ツリーメニュー領域から、編集するポータル管理グループを選択します。
2. [ポートレット] タブをクリックします。
ポートレット一覧表示画面が表示されます。
3. 編集したいポートレットの [編集] ボタン () をクリックします。
[ポートレット編集] 画面が表示されます。表示される画面は、選択したポートレットの種類によって異なります。画面の詳細は、次の個所を参照してください。
 - 「10.3.2 [ポートレット編集] 画面 (共通の画面項目)」
 - 「10.3.3 [ポートレット編集] 画面 (日立 API ポートレットの画面項目)」
 - 「10.3.4 [ポートレット編集] 画面 (Web Page / Web App / Multi Web ポートレットの画面項目)」
 - 「10.3.5 [ポートレット編集] 画面 (Web コンテンツポートレットの画面項目)」
4. 設定内容を変更します。
5. [完了] ボタンをクリックします。
生成したポートレットの設定内容が変更されて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

6.4 ポートレットをエクスポート・インポートする

ここでは、ポートレトリソースファイルをエクスポート・インポートする手順について説明します。

6.4.1 ポートレットのエクスポート

運用管理ポートレットでエクスポートできるのは、次の条件を満たすポートレットです。

- 運用管理ポートレットで生成された
- 作業対象のポータル管理グループで生成された
- 管理権限がある

ポートレットのエクスポート手順を次に示します。

1. グループ管理トップ画面のツリーメニュー領域から、ポートレットをエクスポートするポータル管理グループを選択します。
2. [インポート・エクスポート] タブをクリックします。
[インポート・エクスポート] タブ画面が表示されます。
3. [ポートレットのエクスポート] アンカーをクリックします。
ポートレットエクスポート画面が表示されます。
ポートレットエクスポート画面については、「10.5.4 ポートレットエクスポート画面」を参照してください。
4. エクスポートするポートレットを選択します。
エクスポート対象ポートレット一覧領域で、エクスポートするポートレットにチェックを入れます。
5. [エクスポート] ボタンをクリックします。
選択したポートレットのリソースファイルのエクスポートを開始します。
[ファイルのダウンロード] ダイアログで、保存時のファイル名および保存場所を指定します。デフォルトのファイル名は、「portletData.xml」です。

エクスポートしたポートレトリソースファイルには、次の情報が出力されます。

- ポートレット名
- ポートレットタイトル
- 生成元ポートレット名称
- ポートレット説明文
- ポートレットパラメタ
- コンポーネントポートレットパラメタの内容

注 Web コンテンツポートレットの場合だけ出力されます。

6. ポートレットを管理する

エクスポートしたポートレットリソースファイルを、別の環境へインポートすると、運用管理ポートレットで生成したポートレットとして扱われます。

6.4.2 ポートレットのインポート

ポートレットリソースファイルのインポート手順を次に示します。


1. ツリーメニュー領域から、ポートレットをインポートするポータル管理グループを選択します。
2. [インポート・エクスポート] タブをクリックします。
[インポート・エクスポート] タブ画面が表示されます。
3. [ポートレットのインポート] アンカーをクリックします。
ポートレットインポート画面が表示されます。
ポートレットインポート画面については、「10.5.3 ポートレットインポート画面」を参照してください。
4. ポートレットをインポートするための項目を設定します。
5. [インポート] ボタンをクリックします。
ポートレットリソースファイルのインポートを開始します。インポートが完了すると、メッセージが表示されます。

ポートレットのインポートに失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。インポートに失敗する原因として、ポートレットリソースファイルに次のような問題があると考えられます。

- リソースファイルのフォーマットが正しくない。
- リソースファイルで必須の項目が設定されていない。
- ファイルの容量が 2MB 以上である。
- resource 要素の type 属性に portlet 以外の文字列が指定されている。
- entry 要素の name 属性に指定されているポートレット名が、すでにポータルサーバに定義されていて、運用管理ポートレットで生成したポートレットではない。
- entry 要素の parent 属性に指定されている生成元ポートレットが、インポート先のポータルサーバに存在しない。
- entry 要素の parent 属性に指定されている生成元ポートレットに対する管理権限がない。

6.5 ポートレットを削除する

生成したポートレットを削除する手順を次に示します。複数のポータル管理グループに所属している場合、対象となるポートレットを生成したポータル管理グループから削除してください。ほかのポータル管理グループからは削除できません。

1. ツリーメニュー領域から、削除したいポートレットを生成したポータル管理グループを選択します。
2. [ポートレット] タブをクリックします。
ポートレット一覧表示画面が表示されます。
3. 削除したいポートレットの削除アイコン () をクリックします。
削除してよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。
4. [OK] ボタンをクリックします。
ポートレットが削除され、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

注意事項

次のポートレットは、運用管理ポートレットから削除できません。

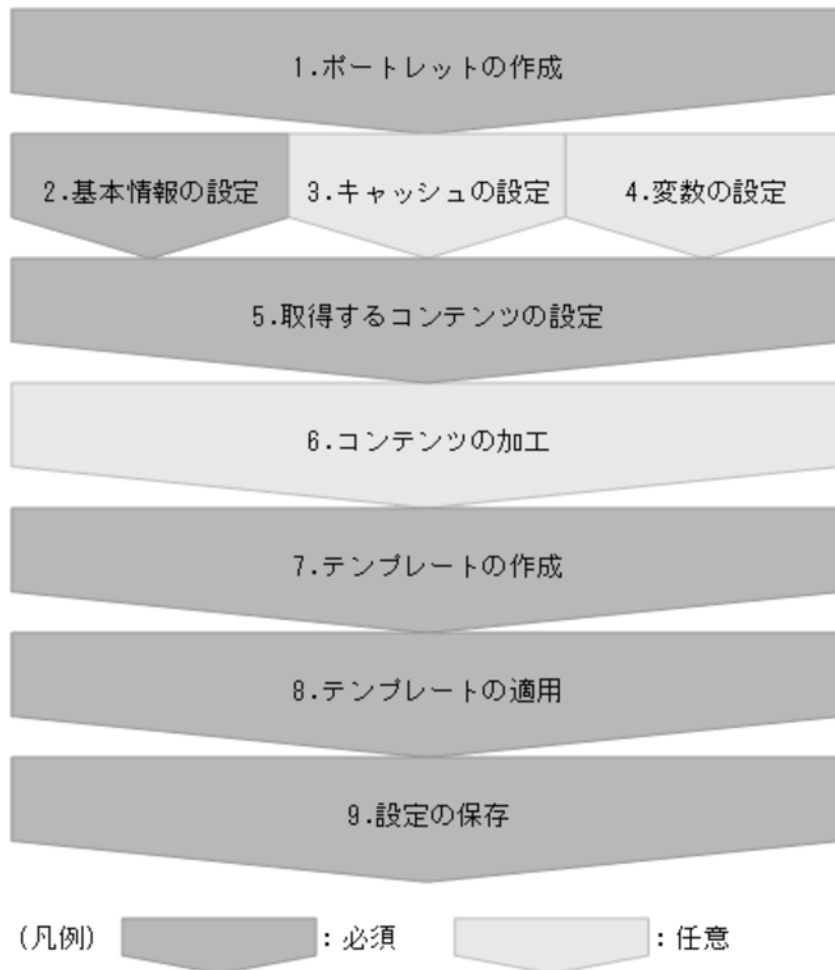
- Portal Manager で作成したポートレット
- テンプレート型ポートレット
- 標準 API ポートレット

6.6 Web コンテンツポートレットを作成する

Web コンテンツポートレットは、外部の Web サーバからコンテンツを取得し、加工して、ポータルに表示するポートレットです。

Web コンテンツポートレットの作成手順を次の図に示します。

図 6-1 Web コンテンツポートレットの作成手順



各手順の内容を次に示します。

1. ポートレットの作成

ポートレットを作成し、[ポートレット編集]画面を表示します。

作成の方法については、「6.6.1 Web コンテンツポートレットを新規作成する」を参照してください。

2. 基本情報の設定

Web コンテンツポートレットの基本情報（ポートレット名、タイトルなど）を設定します。

設定の方法については、「6.6.2 Web コンテンツポートレットの基本情報を設定する」を参照してください。

3. キャッシュの設定

コンテンツのキャッシュの有効期間と保存数を指定します。

設定の方法については、「6.6.3 キャッシュを設定する」を参照してください。

4. 変数の設定

取得するコンテンツの設定で使用する変数を指定します。

設定の方法については、「6.6.4 変数を設定する」を参照してください。

5. 取得するコンテンツの設定

コンテンツの取得元の URL を指定します。

設定の方法については、「6.6.5 取得するコンテンツを設定する」を参照してください。

6. コンテンツの加工

取得したコンテンツをどのように加工するかを設定します。加工は次の順に設定します。

- 切り出し
- 抽出
- ソート

設定の方法については、「6.6.6 取得したコンテンツを加工する」を参照してください。

7. テンプレートの作成

加工したコンテンツを表示するテンプレートを作成します。

テンプレートの作成については、「6.6.7 テンプレートを作成する」を参照してください。

8. テンプレートの適用

7. で作成したテンプレートにコンテンツを適用します。

設定の方法については、「6.6.8 テンプレートを適用する」を参照してください。

9. 設定の保存

[完了] ボタンをクリックします。ここまでの設定がすべて保存されます。

uCosminexus Portal Framework では、Web コンテンツポートレットのサンプルを提供しています。サンプルは以下のディレクトリに格納されています。

```
{uCosminexus Portal Frameworkインストールディレクトリ
}¥samples¥portlets¥WebContentsPortlet配下
```

6.6.1 Web コンテンツポートレットを新規作成する

1. ツリーメニュー領域から、編集するポータル管理グループを選択します。
2. [ポートレット] タブをクリックします。
ポートレット一覧表示画面が表示されます。
3. [新規ポートレット作成] ボタンをクリックします。
[新規ポートレット作成] 画面が表示されます。
[新規ポートレット作成] 画面については、「10.3.6 [新規ポートレット作成] 画面」を参照してください。
4. 生成元にするポートレットのポートレット ID (ポートレット名) を選択します。
生成元にするポートレットはキャッシュ方法によって 2 種類あります。

- hptlParsedHTML ポートレット
ユーザごとにコンテンツをキャッシュ (セッションキャッシュ) します。ユーザごとに異なるコンテンツをキャッシュする場合に使用します。
- hptlParsedStaticdHTML ポートレット
ポートレット単位にコンテンツをキャッシュ (システムキャッシュ) します。すべてのユーザで共通のコンテンツをキャッシュする場合に使用します。

ポートレット ID をクリックすると、[ポートレット編集] 画面 (Web コンテンツポートレット) が表示されます。

[ポートレット編集] 画面 (Web コンテンツポートレット) の詳細は、「10.3.5(1) 基本情報設定画面」を参照してください。

6.6.2 Web コンテンツポートレットの基本情報を設定する

1. 基本情報を入力します。
2. [新規作成] ボタンをクリックします。
ポートレットが作成されます。

6.6.3 キャッシュを設定する

1. メニュー領域から [セッションキャッシュ] または [システムキャッシュ] を選択します。
[ポートレット編集] 画面 (キャッシュコンポーネントパラメタ設定画面) が表示されます。
[ポートレット編集] 画面 (キャッシュコンポーネントパラメタ設定画面) の詳細は、「10.3.5(2) キャッシュコンポーネントパラメタ設定画面」を参照してください。
2. 情報を入力します。
3. [保存] ボタンをクリックします。
設定した内容が一時保存されます。この情報を登録する場合は、[完了] ボタンをクリックしてください。

6.6.4 変数を設定する

取得するコンテンツを指定するときに設定する変数を設定します。変数を使用することでポートレット表示時の動作を動的に変更できます。

[ポートレット編集]画面(変数設定コンポーネントパラメタ設定画面)で、変数名と変数への値の代入方法を指定することで、変数を設定します。設定した変数は、「6.6.4(3)

変数を使用する」に示す個所で使用することができます。[ポートレット編集]画面(変数設定コンポーネントパラメタ設定画面)の詳細は、「10.3.5(3) 変数設定コンポーネントパラメタ設定画面」を参照してください。

Web コンテンツポートレットで使用する変数には次の3種類があります。

ユーザ定義変数

Web コンテンツポートレットを作成する運用管理者が定義する変数です。運用管理者が任意の変数名で設定することができます。

特定変数

uCosminexus Portal Framework で定義済みの変数です。この変数は、[ポートレット編集]画面(Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面など)の設定をポートレット表示時に動的に変更する場合に使用します。この変数に値を設定することで、[ポートレット編集]画面(Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面など)での設定に関係なく、ポートレット表示時の動作を変更することができます。

特定変数を次に示します。それぞれの特定変数が [ポートレット編集]画面(Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面など)の各設定項目に対応しています。

- {コンポーネント ID }_FormAuthURLContents
アクセスサイトの「Form 認証用 URL でコンテンツを取得する」項目の状態を設定します。
"true" に設定した場合：チェックを付けた状態
"false" に設定した場合：チェックを外した状態
- {コンポーネント ID }_BasicAuthRadio
アクセスサイトの「Basic 認証対応の有無」項目の状態を設定します。
"0" に設定した場合：無効
"1" に設定した場合：有効
- {コンポーネント ID }_FormAuthRadio
「Form 認証情報」項目の状態を設定します。
"0" に設定した場合：ポータルと同じ
"1" に設定した場合：ユーザが入力
- {コンポーネント ID }_httpsProxyUser
SSL 通信時の Proxy ユーザを設定します。
- {コンポーネント ID }_httpsProxyPassword

6. ポートレットを管理する

SSL 通信時の Proxy パスワードを設定します。

- {コンポーネント ID ¹}_FormFieldName_{フィールド番号 ²}
 アクセスサイトの「表示名」項目を設定します。
 表示名には次のストリングリソースキー名を指定します。

表示名	ストリングリソースキー名
ユーザ名	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_1
ユーザ ID	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_2
パスワード	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_3
ニックネーム	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_4
ログイン ID	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_5
ドメイン	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_6
組織	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_7
グループ	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_8
フィールド 1	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_9
フィールド 2	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_10
フィールド 3	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_11
フィールド 4	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_12
フィールド 5	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_13
フィールド 6	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_14
フィールド 7	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_15
フィールド 8	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_16
フィールド 9	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_17
フィールド 10	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_18
フィールド 11	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_19
フィールド 12	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_20
フィールド 13	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_21
フィールド 14	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_22
フィールド 15	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_23
フィールド 16	CMP_PORTLET_AUTH_FIELD_24
固定値	FORM_AUTH_HIDDEN_ITEM
使用しない	なし (空文字列を指定します)

- {コンポーネント ID ¹}_FormFieldUsePassword_{フィールド番号 ²}
 アクセスサイトの「パスワード属性を適用する」項目の状態を設定します。
 "true" に設定した場合：パスワード属性を適用する
 "false" に設定した場合：パスワード属性を適用しない

- {コンポーネント ID ¹⁾}_sendCookieSecureRadio_{フィールド番号 ³⁾}
 アクセスサイトの「Secure 属性」項目の状態を設定します。
 "0" に設定した場合：無効
 "1" に設定した場合：有効

注 1 コンポーネント ID には、アクセスサイト 1 ~ 10 に対応する access1 ~ access10 を指定します。アクセスサイト 1 の場合は「access1」です。

注 2 フィールド番号には、[ポートレット編集]画面（Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面）の Form 認証フィールド 1 ~ 16 に対応する 0 ~ 15 を指定します。Form 認証フィールド 1 の場合は 0 です。

注 3 フィールド番号には、[ポートレット編集]画面（Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面）のアクセスサイトに送信する Cookie1 ~ 3 に対応する 0 ~ 2 を指定します。アクセスサイトに送信する Cookie1 の場合は 0 です。

予約変数

uCosminexus Portal Framework で定義済みの変数です。この変数には uCosminexus Portal Framework が代入した値が格納されています。この変数は [ポートレット編集]画面（変数設定コンポーネントパラメタ設定画面）で変数の設定をしなくても、「6.6.4(3) 変数を使用する」に示す個所で使用することができます。

予約変数を次に示します。

- hptl_com_ID
 uCosminexus Portal Framework にログインしたときのユーザ ID です。
- hptl_com_PW
 uCosminexus Portal Framework にログインしたときのパスワードです。

変数に値を代入する方法は次の 2 種類があります。

ユーザ編集クラスを使用する

ユーザが作成したクラスを呼び出し、変数に値を代入する方法です。ユーザ属性やリクエストの情報を変数に代入するプログラムを作成することができます。[ポートレット編集]画面（変数設定コンポーネントパラメタ設定画面）でユーザ編集クラスを指定することで変数に値を代入することができます。

Form 認証フィールドを使用する

アクセスサイトの Form 認証フィールドの値を参照する方法です。アクセスサイトに Form 認証するときユーザが入力した情報（ユーザ ID やパスワード）を変数に代入することができます。[ポートレット編集]画面（変数設定コンポーネントパラメタ設定画面）で Form 認証フィールドを指定することで変数に値を代入することができます。

(1) ユーザ編集クラスを作成する

ユーザ編集クラスは以下の抽象クラスを継承して作成し、変数の値を取得するためのメソッドを追加します。変数の値を取得するためのメソッドの引数は String 型の配列と

6. ポートレットを管理する

し、返却値は String 型としてください。

[抽象クラス]

```
jp.co.hitachi.soft.portal.portal.portlets.component.UserCustomizeVariant
```

[フィールド変数]

```
HttpServletRequest USER_CUSTMIZE_REQUEST
```

HTTP サブレットリクエストオブジェクトを格納します。

[抽象メソッド]

```
void setRequest(HttpServletRequest request)
```

HTTP サブレットリクエストオブジェクトを設定します。

[具象メソッド]

```
void setVariant(String name,String value)
```

「変数設定」の変数を設定します。ここで設定した変数は変数設定コンポーネントパラメタ設定画面で定義した変数と同じ役割を持ちます。メソッド引数 name に変数名、メソッド引数 value に値を指定します。すでに同名の変数が設定されている場合は、メソッド引数 value の値で上書きします。

[ユーザ編集クラス作成例]

```
package com.test.UOC;

import javax.servlet.http.HttpServletRequest;
import jp.co.hitachi.soft.portal.api.user.PortalUserInfoBean;
import jp.co.hitachi.soft.portal.portal.portlets.component.UserCustomizeVariant;

public class sampleUOC extends UserCustomizeVariant {

    public void setRequest(HttpServletRequest request) {
        //フィールド変数に値を設定する
        USER_CUSTMIZE_REQUEST = request;
    }

    public String testMethod(String[] arg0) {
        //メソッド引数に"_test"を付けて返却する
        return arg0[0]+"_test";
    }

    public String testMethod2() throws Exception{
        //ユーザの属性TELの値を返却する
        PortalUserInfoBean puib =
            new PortalUserInfoBean(USER_CUSTMIZE_REQUEST);
        String ret = (String)puib.getParameter("TEL");
        return ret;
    }

}
```

[ユーザ編集クラス格納先]

作成したユーザ編集クラスは、ポータルプロジェクトが動作する Web アプリケーションから呼び出し可能な場所に格納してください。

例えば、ユーザ編集クラス (sampleUOC.class) は次の場所に格納します。

```
{PROJECT_HOME}¥WEB-INF¥classes¥com¥test¥UOC¥sampleUOC.class
```

なお、ポータルプロジェクトおよび {PROJECT_HOME} については、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。

(2) 変数を設定する

1. メニュー領域から [変数設定] を選択します。
[ポートレット編集] 画面 (変数設定コンポーネントパラメタ設定画面) が表示されます。
2. 情報を入力します。
3. [保存] ボタンをクリックします。
設定した内容が一時保存されます。この情報を登録する場合は、[完了] ボタンをクリックしてください。

(3) 変数を使用する

変数は次の形式により指定し使用します。変数を指定した部分が変数の値に置き換わります。

\${変数名}

変数は以下の場所で使用することができます。

画面名	項目名
Web アクセスコンポーネントパラメタ設定画面	Form 認証用 URL
	Form 認証用 URL でコンテンツを取得する
	コンテンツ取得用 URL
	ログアウト URL
	Basic 認証対応の有無
	proxy ホスト
	proxy ポート
	proxy ユーザ
	proxy パスワード
	Form 認証レルム
	Form 認証失敗とみなす文字
	Form 認証情報

6. ポートレットを管理する

画面名	項目名
	ユーザ ID のフィールド名
	パスワードのフィールド名
	表示名
	認証ページフィールド名
	固定値
	パスワードを適用する
	Cookie ドメイン
	キー
	ドメイン名
	パス
	Secure 属性
変数設定コンポーネントパラメタ設定画面	メソッド引数
テンプレート適用コンポーネントパラメタ設定画面	リンク先ターゲット

注 特定変数で指定します。

また、テンプレート適用コンポーネントパラメタ設定画面でインポートするテンプレート内で次の形式で使用することができます。

\$変数名

6.6.5 取得するコンテンツを設定する

1. メニュー領域から [アクセスサイト n] を選択します。
[ポートレット編集] 画面 (Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面) が表示されます。
[ポートレット編集] 画面 (Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面) の詳細は、「10.3.5(4) Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面」を参照してください。
2. 情報を入力します。
3. [保存] ボタンをクリックします。
設定した内容が一時保存されます。この情報を登録する場合は、[完了] ボタンをクリックしてください。

6.6.6 取得したコンテンツを加工する

加工情報は、正規表現での切り出し、正規表現での抽出、およびソートの三つの順に設定できます。メニュー領域から各項目を設定するための画面を表示して、設定します。

正規表現での切り出し

コンテンツの一部を切り出します。切り出しには次の2種類の方法を組み合わせで指定できます。

- 切り出し

コンテンツより切り出す範囲の開始位置および終了位置を正規表現で指定します。開始位置に指定した文字列の直後から、終了位置に指定した文字列の直前までが切り出し範囲になります。切り出しの例を次の図に示します。

図 6-2 切り出しの例

[BODY タグ切り出しの例]

開始位置: <body[^]*>

終了位置: </body>

```

<html>
  <head>
  </head>
  <body>
    <table>
      <tr>
        <td>aaa</td>
        ...
      </table>
    </body>
  </html>

```

切り出し範囲

- 項目切り出し

正規表現によって繰り返しデータ項目を切り出します。開始位置に指定した正規表現と一致する文字列から、終了位置に指定した正規表現と一致する文字列までが切り出し範囲になります。項目切り出しの例を次の図に示します。

図 6-3 項目切り出しの例

[a タグ切り出し例]

開始位置: <a#s

終了位置:

```

<tr><td><a href="...">hoge1</a></td></tr>
<tr><td><a href="...">hoge2</a></td></tr>
<tr><td><a href="...">hoge3</a></td></tr>
<tr><td><a href="...">hoge4</a></td></tr>

```

切り出し範囲

また、項目切り出しでは切り出し対象の項目がネスト構造になっている場合の切り出し方法を指定できます。切り出し方法を次の表に示します。

切り出し方法	切り出し内容
考慮しないで切り出す	ネスト構造を考慮しないで、開始位置から終了位置までを切り出す
最上位階層のみを切り出す	ネスト構造の最も外側の階層だけを切り出す

6. ポートレットを管理する

切り出し方法	切り出し内容
最下位階層のみを切り出す	ネスト構造の最も内側の階層だけを切り出す
各階層ごとに切り出す	ネスト構造のすべての階層を各階層ごとに切り出す

切り出し例を次の図に示します。

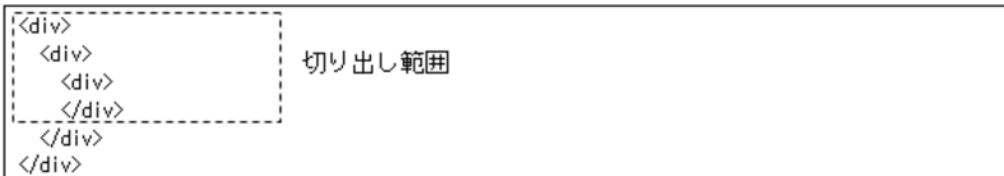
図 6-4 項目切り出しのネスト構造の切り出し方法の例

[div タグの切り出し設定例]

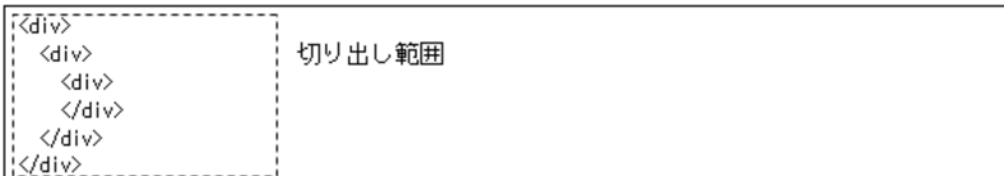
開始位置：<div>

終了位置：</div>

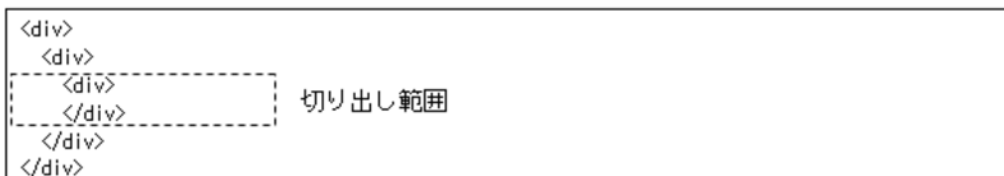
<考慮しないで切り出す場合>



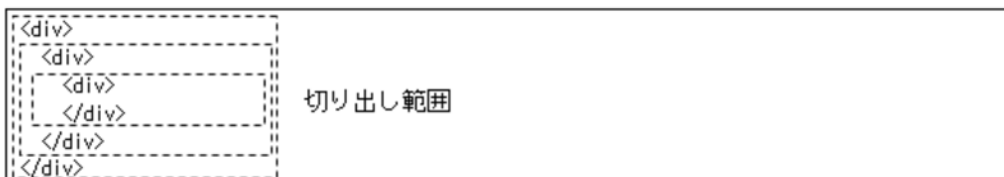
<最上位階層のみを切り出す場合>



<最下位階層のみを切り出す場合>



<各階層ごとに切り出す場合>



正規表現での抽出

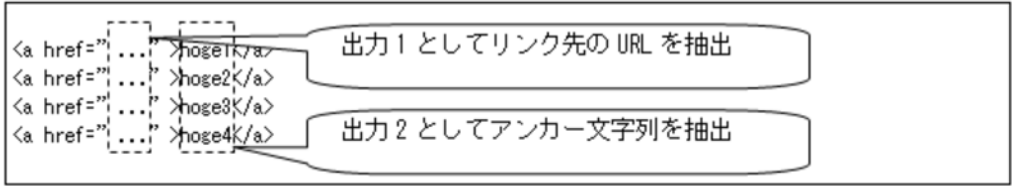
正規表現によって切り出したコンテンツからデータ項目を抽出します。開始位置に指定した正規表現と一致する文字列の直後から、終了位置に指定した正規表現と一致する文字列の直前までが抽出されます。抽出の例を次の図に示します。

図 6-5 正規表現での抽出の例

[a タグ抽出例]

出力1 開始位置:href¥s*=¥s*[“ ”] 終了位置:[“ ”]

出力2 開始位置:<a[^>]*> 終了位置:



ソート

正規表現での抽出で取得したデータ項目を昇順または降順に並べ替えます。

(1) 正規表現での切り出しを指定する

1. メニュー領域から [正規表現の切り出し *n*] をクリックします。
[ポートレット編集] 画面 (正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面) が表示されます。
[ポートレット編集] 画面 (正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面) の詳細は、「10.3.5(5) 正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面」を参照してください。
2. 情報を入力します。
[切り出し設定] と [項目切り出し設定] の両方を設定する場合、[項目切り出し設定] の [入力キー名] には [切り出し設定] の [出力キー名] に指定した値を指定してください。
3. [保存] ボタンをクリックします。
設定した内容が一時保存されます。この情報を登録する場合は、[完了] ボタンをクリックしてください。

(2) 正規表現での抽出を指定する

1. メニュー領域から [正規表現の抽出 *n*] をクリックします。
[ポートレット編集] 画面 (正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面) が表示されます。
[ポートレット編集] 画面 (正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面) の詳細は、「10.3.5(6) 正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面」を参照してください。
2. 情報を入力します。
3. [保存] ボタンをクリックします。
設定した内容が一時保存されます。この情報を登録する場合は、[完了] ボタンをクリックしてください。

6. ポートレットを管理する

(3) ソートを設定する

1. メニュー領域から [ソート] をクリックします。
[ポートレット編集] 画面 (ソートコンポーネントパラメタ設定画面) が表示されます。
[ポートレット編集] 画面 (正規表現での切り出しコンポーネントパラメタ設定画面) の詳細は、「10.3.5(7) ソートコンポーネントパラメタ設定画面」を参照してください。
2. 項目を設定します。
3. [保存] ボタンをクリックします。
設定した内容が一時保存されます。この情報を登録する場合は、[完了] ボタンをクリックしてください。

6.6.7 テンプレートを作成する

Web コンテンツポートレットでは、uCosminexus Portal Framework 独自の構文でテンプレートを作成します。また、テンプレート内で、HttpServletRequest オブジェクト、HttpSession オブジェクトにアクセスできます。

(1) HttpServletRequest/HttpSession へのアクセス

テンプレート内で、HttpServletRequest へは \$request、HttpSession へは \$session の変数名でアクセスすることができます。設定例を次に示します。

設定例

```
$session.setAttribute("pageno", $pageno);
```

(2) uCosminexus Portal Framework でサポートする構文

uCosminexus Portal Framework では、独自の構文でテンプレートを作成できます。サポートする構文を次に示します。

表 6-1 Web コンテンツポートレットのテンプレートで使用する構文

構文	内容
#	コメントを指定します。
set	変数に値をセットします。
get	変数が配列の場合に、値を取り出します。
if-else	if/elseif/else による条件分岐を設定します。
foreach	ループ処理を設定します。

(a)

コメントを指定します。コメントはテンプレートの出力に含めません。

形式

一行の場合

```
## 文字列
```

複数行の場合

```
##
文字列
*#
```

設定例

一行の場合

```
## 一行コメントです。
```

複数行の場合

```
##
複数行コメントです。
ページには表示されません。
*#
```

(b) set

変数の値の設定を行います。値の設定部分は丸括弧でくくります。

形式

```
#set( {変数|プロパティ} = {変数|文字列|プロパティ|メソッド|数値} )
```

設定例

```
#set( $portal = "aaa" )
#set( $bbb = $portal )
#set( $bbb = $bar ) ## 変数
#set( $bbb.Bar = "portal" ) ## 文字列
#set( $bbb.Bar = $portal.aaa ) ## プロパティ
#set( $bbb.Bar = $portal.set($web) ) ## メソッド
#set( $bbb.Number = 123 ) ## 数値
```

(c) get

変数が配列の場合に、値を取り出します。配列の最初の要素は「0」とします。

各コンポーネントの出力は文字列または1次元の配列によって構成されますが、正規表現での抽出による出力結果だけ、2次元の配列として出力されます。このため、指定する方法が異なります。

正規表現の抽出以外から取得する場合

形式

```
変数.get(数値)
```

設定例

6. ポートレットを管理する

```
$aaa.get(0)          ## 変数aaaの配列から最初の要素を取得  
$bbb.get(2)         ## 変数bbbの配列から3番目の要素を取得
```

正規表現の抽出結果から取得する場合

形式

```
変数.get(数値).get(数値)
```

設定例

[ポートレット編集] 画面 (正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面) で次のように設定している場合を例に説明します。

[出力キー] out

[出力1] 開始位置 : href¥s*=¥s*[' "] 終了位置 : [" ']

[出力2] 開始位置 : <a[^>]* 終了位置 :

この指定によって、次の個所が抽出されます。

```
<a href="http://portal1.com">Portal1</a>  
<a href="http://portal2.com">Portal2</a>  
<a href="http://portal3.com">Portal3</a>  
<a href="http://portal4.com">Portal4</a>
```

出力1で抽出する個所 出力2で抽出する個所

この抽出結果に対し、次のように設定できます。

```
$out.get(0).get(0)          ## http://portal1.comを取得  
$out.get(2).get(1)         ## Portal3を取得
```

(d) if-else

if/elseif/else による条件分岐を設定します。

形式

```
#if( [条件1] ) [条件1を満たす場合の処理]  
[ #elseif( [条件n] ) [条件nを満たす場合の処理] ]*  
[ #else [上記条件をすべて満たさない場合の処理] ]  
#end
```

注 [*] は [] 内を繰り返し定義できることを意味します。

if/elseif では項目の条件内では、比較演算子、論理演算子を使用可能とします。

表 6-2 if-else で使える演算子

演算子	説明
==	両方のオブジェクトが同じかどうかを判定します。
<	右辺のオブジェクトが左辺のオブジェクトより大きいかどうかを判定します。
>	左辺のオブジェクトが右辺のオブジェクトより大きいかどうかを判定します。

演算子	説明
&&	条件が AND であることを表します。
	条件が OR であることを表します。
!	条件が NOT であることを表します。

設定例

```

    #if ($aaa < 10)
    ...
    #elseif ($aaa == 10)
    ...
    #else
    ...
    #end

    ##論理AND
    #if ($aaa && $bar)
    ...
    #end

    ##論理OR
    #if ($aaa || $bar)
    ...
    #end

    ##論理NOT
    #if (!$aaa)
    ...
    #end

```

(e) foreach

foreach によるループ処理を設定します。

正規表現による項目切り出しで切り出した繰り返し項目を変数名に指定して、直接ループさせることができます。また、範囲演算子 [n..m] を指定して、ループさせることもできます。

形式

```
#foreach( 変数 in {変数|範囲演算子} ) 処理 #end
```

設定例

変数名で指定する場合

「item」を指定している場合を例にします。

```

<ul>
#foreach ($item in $items)
  <li>$item</li>
#end
</ul>

```

範囲演算子で指定する場合

6. ポートレットを管理する

```
#foreach ( $step in [0..10]) #0から10までカウントアップ
...
#end
```

(f) 配列アクセス

繰り返し項目や、出力キー重複によって配列となっているデータについては、size() メソッドによってデータ件数を取得することができます。

形式

```
変数.size()
```

設定例

```
#set( $item_count = $url.size())
```

(3) ページ送りを設定する

ページ送りは、次の変数で指定します。ページ送りを使用する場合は、[ポートレット編集]画面(テンプレート適用パラメタ設定画面)でページ送り対象データを指定する必要があります。なお、[ポートレット編集]画面(テンプレート適用パラメタ設定画面)の詳細については、「10.3.5(8) テンプレート適用パラメタ設定画面」を参照してください。

変数名	説明
\$pageno	現在処理対象のページ番号です。数値として保持されます。最初のページ番号を1とします。
\$prevpage	現在処理対象ページの前ページ番号です。現在の処理対象が1ページの場合は、0を指定します。
\$nextpage	現在処理対象ページの次ページ番号です。次ページがない場合でも現在の処理対象ページ+1を指定します。
\$havenext	次ページが存在するかどうかです。存在する場合は「true」、存在しない場合は「false」を指定します。
\$startindex	現在のページ内に表示するレコードの開始位置です。数値として保持されます。
\$endindex	現在のページ内に表示するレコードの終了位置です。数値として保持されます。
\$portleturi	ページ送り処理用のURL文字列を展開します。

次に設定例を示します。

```
##開始位置から終了位置まで繰り返す
#foreach ($i in [$startindex..$endindex])
<a href="$url.get($i)">$headline.get($i)</a><br />
#end
```

```

#if ($pageno > 1)
<a href="$portleturi?pageno=$prevpage">前へ</a>
#end
#if ($havenext == true)
<a href="$portleturi?pageno=$nextpage">次へ</a>
#end

```

(4) テンプレート作成時の注意事項

テンプレートに日本語を記述する場合、set 構文でいったん変数に格納してから使用してください。

設定例

```

#set($portalname = "ポータル名")

<a href="$url">$portalname</a>

```

(5) テンプレートの作成例

```

#set($sitetitle = "サイト1")
<table>
<tr>
<td>$sitetitle</td>
</tr>
#foreach($site in $site0)
<tr>
<td><a href="$site0.get($site).get(0)">$site0.get($site).get(1)</td>
<td>$site0.get($site).get(2)</td>
</tr>
#end
</table>

```

6.6.8 テンプレートを適用する

加工されたコンテンツデータにテンプレートを適用することで HTML ファイルを生成します。テンプレートの設定には次の項目を入力します。

1. メニュー領域から [テンプレート適用] を選択します。
[ポートレット編集] 画面 (テンプレート適用パラメタ設定画面) が表示されます。
[ポートレット編集] 画面 (テンプレート適用パラメタ設定画面) の詳細は、
「10.3.5(8) テンプレート適用パラメタ設定画面」を参照してください。
2. テンプレートを設定します。
3. [保存] ボタンをクリックします。
設定した内容が一時保存されます。この情報を登録する場合は、[完了] ボタンをクリックしてください。

7

標準画面レイアウトを管理する

この章では、標準画面レイアウトを管理するための運用管理ポートレットの操作方法について説明します。なお、操作説明は、グループ管理トップ画面が表示されていることを前提としています。

-
- 7.1 標準画面レイアウトを作成する

 - 7.2 標準画面レイアウトのアクセス権を設定する

 - 7.3 標準画面レイアウト情報を設定する

 - 7.4 標準画面レイアウトを編集する

 - 7.5 拡張レイアウトを編集する

 - 7.6 標準画面レイアウトの表示順序を変更する

 - 7.7 標準画面レイアウトをエクスポート・インポートする

 - 7.8 標準画面レイアウトを削除する
-

7.1 標準画面レイアウトを作成する

標準画面レイアウトを作成する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、標準画面レイアウトを作成したいポータル管理グループを選択します。
2. [レイアウト] タブをクリックします。
レイアウト一覧画面が表示されます。
レイアウト一覧画面の詳細は、「10.4.1 レイアウト一覧表示画面」を参照してください。
3. レイアウト一覧表示画面で、[新規レイアウト作成] ボタンをクリックします。
[レイアウト新規作成] 画面が表示されます。
[レイアウト新規作成] 画面の詳細は、「10.4.4 [レイアウト新規作成] 画面」を参照してください。
4. レイアウト ID、レイアウトタイトル、レイアウト英語タイトル、レイアウト説明文および画面表示種別を設定します。
5. [OK] ボタンをクリックします。
レイアウトが登録されて、レイアウト一覧画面が表示されます。

7.2 標準画面レイアウトのアクセス権を設定する

ポータル管理グループに標準画面レイアウトを追加し、管理権限および利用権限を設定する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、編集対象のポータル管理グループを選択します。
2. [レイアウト] タブをクリックします。
レイアウト一覧表示画面が表示されます。
レイアウト一覧表示画面の詳細は、「10.4.1 レイアウト一覧表示画面」を参照してください。
3. ポータル管理グループに追加する標準画面レイアウトを設定します。
[追加できるレイアウト] 一覧領域から標準画面レイアウトタイトルを選択して、[追加 ▶] ボタンをクリックします。[現在のレイアウト] 一覧領域のいちばん下に追加されます。
4. ポータル管理グループに設定したい標準画面レイアウトの管理権限および利用権限を設定します。
[現在のレイアウト] 一覧領域の [管理] チェックボックスおよび [利用] チェックボックスをチェックして、標準画面レイアウトの管理権限および利用権限を設定します。なお、管理権限を設定できるのは、運用管理者だけです。
5. [OK] ボタンをクリックします。
設定した内容が反映されて、ポータル管理グループ設定画面に戻ります。

複数のポータル管理グループで同じ標準画面レイアウトを管理する場合、標準画面レイアウトを作成したポータル管理グループに含まれるポートレットを、標準画面レイアウトを作成していないポータル管理グループにも含める必要があります。例えば、「ポータル管理グループ(全社)」で「全社レイアウト」を作成し、「ポートレット1」を配置して利用権限を設定します。次に、「ポータル管理グループ(事業部)」で「全社レイアウト」をポータル部門管理者に管理してもらう場合、「ポータル管理グループ(事業部)」に「ポータル管理グループ(全社)」で利用していた「ポートレット1」を含めてください。


注意事項

運用管理ポートレット操作中に、別の管理者によりレイアウトが削除された場合、次のエラーが発生する場合があります。この場合、レイアウトを新しく作成しなおしてください。

「レイアウト情報の更新に失敗しました。詳細メッセージ: 指定名称のリソース ([リソース ID]) は DB に存在しません」

7.3 標準画面レイアウト情報を設定する

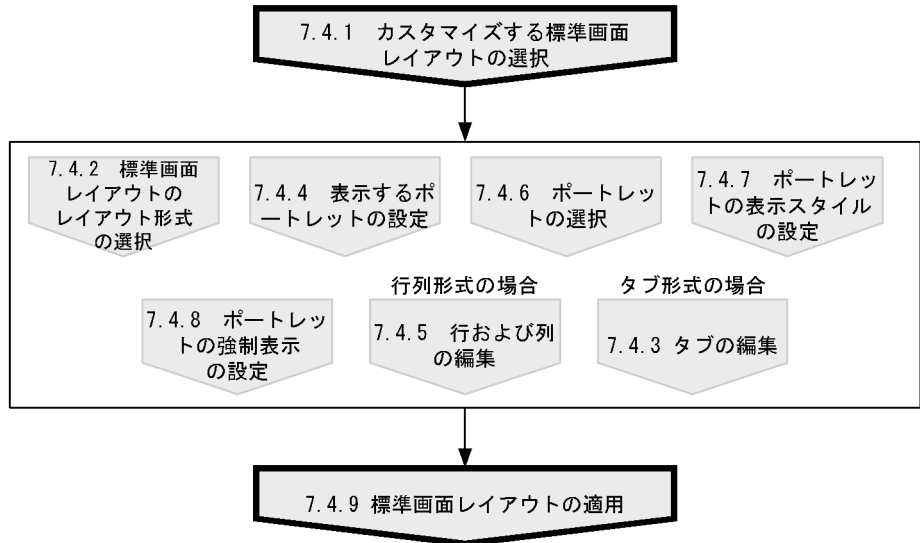
作成した標準画面レイアウトの設定内容を変更する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、編集対象のポータル管理グループを選択します。
2. [レイアウト] タブをクリックします。
レイアウト一覧表示画面が表示されます。
レイアウト一覧表示画面の詳細は、「10.4.1 レイアウト一覧表示画面」を参照してください。
3. レイアウト一覧画面で、編集したい標準画面レイアウトの編集ボタン () をクリックします。
[レイアウト情報設定] 画面が表示されます。
[レイアウト情報設定] 画面の詳細は、「10.4.3 [レイアウト情報設定] 画面」を参照してください。
4. 設定内容を変更します。
レイアウトの設定内容、および設定方法の詳細は、「7.1 標準画面レイアウトを作成する」の手順 4. を参照してください。
5. [OK] ボタンをクリックします。
レイアウトの設定内容が変更されて、レイアウト一覧画面に戻ります。

7.4 標準画面レイアウトを編集する

標準画面レイアウトの編集手順を次の図に示します。

図 7-1 標準画面レイアウトの編集手順




- (凡例)
-  : 必須の手順
 -  : 任意の手順

7.4.1 カスタマイズする標準画面レイアウトの選択

[カスタマイズ対象指定画面]で、カスタマイズする標準画面レイアウトを指定します。

[カスタマイズ対象指定画面]の詳細は、「10.4.6 [カスタマイズ対象指定画面]」を参照してください。

1. ツリーメニュー領域から、編集対象のポータル管理グループを選択します。
2. [レイアウト]タブをクリックします。
レイアウト一覧表示画面が表示されます。
レイアウト一覧表示画面の詳細は、「10.4.1 レイアウト一覧表示画面」を参照してください。
3. レイアウト一覧表示画面で、編集したい標準画面レイアウトのポートレット配置設定ボタン()をクリックします。
[ポートレット配置設定]画面が表示されます。
[ポートレット配置設定]画面の詳細は、「10.4.2 [ポートレット配置設定]画面」を参照してください。

7. 標準画面レイアウトを管理する

4. [直接編集] ボタンをクリックします。
[カスタマイズ対象指定画面] が表示されます。
[カスタマイズ対象指定画面] の詳細は、「10.4.6 [カスタマイズ対象指定画面]」を参照してください。
5. [デバイス] ドロップダウンリストからクライアントを選択します。
ポータル画面を、PC で表示するか、携帯電話で表示するかによって、表示できる標準画面レイアウトが異なります。ポータルを利用するクライアント（デバイス）の種別を設定します。なお、ここで指定したクライアントの種別によって、[レイアウト編集画面] で設定できる内容が異なります。
6. [レイアウト名称] ドロップダウンリスト（または [レイアウトグループ] ドロップダウンリスト）から、カスタマイズする標準画面レイアウトを選択します。
7. [設定] ボタンをクリックします。
選択した標準画面レイアウトを編集するための [レイアウト編集画面] が表示されます。
[レイアウト編集画面] の詳細は、「10.4.7 [レイアウト編集画面]」を参照してください。
指定されたポートレット配置情報ファイルで設定済みのレイアウト形式に対応する画面が表示されます。ただし、次の場合は「行列形式（列ベース）」の画面が表示されます。
 - 「ユーザ登録形式」で設定されているレイアウトパターンが、コントローラ定義ファイル（controllers.xml）にない場合
 - 「ユーザ登録形式」で設定されているレイアウトパターンが、コントローラ定義ファイル（controllers.xml）で定義されているレイアウト形式の情報と異なる列数でポートレット配置情報ファイルに設定されている場合

7.4.2 標準画面レイアウトのレイアウト形式の選択

[レイアウト編集画面] では、標準画面レイアウトのレイアウト形式を変更できます。レイアウト形式の種類については、「2.5.3 標準画面レイアウトの形式」を参照してください。また、[レイアウト編集画面] の詳細は、「10.4.7 [レイアウト編集画面]」を参照してください。

標準画面レイアウトのレイアウト形式を変更した場合、変更前に選択していたポートレットは削除されます。このため、標準画面レイアウトのレイアウト形式を変更する場合は、表示するポートレットも選択してください。

[レイアウト編集画面] には、[カスタマイズ対象指定画面] で設定した値が表示されません。ポータル画面を変更する場合は、[レイアウト編集画面] の [カスタマイズ対象] に表示されている [変更] ボタンをクリックしてください。[カスタマイズ対象指定画面] に戻ります。

レイアウト形式の設定手順を次に示します。

1. [レイアウト形式] ドロップダウンリストから、レイアウト形式を選択します。
 選択できるレイアウトの種類を次に示します。ただし、「ユーザ登録形式」はレイアウトパターンを登録していない場合、表示されません。
 - タブ形式
 - 行列形式
 - フロー形式
 - グリッド形式
 - ユーザ登録形式
2. [変更] ボタンをクリックします。
 レイアウト形式が変更されます。レイアウト形式を変更すると、変更前に選択していたポートレットは削除されます。

7.4.3 タブの編集

レイアウト形式で[タブ形式]を選択した場合、タブを編集するための設定項目が[レイアウト編集画面]に表示されます。タブについて編集できる内容を次に示します。

- 表示されているタブの名称変更
- タブの移動
- タブの削除
- タブの追加
- 強制表示タブ

なお、強制表示タブは、[強制レイアウト編集画面]で設定します。強制表示タブについては「7.4.8 ポートレットの強制表示の設定」を参照してください。

[レイアウト編集画面]に表示されるタブを編集するための設定項目を、次の図に示します。

図 7-2 タブを編集するための設定項目（標準のカスタマイズで表示している場合）

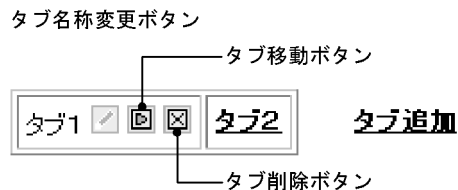
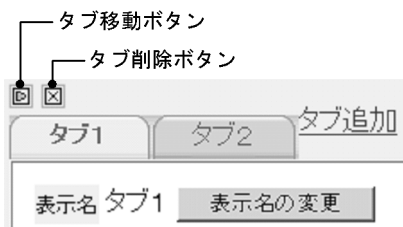


図 7-3 タブを編集するための設定項目（シンプルカスタマイズで表示している場合）



(1) タブの名称変更

タブ名称変更ボタン（または [表示名の変更] ボタン）は、表示されているタブの名称変更を変更する場合に使用します。なお、強制表示ポートレットを含むタブの名称は変更できません。強制表示ポートレットについては、「7.4.8 ポートレットの強制表示の設定」を参照してください。

タブの名称を変更する手順を次に示します。

1. タブ名称変更ボタン（または [表示名の変更] ボタン）をクリックします。
タブ名称を入力する画面が表示されます。
2. テキストボックスに変更後のタブ名を入力します。
タブの名称は、ほかのタブと異なる名称を、全角・半角に関係なく 64 文字以内で指定します。タブ名称は省略できません。名称がない場合、変更前の名称が表示されます。タブ名称には、以下の文字を含む内容は設定できません。
 - 第 1 水準特殊文字、NEC 選定拡張文字、および IBM 拡張文字
 - MS932 固有のマッピングを持つ文字
" ", " ~ ", " ", " ¢ ", " £ ", " ~ ", " - "
 - 半角カナ文字（JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf）
 - 半角制御文字（JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f）および未定義文字（JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff）
3. [OK] ボタンをクリックします。
変更後のタブ名称が表示されます。

(2) タブの移動

タブ移動ボタンは、二つ以上のタブが設定されている場合に、表示するタブの位置を変更するときに使用します。タブ移動ボタンには、左移動と右移動のボタンがあり、タブを左に移動するときには左矢印のボタンを、右に移動する場合には右矢印のボタンをクリックします。

タブ移動ボタンをクリックすると、表示されるタブの位置が変更されます。

(3) タブの削除

タブ削除ボタンは、二つ以上のタブが設定されている場合に、表示されているタブを削

除するときに使用します。

なお、強制表示ポートレットを含むタブは削除できません。強制表示ポートレットについては、「7.4.8 ポートレットの強制表示の設定」を参照してください。

タブを削除する手順を次に示します。

1. タブ削除ボタンをクリックします。
削除の確認画面が表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。
選択したタブが削除されます。

(4) タブの追加

タブを新規に追加したい場合に使用します。タブを新規に追加する手順を次に示します。

1. [タブ追加] アンカーをクリックします。
タブ名称を入力する画面が表示されます。
2. テキストボックスに新規で追加するタブ名を入力します。
タブの名称は、ほかのタブと異なる名称を、全角・半角に関係なく 64 文字以内で指定します。タブ名称は省略できません。名称がない場合、変更前の名称が表示されます。タブ名称には、以下の文字を含む内容は設定できません。
 - 第 1 水準特殊文字、NEC 選定拡張文字、および IBM 拡張文字
 - MS932 固有のマッピングを持つ文字
" ", " ~ ", " ", "¢", "£", " ¢ ", " - "
 - 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
 - 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) および未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)
3. [OK] ボタンをクリックします。
新規に追加したタブ名称が表示されます。

7.4.4 表示するポートレットの設定

ポータル画面に表示されるポートレットの配置を設定できます。[レイアウト編集画面] に表示されるポートレットの設定表示は、[レイアウト形式] で指定したレイアウト形式の種類によって表示される項目が異なります。[レイアウト編集画面] の詳細は、「10.4.7 [レイアウト編集画面]」を参照してください。

ポートレットの配置設定を次の図に示します。

7. 標準画面レイアウトを管理する

図 7-4 ポートレットの配置設定（標準のカスタマイザの場合）

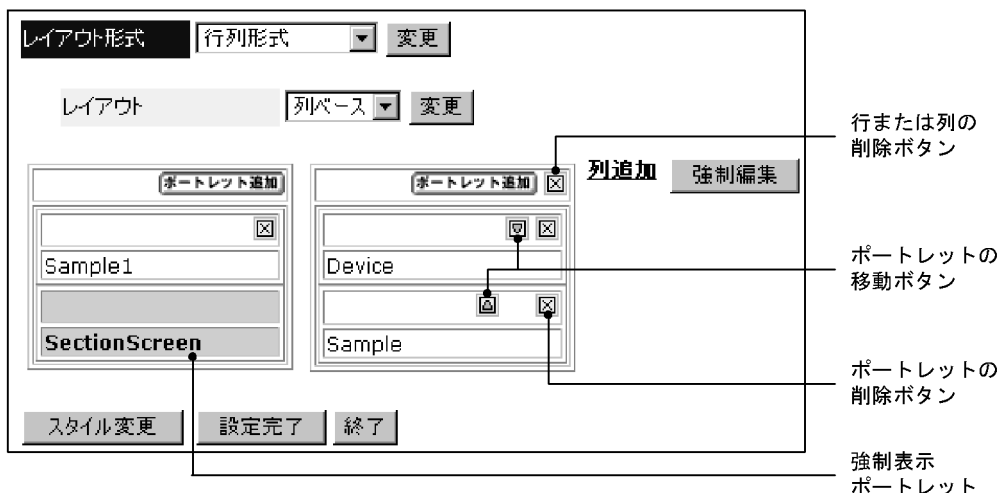
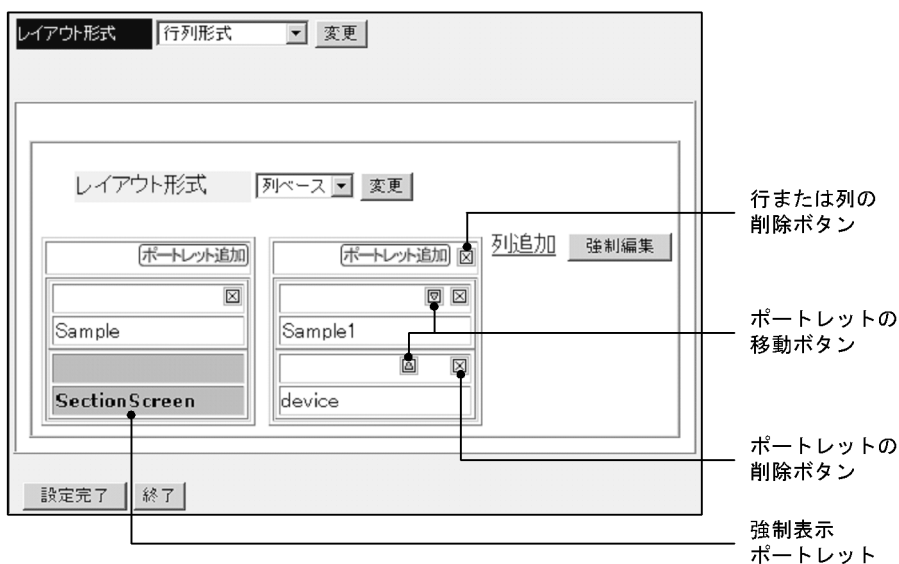


図 7-5 ポートレットの配置設定（シンプルカスタマイザの場合）



なお、強制表示ポートレットが設定されている場合は、指定された配置に強制表示ポートレットが表示されます。

ポータル画面に表示するポートレットについて、次の設定ができます。

- ポートレットの追加、移動および削除
- ポートレットを表示する列の追加（タブ形式、行列形式、およびグリッド形式の場合）
- 強制表示ポートレットの編集

なお、標準画面レイアウトにポートレットが一つも配置されていないと、ポートレット

の追加やスタイル変更ができなくなる場合があります。標準画面レイアウトを作成する際は、必ずポートレットを配置してください。

(1) ポートレットの追加

[レイアウト編集画面]に表示されるポートレットの設定表示では、指定するポートレットを新規に追加できます。ただし、一つの画面で同じポートレットを複数指定できません。ポートレットの追加は、[ポートレットの選択]画面で設定します。[ポートレットの選択]画面は、[レイアウト編集画面]の[ポートレット追加]ボタンをクリックすると表示されます。[ポートレットの選択]画面でのポートレットの追加方法については、「7.4.6 ポートレットの選択」を参照してください。

(2) ポートレットの移動

ポートレットの移動ボタンは、二つ以上のポートレットが設定されているとき、表示するポートレットの位置を変更するときに使用します。

行ベースの場合は、ポートレットの左移動ボタンと右移動ボタンをクリックして左右に移動できます。

列ベースの場合は、ポートレットの上移動ボタンと下移動ボタンをクリックして上下に移動できます。

(3) ポートレットの削除

ポートレットの削除ボタンは、表示するポートレットを削除する場合に使用します。ポートレットの削除ボタンをクリックすると、指定したポートレットが削除されます。ただし、ポートレットが画面に一つしかないときは削除できません。

7.4.5 行および列の編集

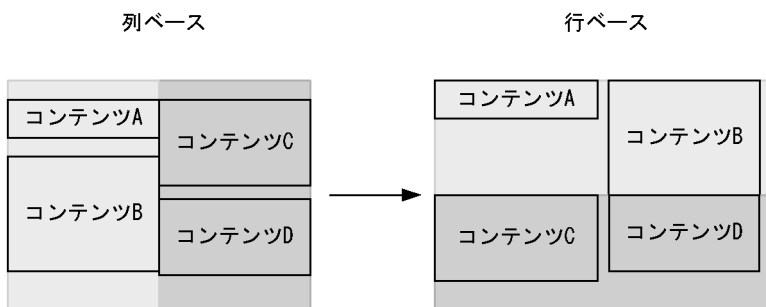
行列形式またはタブ形式の標準画面レイアウトの場合、列ベースにするか、行ベースにするかを設定できます。また、列または行を追加できます。この設定は、[レイアウト編集画面]に表示される[レイアウト形式]ドロップダウンリストの設定で「タブ形式」または「行列形式」を選択した場合にできます。選択できるレイアウト形式を次に示します。

- 行列形式（列ベース）
列ベースは、ポートレットを行単位で区切り、縦に並べるレイアウト形式です。
- 行列形式（行ベース）
行ベースは、ポートレットを列単位で区切り、横に並べるレイアウト形式です。

列ベースのレイアウト形式を行ベースのレイアウト形式に変更した画面を次の図に示します。

7. 標準画面レイアウトを管理する

図 7-6 列ベースから行ベースへの変更



(1) 行列形式の標準画面レイアウトの変更

行列形式の標準画面レイアウトを編集する手順を次に示します。

1. [レイアウト] ドロップダウンリスト (または [レイアウト形式] ドロップダウンリスト) からレイアウト形式を選択します。
選択できるレイアウト形式の種類を次に示します。
 - 列ベース
 - 行ベース
2. [変更] ボタンをクリックします。
変更したあとの標準画面レイアウトが表示されます。

(2) タブ形式の標準画面レイアウトの変更

タブには、行列形式またはユーザ登録形式のレイアウト形式を設定できます。ユーザ登録形式に変更した場合は、選択していたポートレットは削除されます。行列形式に変更した場合は、選択していたポートレットは削除されません。なお、この場合、列・行数が最大列・行数より大きくなることがあります。

タブ形式の標準画面レイアウトを編集する手順を次に示します。

1. [レイアウト] ドロップダウンリスト (または [レイアウト形式] ドロップダウンリスト) からレイアウト形式を選択します。
選択できるレイアウト形式の種類を次に示します。
 - ユーザ登録形式
 - 列ベース (行列形式)
 - 行ベース (行列形式)
2. [変更] ボタンをクリックします。
変更したあとの標準画面レイアウトが表示されます。

(3) 行列形式の行・列の追加

[レイアウト形式] ドロップダウンリストで「行列形式」を選択した場合、[レイアウト編集画面] で行または列を追加できます。行または列を追加する場合、[ポートレットの

[選択] 画面で追加する行または列に配置するポートレットを設定します。[ポートレットの選択] 画面は、[レイアウト編集画面] の [行追加] アンカーまたは [列追加] アンカーをクリックすると表示されます。ポートレットの選択については「7.4.6 ポートレットの選択」を参照してください。

(4) 行列形式の行・列の削除

[レイアウト形式] ドロップダウンリストで「行列形式」を選択した場合、[レイアウト編集画面] で行または列を削除できます。

行または列の削除手順を次に示します。

1. 削除したい行または列に表示されている、行または列の削除ボタンをクリックします。
削除確認の画面が表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。
行または列が削除されます。

(5) 強制表示ポートレットの編集

[強制編集] ボタンをクリックすると、[強制レイアウト編集画面] が表示されます。この画面で、強制表示ポートレットの配置を指定できます。強制表示ポートレットの詳細は、「7.4.8 ポートレットの強制表示の設定」を参照してください。

7.4.6 ポートレットの選択

[ポートレットの選択] 画面では、標準画面レイアウトに新規に追加するポートレット、および追加する行または列に配置するポートレットを選択できます。[ポートレットの選択] 画面の詳細は、「10.4.9 [ポートレットの選択] 画面」を参照してください。

[ポートレットの選択] 画面では、次の条件を満たすポートレットグループとポートレットが表示されます。

ポートレットグループ

[ポートレットの選択] 画面で表示される条件を満たしたポートレットが所属するポートレットグループが表示されます。

ポートレット

アクセス権があるポートレットが表示されます。ポートレットを表示する標準画面レイアウトのレイアウト形式がユーザ登録形式の場合は、追加する列のサイズと同じサイズで設定されているか、サイズが設定されていないポートレットが表示されます。

[ポートレットの選択] 画面の操作は使用するカスタマイザの種類によって異なります。カスタマイザの種類ごとに表示するポートレットを選択する手順を次に示します。

7. 標準画面レイアウトを管理する

(1) 標準のカスタマイズの場合

1. 追加するポートレットを選択します。
追加したいポートレットのチェックボックスにチェックを入れます。
2. [追加] ボタンをクリックします。
ポートレットが追加されて,[レイアウト編集画面]に戻ります。

(2) シンプルカスタマイズの場合

1. 追加候補ポートレット一覧領域に、表示したいポートレットを表示させます。
次のどちらかの方法で追加候補ポートレット一覧領域にポートレットを表示させることができます。
 - ポートレットを検索して表示させる
[ポートレットの検索]テキストボックスにキーワードを入力して,[検索]ボタンをクリックします。
 - ポートレットグループツリー領域から表示させる
ポートレットグループツリー領域で、表示したいポートレットが分類されているポートレットグループ名をクリックします。
2. 追加候補ポートレット一覧領域で、表示したいポートレットを選択します。
3. [追加] ボタンをクリックします。
2. で選択したポートレットが、追加ポートレット一覧領域に追加されます。
4. [OK] ボタンをクリックします。
ポートレットが追加されて,[レイアウト編集画面]に戻ります。

7.4.7 ポートレットの表示スタイルの設定

[スタイル編集画面]は、標準のカスタマイズで画面を表示している場合に表示されません。

[スタイル編集画面]では、ポートレットにタイトルバーを表示させる設定、およびポートレットの周りを枠で囲む設定、ポートレットの配色、およびポートレットの表示間隔を設定できます。[スタイル編集画面]の詳細は、「10.4.10 [スタイル編集画面]」を参照してください。

[プレビュー]ボタンをクリックすると、設定した内容が表示され、設定を確認できます。設定を反映するときは[変更]ボタンをクリックします。この項目は、クライアント種別がPCの場合だけ設定できます。なお、ポートレットが一つもない場合は表示スタイルを設定できません。

(1) ポートレットスタイルの選択

スタイル編集では、ポートレットにタイトルバーを表示させたり、ポートレットの周りを枠で囲んだりする設定が選択できます。なお、設定されているポートレットのスタイルにかかわらず、ポートレットを最大表示したときには、ポートレットのタイトルは必

ず表示されます。

ポートレットのスタイル選択手順を次に示します。

1. [スタイル] ドロップダウンリストからポートレットのスタイルを選択します。
2. [変更] ボタンをクリックします。
ポートレットのスタイルが変更されます。

(2) ポートレット色の選択

ポートレットの色を設定します。色は、画面に表示されている色から選択できます。設定済みの色は [現在の色] に表示されます。レイアウト形式によって設定できる内容が異なります。設定できる内容の詳細は、「10.4.10 [スタイル編集画面]」を参照してください。

(3) ポートレット・タブのサイズ選択

ポートレットの表示間隔の指定、およびタブのサイズを設定します。表示するレイアウト形式によって設定できる内容が異なります。

7.4.8 ポートレットの強制表示の設定

[強制レイアウト編集画面] では、ポータル画面に強制表示するポートレットを設定できます。[強制レイアウト編集画面] は、[レイアウト編集画面] の [強制編集] ボタンから表示されます。ポートレットを必ず表示させたい場合や、ユーザによるカスタマイズを禁止したい場合に、管理者が設定します。なお、強制表示するポートレットを設定できるのは、ホーム画面だけです。ウェルカム画面には、設定できません。

レイアウト形式に拡張レイアウト形式を使用して、変更不可エリアにポートレットを設定する方法でも、ポートレットを強制表示できます。拡張レイアウト形式を使用するとより自由度の高いレイアウトで強制的にポートレットを配置できます。

[強制レイアウト編集画面] の詳細は、「10.4.11 [強制レイアウト編集画面]」を参照してください。

ポートレットを強制表示するには、次の二つの方法があります。

- 強制表示タブにポートレットを設定する方法
ポータルに強制表示するタブ上に、必ず表示させたいポートレットを配置します。設定方法の詳細は、「7.4.8(1) 強制表示タブの設定」を参照してください。
- 強制表示ポートレットを設定する方法
通常タブ（強制表示タブでないタブ）に、必ず表示させたいポートレットを設定したい場合は、そのポートレットを強制表示ポートレットとして設定します。
なお、通常タブに強制表示ポートレットを設定した場合、タブ名称の変更およびタブの削除はできません。設定方法の詳細は、「7.4.8(2) 強制表示ポートレットの設定」を参照してください。

(1) 強制表示タブの設定

[レイアウト編集画面]で,[強制編集]ボタンをクリックすると,[強制レイアウト編集画面]が表示されます。

強制表示タブの設定画面を次に示します。

図 7-7 強制表示タブの設定 (標準のカスタマイズで表示している場合)

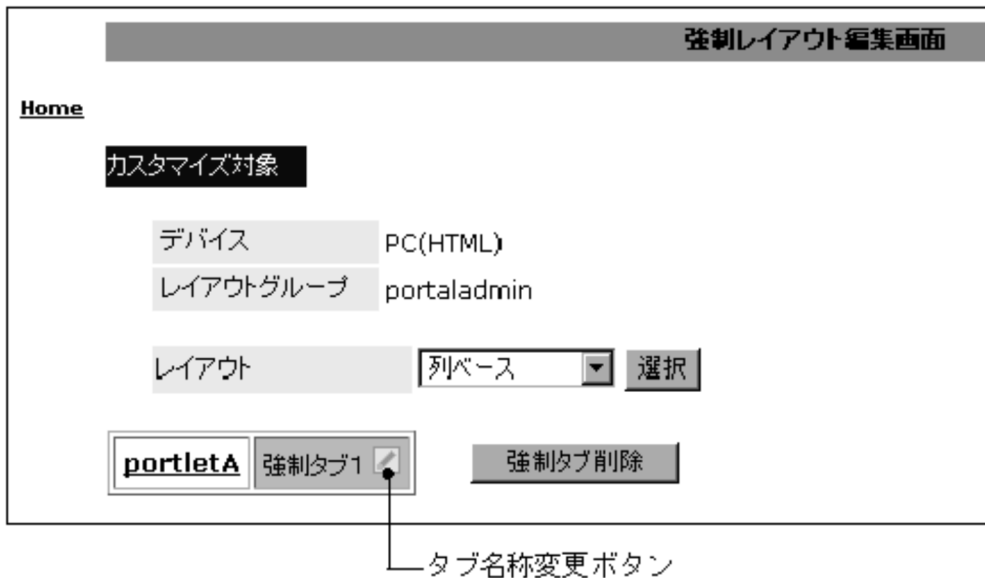


図 7-8 強制表示タブの設定（シンプルカスタマイザで表示している場合）



(a) 強制表示タブの追加

強制表示タブを追加する手順を次に示します。

1. [レイアウト編集画面] で [強制編集] ボタンをクリックします。
[強制レイアウト編集画面] が表示されます。
2. [強制表示タブ追加] アンカーをクリックします。
タブ名称を入力する画面が表示されます。
3. テキストボックスにタブ名を入力します。
タブの名称は、ほかのタブと異なる名称を、全角・半角に関係なく 64 文字以内で指定します。タブ名称は省略できません。名称がない場合、変更前の名称が表示されます。タブ名称には、以下の文字を含む内容は設定できません。
 - 第 1 水準特殊文字、NEC 選定拡張文字、および IBM 拡張文字
 - MS932 固有のマッピングを持つ文字
" ", "~", " ", " ", "φ", "£", " ", " - "
 - 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) および未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)
4. [OK] ボタンをクリックします。
[強制レイアウト編集画面] に強制表示タブが表示されます。

7. 標準画面レイアウトを管理する

(b) 強制表示タブの名称変更

タブ名称変更ボタンは、表示されているタブの名称変更を変更する場合に使用します。

タブの名称を変更する手順を次に示します。

1. タブ名称変更ボタン（または [表示名の変更] ボタン）をクリックします。
タブ名称を入力する画面が表示されます。
2. テキストボックスに変更後のタブ名を入力します。
タブの名称は、ほかのタブと異なる名称を、全角・半角に関係なく 64 文字以内で指定します。タブ名称は省略できません。名称がない場合、変更前の名称が表示されます。タブ名称には、以下の文字を含む内容は設定できません。
 - 第 1 水準特殊文字、NEC 選定拡張文字、および IBM 拡張文字
 - MS932 固有のマッピングを持つ文字
" ", "~", " ", "ϕ", "£", " ", " - "
 - 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) および未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)
3. [OK] ボタンをクリックします。
変更後のタブ名称が表示されます。

(c) 強制表示タブの削除

設定した強制表示タブを削除できます。[強制タブ削除] ボタンをクリックすると、強制表示タブが削除されます。

(d) 強制表示タブのレイアウト形式の設定

列ベースの表示にするか、行ベースの表示にするかを設定します。

1. [レイアウト] ドロップダウンリストから行列形式のレイアウト形式を選択します。
選択できる項目を次に示します。
 - 行列形式 (列ベース)
 - 行列形式 (行ベース)
 - ユーザ登録形式
2. [選択] ボタンをクリックします。
選択したレイアウト形式が表示されます。

(e) 強制表示タブに表示するポートレットの設定

強制表示タブに表示するポートレットを設定します。[レイアウト] ドロップダウンリストで指定したレイアウト形式の種類によって表示される項目が異なります。なお、[強制レイアウト編集画面] に表示されるポートレットの設定表示は、[レイアウト編集画面] に表示される項目と同じです。[強制レイアウト編集画面] に表示するポートレットの設定については「7.4.4 表示するポートレットの設定」を参照してください。

(f) 強制表示タブ内のレイアウト適用

[設定完了] ボタンをクリックすると、強制表示タブの設定が完了します。設定した強制表示タブのタブ名が、[レイアウト編集画面] に表示されます。作成を中止するには [戻る] ボタンをクリックします。作成は中止され、[レイアウト編集画面] が表示されま

(2) 強制表示ポートレットの設定

[レイアウト編集画面] で、[強制編集] ボタンをクリックすると、[強制レイアウト編集画面] が表示されます。

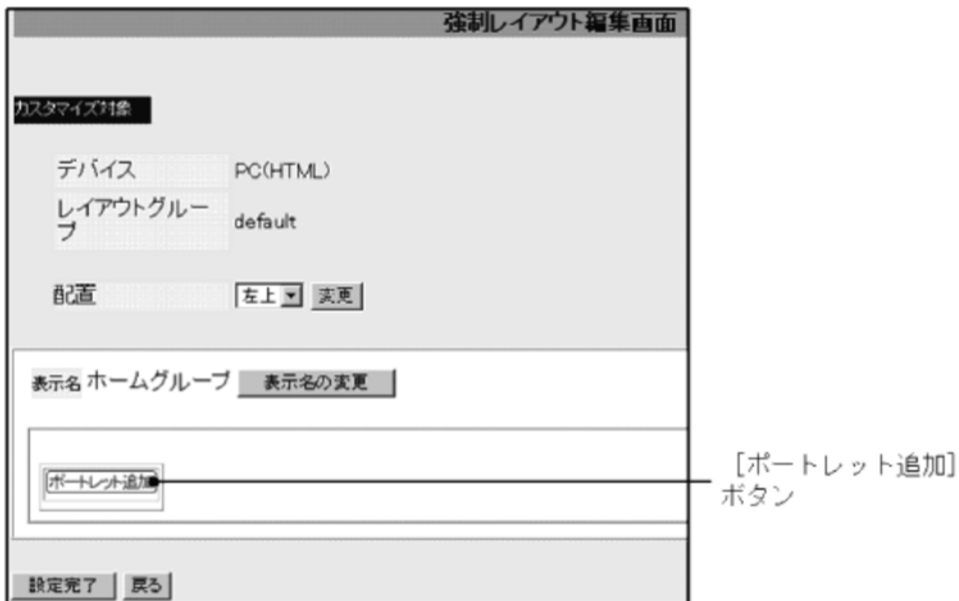
強制表示ポートレットの設定画面を次に示します。

図 7-9 強制表示ポートレットの設定（標準のカスタマイズで表示している場合）



7. 標準画面レイアウトを管理する

図 7-10 強制表示ポートレットの設定（シンプルカスタマイズで表示している場合）



(a) 強制表示ポートレットの追加

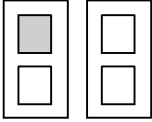
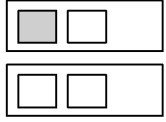
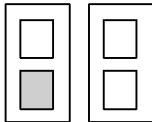
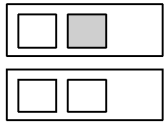
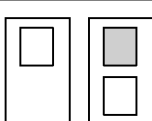
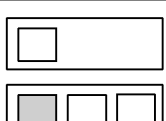
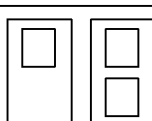
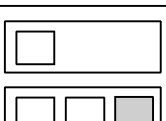
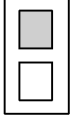
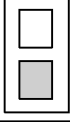
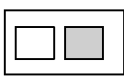
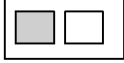
1. 強制表示ポートレットを設定したい通常タブを選択します。
2. [ポートレット追加] ボタンをクリックします。
[ポートレットの選択] 画面が表示されます。
3. 強制表示させるポートレットを設定します。
強制表示させるポートレットを設定します。ポートレットの設定については、「7.4.4 表示するポートレットの設定」を参照してください。

(b) 強制表示ポートレットの配置の設定

強制表示ポートレットを配置する位置を設定します。

1. [配置] ドロップダウンリストから配置する位置を選択します。
選択できる配置を次に示します。

図 7-11 強制表示ポートレットの配置

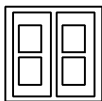
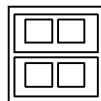
形式 配置	行列形式 (列ベース) ユーザ登録形式	行列形式 (行ベース)	フロー形式, CHTML形式, HTML形式, 行列形式 (列 ベース) およびユーザ登 録形式で1列のとき	行列形式 (行ベース) で1行のとき
左上			—	—
左下 (列ベース) 右上 (行ベース)			—	—
右上 (列ベース) 左下 (行ベース)			—	—
右下			—	—
上	—	—		—
下	—	—		—
右	—	—	—	
左	—	—	—	

(凡例)



: 強制ポートレットが表示される位置

— : 該当しません

: 行列形式 (列ベース),
ユーザ登録形式での
レイアウト

: 行列形式 (行ベース) でのレイアウト

- [変更] ボタンをクリックします。
レイアウトを変更します。

7. 標準画面レイアウトを管理する

(c) 強制表示ポートレットのレイアウト適用

[設定完了] ボタンをクリックすると、強制表示ポートレットの設定が完了します。設定した強制表示ポートレットが、[レイアウト編集画面] に指定した配置で表示されます。作成を中止するには [戻る] ボタンをクリックします。作成は中止され、[レイアウト編集画面] が表示されます。

7.4.9 標準画面レイアウトの適用

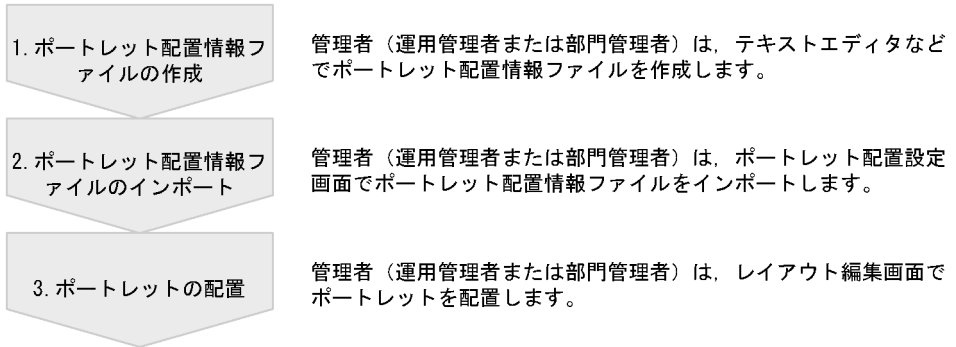
運用管理者または部門管理者用が変更した標準画面レイアウトの設定は、[レイアウト編集画面] で [設定完了] ボタンをクリックして適用します。[終了] ボタンをクリックするとホーム画面に戻ります。

標準画面レイアウトの設定を適用しない場合は [終了] ボタンをクリックしてください。設定は中止され、ホーム画面に戻ります。

7.5 拡張レイアウトを編集する

拡張レイアウトの作成手順を次の図に示します。

図 7-12 拡張レイアウトの作成手順



各手順の内容を次に示します。

- 1. ポートレット配置情報ファイルの作成**
 テキストエディタなどを使用して、ポートレット配置情報ファイルを作成します。ポートレット配置情報ファイルは、HTML または PSML で作成します。ポートレット配置情報ファイルの作成については、「7.5.1 ポートレット配置情報ファイルの作成」を参照してください。
- 2. ポートレット配置情報ファイルのインポート**
 運用管理ポートレットの [ポートレット配置設定] 画面で、1. で作成したポートレット配置情報ファイルをインポートします。このとき、ポートレット配置情報ファイルは、PC 用としてインポートされます。インポートが成功した場合、[レイアウト編集画面] に遷移します。インポートが失敗した場合、画面上にメッセージが表示されます。ポートレット配置情報ファイルのインポートについては、「7.5.2 ポートレット配置情報ファイルのインポート・エクスポート」を参照してください。画面上に表示されるメッセージについては、「付録 E PSML ファイルのインポート・エクスポート時に出力されるメッセージ」を参照してください。
- 3. ポートレットの配置**
 [レイアウト編集画面] でポートレットを配置します。ポートレットの配置が完了したら、[設定完了] ボタンをクリックします。[設定完了] ボタンをクリックした時点で、ポートレット配置情報ファイルのインポートも完了します。ポートレットの配置については、「7.5.3 ポートレットの配置の設定」を参照してください。

注意事項

[設定完了] ボタンをクリックする前に、Web ブラウザを閉じる操作やキャンセル操作をしないでください。このような操作をした場合、ポートレット配置情報ファイルのインポート自体がキャンセルされてしまいます。

7.5.1 ポートレット配置情報ファイルの作成

拡張レイアウト用のポートレット配置情報ファイルの作成方法について説明します。拡張レイアウト用のポートレット配置情報ファイルは、管理者（運用管理者または部門管理者）が作成します。ポートレット配置情報ファイルを作成することによって、拡張レイアウト（行および列の組み合わせ）を定義できます。

管理者は、次のどれかの方法でポートレット配置情報ファイルを作成します。なお、ポートレット配置情報ファイル名には、HTML ファイルの場合は「homeHTML.html」を、PSML 形式の場合は「homeHTML.psml」を指定します。

- すでに作成されている拡張レイアウト以外のレイアウト形式のポートレット配置情報ファイルをエクスポートして編集する。¹
- uCosminexus Portal Framework が提供している拡張レイアウトのサンプルを編集する。^{1 2}
- uCosminexus Portal Framework が提供している拡張レイアウトのサンプルをそのまま使用する。²

注 1 タブ形式に拡張レイアウトの画面を表示する場合は、タブ形式のポートレット配置情報ファイルに記述されているタブのタグ、および拡張レイアウトのポートレット配置情報ファイルの内容を組み合わせるポートレット配置情報ファイルを作成する必要があります。

注 2 PSML 形式の場合に有効な方法です。

uCosminexus Portal Framework が提供しているサンプル（ファイル名：sample1.psml, sample2.psml, および sample3.psml）は、次のフォルダに格納されています。

```
{uCosminexus Portal Frameworkインストールディレクトリ}¥samples¥expsml
```

(1) ポートレット配置情報ファイル（HTML）の構造

ポートレット配置情報ファイル（HTML）の構造について説明します。なお、ポートレット配置情報ファイル（HTML）の例については、「7.5.1(3) ポートレット配置情報ファイルの例」を参照してください。

(a) <html>

この文書が HTML 文書であることを指定します。なお、この指定は省略できます。指定を省略した場合は、<html> タグ、<head> タグおよび <body> タグは指定されたものとして動作し、<meta> タグのエンコーディングは「UTF-8」が指定されたものとします。

<html> タグ内には、次に示すタグを指定します。

- <head>

この文書のヘッダ部を指定します。<head> タグで囲んだ部分がヘッダ部になります。

- <meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=Windows-31J ">
HTML ファイルは個別にエンコーディングを指定できます。エンコーディングは、<meta> タグの charset に指定します。ここでは、「Windows-31J」を指定しています。
- <body>
文書の本文を記述します。拡張レイアウト定義の <table> タグは、<body> タグで囲んだ部分に指定します。

(b) <table controller="tab">

タブ形式のレイアウトを指定します。レイアウトの最上位だけ指定できます。

- <tr><td>
拡張レイアウトを指定します。
<td> タグ内に、レイアウト定義である (c) の <table controller="layout"> を指定します。

(c) <table controller="layout">

拡張レイアウト形式であることを指定します。このタグには、次の属性を指定します。

- background-color 属性
ポートレットの背景色のデフォルト値を指定します。
- title-color 属性
ポートレットタイトルバーの色のデフォルト値を指定します。
- portletpadding 属性
ポートレットの間隔のデフォルト値を指定します。

<table controller="layout"> タグ内には、<tr> と <td> で行列形式の入れ子、またはエリア（列単位に表示するポートレット）を指定します。

行列形式の入れ子の場合

<tr><td> タグ内に、(c) の <table controller="layout"> タグを指定します。

- <td> の width 属性
列形式の場合は、列を表示する幅を <td> タグの width 属性に比率、またはピクセルで指定します。
- <td> の height 属性
行形式の場合は、行を表示する幅を <td> タグの height 属性に比率、またはピクセルで指定します。

エリアの場合

<tr><td> タグ内に、(d) の <table controller="area"> を指定します。

(d) <table controller="area">

ポートレットを配置するエリアを指定します。このタグには、次の属性を指定します。

7. 標準画面レイアウトを管理する

ポートレット定義を指定しない場合でも、<tr> タグと <td> タグの定義は必要です。

- modification 属性
エリア内のポートレットを変更（追加・移動・削除）できるかどうかを指定します。
このパラメタを省略した場合は、「true」が指定されたものとして動作します。

変更可能な場合

value 値に「true」を指定します。このエリアは変更可能エリアになります。

変更不可能な場合

value 値に「false」を指定します。このエリアは変更不可エリアになります。

- areaid 属性
このエリアの識別子（エリア ID）を指定します。エリア ID は、レイアウト内で一意な値を指定します。使用できる最大文字数は、半角英数字で 64 文字です。なお、このパラメタは省略できません。
- areasize 属性
このエリアに配置できるポートレットサイズを指定します。値は次のどれかを指定します。
 - large：大きいサイズ
 - medium：中サイズ
 - small：小さいサイズ

このパラメタを省略した場合、または large、medium および small 以外の値を指定した場合、サイズ指定されていないポートレットが配置できます。

<table controller="area"> タグ内には、<tr><td> タグで (e) の を指定します。

(e)

表示するポートレットを指定します。

- parent 属性
ポートレット定義ファイル（jetspeed-config.jcfig）の name 属性で指定したポートレット名を指定します。ポートレット定義ファイルの詳細は、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。
- ForcePlace 属性
自動追加ポートレットであることを指定します。また、このポートレットを変更可能エリアの最上部または最下部のどちらに配置するかを指定します。

最上部に配置する場合

「top」を指定します。

最下部に配置する場合

「bottom」を指定します。

なお、この属性を省略した場合、または top および bottom 以外の値を指定した場合、通常のポートレットとして動作します。

(2) ポートレット配置情報ファイル (PSML) の構造

ポートレット配置情報ファイル (PSML) の構造について説明します。なお、ポートレット配置情報ファイル (PSML) の例については、「7.5.1(3) ポートレット配置情報ファイルの例」を参照してください。

(a) `<?xml version="1.0" encoding="Windows-31J"?>`

PSML ファイルは、個別にエンコーディングを指定できます。エンコーディングは、XML 宣言文の `encoding` に指定します。ここでは、「Windows-31J」を指定しています。

(b) `<skin>`

ポートレットの背景色、ポートレットタイトルバーの色、およびポートレットの間隔のデフォルト値を次の `<property>` タグで指定します。なお、この指定は省略できます。

- `<property name="padding" value="3"/>`

ポートレットの間隔 (ドット数) を `padding` 属性の `value` 値に指定します。

(c) `<portlets>`

行列形式の入れ子、またはエリア (列単位に表示するポートレット) を指定します。

タブ形式の場合

このタグ内に (d) の `<controller>` タグを指定します。

行列形式の入れ子の場合

このタグ内に (e) の `<controller>` タグを指定します。

エリアの場合

このタグ内に、エリアであることを指定する (f) の `<controller>` タグおよびポートレットを表示する (g) の `<entry>` タグを指定します。

(d) `<controller name="org.apache.jetspeed.portal.controllers.CardPortletController">`

タブ形式のレイアウトを指定します。レイアウトの最上位だけ指定できます。このタグ内には、次の `<parameter>` タグを定義します。

- `<parameter name="parameter" value="pane" />`

タブ形式であることを示すパラメータです。このパラメータは省略できません。

(e) `<controller`

`name="jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.ExtendedRowColumnPortletController">`

拡張レイアウト形式、および入れ子の行列形式であることを指定します。このタグ内には、次に示すパラメータ、および (c) の `<portlets>` タグを指定します。

- `<parameter name="mode" value="row"/>`

拡張レイアウト形式 (行列形式) の列ベースまたは行ベースを指定します。なお、このパラメータは省略できません。

7. 標準画面レイアウトを管理する

列ベースの場合

value 値に「row」を指定します。

行ベースの場合は

value 値に「column」を指定します。

- `<parameter name="sizes" value="50%,50%"/>`

行または列を表示する幅を value 値にコンマ(,)で区切って指定します。値は、比率またはピクセルで指定します。指定した値は、拡張レイアウトを HTML 画面に表示するときに対応づけられる `<TABLE>` タグの width 属性(列ベースの場合), または height 属性(行ベースの場合)に設定されます。また、「200,*」のような指定もできますが、画面上の表示幅については表示する Web ブラウザに依存します。

列数(または行数)に対してこのタグで指定した数が少ない場合は、指定したタグの数だけの列(または行)に幅の指定をします。なお、表示する幅を等間隔に設定したい場合は、`<portlets>` タグ内の `<portlets>` タグの個数を使用して計算します。

表示する幅を等間隔に設定する場合の計算式

$100 / \text{<portlets> タグの個数}$

計算例を次に示します。

- 1 列または 1 行の場合: "100%"
- 2 列または 2 行の場合: "50%,50%"
- 3 列または 3 行場合: "33%,33%,33%"

(f) `<controller name="`

`jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.AreaRowColumnPortletController ">`

ポートレットを配置するエリアを指定します。このタグ内には、次の `<parameter>` タグを定義します。

- `<parameter name="modification" value="true"/>`

エリア内のポートレットを変更(追加・移動・削除)できるかどうかを指定します。このパラメータを省略した場合は、「true」が指定されたものとして動作します。

変更可能な場合

value 値に「true」を指定します。このエリアは変更可能エリアになります。

変更不可能な場合

value 値に「false」を指定します。このエリアは変更不可エリアになります。

- `<parameter name="id" value="123"/>`

このエリアの識別子(エリア ID)を指定します。エリア ID は、レイアウト内で一意な値を指定します。使用できる最大文字数は、半角英数字で 64 文字です。なお、このパラメータは省略できません。

- `<parameter name="size" value="large"/>`

このエリアに配置できるポートレットサイズを指定します。[ポートレットの選択]画面では、このパラメータで指定したサイズのポートレットが表示されます。

value 値には、次のどれかを指定します。

- large : 大きいサイズ
- medium : 中サイズ
- small : 小さいサイズ

このパラメタを省略した場合、または large, medium および small 以外の値を指定した場合、サイズ指定されていないポートレットが配置できます。なお、大文字・小文字は区別されます。

(g) <entry type="ref" parent="sample1">

表示するポートレットを指定します。parent 属性には、ポートレット定義ファイル (jetspeed-config.jcfg) の name 属性で指定したポートレット名を指定します。ポートレット定義ファイルの詳細は、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。

- <parameter name="ForcePlace" value="top" />

自動追加ポートレットであることを設定します。また、このポートレットを変更可能エリアの最上部または最下部のどちらに配置するかを指定します。

最上部に配置する場合

value 値に「top」を指定します。

最下部に配置する場合

value 値に「bottom」を指定します。

なお、このパラメタを省略した場合、または top および bottom 以外の値を指定した場合、通常のポートレットとして動作します。

(3) ポートレット配置情報ファイルの例

入れ子が 4 段ある場合の拡張レイアウトの PSML ファイルについて説明します。

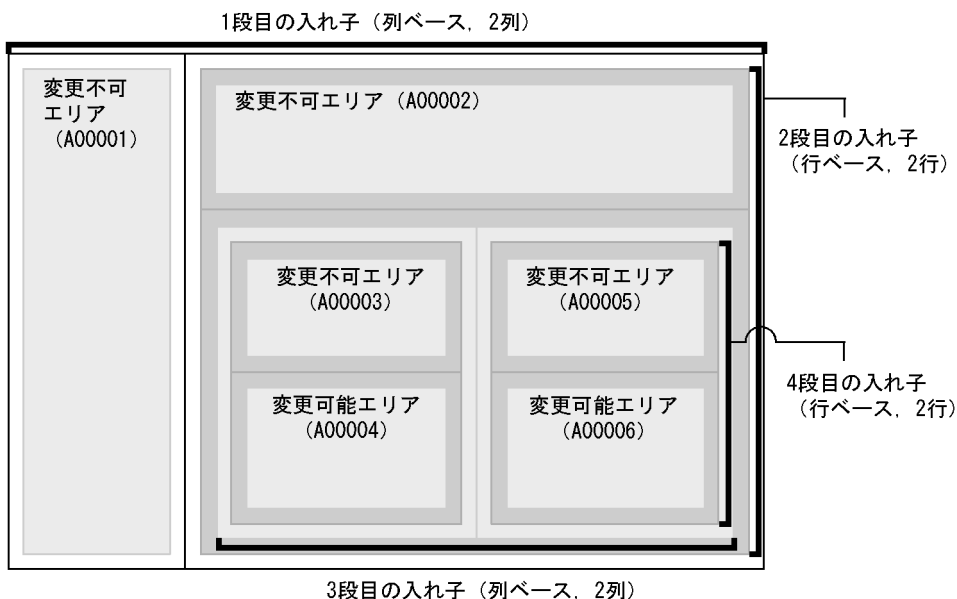
この例で説明する拡張レイアウトの構成を次に示します。

- 1 段目の入れ子 (列ベース)
 - 左から 1 列目に変更不可エリアを配置
 - 左から 2 列目に行列 (行ベース) を配置
- 2 段目の入れ子 (行ベース)
 - 上から 1 行目に変更不可エリアを配置
 - 上から 2 行目に行列 (列ベース) を配置
- 3 段目の入れ子 (列ベース)
 - 各列に行列 (行ベース) を配置
- 4 段目の入れ子 (行ベース)
 - 各 1 行目に変更不可エリアを配置
 - 各 2 行目に変更可能エリアを配置

7. 標準画面レイアウトを管理する

この構成の概要を次の図に示します。

図 7-13 入れ子が 4 段ある場合の拡張レイアウトの概要



図の構成に対応したポートレット配置情報ファイルの例を次に示します。

(a) HTML の例

図の構成に対応した HTML ファイルの例を次に示します。なお、この HTML ファイルでは、`` タグで表示するポートレットを指定していますが、概要図ではポートレットを表示していません。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="content-type" content="text/html;
  charset=Windows-31J">
</head>
<body>
<table portletpadding="3" controller="layout">
  <tr>
    <td width="50%">
      <table controller="area" modification="false" areaid="A00001"
      areasize="small">
        <tr>
          <td>
            <span id="entry" type="ref" parent="Sample1" />
            <span id="entry" type="ref" parent="Sample2" />
          </td>
        </tr>
      </table>
    </td>
    <td width="50%">
      <table controller="layout">
```

```

<tr>
  <td hight="50%">
    <table controller="area" modification="false" areaid="A00002">
      <tr>
        <td>
          <span id="entry" type="ref" parent="Sample3" />
        </td>
      </tr>
    </table>
  </td>
</tr>
<tr>
  <td hight="50%">
    <table controller="layout">
      <tr>
        <td width="50%">
          <table controller="layout">
            <tr>
              <td hight="50%">
                <table controller="area" modification="false"
areaid="A00003">
                  <tr>
                    <td>
                      <span id="entry" type="ref" parent="Sample4" />
                    </td>
                  </tr>
                </table>
              </td>
            </tr>
            <tr>
              <td hight="50%">
                <table controller="area" modification="true"
areaid="A00004">
                  <tr>
                    <td>
                      </td>
                    </tr>
                </table>
              </td>
            </tr>
          </table>
        </td>
        <td width="50%">
          <table controller="layout">
            <tr>
              <td hight="50%">
                <table controller="area" modification="false"
areaid="A00005">
                  <tr>
                    <td>
                      <span id="entry" type="ref" parent="Sample5" />
                    </td>
                  </tr>
                </table>
              </td>
            </tr>
          </table>
        </td>
      </tr>
    </table>
  </td>

```

7. 標準画面レイアウトを管理する

```
        <td hight="50%">
          <table controller="area" modification="true"
areaaid="A00006">
            <tr>
              <td>
                </td>
              </tr>
            </table>
          </td>
        </tr>
      </table>
    </td>
  </tr>
</table>
</body>
</html>
```

(b) PSML の例

図の構成に対応した PSML ファイルの例を次に示します。なお、この PSML ファイルでは、<entry> タグで表示するポートレットを指定していますが、概要図ではポートレットを表示していません。

```
<?xml version="1.0" encoding="Windows-31J"?>
<portlets>
  <skin>
    <property name="padding" value="3"/>
  </skin>
  <controller
name="jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.ExtenedRowColumnPortletController">
    <parameter name="mode" value="row"/>
    <parameter name="sizes" value="50%,50%"/>
  </controller>

  <portlets>
    <controller name="
jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.AreaRowColumnPortletController">
      <parameter name="modification" value="false"/>
      <parameter name="id" value="A00001"/>
      <parameter name="size" value="small"/>
    </controller>
    <entry type="ref" parent="Sample1"/>
    <entry type="ref" parent="Sample2"/>
  </portlets>

  <portlets>
    <controller
name="jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.ExtenedRowColumn
```

```

nPortletController">
  <parameter name="mode" value="column"/>
  <parameter name="sizes" value="50%,50%"/>
</controller>

  <portlets>
    <controller name="
jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.AreaRowColumnPortletC
ontroller">
      <parameter name="modification" value="false"/>
      <parameter name="id" value="A00002"/>
    </controller>
    <entry type="ref" parent="Sample3"/>
  </portlets>

  <portlets>
    <controller
name="jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.ExtenedRowColum
nPortletController">
      <parameter name="mode" value="row"/>
      <parameter name="sizes" value="50%,50%"/>
    </controller>

    <portlets>
      <controller
name="jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.ExtenedRowColum
nPortletController">
        <parameter name="mode" value="column"/>
      </controller>
      <portlets>
        <controller name="
jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.AreaRowColumnPortletC
ontroller">
          <parameter name="modification" value="false"/>
          <parameter name="id" value="A00003"/>
        </controller>
        <entry type="ref" parent="Sample4"/>
      </portlets>
      <portlets>
        <controller name="
jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.AreaRowColumnPortletC
ontroller">
          <parameter name="modification" value="true"/>
          <parameter name="id" value="A00004"/>
        </controller>
      </portlets>
    </portlets>
  </portlets>
  <portlets>
    <controller
name="jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.ExtenedRowColum
nPortletController">
      <parameter name="mode" value="column"/>
    </controller>
    <portlets>
      <controller name="
jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.AreaRowColumnPortletC
ontroller">
        <parameter name="modification" value="false"/>
        <parameter name="id" value="A00005"/>
      </controller>
    </portlets>
  </portlets>

```

7. 標準画面レイアウトを管理する


```
<entry type="ref" parent="Sample5"/>
</controller>
</portlets>
<portlets>
  <controller name="
jp.co.hitachi.soft.portal.portal.controllers.AreaRowColumnPortletC
ontroller">
    <parameter name="modification" value="true"/>
    <parameter name="id" value="A00006"/>
  </controller>
</portlets>
</portlets>
</portlets>
</portlets>
</portlets>
```

7.5.2 ポートレット配置情報ファイルのインポート・エクスポート

ポートレット配置情報ファイルをインポート・エクスポートします。

(1) ポートレット配置情報ファイルのインポート

「7.5.1 ポートレット配置情報ファイルの作成」で作成したポートレット配置情報ファイルをインポートする手順を次に示します。


1. ツリーメニュー領域から、編集対象のポータル管理グループを選択します。
2. [レイアウト] タブをクリックします。
レイアウト一覧表示画面が表示されます。
3. レイアウト一覧表示画面で、ポートレット配置設定ボタン () をクリックします。
[ポートレット配置設定] 画面が表示されます。
[ポートレット配置設定] 画面の詳細は、「10.4.2 [ポートレット配置設定] 画面」を参照してください。
4. インポートするポートレット配置情報ファイルを指定します。
インポートしたい拡張レイアウト形式のポートレット配置情報ファイルの格納場所を、フルパスで指定します。[参照] ボタンをクリックして、[ファイルの選択] ダイアログで格納場所を指定することもできます。
5. [インポート] ボタンをクリックします。
インポートしたレイアウトの [レイアウト編集画面] が表示されます。

(2) ポートレット配置情報ファイルのエクスポート

ポートレット配置情報ファイルをエクスポートする手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、編集対象のポータル管理グループを選択します。
2. [レイアウト] タブをクリックします。

レイアウト一覧表示画面が表示されます。

- レイアウト一覧表示画面で、ポートレット配置設定ボタン () をクリックします。
[ポートレット配置設定] 画面が表示されます。
[ポートレット配置設定] 画面の詳細は、「10.4.2 [ポートレット配置設定] 画面」を参照してください。
- レイアウト書き出し対象ファイル選択ドロップダウンリストで、エクスポートするポートレット配置情報ファイルの形式を指定します。
- [エクスポート] ボタンをクリックします。
ファイルのエクスポートが開始されます。

7.5.3 ポートレットの配置の設定

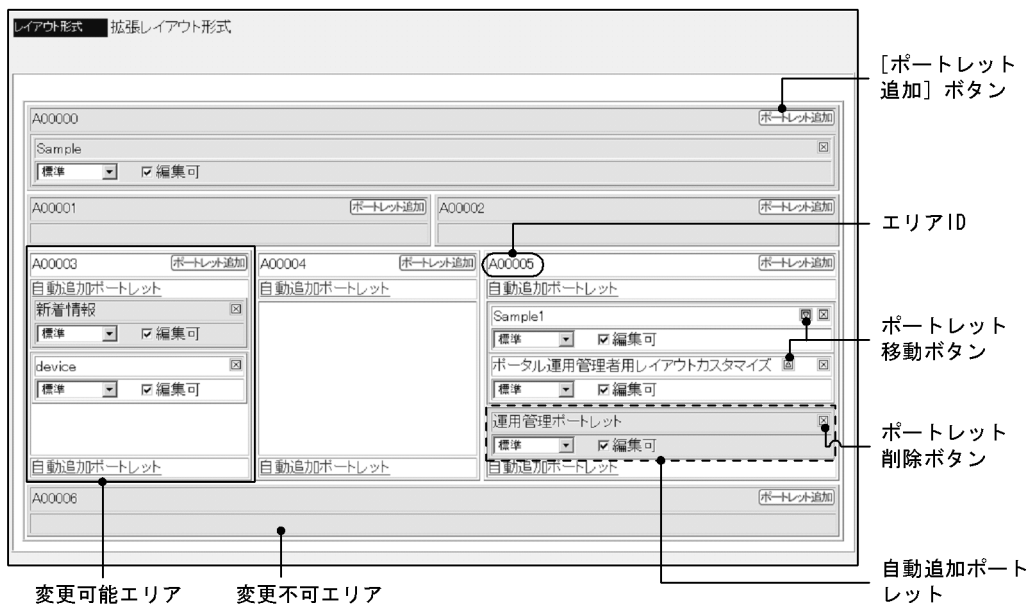
ポータル画面に表示されるポートレットの配置を設定します。[レイアウト編集画面]には、拡張レイアウトと同じ行列形式の組み合わせでエリアが表示されます。そのため、管理者（運用管理者または部門管理者）は、拡張レイアウトと同じ行列形式の組み合わせで表示されるエリア内でポートレットの追加、移動、削除、およびポートレット表示属性を設定できます。ただし、一つの拡張レイアウトで、同じポートレットを複数配置できません。

[レイアウト編集画面]の詳細は、「10.4.8 [レイアウト編集画面](拡張レイアウト)」を参照してください。

ポートレットの配置設定を次の図に示します。

7. 標準画面レイアウトを管理する

図 7-14 ポートレットの配置設定



(1) 表示するポートレットの設定

ポータル画面に表示されるポートレットについて、追加、移動および削除ができます。

(a) ポートレットの追加

[レイアウト編集画面]に表示されるポートレットの設定表示では、指定するポートレットを新規に追加できます。ただし、一つの画面で同じポートレットを複数指定できません。ポートレットの追加は、[ポートレットの選択]画面で設定します。[ポートレットの選択]画面は、[レイアウト編集画面]の[ポートレット追加]ボタンをクリックすると表示されます。

拡張レイアウト形式では、管理者だけが変更不可エリアに追加できるポートレットがあります。このポートレットの配置については、「7.5.3(2) 変更不可エリアでだけ選択できるポートレットの配置」を参照してください。また、[ポートレットの選択]画面でのポートレットの追加方法については、「7.4.6 ポートレットの選択」を参照してください。

(b) ポートレットの移動

二つ以上のポートレットが設定されている場合、ポートレットの上移動ボタン、またはポートレットの下移動ボタンで、表示するポートレットの位置を変更します。

(c) ポートレットの削除

ポートレットの削除ボタンは、表示するポートレットを削除する場合に使用します。ポートレットの削除ボタンをクリックすると、指定したポートレットが削除されます。ただし、ポートレットが画面に一つしかないときは削除できません。

(2) 変更不可エリアでだけ選択できるポートレットの配置

拡張レイアウトの変更不可エリアでだけ選択できるポートレットを設定できます。

このポートレットを使用すると、「2.6.2(2) 変更不可エリアと変更可能エリアに同じポートレットを配置した場合」で説明しているような、エリア間で重複したポートレットを配置するといった問題を回避できます。

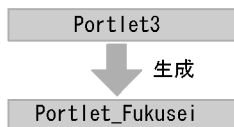
変更不可エリアでだけ選択できるポートレットに設定するには、ポートレットにパラメタを設定する必要があります。

エリア間で重複したポートレットを配置する問題を回避する方法を次に示します。

エリア間で重複したポートレット配置する問題を回避する方法

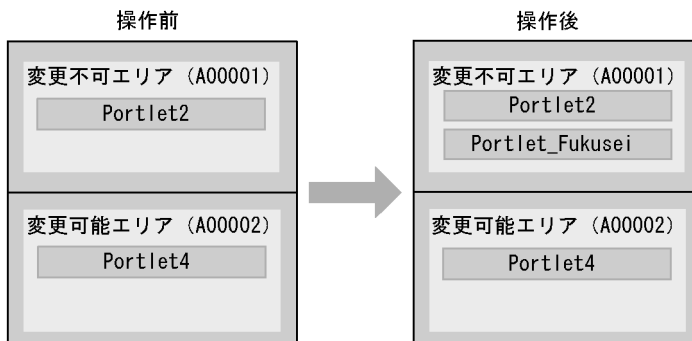
この問題を回避するには、利用者が変更可能エリアに配置したポートレットを複製し、変更不可エリアでだけ選択できる設定をしてからポートレットを変更不可エリアに配置する必要があります。このときの拡張レイアウトの動作について次に説明します。

1. 管理者（運用管理者または部門管理者）は、利用者の変更可能エリア（エリア ID：A00002）に配置されている Portlet3 を複製し Portlet_Fukusei を生成します。



ポートレットの複製手順については、「6.1 ポートレットを生成する」を参照してください。

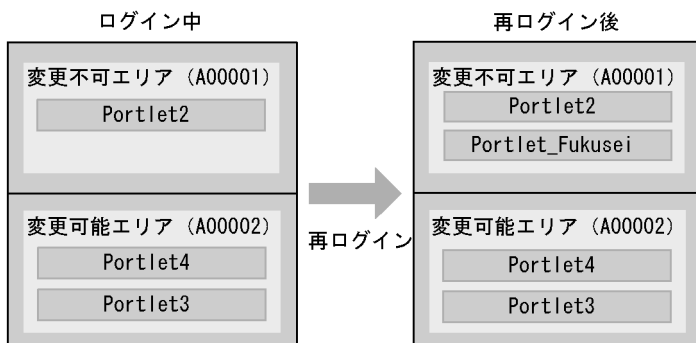
2. Portlet_Fukusei を変更不可エリアでだけ選択できるポートレットに設定します。設定するパラメタについては、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」のポートレット定義ファイルの説明を参照してください。
3. 管理者は、変更不可エリア（エリア ID：A00001）に Portlet_Fukusei を追加します。変更不可エリア（エリア ID：A00001）には、Portlet_Fukusei が追加されます。



4. 利用者は再ログインします。

7. 標準画面レイアウトを管理する

変更不可エリア（エリア ID：A00001）には，管理者が 3. で変更した内容（Portlet_Fukusei が追加された状態）が反映されます。なお，再ログインする前から利用者の変更可能エリア（エリア ID：A00002）に表示されていた Portlet3 は，削除されずに表示されたままとなります。



(3) ポートレット表示属性の設定

管理者は，特定の条件で配置したポートレットに対して，ポートレット表示属性を設定できます。ポートレット表示属性として設定できる項目を次の表に示します。

表 7-1 ポートレット表示属性として設定できる項目

設定項目	内容
編集可否	編集ボタン（または編集メニュー）の表示・非表示を設定します。
タイトルコントロール	ポートレットを表示するときのデザインを決めるタイトルコントロールを設定します。

なお，ポートレット表示属性は，レイアウトごとにポートレット単位で設定できます。ポートレット表示属性を設定できる条件を次の表に示します。

表 7-2 ポートレット表示属性を設定できる条件

レイアウト形式	エリア区分	ポートレット配置者	ポートレット表示属性の設定可否
拡張レイアウト形式	変更可能	管理者	
		利用者	×
		利用者が配置したあと，管理者が配置	
	変更不可	管理者	
拡張レイアウト形式以外	-	-	×

（凡例）

：ポートレット表示属性を設定できます。

×：ポートレット表示属性は設定できません。デフォルト値が適用されます。

- : 該当しません。

レイアウト形式が拡張レイアウト形式で、かつ最後にポートレットを配置したのが管理者の場合だけ、ポートレット表示属性を設定できます。それ以外の場合は、ポートレット表示属性を設定できません。

(4) 編集可否の設定

編集ボタン（または編集メニュー）の表示・非表示を設定します。[レイアウト編集画面]に表示される[編集可]チェックボックスにチェックを入れると編集ボタン（または編集メニュー）が表示されます。ただし、[編集可]チェックボックスが表示されるのは、システム管理者がポートレットの編集を許可する設定にしている場合だけです。

システム管理者の設定、編集可否の設定、および編集ボタン（または編集メニュー）の表示の関係を次の表に示します。

表 7-3 システム管理者の設定、編集可否の設定、および編集ボタン（または編集メニュー）の表示の関係

システム管理者の設定	編集可否の設定	編集ボタン（または編集メニュー）の表示
編集可	編集可	
	編集不可	x
編集不可	編集可	x
	編集不可	x

(凡例)

: 表示します。

x : 表示しません。

システム管理者が、ポートレットの編集を許可する設定にしている場合で、かつ[編集可]チェックボックスにチェックを入れたときにだけポートレットのタイトルバーに編集ボタン（または編集メニュー）が表示されます。

(5) タイトルコントロールの設定

ポートレットを表示するときのデザインを決めるタイトルコントロールを設定します。[レイアウト編集画面]に表示されるドロップダウンリストから選択します。ドロップダウンリストに表示されるポートレットのデザイン名称は、システム管理者が設定します。タイトルコントロールのドロップダウンリストに表示されるポートレットのデザイン名称については、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。

7.5.4 自動追加ポートレットの配置

管理者（運用管理者または部門管理者）が自動追加ポートレットを変更可能エリアに配置したときの、利用者の画面の動作について説明します。管理者が自動追加ポートレ

7. 標準画面レイアウトを管理する

トを変更可能エリアに配置した場合、利用者のログイン状態（ログインしているかどうか）によって自動追加ポートレットが配置される位置が異なります。

ここでは、利用者がログインしている場合、およびログインしていない場合に管理者が自動追加ポートレットを配置したときの、利用者の画面の動作について説明します。なお、自動追加ポートレットは、最上部に追加したと仮定します。

(1) 管理者が自動追加ポートレットを追加した場合

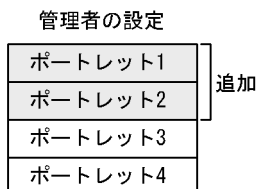
ここでは、管理者が自動追加ポートレット（ポートレット1、ポートレット2、およびポートレット5）を追加した場合について説明します。

(a) 利用者が初めてログインした場合

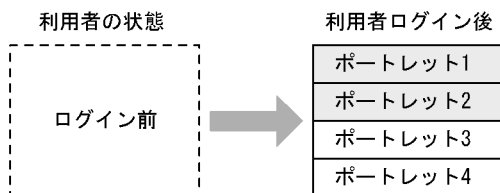
管理者が自動追加ポートレットを追加したあとに、利用者が初めてログインした場合、利用者の画面には、管理者と同じ並びでポートレットが配置されます。

この場合の自動追加ポートレットの動作について次に説明します。

1. 管理者は自動追加ポートレット（ポートレット1およびポートレット2）を追加します。
ポートレット1およびポートレット2は、最上部に追加されます。



2. 利用者は初めてログインします。
管理者と同じ並びでポートレットが配置されます。



(b) 利用者が再ログインした場合

利用者がログインしている状態で、管理者が自動追加ポートレット（ポートレット5）を追加したあとに利用者が再ログインした場合、ポートレット5がいちばん上に配置されます。

この場合の自動追加ポートレットの動作について次に説明します。

1. 管理者は自動追加ポートレット（ポートレット5）を追加します。

ポートレット 5 が追加されます。

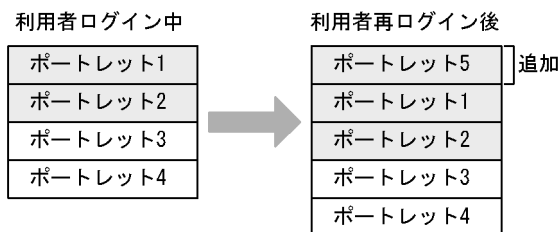
管理者の設定

ポートレット1
ポートレット2
ポートレット5
ポートレット3
ポートレット4

} 追加

2. 利用者は再ログインします。

管理者が追加したポートレット 5 は、いちばん上に配置されます。



なお、ポートレット 1 およびポートレット 2 は、すでに利用者の画面に表示されているためポートレット 5 の下に配置されます。

(2) 利用者が自動追加ポートレットを移動・削除し、管理者がポートレットを追加・削除した場合

ここでは、利用者 A が自動追加ポートレットを移動し、ポートレット 2 を削除（非表示）した状態で、管理者が自動追加ポートレット（ポートレット 6 およびポートレット 7）を追加し、ポートレット 5 を削除した場合について説明します。また、この状態で別の利用者 B が初めてログインした場合について説明します。

(a) 利用者 A が再ログインした場合

利用者 A が再ログインした場合、管理者が追加したポートレット（ポートレット 6 およびポートレット 7）はいちばん上に追加されます。なお、利用者が非表示にしたポートレット 2 は、非表示のままです。また、管理者が削除したポートレット 5 は表示されたままになります。

この場合の自動追加ポートレットの動作について次に説明します。

1. 管理者は、自動追加ポートレット（ポートレット 6 およびポートレット 7）を追加します。

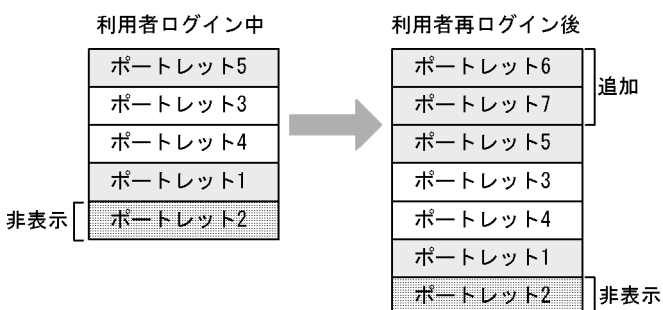
ポートレット 6 およびポートレット 7 が追加されます。

7. 標準画面レイアウトを管理する



2. 利用者は再ログインします。

管理者が追加したポートレット（ポートレット6およびポートレット7）は、いちばん上に配置されます。なお、利用者が非表示にしたポートレット2は、非表示のままです。また、管理者が削除したポートレット5は表示されたままになります。



(b) 別の利用者 B が初めてログインした場合

(a) の状態で別の利用者 B が初めてログインした場合、管理者と同じ並びでポートレットが配置されます。

この場合の自動追加ポートレットの動作について次に説明します。

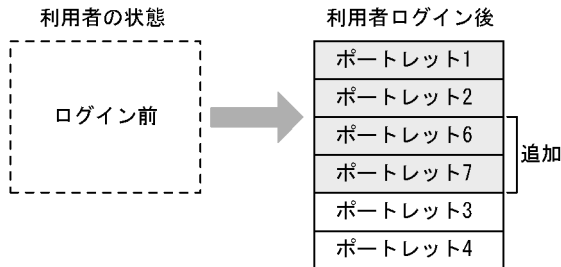
1. 管理者は自動追加ポートレット（ポートレット6およびポートレット7）を追加します。

ポートレット6およびポートレット7が追加されます。



2. 別の利用者 B は初めてログインします。

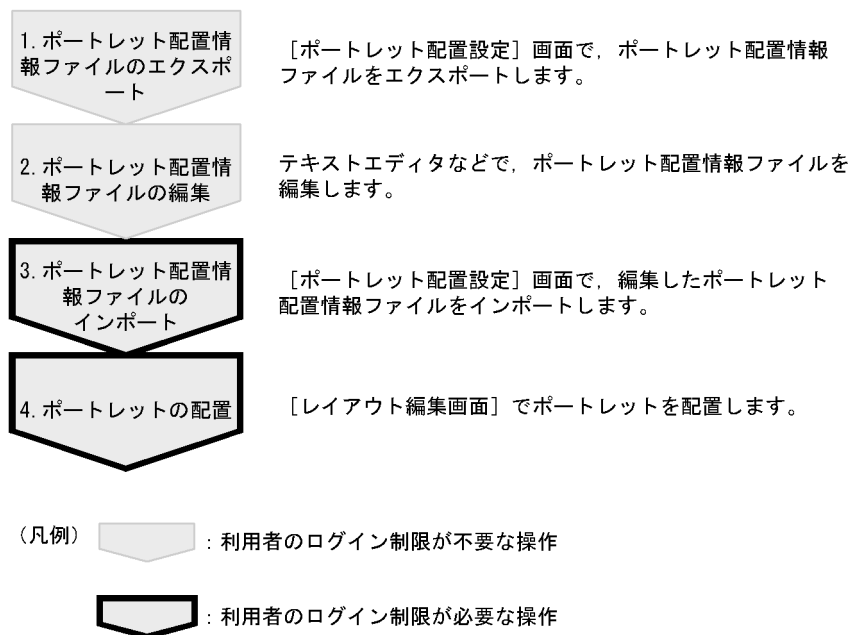
利用者 B は、初めてログインしたため、管理者と同じ並びでポートレットが配置されます。



7.5.5 拡張レイアウトのリニューアル

拡張レイアウトを変更し、その変更を利用者に反映する場合、レイアウトをリニューアルする必要があります。レイアウトのリニューアルとは、ポートレット配置情報ファイルを編集して、その変更を利用者に反映することです。ここではレイアウトのリニューアル手順について説明します。

レイアウトのリニューアル手順を次の図に示します。



各手順の内容を次に示します。なお、3. および 4. の手順については、利用者をログイン制限 する必要があります。

注 Web サーバなどでポータルへのアクセスを遮断します。

7. 標準画面レイアウトを管理する

1. ポートレット配置情報ファイルのエクスポート

運用管理ポートレットの [ポートレット配置設定] 画面でポートレット配置情報ファイルのエクスポートします。このとき、ポートレット配置情報ファイルは、PC 用としてエクスポートされます。ポートレット配置情報ファイルのエクスポートについては、「7.5.2(2) ポートレット配置情報ファイルのエクスポート」を参照してください。

2. ポートレット配置情報ファイルの編集

テキストエディタなどを使用して、ポートレット配置情報ファイルを編集します。ポートレット配置情報ファイルについては、「7.5.1 ポートレット配置情報ファイルの作成」を参照してください。

3. ポートレット配置情報ファイルのインポート

運用管理ポートレットの [ポートレット配置設定] 画面で、2. で編集したポートレット配置情報ファイルをインポートします。このとき、ポートレット配置情報ファイルは、PC 用としてインポートされます。インポートが成功した場合、[レイアウト編集画面] に遷移します。インポートが失敗した場合、画面上にメッセージが表示されます。ポートレット配置情報ファイルのインポートについては、「7.5.2(1) ポートレット配置情報ファイルのインポート」を参照してください。画面上に表示されるメッセージについては、「付録 E PSML ファイルのインポート・エクスポート時に出力されるメッセージ」を参照してください。

4. ポートレットの配置

[レイアウト編集画面] でポートレットを配置します。このとき、[すべての利用者に設定を反映する。] チェックボックスにチェックを入れます。

ポートレットの配置が完了したら、[設定完了] ボタンをクリックします。[設定完了] ボタンをクリックした時点で、ポートレット配置情報ファイルのインポートも完了します。ポートレットの配置については、「7.5.3 ポートレットの配置の設定」を参照してください。

注意事項

[設定完了] ボタンをクリックする前に、Web ブラウザを閉じる操作やキャンセル操作をしないでください。このような操作をした場合、ポートレット配置情報ファイルのインポート自体がキャンセルされてしまいます。

設定した内容は、次にユーザがログインしたタイミングで反映されます。ユーザがカスタマイズしているかどうかに関係なく、管理者が設定した情報を反映します。

7.5.6 拡張レイアウト変更の反映範囲

管理者（運用管理者または部門管理者）が拡張レイアウトを変更しレイアウトをリニューアルしなかった場合（ページリニューアル設定にチェックをいれていない場合）に、変更内容が反映される範囲を次の表に示します。レイアウトのリニューアルについては、「7.5.5 拡張レイアウトのリニューアル」を参照してください。

表 7-4 拡張レイアウトの変更後に反映される変更内容の範囲（ページリニューアル設定にチェックをいれていない場合）

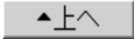

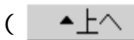

変更内容	反映される変更内容の範囲 ²
変更可能エリアを変更不可エリアに変更	反映されません（変更可能エリアとして動作します）。
変更可能エリアを削除 ¹	反映されません（変更可能エリアとして動作します）。
変更可能エリアを追加 ¹	反映されません。
変更不可エリアを変更可能エリアに変更	反映されません（変更不可エリアとして動作し、エリア内にポートレットを表示しません）。
変更不可エリアを削除 ¹	反映されません（変更不可エリアとして動作し、エリア内にポートレットを表示しません）。
変更不可エリアを追加 ¹	反映されません。
エリア ID を変更	変更前のエリア ID に該当するエリアが一度削除され、変更後のエリア ID に該当するエリアが追加されたものとして動作します。反映状況は、変更可能エリアおよび変更不可エリアの設定に依存します。
レイアウトの変更 （行・列の追加・削除）	反映されません。

注 1 エリア ID を変更した場合は、エリアを一度削除したあとに追加したものとみなされます。

注 2 利用者がログインし直した場合に反映される変更内容の範囲です。また、レイアウトを標準に戻した場合、およびレイアウトを選択し直した場合にすべての情報を反映します。

7.6 標準画面レイアウトの表示順序を変更する

ポータル管理グループに設定されている順を変更して、標準画面レイアウトの合成時の表示位置を変更する手順を次に示します。

1. グループ管理トップ画面のツリーメニュー領域から、編集対象のポータル管理グループを選択します。
2. [レイアウト] タブをクリックします。
レイアウト一覧画面が表示されます。
3. レイアウト一覧画面で、[表示順序設定] ボタンをクリックします。
レイアウト表示順序設定画面が表示されます。
レイアウト表示順序設定画面については、「10.4.5 レイアウト表示順序設定画面」を参照してください。
4. 上へ移動するボタン () または下へ移動するボタン () をクリックして、標準画面レイアウトの順序を変更します。
表示順序を変更したい標準レイアウトのタイトルを選択します。上へ移動するボタン () をクリックすると、順序が一つ上に移動します。これによって、標準画面レイアウトは、一つ左側に表示されることになります。下へ移動するボタン () をクリックすると、順序が一つ下に移動します。これによって、標準画面レイアウトは一つ右側に表示されることになります。

注意事項

すでにポータル利用者の画面に表示されているレイアウトの表示順は変更できません。

7.7 標準画面レイアウトをエクスポート・インポートする

ここでは、レイアウトリソースファイルをエクスポート・インポートする手順について説明します。

7.7.1 標準画面レイアウトのエクスポート

運用管理ポートレットでエクスポートできるのは、次の条件を満たす標準画面レイアウトだけです。

- 操作対象のポータル管理グループで作成されている
- ポートレット配置情報を設定している
- 管理権限がある

レイアウトリソースファイルのエクスポート手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、ポートレットをエクスポートするポータル管理グループを選択します。
2. [インポート・エクスポート] タブをクリックします。
[インポート・エクスポート] タブ画面が表示されます。
3. [レイアウトのエクスポート] アンカーをクリックします。
レイアウトエクスポート画面が表示されます。
レイアウトエクスポート画面については、「10.5.2 レイアウトエクスポート画面」を参照してください。
4. エクスポート対象レイアウト選択ドロップダウンリストで、エクスポートする標準画面レイアウトを選択します。
5. [エクスポート] ボタンをクリックします。
選択したレイアウトリソースファイルのエクスポートを開始します。
ダイアログで、エクスポート先とファイル名を指定します。デフォルトのファイル名は「layoutData.xml」です。

エクスポートしたレイアウトリソースファイルには、次の情報が出力されます。

- レイアウト ID
- レイアウトタイトル
- 親レイアウト名称
- レイアウト説明文
- レイアウトパラメタ
- 日本語以外のレイアウトタイトル
- psml データ

エクスポートしたレイアウトリソースファイルを、別の環境へインポートすると、運用

7. 標準画面レイアウトを管理する

管理ポートレットで生成した標準画面レイアウトとして扱われます。

7.7.2 標準画面レイアウトのインポート

レイアウトリソースファイルのインポート手順を次に示します。


1. ツリーメニュー領域から、標準画面レイアウトをインポートするポータル管理グループを選択します。
2. [インポート・エクスポート] タブをクリックします。
[インポート・エクスポート] タブ画面が表示されます。
3. [レイアウトのインポート] アンカーをクリックします。
レイアウトインポート画面が表示されます。
レイアウトインポート画面については、「10.5.1 レイアウトインポート画面」を参照してください。
4. インポートするファイルを指定します。
5. [インポート] ボタンをクリックします。
レイアウトリソースファイルのインポートを開始します。インポートが完了すると、メッセージが表示されます。

標準画面レイアウトのインポートに失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。インポートに失敗する原因として、レイアウトリソースファイルに次の問題があることが考えられます。

- リソースファイルのフォーマットが正しくない。
- リソースファイルで必須の項目が設定されていない。
- ファイルの容量が 2MB 以上である。
- resource 要素の type 属性に layout 以外の文字列が指定されている。

7.8 標準画面レイアウトを削除する

作成した標準画面レイアウトを削除する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、削除したい標準画面レイアウトを生成したポータル管理グループを選択します。
2. [レイアウト] タブをクリックします。
レイアウト一覧表示画面が表示されます。
レイアウト一覧画面の詳細は、「10.4.1 レイアウト一覧表示画面」を参照してください。
3. [管理・利用するレイアウト] 一覧領域の、削除したい標準画面レイアウトの削除ボタン() をクリックします。
削除してよいかどうかを確認するダイアログが表示されます。
4. [OK] ボタンをクリックします。
削除処理を開始します。削除が完了すると、レイアウト一覧画面に戻ります。

8

ユーザを管理する

この章では、ユーザ情報と組織情報を管理するための運用管理ポートレットの操作方法について説明します。なお、操作説明は、ユーザ管理トップ画面が表示されていることを前提としています。

8.1 組織を新規作成する

8.2 組織情報を変更する

8.3 組織を削除する

8.4 ユーザを新規作成する

8.5 ユーザ情報を変更する

8.6 ユーザを削除する

8.1 組織を新規作成する

組織を登録する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から,[ユーザ管理],[ルート組織], または組織名を選択して, 共通メニュー領域の [新規作成] をクリックします。

ツリーメニュー領域から選択する項目によって, 新規作成先が変わります。次のどちらかを選択してください。

- ツリーメニュー領域の [ユーザ管理] または [ルート組織] を選択する
[ユーザ管理] 下に組織を作成します。
- ツリーメニュー領域の組織名を選択する
選択した組織の下に組織を作成します。

[新規作成] をクリックすると, [新規組織作成] 画面が表示されます。[新規組織作成] 画面については, 「10.6.4 [新規組織作成] 画面」を参照してください。

2. 組織 ID および組織名を設定します。

3. [OK] ボタンをクリックします。

作成が完了すると, 作成した組織の [全般] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。

8.2 組織情報を変更する

作成した組織の設定内容を変更する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から編集したい組織名を選択して、[組織] タブをクリックします。
対象となる組織の [組織] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
[組織] タブ (組織情報設定画面) については、「10.6.3(2) [組織] タブ (組織情報設定画面)」を参照してください。
2. 設定内容を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。
組織情報が変更されて、[全般] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。

8.3 組織を削除する

組織を削除する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から削除する組織名を選択して、共通メニュー領域の [削除] をクリックします。
削除してよいかどうかを確認するダイアログが表示されます。
2. [OK] をクリックします。
削除処理をします。削除が完了すると、ユーザ管理トップ画面を表示します。
削除した組織に所属していたユーザは、どの組織にも存在しない状態になります。このユーザの情報を変更したいときは、[ルート組織] から選択します。

8.4 ユーザを新規作成する

ここでは、ユーザを新規作成する手順を説明します。ユーザに次の項目を設定します。

- ユーザ ID
- ユーザ名
- パスワード
- 役職
- 所属組織
- ユーザ定義項目

注 システムの設定によって表示される項目です。

ユーザを登録する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、ユーザを作成する組織名を選択します。
[全般] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
2. [ユーザ] タブをクリックします。
[ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
3. [新規ユーザ作成] ボタンをクリックします。
[新規ユーザ作成] 画面が表示されます。
[新規ユーザ作成] 画面については、「10.6.5 [新規ユーザ作成] 画面」を参照してください。
4. 必要に応じて、所属組織を設定します。
[所属組織設定] ボタンをクリックすると、[所属組織設定] 画面が表示されます。
[所属組織設定] 画面については、「10.6.6 [所属組織設定] 画面」を参照してください。

設定する組織を追加したい場合

[全組織] ツリーから設定したい組織名を選択して、[追加] ボタンをクリックします。選択した組織が [所属組織] 一覧領域に追加されます。

設定されている組織を削除したい場合

[所属組織] 一覧領域で、削除したい所属組織の [選択] チェックボックスにチェックを入れて [削除] ボタンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックすると、変更が反映され、新規ユーザ作成画面に戻ります。

[所属組織] には、変更後の内容が表示されます。

5. ユーザ ID、ユーザ名およびパスワードを設定します。
6. 必要に応じて役職を設定します。
[役職設定] ボタンをクリックします。
[役職設定] 画面が表示されます。役職設定画面については、「10.6.7 [役職設定] 画面」を参照してください。

既存の役職を設定する場合

8. ユーザを管理する

設定する役職の選択チェックボックスをチェックします。

新規の役職を登録して設定する場合

新規役職追加テキストボックスに、登録したい役職名を入力します。[追加] ボタンをクリックすると、役職一覧領域に追加されます。このとき、システムの設定によっては、役職の選択チェックボックスをチェックした状態で追加されま
す。

[OK] ボタンをクリックすると、変更が反映され、[新規ユーザ作成] 画面に戻ります。
[役職] には、変更後の内容が表示されます。

7. 必要に応じて、ユーザ定義項目を設定します。

[設定] ボタンがある場合、[設定] ボタンをクリックして [ユーザ定義項目設定] 画面を表示します。

[ユーザ定義項目設定] 画面については、「10.6.8 [ユーザ定義項目設定] 画面」を参照してください。

[設定] ボタンがない場合、テキストボックスに値を入力して、[追加] ボタンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックすると、変更が反映され、[新規ユーザ作成] 画面に戻ります。
ユーザ定義項目テキストボックスには、変更後の内容が表示されます。

8. [OK] ボタンをクリックします。

ユーザが登録されます。登録が完了すると、[ユーザ] タブ（組織情報設定画面）が表示されます。

8.5 ユーザ情報を変更する

次の項目を変更できます。

- 所属組織
- ユーザ名
- パスワード
- 役職
- ユーザ定義項目

注 システムの設定によって表示される項目です。

8.5.1 所属組織を変更する

ユーザの所属組織情報を変更する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、変更するユーザが所属する組織を選択します。
2. [ユーザ] タブをクリックします。
[ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
3. 所属組織を変更するユーザのユーザ ID をクリックします。
[ユーザ情報変更] 画面が表示されます。
[ユーザ情報変更] 画面については、「10.6.9 [ユーザ情報変更] 画面」を参照してください。
4. [所属組織設定] ボタンをクリックします。
[所属組織設定] 画面が表示されます。
[所属組織設定] 画面については、「10.6.6 [所属組織設定] 画面」を参照してください。
5. 所属組織情報を変更します。
設定内容、および設定方法の詳細は、「8.4 ユーザを新規作成する」の手順 4. を参照してください。
6. [OK] ボタンをクリックします。
[ユーザ情報変更] 画面に戻ります。[所属組織] には変更後の内容が表示されます。
7. [OK] ボタンをクリックします。
所属組織が変更されます。変更が完了すると、変更したユーザが所属する [ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。

8.5.2 ユーザ名を変更する

ユーザ名を変更する手順を次に示します。

1. ツリーメニューから、変更するユーザが所属する組織を選択します。

8. ユーザを管理する

2. [ユーザ] タブをクリックします。
[ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
3. ユーザ名を変更するユーザのユーザ ID をクリックします。
[ユーザ情報変更] 画面が表示されます。
[ユーザ情報変更] 画面については、「10.6.9 [ユーザ情報変更] 画面」を参照してください。
4. ユーザ名を変更します。
設定内容、および設定方法の詳細は、「8.4 ユーザを新規作成する」の手順 5. を参照してください。
5. [OK] ボタンをクリックします。
ユーザ名が変更されます。変更が完了すると、変更したユーザが所属する [ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。

8.5.3 パスワードを変更する

パスワードを変更する手順を次に示します。

1. ツリーメニューから、変更するユーザが所属する組織を選択します。
2. [ユーザ] タブをクリックします。
[ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
3. パスワードを変更するユーザのユーザ ID をクリックします。
[ユーザ情報変更] 画面が表示されます。
[ユーザ情報変更] 画面については、「10.6.9 [ユーザ情報変更] 画面」を参照してください。
4. [パスワード変更] ボタンをクリックします。
[パスワード変更] 画面が表示されます。
[パスワード変更] 画面については、「10.6.10 [パスワード変更] 画面」を参照してください。
5. パスワードを変更します。
設定内容、および設定方法の詳細は、「8.4 ユーザを新規作成する」の手順 5. を参照してください。
6. [OK] ボタンをクリックします。
ユーザ情報変更画面に戻ります。
7. [OK] ボタンをクリックします。
パスワードが変更されます。変更が完了すると、変更したユーザが所属する [ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。

8.5.4 役職を変更する

ユーザの役職を変更する手順を次に示します。

1. ツリーメニューから、変更するユーザが所属する組織を選択します。
2. [ユーザ] タブをクリックします。
[ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
3. 対象となるユーザのユーザ ID をクリックします。
[ユーザ情報変更] 画面が表示されます。
[ユーザ情報変更] 画面については、「10.6.9 [ユーザ情報変更] 画面」を参照してください。
4. [役職設定] ボタンをクリックします。
[役職設定] 画面が表示されます。
[役職設定] 画面については、「10.6.7 [役職設定] 画面」を参照してください。
5. 役職設定を変更します。
設定内容、および設定方法の詳細は、「8.4 ユーザを新規作成する」の手順 6. を参照してください。
6. [OK] ボタンをクリックします。
ユーザ情報変更画面に戻ります。[役職] には変更後の内容が表示されます。
7. [OK] ボタンをクリックします。
役職情報が変更されます。変更が完了すると、変更したユーザが所属する [ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。

8.5.5 ユーザ定義項目を変更する

ユーザ定義項目を変更する手順を次に示します。

1. ツリーメニューから、変更するユーザが所属する組織を選択します。
2. [ユーザ] タブをクリックします。
[ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
3. 対象となるユーザのユーザ ID をクリックします。
[ユーザ情報変更] 画面が表示されます。
[ユーザ情報変更] 画面については、「10.6.9 [ユーザ情報変更] 画面」を参照してください。
4. [設定] ボタンをクリックします。
[ユーザ定義項目設定] 画面が表示されます。
[ユーザ定義項目設定] 画面については、「10.6.8 [ユーザ定義項目設定] 画面」を参照してください。
5. 設定を変更します。
設定内容、および設定方法の詳細は、「8.4 ユーザを新規作成する」の手順 7. を参照

8. ユーザを管理する

してください。

6. [OK] ボタンをクリックします。
[ユーザ情報変更] 画面に戻ります。ユーザ定義項目テキストボックスには変更後の内容が表示されます。
7. [OK] ボタンをクリックします。
ユーザ定義項目が変更されます。変更が完了すると、変更したユーザが所属する [ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。

8.6 ユーザを削除する

ユーザを削除する手順を次に示します。

1. ツリーメニューから、削除するユーザが所属している組織を選択します。
2. [ユーザ] タブをクリックします。
3. 削除するユーザを選択して、[ユーザ削除] ボタンをクリックします。
削除するユーザの [選択] チェックボックスをチェックして選択します。[ユーザ削除] ボタンをクリックすると、ユーザを削除してよいか確認する画面が表示されます。
4. [OK] ボタンをクリックします。
削除が完了すると、[ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。

9

ポータル運用管理例

この章では、ポータルの運用管理の方法を具体的な例を基に説明します。

9.1 ポータル運用前の設定例

9.2 Web コンテンツポートレットの作成例

9.3 組織およびユーザの変更例

9.1 ポータル運用前の設定例

ここでは、ポータルの運用を開始する前に必要な運用管理の設定の流れを、具体的な例に沿って一とおり説明します。

9.1.1 ポータル運用前の設定例の概要

設定例の内容および操作の流れを説明します。

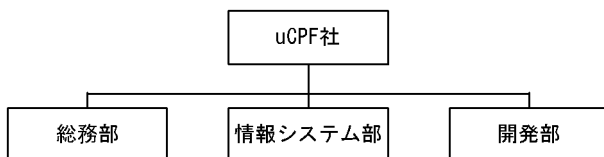
(1) 設定例の内容

uCPF 社で構築したポータルを運用する前に、運用管理者が運用管理の設定をします。

(a) uCPF 社の組織構成

uCPF 社の組織構成を次の図に示します。

図 9-1 uCPF 社の組織構成



(b) 設定するポータル管理グループ

uCPF 社では、次の表に示すようにポータル管理グループを設定して運用します。

表 9-1 設定するポータル管理グループ

項番	ポータル管理グループタイトル	説明	管理者	利用者
1	全社	uCPF 社全体のポータル管理グループです。	情報システム部の「日立二郎」	uCPF 社に所属するユーザ
2	総務部	総務部用のポータル管理グループです。	総務部の「日立花子」	総務部に所属するユーザ
3	情報システム部	情報システム部用のポータル管理グループです。	情報システム部の「日立三郎」	情報システム部に所属するユーザ
4	開発部	開発部用のポータル管理グループです。	開発部の「日立友子」	開発部に所属するユーザ
5	部長	uCPF 社の全部長用のポータル管理グループです。	総務部の「日立四郎」	役職が「部長」のユーザ

項番	ポータル管理グループタイトル	説明	管理者	利用者
6	テスト	実際にポータルを運用する前に、ポートレットおよび標準画面レイアウトを作成して、設定に問題がないかをテストするためのポータル管理グループです。	各ポータル管理グループの管理者であるユーザ	

(c) 設定するポートレットグループ

この設定例では、次の表に示すポートレットグループを設定します。

表 9-2 設定するポートレットグループ

項番	ポートレットグループタイトル	内容
1	お知らせ	社員への連絡事項を表示するポートレットのグループです。
2	インターネット	社外サイトへのリンク集ポートレットのグループです。
3	部長用	uCPF 社の部長だけが使用するポートレットのグループです。
4	勤怠管理	勤怠管理に関連するポートレットのグループです。
5	テスト用	運用管理者および部門管理者が作成した、実際に運用する前のポートレットのグループです。

(d) 設定するポートレット

この設定例では、次の表に示すポートレットを設定します。

表 9-3 設定するポートレット

項番	ポートレットタイトル	説明	所属するポータル管理グループ	所属するポートレットグループ
1	重要なお知らせ	社内の各部から展開された重要なお知らせが表示されるポートレットです。ポートレットの種類は Web Page ポートレットです。	全ポータル管理グループ	お知らせ
2	更新情報	社内サイトの更新情報が表示されるポートレットです。ポートレットの種類は Web コンテンツポートレットです。		
3	総務部のお知らせ	各部内だけのお知らせが表示されるポートレットです。ポートレットの種類は Web Page ポートレットです。	総務部	
4	情報システム部のお知らせ		情報システム部	
5	開発部のお知らせ		開発部	

9. ポータルの運用管理例

項番	ポートレットタイトル	説明	所属するポータル管理グループ	所属するポートレットグループ
6	情報検索	社外のサーチエンジンで情報を検索できるポートレットです。ポートレットの種類は Web App ポートレットです。	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 情報システム部 開発部 	インターネット
7	リンク集	便利な社外サイトへのリンクを集めたポートレットです。ポートレットの種類は日立 API ポートレットです。		
8	顧客情報	社内の顧客情報を参照するためのポートレットです。このポートレットは、利用できるユーザをフォーム認証で制限しています。ポートレットの種類は Multi Web ポートレットです。	部長	部長用
9	勤怠管理システム	勤怠管理のためのポートレットです。ポートレットの種類は標準 API ポートレットです。	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 情報システム部 開発部 	勤怠管理
10	旅費精算システム	旅費精算のためのポートレットです。ポートレットの種類は標準 API ポートレットです。		

注 このポートレットの作成方法については、「9.2 Web コンテンツポートレットの作成例」を参照してください。

この設定例では、項番 1 ~ 6、および 8 のポートレットは、運用管理者の日立太郎さんが作成します。一方、項番 7、9 および 10 のポートレットは、ポートレット開発者が作成して、システム管理者が Portal Manager であらかじめポータルサーバに登録してあるものとしします。

(e) 設定する標準画面レイアウト

この設定例では、次の表に示す標準画面レイアウトを設定します。なお、これらはすべて拡張レイアウト形式の標準画面レイアウトとします。

表 9-4 設定する標準画面レイアウト

項番	レイアウトタイトル	説明	所属するポータル管理グループ	設定するポートレット
1	全社員	全社員に共通の標準画面レイアウトです。	全ポータル管理グループ	<ul style="list-style-type: none"> 重要なお知らせ 更新情報 勤怠管理システム 旅費精算システム

項番	レイアウトタイトル	説明	所属するポータル管理グループ	設定するポートレット
2	総務部	各部に所属するユーザ用の標準画面レイアウトです。	総務部	<ul style="list-style-type: none"> 総務部のお知らせ 情報検索 リンク集
3	情報システム部		情報システム部	<ul style="list-style-type: none"> 情報システム部のお知らせ 情報検索 リンク集
4	開発部		開発部	<ul style="list-style-type: none"> 開発部のお知らせ 情報検索 リンク集
5	部長用	部長用の標準画面レイアウトです。	部長	顧客情報

(2) 設定例の操作の流れ

現在、uCPF 社では、システム管理者がポータルを構築し、システム管理者だけが登録できるポートレットをポータルサーバに登録し終わった状態とします。

これから、情報システム部に所属する日立太郎さんが、運用管理者として次の手順で運用管理の設定をします。

1. ポートレットグループの設定
ポートレットの目的ごとに、ポートレットグループを作成します。そのあと、ポートレットグループにポートレットを登録します。
2. ポータル管理グループの設定
ポータル管理グループを作成して、管理者（部門管理者）と利用者を設定します。
3. ポートレットの作成
テスト用のポータル管理グループでポートレットを作成して、テスト用のポートレットグループに登録します。
4. 標準画面レイアウトの作成
テスト用のポータル管理グループで標準画面レイアウトを作成します。
5. 運用管理設定のテスト
テスト用のポータル管理グループで、ポートレットおよび標準画面レイアウトに問題がないかを確認します。問題がなければ、エクスポートします。
6. ポートレットの設定
手順 5. でエクスポートしたポートレットを、目的のポータル管理グループにインポートします。また、インポート時にポートレットグループにも設定します。
7. 標準画面レイアウトの設定
手順 5. でエクスポートした標準画面レイアウトを、目的のポータル管理グループにインポートします。

9.1.2 ポータル運用前の設定例の操作手順

「9.1.1 ポータル運用前の設定例の概要」で説明した設定例を基に、具体的な操作手順を説明します。

(1) ポートレットグループの設定

「9.1.1(1)(c) 設定するポートレットグループ」に示したポートレットグループのうち、「勤怠管理」ポートレットグループを例に挙げて、ポートレットグループの設定手順を説明します。

1. 運用管理ポートレットのツリーメニュー領域で [ポートレットグループ管理] をクリックします。
ポートレットグループ管理トップ画面が表示されます。
2. 共通メニュー領域の [新規作成] をクリックします。
ポートレットグループ新規作成画面が表示されます。
3. 作成するポートレットグループの情報を指定します。
「勤怠管理」ポートレットグループの場合の指定例を次の図に示します。

図 9-2 「勤怠管理」ポートレットグループの場合の指定例

The screenshot shows a dialog box titled "ポートレットグループの新規作成" (New Portlet Group Creation). It contains the following fields and values:

- 上位ポートレットグループ: (Blank)
- ポートレットグループタイトル (全角80文字まで) *: 勤怠管理
- ポートレットグループ英語タイトル (半角80文字まで): Working Management
- ポートレットグループ説明文 (全角128文字まで): 勤怠管理に関連するポートレットのグループです。

At the bottom right, there are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons. A note at the bottom left states: "*は必須項目です。" (Asterisk indicates required items).

4. [OK] ボタンをクリックします。
作成したポートレットグループの、ポートレットグループ設定画面が表示されます。
また、ツリーメニュー領域に、作成したポートレットグループが追加されます。
ここまでの手順で、ポートレットグループを新規に作成できました。以降の手順で、ポートレットグループにポートレットを登録します。
5. [ポートレット] タブをクリックします。
[ポートレット] タブが表示されます。
6. [すべてのポートレット] ツリー領域で登録したいポートレットを選択します。
例えば、「勤怠管理」ポートレットグループの場合は、[すべてのポートレット] 下の「勤怠管理システム」および「旅費精算システム」ポートレットを選択するものとし

ます。

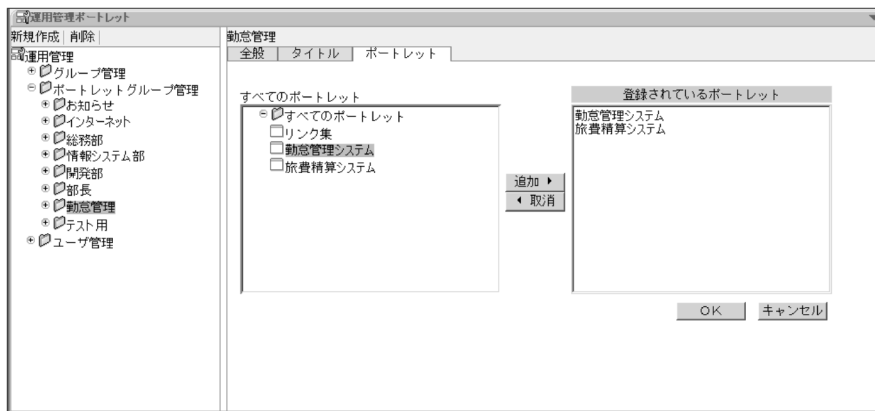
なお、この設定例では、まだ運用管理者がポートレットを作成していません。このため、この時点でポートレットグループに登録できるのはシステム管理者によってポータルサーバに登録されているポートレットだけです。

7. [追加 ▶] ボタンをクリックします。

[登録されているポートレット] 一覧領域に「勤怠管理システム」および「旅費精算システム」ポートレットが追加されます。

ポートレットが追加された状態の例を次の図に示します。

図 9-3 ポートレットが追加された状態の例



8. [OK] ボタンをクリックします。

ポートレットグループにポートレットが登録されて、[全般] タブに戻ります。[全般] タブの[このグループに属するポートレット] 一覧領域に、登録されたポートレットが一覧表示されます。

これで、ポートレットグループの設定は完了です。

(2) ポータル管理グループの設定

「9.1.1(1)(b) 設定するポータル管理グループ」に示したポータル管理グループを例に挙げて、ポートレットグループの設定手順を説明します。

- 運用管理ポートレットのツリーメニュー領域で [グループ管理] をクリックします。グループ管理トップ画面が表示されます。
- 共通メニュー領域の [新規作成] をクリックします。ポータル管理グループ新規作成画面が表示されます。
- 作成するポータル管理グループの情報を指定します。「開発部」ポータル管理グループの場合の指定例を次の図に示します。

図 9-4 「開発部」ポータル管理グループの場合の指定例



4. [OK] ボタンをクリックします。
作成したポータル管理グループの、ポータル管理グループ設定画面が表示されます。また、ツリーメニュー領域に、作成したポータル管理グループが追加されます。ここまでの手順で、ポータル管理グループを新規に作成できました。以降の手順では、ポータル管理グループの部門管理者および利用者を設定します。
5. [管理者] タブをクリックします。
[管理者] タブが表示されます。
6. [ユーザ ID] テキストボックスに管理者を指定します。
ポータル管理グループの部門管理者のユーザ ID を指定します。
例えば、「開発部」ポータル管理グループの場合は、日立友子さんのユーザ ID を指定します。
7. [追加] ボタンをクリックします。
[管理者条件] 一覧領域に、部門管理者の条件が追加されます。
8. [OK] ボタンをクリックします。
部門管理者の条件が設定されて、[全般] タブに戻ります。[全般] タブの [管理者の条件] に、設定された部門管理者の条件が表示されます。
これで、部門管理者の設定は完了です。次に、利用者を設定します。
9. [利用者] タブをクリックします。
[利用者] タブが表示されます。
10. 利用者の条件を指定します。
ポータル管理グループの利用者を指定します。
各ポータル管理グループによって、次のように指定します。
 - 「全社」の場合
[組織] テキストボックスに、[ルート組織] の直下にある組織の組織 ID を指定します。
 - 「総務部」、「情報システム部」および「開発部」の場合
[組織] テキストボックスに、各組織の組織 ID を指定します。

- 「部長」の場合
[役職] テキストボックスに、「部長」を指定します。
- 「テスト」の場合
[ユーザ ID] テキストボックスに、「テスト」ポータル管理グループの管理者と同じユーザ ID を指定します。

11.[追加] ボタンをクリックします。

[利用者条件] 一覧領域に、利用者の条件が追加されます。

12.[OK] ボタンをクリックします。

利用者の条件が設定されて、[全般] タブに戻ります。[全般] タブの【利用者の条件】に、設定された利用者の条件が表示されます。

これで、利用者の設定は完了です。また、ポータル管理グループの設定も一とおり完了です。

(3) ポートレットの作成

「9.1.1(1)(d) 設定するポートレット」に示したポートレットを例に挙げて、ポートレットの作成手順を説明します。

なお、この設定例を実行する前に、Web App ポートレットと Multi Web ポートレットの作成元となるポートレットを作成してポータルサーバに登録しておくように、システム管理者に依頼してください。

1. 運用管理ポートレットのツリーメニュー領域で [グループ管理] 下の [テスト] をクリックします。
「テスト」ポータル管理グループの、ポータル管理グループ設定画面の [全般] タブが表示されます。
2. [ポートレット] タブをクリックします。
ポートレット一覧表示画面（ポータル管理グループ画面の [ポートレット] タブ）が表示されます。
3. [すべてのポートレット] 一覧領域で、ポートレットを選択します。
作成元となるサンプルのポートレットを選択します。
この例では、「Sample」（製品が提供している Web Page ポートレットのサンプル）、「ParsedHTML」（製品が提供している Web コンテンツポートレットのサンプル）、およびシステム管理者がポータルサーバに登録した Web App ポートレットと Multi Web ポートレットを選択します。
また、あとで実施する運用管理設定のテストに備えて、システム管理者によってポータルサーバに登録されているポートレットも、この時点で「テスト」ポータル管理グループに登録しておいてください。
4. [利用 ▶] ボタンをクリックします。
[管理・利用するポートレット] 一覧領域に、作成元となるサンプルのポートレットが追加されます。
5. [管理] チェックボックスにチェックを入れます。

9. ポータルの運用管理例

6. [OK] ボタンをクリックします。
作成元となるサンプルのポートレットが追加されて、[全般] タブに戻ります。
7. [ポートレット] タブをクリックします。
ポートレット一覧表示画面が表示されます。
8. [新規ポートレット作成] ボタンをクリックします。
[新規ポートレット作成] 画面が表示されます。
9. 作成元ポートレット一覧領域で、作成元となるサンプルのポートレットのアンカーをクリックします。
ポートレットの属性を設定する画面が表示されます。
10. 作成するポートレットの属性を設定します。
例えば、「重要なお知らせ」ポートレット (Web Page ポートレット) の場合の指定例を次の図に示します。

図 9-5 「重要なお知らせ」ポートレット (Web Page ポートレット) の場合の指定例

11. [完了] ボタンをクリックします。
ポートレットが新規に作成されて、ポータル一覧表示画面に戻ります。作成されたポートレットが、[管理・利用するポートレット] 一覧領域に追加されます。
ここまでの手順で、ポートレットを新規に作成できました。
以降の手順では、作成したポートレットをテスト用のポートレットグループに登録します。
12. ツリーメニュー領域で [ポートレットグループ管理] 下の [テスト用] をクリックします。
ポートレットグループ設定画面の [全般] タブが表示されます。
13. [ポートレット] タブをクリックします。
[ポートレット] タブが表示されます。
14. [すべてのポートレット] ツリー領域で、作成したポートレットを選択します。
15. [追加] ボタンをクリックします。
[登録されているポートレット] 一覧領域にポートレットが追加されます。

16.[OK] ボタンをクリックします。

ポートレットグループにポートレットが登録されて,[全般]タブに戻ります。[全般]タブの[このグループに属するポートレット]一覧領域に,登録されたポートレットが一覧表示されます。

これで,ポートレットの作成は完了です。

(4) 標準画面レイアウトの作成

「9.1.1(1)(e) 設定する標準画面レイアウト」に示した標準画面レイアウトのうち,「全社員」標準画面レイアウトを例に挙げて,標準画面レイアウトの作成手順を説明します。なお,この設定例での標準画面レイアウトはすべて拡張レイアウト形式のものとします。

1. ポートレット配置情報ファイルを作成します。

テキストエディタなどで,ポートレット配置情報ファイルを作成します。ポートレット配置情報ファイルの作成方法の詳細は,「7.5.1 ポートレット配置情報ファイルの作成」を参照してください。

2. 運用管理ポートレットのツリーメニュー領域で[グループ管理]下の[テスト]をクリックします。

「テスト」ポータル管理グループの,ポータル管理グループ設定画面の[全般]タブが表示されます。

3. [レイアウト]タブをクリックします。

レイアウト一覧表示画面(ポータル管理グループ設定画面の[レイアウト]タブ)が表示されます。

4. [新規レイアウト作成]ボタンをクリックします。

[レイアウト新規作成]画面が表示されます。

5. 作成する標準画面レイアウトの属性を設定します。

例えば,「全社員」標準画面レイアウトの場合の指定例を次の図に示します。

図 9-6 「全社員」標準画面レイアウトの場合の指定例

6. [OK] ボタンをクリックします。

9. ポータルの運用管理例

標準画面レイアウトが作成されて、レイアウト一覧表示画面に戻ります。作成された標準画面レイアウトは、[現在のレイアウト]一覧領域のいちばん下に追加されます。


7. 作成した標準画面レイアウトの、ポートレット配置設定ボタン()をクリックします。
[ポートレット配置設定]画面が表示されます。
8. インポートするポートレット配置情報ファイルを指定します。
手順 1. で作成したポートレット配置情報ファイルのフルパスを、ポートレット配置情報ファイル指定テキストボックスに指定します。
9. [インポート]ボタンをクリックします。
ポートレット配置情報ファイルがインポートされて、[レイアウト編集画面](拡張レイアウト)が表示されます。
10. ポートレットを配置したいエリアの[ポートレット追加]ボタンをクリックします。
ポートレット選択画面が表示されます。
11. 配置したいポートレットのチェックボックスにチェックを入れます。
12. [追加]ボタンをクリックします。
ポートレットが追加されて、[レイアウト編集画面](拡張レイアウト)に戻ります。
手順 10. ~ 12. を繰り返して、標準画面レイアウトに設定したいポートレットをすべて配置してください。
例えば、「全社員」標準画面レイアウトの場合、変更不可エリアに「重要なお知らせ」および「更新情報」ポートレット、変更可能エリアに「勤怠管理システム」、および「旅費精算システム」ポートレットを配置します。
配置した例を次の図に示します。

図 9-7 「全社員」標準画面レイアウトにポートレットを配置した例



13.[設定完了] ボタンをクリックします。

設定した内容が反映されます。

14.[終了] ボタンをクリックします。

[ポートレット配置設定] 画面に戻ります。

15.[戻る] ボタンをクリックします。

レイアウト一覧表示画面に戻ります。

これで、標準画面レイアウトの作成は完了です。

(5) 運用管理設定のテスト

「テスト」ポータル管理グループで作成したポートレットおよび標準画面レイアウトに問題がないか確認します。確認したあと、ポートレットリソースファイルおよびレイアウトリソースファイルをエクスポートします。

運用管理設定のテストの手順を説明します。

1. ポータル画面に、テストしたい標準画面レイアウトを表示させます。

2. 標準画面レイアウトに設定されているポートレットの動作に問題がないか確認しま

9. ポータルの運用管理例

- す。
問題があれば修正してください。この例では、問題がなかったものとします。
3. 標準画面レイアウトに問題がないか確認します。
問題があれば修正してください。この例では、問題がなかったものとします。
 4. 運用管理ポートレットのツリーメニューで、[ポータル管理グループ]下の[テスト]をクリックします。
「テスト」ポータル管理グループの、ポータル管理グループ設定画面の[全般]タブが表示されます。
 5. [インポート・エクスポート]タブをクリックします。
[インポート・エクスポート]タブが表示されます。
この例では、まずポートレットリソースファイルをエクスポートします。
 6. [ポートレットのエクスポート]アンカーをクリックします。
ポートレットエクスポート画面が表示されます。
 7. エクスポートするポートレットのチェックボックスにチェックを入れます。
同じポータル管理グループおよびポートレットグループに設定するポートレットであれば、複数同時にポートレットリソースファイルをエクスポートすると便利です。この例では、「重要なお知らせ」および「更新情報」ポートレットを同時にエクスポートできます。
 8. [エクスポート]ボタンをクリックします。
[ファイルのダウンロード]ダイアログが表示されます。
エクスポートするポートレットリソースファイルの保存時のファイル名および保存場所を指定します。
 9. [保存]ボタンをクリックします。
ポートレットリソースファイルがエクスポートされて、ポートレットエクスポート画面に戻ります。
手順7. ~ 9.を繰り返して、すべてのポートレットのポートレットリソースファイルをエクスポートします。
 10. [戻る]ボタンをクリックします。
[インポート・エクスポート]タブに戻ります。
これで、ポートレットリソースファイルのエクスポートは完了です。次に、レイアウトリソースファイルをエクスポートします。
 11. [レイアウトのエクスポート]アンカーをクリックします。
レイアウトエクスポート画面が表示されます。
 12. エクスポート対象レイアウト選択ドロップダウンリストで、エクスポートする標準画面レイアウトを選択します。
 13. [エクスポート]ボタンをクリックします。
[ファイルのダウンロード]ダイアログが表示されます。
エクスポートするレイアウトリソースファイルの保存時のファイル名および保存場所を指定します。

14.[保存] ボタンをクリックします。

レイアウトリソースファイルがエクスポートされて、レイアウトエクスポート画面に戻ります。

手順 12. ~ 14. を繰り返して、標準画面レイアウトをすべてエクスポートします。

15.[戻る] ボタンをクリックします。

[インポート・エクスポート] タブに戻ります。

これで、レイアウトリソースファイルのエクスポートは完了です。

(6) ポートレットの設定

問題がないことを確認したポートレットを、ポータル管理グループに設定します。ポートレットの設定手順を説明します。

1. 運用管理ポートレットのツリーメニュー領域で、[グループ管理] 下のポータル管理グループ名をクリックします。

ポートレットを設定したいポータル管理グループ名をクリックしてください。

ポータル管理グループ設定画面の [全般] タブが表示されます。

2. [インポート・エクスポート] タブをクリックします。

[インポート・エクスポート] タブが表示されます。

3. [ポートレットのインポート] アンカーをクリックします。

ポートレットインポート画面が表示されます。

4. ポートレットグループツリー領域で、ポートレットグループを選択します。

インポートするポートレットを分類するポートレットグループを選択します。例えば、「全社」ポータル管理グループに「重要なお知らせ」および「更新情報」ポートレットのポートレットリソースファイルをインポートする場合は、「お知らせ」ポートレットグループを選択します。

5. ファイル指定テキストボックスに、インポートするポートレットリソースファイルのフルパスを指定します。

ポートレットインポート画面には、インポートするポートレットリソースファイルのポートレットと同一名称のポートレットがある場合、上書きするかどうかを指定するチェックボックスがあります。しかし、この例では上書きしないのでチェックしません。

6. [インポート] ボタンをクリックします。

ポートレットがポータル管理グループにインポートされます。

7. [戻る] ボタンをクリックします。

[インポート・エクスポート] タブに戻ります。インポートしたポートレットは、設定したポータル管理グループで管理および利用できるポートレットとして追加されます。また、指定したポートレットグループに追加されます。

これで、ポートレットの設定は完了です。

(7) 標準画面レイアウトの設定

問題がないことを確認した標準画面レイアウトを、ポータル管理グループに設定します。標準画面レイアウトの設定手順を説明します。

1. 運用管理ポートレットのツリーメニュー領域で、[グループ管理] 下のポータル管理グループ名をクリックします。
標準画面レイアウトを設定したいポータル管理グループ名をクリックしてください。ポータル管理グループ設定画面の [全般] タブが表示されます。
2. [インポート・エクスポート] タブをクリックします。
[インポート・エクスポート] タブが表示されます。
3. [レイアウトのインポート] アンカーをクリックします。
レイアウトインポート画面が表示されます。
4. ファイル指定テキストボックスに、インポートするレイアウトリソースファイルのフルパスを指定します。
レイアウトインポート画面には、インポートするレイアウトリソースファイルの標準画面レイアウトと同一名称のポートレットがある場合、上書きするかどうかを指定するチェックボックスがあります。しかし、この例では上書きしないのでチェックしません。
5. [インポート] ボタンをクリックします。
標準画面レイアウトがポータル管理グループにインポートされます。
6. [戻る] ボタンをクリックします。
[インポート・エクスポート] タブに戻ります。インポートした標準画面レイアウトは、設定したポータル管理グループで管理および利用できる標準画面レイアウトとして追加されます。これで、標準画面レイアウトの設定は完了です。

以上で、ポータル運用前の設定が一とおり完了しました。

9.2 Web コンテンツポートレットの作成例

ここでは、Web コンテンツポートレットを作成する作業について、具体的な表示例に沿って説明します。

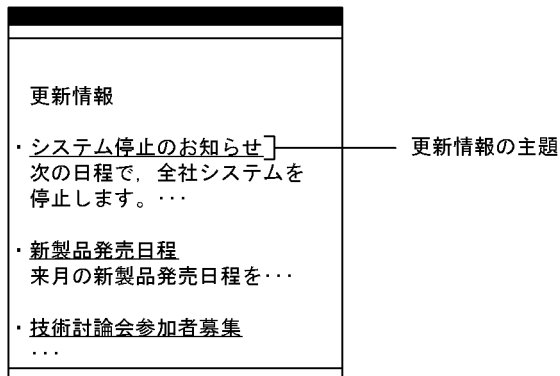
9.2.1 Web コンテンツポートレットの作成例の内容

uCPF 社の社内サイトには、次の図に示す更新情報のページがあります。

図 9-8 uCPF 社の社内 Web サイトの更新情報ページ

社内サイトの更新情報ページ

URL : <http://www.ucpf.co.jp/int/update.html>



また、更新情報ページの HTML ソース例を次の図に示します。

図 9-9 uCPF 社の社内サイト（更新情報ページ）の HTML ソース例

```

<html>
<head>
<title>更新情報</title>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=shift_jis">
</head>
<body>
<p>更新情報</p>
<ul>
<li><a href="oshirase1.html">システム停止のお知らせ</a><br>
次の日程で、全社システムを停止します。・・・</li>
<li><a href="oshirase2.html">新製品発売日程</a><br>
来月の新製品発売日程を・・・</li>
<li><a href="oshirase3.html">技術討論会参加者募集</a><br>
・・・</li>
</ul>
</body>
</html>

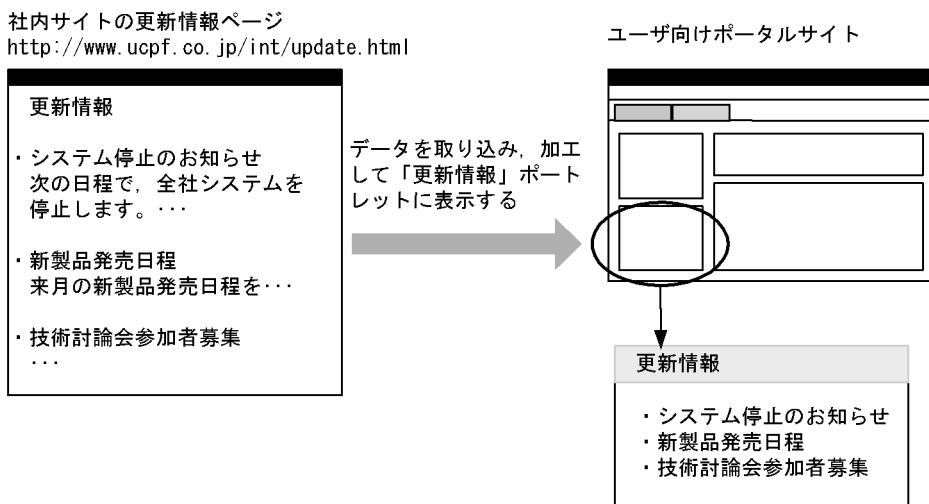
```

更新情報の主題にはリンクタグが設定されていて、クリックすると詳細な情報の画面を表示します。このページの主題部分を抽出したポートレットを「更新情報」ポートレットという名前で作成し、ユーザのポータルに表示したいと考えています。

「更新情報」ポートレットは、Web コンテンツポートレットで作成します。

更新情報ページから「更新情報」ポートレットへのデータの流れを、次の図に示します。

図 9-10 更新情報ページから「更新情報」ポートレットへのデータの流れ



「更新情報」ポートレットを作成するには、[ポートレット編集]画面（Web コンテンツ

ポートレット)で次の内容を設定します。

- <http://www.ucpf.co.jp/int/update.html> からデータを取得する。
- 取得したデータのリンクタグを抽出する。
- 抽出したリンクタグをポートレットに表示する。

また、抽出したリンクタグを表示するためのテンプレートの例を次の図に示します。

図 9-11 テンプレート例

```
#set($site0_1_size = $site0_1.size() - 1 )
#foreach($index in [0..$site0_1_size])
<li><a href="$site0_1.get($index).get(0)">$site0_1.get($index).get(1)</a></li>
#end
```

9.2.2 Web コンテンツポートレットの設定

「9.2.1 Web コンテンツポートレットの作成例の内容」で説明した設定例を基に、具体的な操作手順を説明します。

1. 運用管理ポートレットのツリーメニュー領域から、編集するポータル管理グループを選択します。
2. [ポートレット] タブをクリックします。
ポートレット一覧表示画面が表示されます。
3. [新規ポートレット作成] ボタンをクリックします。
[新規ポートレット作成] 画面が表示されます。
4. 生成元にするポートレットのポートレット ID (hptlParsedHTML) をクリックします。
ポートレット ID をクリックすると、[ポートレット編集] 画面 (Web コンテンツポートレット) が表示されます。なお、この例では、更新情報に表示される情報をユーザによって変えることを想定し、ユーザごとにコンテンツをキャッシュする hptlParsedHTML を選択しています。
5. 基本情報を入力します。
Web コンテンツポートレットの基本情報を入力します。「更新情報」ポートレットの場合の、基本情報設定画面の指定例を次の図に示します。

9. ポータルの運用管理例

図 9-12 「更新情報」ポर्टレットの基本情報設定画面の指定例

新規ポर्टレット作成

基本情報

セッションキャッシュ
変数設定
アクセスサイト1
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4
正規表現の抽出1
正規表現の抽出2
正規表現の抽出3
正規表現の抽出4
アクセスサイト2
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4
正規表現の抽出1
正規表現の抽出2
正規表現の抽出3

ポर्टレットID(半角32文字まで)* : updatecomp
ポर्टレットタイトル(全角80文字まで): 更新情報
ポर्टレット英語タイトル(80文字まで): update
ポर्टレット説明文(全角80文字まで/改行入力不可): 全社向けサイトの更新情報です。
ポर्टレット横幅サイズ: 指定なし
画面モードフラグ: 最小化 最大化 閉じる
表示方法: レイアウト不可
*は必須項目です。

新規作成 キャンセル

設定が完了したら, [新規作成] ボタンをクリックします。

6. メニュー領域の [アクセスサイト 1] をクリックします。
[ポर्टレット編集] 画面 (Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面) が表示されます。
7. 取得するコンテンツを指定します。
コンテンツの取得先の 「更新情報」ポर्टレットの場合の, Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面の指定例を, 次の図に示します。

図 9-13 「更新情報」ポर्टレットの Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面の指定例

ポर्टレット編集

基本情報

セッションキャッシュ
変数設定
アクセスサイト1
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4
正規表現の抽出1
正規表現の抽出2
正規表現の抽出3
正規表現の抽出4
アクセスサイト2
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4
正規表現の抽出1
正規表現の抽出2
正規表現の抽出3

アクセスサイト1
Form認証URL : Form認証URLでコンテンツを取得する
コンテンツ取得URL : http://www.ucpf.co.jp/int/index.html
ログアウトURL :
Basic認証 : 有効 無効
Proxyの設定
Proxyホスト :
Proxyポート番号 :
ProxyユーザID :
Proxyパスワード :

設定が完了したら, [保存] ボタンをクリックします。

8. メニュー領域の [正規表現の切り出し 1] をクリックします。

[ポートレット編集] 画面 (正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面) が表示されます。

9. コンテンツの加工 (切り出し) を設定します。
正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面でコンテンツの加工 (切り出し) の設定をします。「更新情報」ポートレットの場合、正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面の指定例を、次の図に示します。

図 9-14 「更新情報」ポートレットの正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面の指定例

ポートレット編集

基本情報
セッションキャッシュ
柔軟設定
アクセスサイト1
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4
正規表現の抽出1
正規表現の抽出2
正規表現の抽出3
正規表現の抽出4
アクセスサイト2
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4
正規表現の抽出1
正規表現の抽出2
正規表現の抽出3

アクセスサイト1 > 正規表現の切り出し1

このコンポーネントを使用する。

切り出し設定

入力キー名: contents0
開始位置: <body[">]*>
終了位置: </body>
出力キー名: contents0_areal

項目切り出し設定

入力キー名: contents0_areal
開始位置: <a*s
終了位置:
出力キー名: contents0_field1
ネスト構造の切り出し方法: 考慮しないで切り出す

保存 完了 キャンセル

切り出し設定の開始位置、および終了位置を入力します。この例では、デフォルト値のまま使用します。

項目切り出し設定の入力キー名には、切り出し設定の出力キー名の設定値を入力します。この例では、「contents0_field1」を入力しています。

設定が完了したら、[保存] ボタンをクリックします。

10. メニュー領域の [正規表現の抽出 1] をクリックします。

[ポートレット編集] 画面 (正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面) が表示されます。

11. コンテンツの加工 (抽出) を設定します。
正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面で、コンテンツの加工 (抽出) の設定をします。「更新情報」ポートレットの場合、正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面の指定例を、次の図に示します。

9. ポータルの運用管理例

図 9-15 「更新情報」ポートレットの正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面の指定例

ポートレット編集

基本情報
セッションキャッシュ
素数設定
アクセスサイト1
 正規表現の切り出し1
 正規表現の切り出し2
 正規表現の切り出し3
 正規表現の切り出し4
 正規表現の抽出1
 正規表現の抽出2
 正規表現の抽出3
 正規表現の抽出4
アクセスサイト2
 正規表現の切り出し1
 正規表現の切り出し2
 正規表現の切り出し3
 正規表現の切り出し4
 正規表現の抽出1
 正規表現の抽出2
 正規表現の抽出3

アクセスサイト1>正規表現の抽出1
 このコンポーネントを使用する。
抽出設定
入力キー名: contents0_field1
出力キー名: site0_1

出力1
開始位置: href\$*=.*\$* 終了位置: ["']
出力2
開始位置: <a[\">]*> 終了位置:
出力3
開始位置: 終了位置:
出力4
開始位置: 終了位置:
出力5
開始位置: 終了位置:
出力6
開始位置: 終了位置:

[入力キー名]には、正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面の[項目切り出し設定]の[出力キー名]に設定した値を入力します。この例では、「contents0_field1」を入力しています。

設定が完了したら、[保存]ボタンをクリックします。

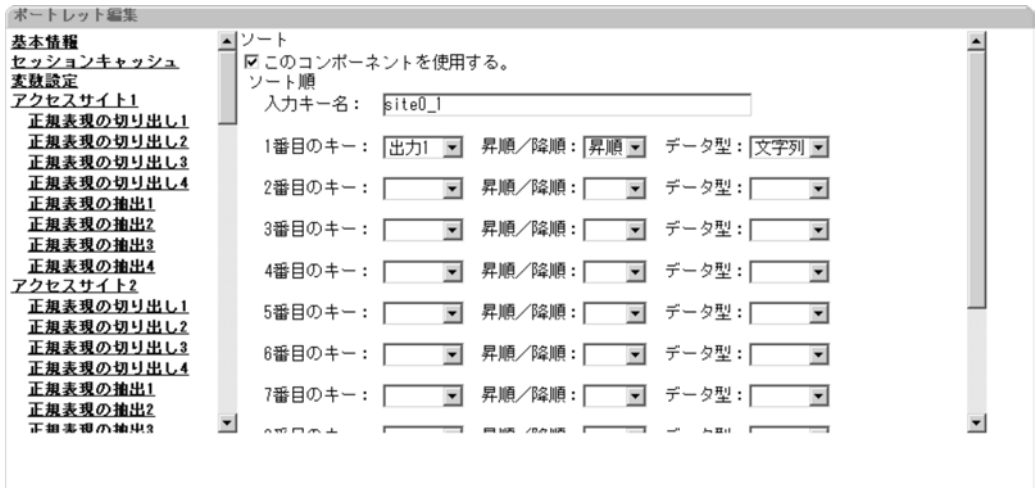
12. メニュー領域から[ソート]をクリックします。

[ポートレット編集]画面(ソートコンポーネントパラメタ設定画面)が表示されます。

13. ソートを設定します。

ソートコンポーネントパラメタ設定画面でソートの設定をします。「更新情報」ポートレットの場合、ソートコンポーネントパラメタ設定画面の指定例を、次の図に示します。

図 9-16 「更新情報」ポートレットのソートコンポーネントパラメタ設定画面の指定例



入力キー名には、正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面の [出力キー名] に設定した値を入力します。この例では、「site0_1」を入力します。

設定が完了したら、[保存] ボタンをクリックします。

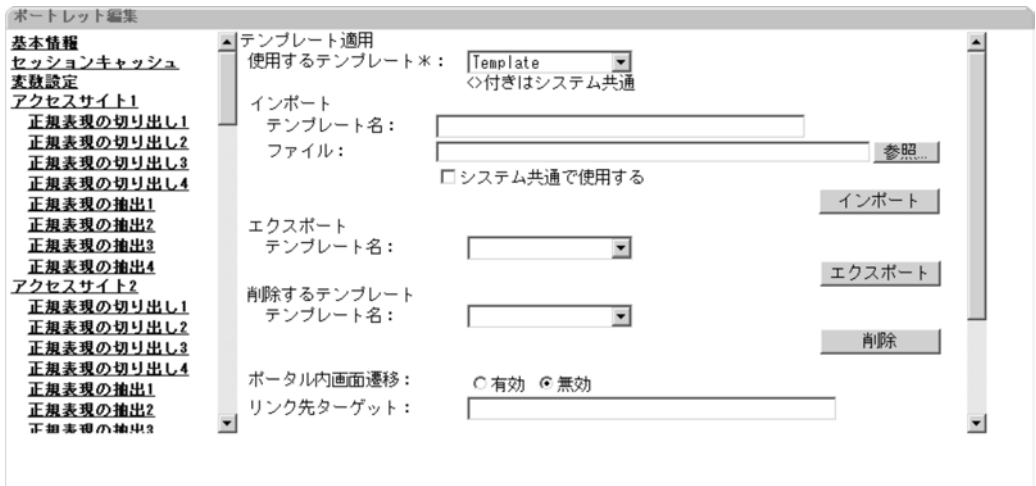
14. メニュー領域から [テンプレート適用] を選択します。

[ポートレット編集] 画面 (テンプレート適用パラメタ設定画面) が表示されます。

15. テンプレートを設定します。

テンプレート適用パラメタ設定画面で、テンプレートの適用の設定をします。「更新情報」ポートレットの場合、テンプレート適用パラメタ設定画面の指定例を、次の図に示します。

図 9-17 「更新情報」ポートレットのテンプレート適用パラメタ設定画面の指定例



テンプレートをインポートし、[使用するテンプレート] ドロップダウンリストから、

9. ポータルの運用管理例

設定したいテンプレート名を選択します。

設定が完了したら,[保存]ボタンをクリックします。

16.[完了]ボタンをクリックして,ここまでの設定をすべて保存します。

「更新情報」ポートレットの登録が完了しました。

9.3 組織およびユーザの変更例

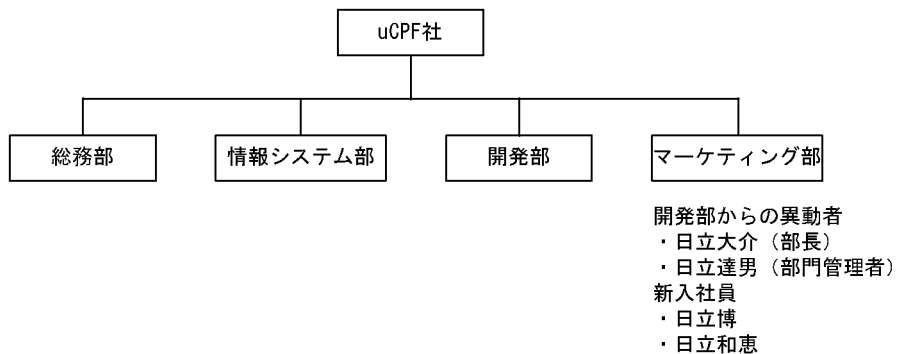
ここでは、組織およびユーザを変更する流れを、具体的な例に沿って一とおり説明します。

9.3.1 組織およびユーザの変更例の内容

ポータルの運用中に uCPF 社で組織改正があったため、組織およびユーザを追加したり、情報を変更したりします。

組織改正の例を次の図に示します。

図 9-18 組織改正の例



ここでは、今まで開発部署で兼任していたマーケティング業務を「マーケティング部署」として独立させたものとします。

この組織改正に伴い、次の作業をします。

1. 組織の追加
組織に「マーケティング部」を追加します。
2. ユーザの追加
「マーケティング部」に、新規採用された社員を追加します。
3. ユーザ情報の変更
「開発部」から異動する社員のユーザ情報を変更します。
4. ポータル管理グループの設定
ポータル管理グループについて、次の設定をします。
 - ・「マーケティング部署」のポータル管理グループを追加する
 - ・「部長」ポータル管理部グループに「マーケティング部」の部長を追加する

9.3.2 組織およびユーザの変更例の操作手順

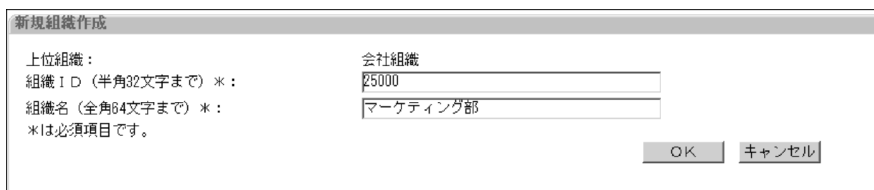
「9.3.1 組織およびユーザの変更例の内容」で説明した設定例を基に、具体的な操作手順を説明します。

(1) 組織の追加

この設定例では、uCPF 社の下に「マーケティング部署」を作成するものとします。

1. メニュー領域の [ユーザ管理] の下の [会社組織] をクリックします。
2. 共通メニュー領域の [新規作成] をクリックします。
[新規組織作成] 画面が表示されます。
3. 組織 ID および組織名を設定します。
「マーケティング部」の場合の [新規組織作成] 画面の指定例を次の図に示します。

図 9-19 「マーケティング部」の [新規組織作成] 画面の指定例



新規組織作成	
上位組織:	会社組織
組織ID (半角32文字まで)*:	25000
組織名 (全角64文字まで)*:	マーケティング部
*は必須項目です。	
OK キャンセル	

4. [OK] ボタンをクリックします。
作成した組織の [全般] タブが表示されます。また、ツリーメニュー領域に、作成した組織が追加されます。
これで組織の追加は完了です。

(2) ユーザの追加

この設定例では、新規採用された社員の「日立博」、「日立和恵」を「マーケティング部」に追加します。

1. ツリーメニュー領域から、ユーザを作成する組織名を選択します。
[全般] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
2. [ユーザ] タブをクリックします。
[ユーザ] タブ (組織情報設定画面) が表示されます。
3. [新規ユーザ作成] ボタンをクリックします。
[新規ユーザ作成] 画面が表示されます。
4. ユーザ情報を指定します。
「日立博」の場合の [新規ユーザ作成] 画面の指定例を次の図に示します。

図 9-20 「日立博」の [新規ユーザ作成] 画面の指定例

新規ユーザ作成		
所属組織:	25000 マーケティング部	<input type="button" value="所属組織設定"/>
ユーザID (半角32文字まで) *:	<input type="text" value="05001"/>	
ユーザ名 (64文字まで) *:	<input type="text" value="日立博"/>	
パスワード (半角32文字まで) *:	<input type="text" value="****"/>	
パスワード再入力 (半角32文字まで) *:	<input type="text" value="****"/>	
役職:		<input type="button" value="役職設定"/>
EnName:	<input type="text"/>	
*は必須項目です。		
		<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

5. [OK] ボタンをクリックします。

ユーザが登録されます。登録が完了すると,[ユーザ] タブが表示されます。
これで「日立博」の登録は完了です。

(3) ユーザ情報の変更

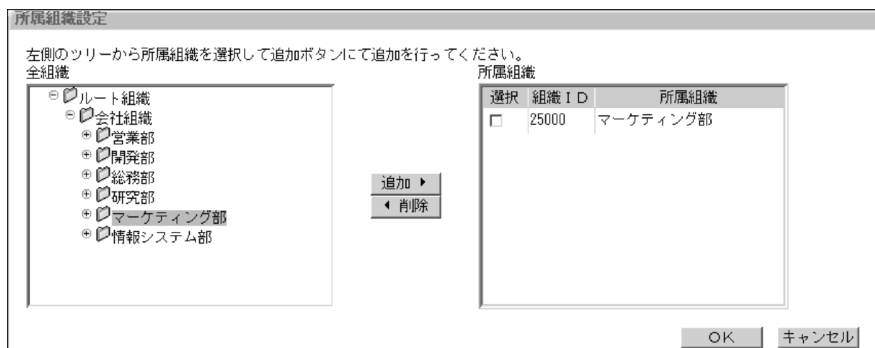
この設定例では、「開発部署」からの異動者の「日立大介」、「日立達男」に次の設定をします。

- 組織情報から「開発部」を削除
- 組織情報に「マーケティング部」を追加

上記の例を基に、手順を説明します。

1. ツリーメニュー領域から、変更するユーザが所属する組織を選択します。
2. [ユーザ] タブをクリックします。
組織情報設定画面 (ユーザタブ) が表示されます。
3. 所属組織を変更するユーザのユーザID をクリックします。
[ユーザ情報変更] 画面が表示されます。
4. [所属組織設定] ボタンをクリックします。
[所属組織設定] 画面が表示されます。
5. 所属組織情報を変更します。
[所属組織] 一覧領域の「開発部」の選択チェックボックスにチェックを入れて,[削除] ボタンをクリックします。「開発部」が [所属組織] 一覧領域から削除されます。
次に,[全組織] ツリー領域から「マーケティング部」を選択して,[選択] ボタンをクリックします。「マーケティング部」が [所属組織] 一覧領域に追加されます。
「マーケティング部」が追加された [所属組織設定] 画面を次に示します。

図 9-21 「マーケティング部」の [所属組織設定] 画面の指定例



6. [OK] ボタンをクリックします。

[ユーザ情報変更] 画面に戻ります。[所属組織] には変更後の内容が表示されます。

7. [OK] ボタンをクリックします。

所属組織が変更されます。変更が完了すると、変更したユーザが所属する組織情報変更画面 (ユーザタブ) が表示されます。これでユーザの所属組織の変更は完了です。

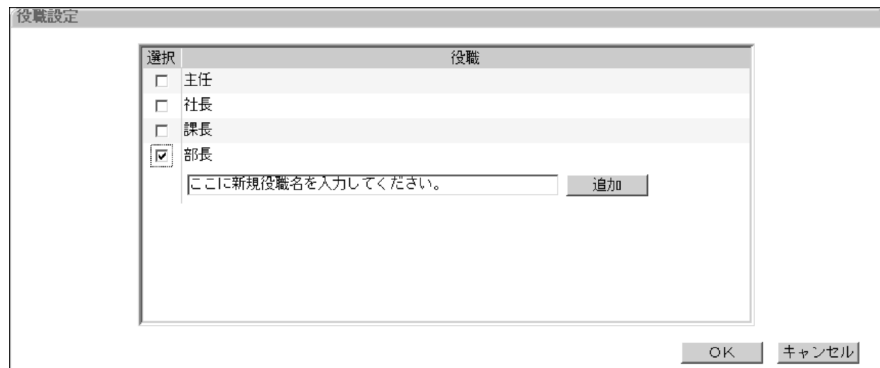
(4) ポータル管理グループの設定

この設定例では、次のを設定するものとします。

- 「マーケティング部」ポータル管理グループの設定
管理者にはマーケティング部の「日立達男」、利用者にはマーケティング部に所属するユーザ全員を設定します。設定の方法は、「9.1.2(2) ポータル管理グループの設定」を参照してください。
- 「マーケティング部」部長の「日立大介」を「部長」ポータル管理グループの利用者に設定
「部長」ポータル管理グループの利用者の条件は、役職が「部長」のユーザ全員です。このため、「日立大介」に「部長」の役職を設定すると、「部長」ポータル管理グループに追加されます。
設定する手順を次に示します。

1. ツリーメニュー領域から、変更するユーザが所属する組織を選択します。
2. [ユーザ] タブをクリックします。
組織情報設定画面 (ユーザタブ) が表示されます。
3. 役職情報を設定するユーザのユーザ ID をクリックします。
[ユーザ情報変更] 画面が表示されます。
4. [役職設定] ボタンをクリックします。
[役職設定] 画面が表示されます。
5. 役職を設定します。
役職一覧領域で、設定したい役職の [選択] チェックボックスにチェックを入れます。「日立大介」の場合の、[役職設定] 画面の指定例を次の図に示します。

図 9-22 「日立大介」の [役職設定] 画面の指定例



6. [OK] ボタンをクリックします。
ユーザ情報変更画面に戻ります。[役職] には変更後の内容が表示されます。
7. [OK] ボタンをクリックします。
役職情報が変更されます。これで、「日立大介」が「部長」ポータル管理グループに追加されます。

以上で、組織およびユーザ追加の設定が一とおり完了しました。

10 運用管理の画面

この章では、運用管理ポートレットで表示される画面の項目について説明します。

10.1 ポートレットグループを管理するための画面

10.2 ポータル管理グループを管理するための画面

10.3 ポートレットを管理するための画面

10.4 レイアウトを管理するための画面

10.5 インポート・エクスポートするための画面

10.6 ユーザを管理するための画面

10.1 ポートレットグループを管理するための画面

ここでは、ポートレットグループを作成したり、ポートレットグループにポートレットを登録したりするための画面について説明します。

10.1.1 ポートレットグループ管理トップ画面

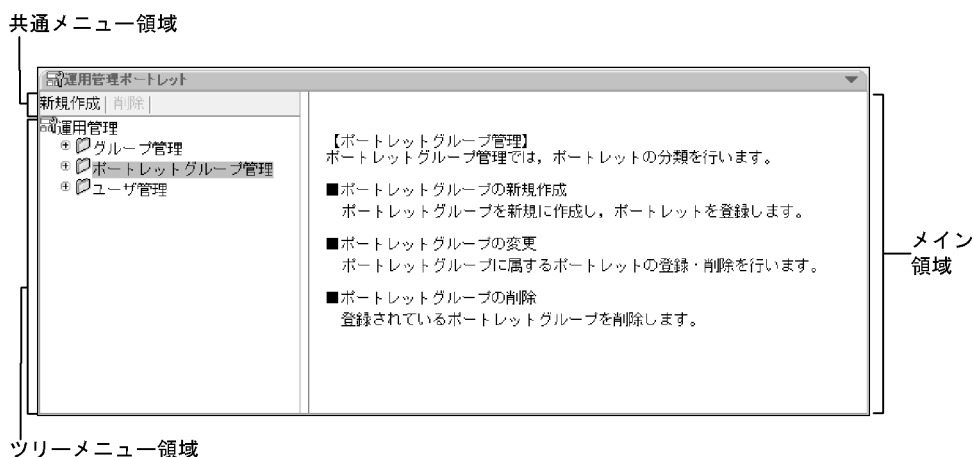
ポートレットグループ管理トップ画面は、ツリーメニュー領域の [ポートレットグループ管理] を選択すると表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「4.1 ポートレットグループを新規作成する」

ポートレットグループ管理トップ画面の各項目について説明します。

図 10-1 ポートレットグループ管理トップ画面



共通メニュー領域

ポートレットグループを管理するためのメニューが表示されます。

[新規作成]

ポートレットグループを新規に作成するための、ポートレットグループ新規作成画面が表示されます。詳細は、「10.1.2 ポートレットグループ新規作成画面」を参照してください。

ポートレットグループ管理トップ画面で [新規作成] をクリックすると、最上位のポートレットグループを作成できます。

一方、ツリーメニュー領域でポートレットグループ名を選択している場合に表示されるポートレットグループ設定画面で [新規作成] をクリックすると、選

択しているポートレットグループの下位にポートレットグループを作成できます。詳細は、「10.1.3 ポートレットグループ設定画面」を参照してください。

ツリーメニュー領域

[ポートレットグループ管理]の[+]をクリックすると、登録済みのポートレットグループ名が表示されます。ポートレットグループ名をクリックすると、メイン領域にポートレット設定画面が表示されて、そのポートレットグループの設定内容を参照または変更できます。

メイン領域

ポートレットグループ管理についての主な機能の説明が表示されます。

10.1.2 ポートレットグループ新規作成画面

ポートレットグループ新規作成画面とは、ポートレットグループを新規に作成するための画面です。ポートレットグループ管理トップ画面、またはポートレットグループ設定画面の共通メニュー領域で、[新規作成]をクリックすると表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「4.1 ポートレットグループを新規作成する」

ポートレットグループ新規作成画面の各項目について説明します。

図 10-2 ポートレットグループ新規作成画面

[上位ポートレットグループ] 表示領域

ツリーメニュー領域で選択しているポートレットグループ名が表示されます。このポートレットグループが、新規作成するポートレットグループの上位になります。ツリーメニュー領域で[ポートレットグループ管理]を選択している場合は、新規作成するポートレットグループが最上位になるので、この項目には何も表示されません。

[ポートレットグループタイトル] テキストボックス <指定必須>

10. 運用管理の画面

新規作成するポートレットグループのタイトルを指定します。全角・半角に関係なく、80文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字（JIS X0201での0x00～0x1f）を含む内容は設定できません。

[ポートレットグループ英語タイトル] テキストボックス <指定任意>

新規作成するポートレットグループの英語のタイトルを指定します。半角80文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字（JIS X0201での0x00～0x1f）を含む内容は設定できません。

[ポートレットグループ説明文] テキストボックス <指定任意>

新規作成するポートレットグループの内容がわかるような説明文を指定します。全角・半角に関係なく、128文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字（JIS X0201での0x00～0x1f）を含む内容は設定できません。

[OK] ボタン

ツリーメニュー領域に、新規作成したポートレットグループが追加されます。メイン領域には、新規作成したポートレットグループの、ポートレットグループ設定画面の[全般]タブが表示されます。詳細は、「10.1.3 ポートレットグループ設定画面」を参照してください。

[キャンセル] ボタン

ポートレットグループが追加されないで、ポートレットグループ管理トップ画面に戻ります。

参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルを指定するためのテキストボックスが[ポートレットグループ英語タイトル]テキストボックスの下に表示されます。

10.1.3 ポートレットグループ設定画面

ポートレットグループ設定画面とは、ポートレットグループの設定内容を参照または変更するための画面です。この画面は、ツリーメニュー領域でポートレットグループ名を選択すると表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「4.2 ポートレットグループ情報を編集する」
- 「4.3 ポートレットグループにポートレットを登録・削除する」

- ・「4.4 ポートレットグループを削除する」

ポートレットグループ設定画面の各項目について説明します。

図 10-3 ポートレットグループ設定画面



共通メニュー領域

ポートレットグループを管理するためのメニューが表示されます。

[新規作成]

ポートレットグループを新規に作成するための、ポートレットグループ新規作成画面が表示されます。詳細は、「10.1.2 ポートレットグループ新規作成画面」を参照してください。

新規に作成するポートレットグループは、ツリーメニュー領域で選択しているポートレットグループの下位に作成されます。

一方、ポートレットグループ管理トップ画面で [新規作成] をクリックすると、最上位のポートレットグループを作成できます。

詳細は、「10.1.1 ポートレットグループ管理トップ画面」を参照してください。

[削除]

ツリーメニュー領域で選択しているポートレットグループが削除されます。削除を実行する前に、確認ダイアログが表示されます。

ツリーメニュー領域

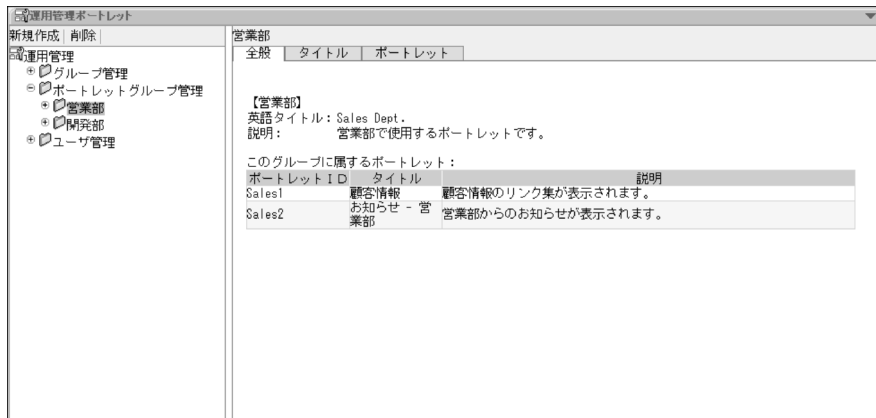
ポートレットグループがツリー形式で表示されます。

メイン領域については、タブごとに以下に説明します。

(1) [全般] タブ (ポートレットグループ設定画面)

ツリーメニュー領域で選択したポートレットグループの情報を参照するためのタブです。

図 10-4 [全般] タブ (ポートレットグループ設定画面)



【ポートレットグループのタイトル】

【 】の中に、ポートレットグループのタイトルが表示されます。

[英語タイトル]

ポートレットグループの英語タイトルが表示されます。

[説明]

ポートレットグループの説明文が表示されます。

[このグループに属するポートレット] 一覧領域

ポートレットグループに所属するポートレットが一覧表示されます。

参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルが [英語タイトル] の下に表示されます。

(2) [タイトル] タブ (ポートレットグループ設定画面)

ツリーメニュー領域で選択したポートレットグループの、各種言語のタイトルおよび説明文を変更するためのタブです。

図 10-5 [タイトル] タブ (ポートレットグループ設定画面)

The screenshot shows a dialog box titled '運用管理ポートレット' (Operation Management Portlet). The 'ポートレット' (Portlet) tab is selected. The '全般' (General) sub-tab is active. The 'ポートレットグループタイトル (全角80文字まで) *' (Portlet Group Title, max 80 full-width characters) field contains '営業部'. The 'ポートレットグループ英語タイトル (半角80文字まで)' (Portlet Group English Title, max 80 half-width characters) field contains 'Sales Dept.'. The 'ポートレットグループ説明文 (全角128文字まで)' (Portlet Group Description, max 128 full-width characters) field contains '営業部で使用するポートレットです。'. There are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom right. A note at the bottom left states '*は必須項目です。' (asterisk indicates required items).

[ポートレットグループタイトル] テキストボックス <指定必須>

ポートレットグループの日本語タイトルが表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、80文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) を含む内容は設定できません。

[ポートレットグループ英語タイトル] テキストボックス <指定任意>

ポートレットグループの英語のタイトルが表示されます。変更する場合は、半角 80文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) を含む内容は設定できません。

[ポートレットグループ説明文] テキストボックス <指定任意>

ポートレットグループの説明文が表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、128文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) を含む内容は設定できません。

[OK] ボタン

設定した内容が反映されて、[全般] タブに戻ります。

[キャンセル] ボタン

設定した内容が反映されないで、[全般] タブに戻ります。

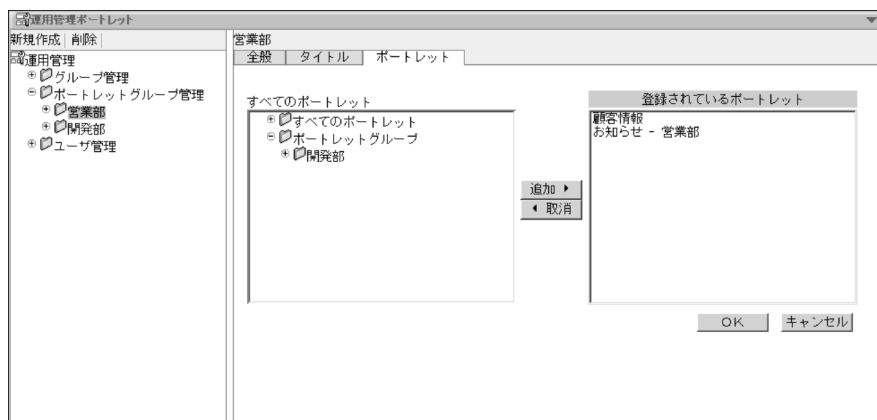
参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルを指定するためのテキストボックスが [ポートレットグループ英語タイトル] テキストボックスの下に表示されます。

(3) [ポートレット] タブ (ポートレットグループ設定画面)

ポートレットグループにポートレットを新規に追加したり、削除したりするためのタブです。

図 10-6 [ポートレット] タブ (ポートレットグループ設定画面)



[すべてのポートレット] ツリー領域

ポートレットを選択するためのツリー領域です。ツリーには、[すべてのポートレット]、およびポートレットグループ（選択しているポートレットグループは除く）が表示されます。[すべてのポートレット]の[+]をクリックすると、すべてのポートレットが表示されます。各ポートレットグループの[+]をクリックすると、所属するポートレットが表示されます。

[追加 ▶] ボタン

[すべてのポートレット] ツリー領域で選択したポートレットが、[登録されているポートレット] 一覧領域のいちばん下に追加されます。

[取消 ◀] ボタン

[登録されているポートレット] 一覧領域で選択したポートレットが削除されます。

[登録されているポートレット] 一覧領域

ポートレットグループに登録されているポートレットが、登録順に一覧表示されます。

[OK] ボタン

ポートレットグループに登録されているポートレットが変更されて、[全般] タブに戻ります。

[キャンセル] ボタン

ポートレットグループに登録されているポートレットが変更されないで、[全般] タブに戻ります。

10.2 ポータル管理グループを管理するための画面

ここでは、ポータル管理グループの新規作成、複製、表示順序の変更、およびポータル管理グループの設定内容の変更時に使用する画面について説明します。

10.2.1 グループ管理トップ画面

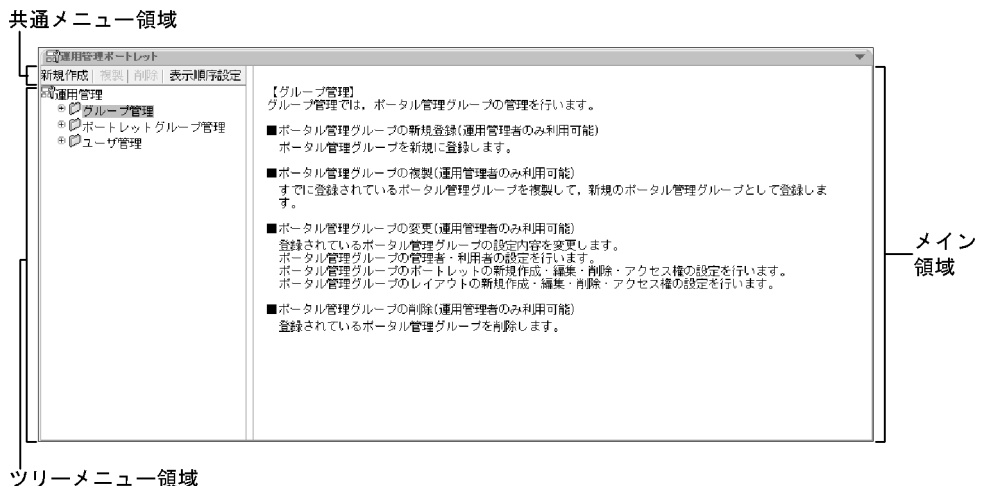
グループ管理トップ画面とは、ポータル管理グループを管理するための最初の画面です。ツリーメニュー領域の [グループ管理] を選択すると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「5.1 ポータル管理グループを新規作成する」
- 「5.5 ポータル管理グループの表示順序を設定する」

グループ管理トップ画面の各項目について説明します。

図 10-7 グループ管理トップ画面



共通メニュー領域

ポータル管理グループを管理するためのメニューが表示されます。なお、共通メニューは運用管理者がログインしている場合だけ表示されます。

[新規作成]

ポータル管理グループを新規に作成するための、ポータル管理グループ新規作成画面が表示されます。詳細は、「10.2.2 ポータル管理グループ新規作成画面」を参照してください。

[表示順序設定]

10. 運用管理の画面

ポータル管理グループの表示順序を設定するための、表示順序設定画面が表示されます。詳細は、「10.2.4 [表示順序設定]画面」を参照してください。

ツリーメニュー領域

[グループ管理]の[+]をクリックすると、作成済みのポータル管理グループ名が表示されます。ポータル管理グループ名をクリックすると、メイン領域にポータル管理グループ設定画面が表示されて、そのポータル管理グループの設定内容を参照または変更できます。詳細は、「10.2.5 ポータル管理グループ設定画面」を参照してください。

メイン領域

グループ管理についての主な機能の説明が表示されます。

10.2.2 ポータル管理グループ新規作成画面

ポータル管理グループ新規作成画面とは、ポータル管理グループを新規に作成するための画面です。グループ管理トップ画面またはポータル管理グループ設定画面の共通メニュー領域で[新規作成]をクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「5.1 ポータル管理グループを新規作成する」

ポータル管理グループ新規作成画面の各項目について説明します。

図 10-8 ポータル管理グループ新規作成画面



[ポータル管理グループタイトル] テキストボックス <指定必須>

新規作成するポータル管理グループのタイトルを指定します。全角・半角に関係なく、64文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)

- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポータル管理グループ英語タイトル] テキストボックス < 指定任意 >

新規作成するポータル管理グループの英語のタイトルを指定します。半角 64 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポータル管理グループ説明文] テキストボックス < 指定任意 >

新規作成するポータル管理グループの説明文を入力します。全角・半角に関係なく、150 文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) を含む内容は設定できません。

[OK] ボタン

ツリーメニュー領域に、新規作成したポータル管理グループが追加されます。メイン領域には、新規作成したポータル管理グループの、ポータル管理グループ設定画面の [全般] タブが表示されます。詳細は、「10.2.5 ポータル管理グループ設定画面」を参照してください。

[キャンセル] ボタン

ポータル管理グループが追加されないで、グループ管理トップ画面に戻ります。

参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルを指定するためのテキストボックスが [ポータル管理グループ英語タイトル] テキストボックスの下に表示されます。

10.2.3 ポータル管理グループ複製画面

ポータル管理グループ複製画面とは、既存のポータル管理グループから別のポータル管理グループを生成するための画面です。ポータル管理グループ設定画面の共通メニュー領域で [複製] をクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「5.4 ポータル管理グループを複製する」

ポータル管理グループ複製画面の各項目について説明します。

図 10-9 ポータル管理グループ複製画面

[ポータル管理グループタイトル] テキストボックス < 指定必須 >

複製したポータル管理グループのタイトルを指定します。全角・半角に関係なく、64文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポータル管理グループ英語タイトル] テキストボックス < 指定任意 >

複製したポータル管理グループの、英語のタイトルを指定します。半角 64 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポータル管理グループ説明文] テキストボックス < 指定任意 >

複製したポータル管理グループの説明文を指定します。全角・半角に関係なく、150文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) を含む内容は設定できません。

[OK] ボタン

ツリーメニュー領域に、複製したポータル管理グループが追加されます。メイン領域には、複製したポータル管理グループの、ポータル管理グループ設定画面の [全般] タブが表示されます。

[キャンセル] ボタン

ポータル管理グループが複製されないで、グループ管理トップ画面に戻ります。

参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルを指定するためのテキストボックスが [ポータル管理グループ英語タイトル] テキストボックスの下に表示されます。

10.2.4 [表示順序設定] 画面

[表示順序設定] 画面とは、利用者のポータル画面に表示される標準画面レイアウトの表示順序を、ポータル管理グループ単位で設定するための画面です。グループ管理トップ画面またはポータル管理グループ設定画面の共通メニュー領域で [表示順序設定] をクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「5.5 ポータル管理グループの表示順序を設定する」

[表示順序設定] 画面の各項目について説明します。

図 10-10 [表示順序設定] 画面



[ポータル管理グループタイトル] 一覧領域

ポータル管理グループの一覧が表示されます。この一覧からポータル管理グループを選択したあと、[上へ] ボタンまたは [下へ] ボタンをクリックして、順序を変更します。

一覧に表示されているポータル管理グループの上から順に、各ポータル管理グループに含まれる標準画面レイアウトが、利用者のポータル画面の左側から表示されます。

[上へ] ボタン

[ポータル管理グループタイトル] 一覧領域で選択したポータル管理グループを、上に移動します。

[下へ] ボタン

10. 運用管理の画面

[ポータル管理グループタイトル] 一覧領域で選択したポータル管理グループを、下に移動します。

[戻る] ボタン

ポータル管理グループの表示順序が変更されて、グループ管理トップ画面に戻ります。また、ツリーメニュー領域の [グループ管理] 下に表示されるポータル管理グループの表示順序も変更されます。

10.2.5 ポータル管理グループ設定画面

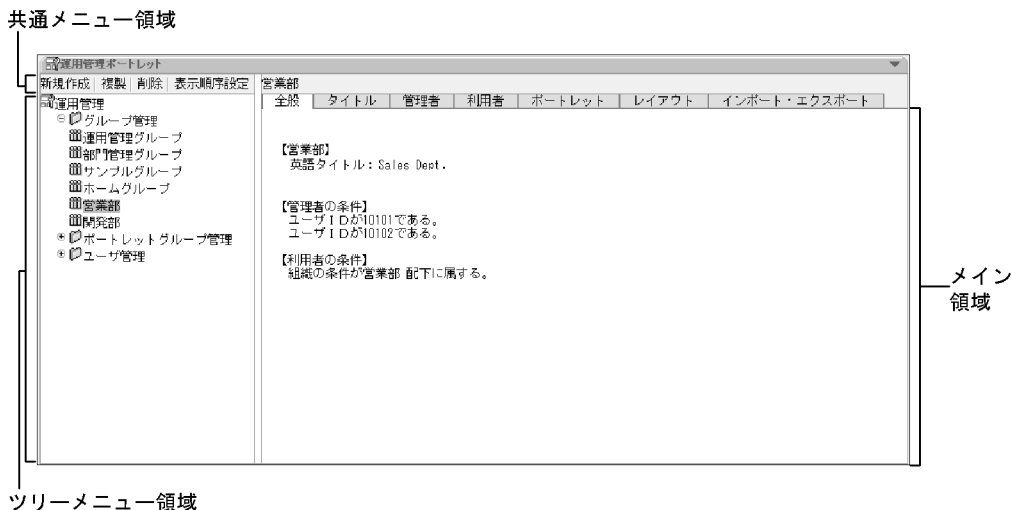
ポータル管理グループ設定画面とは、ポータル管理グループの設定内容を参照または変更するための画面です。ツリーメニュー領域でポータル管理グループをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「5.2 ポータル管理グループのユーザを設定する」
- 「5.3 ポータル管理グループ情報を編集する」

ポータル管理グループ設定画面の各項目について説明します。

図 10-11 ポータル管理グループ設定画面



共通メニュー領域

ポータル管理グループを管理するためのメニューが表示されます。なお、共通メニューは運用管理者がログインしている場合だけ表示されます。

[新規作成]

ポータル管理グループを新規に作成するための、ポータル管理グループ新規作成画面が表示されます。詳細は、「10.2.2 ポータル管理グループ新規作成画面」を参照してください。

[複製]

ツリーメニュー領域で複製したいポータル管理グループを選択した状態で、このメニューをクリックすると、ポータル管理グループ複製画面が表示されます。詳細は、「10.2.3 ポータル管理グループ複製画面」を参照してください。

[削除]

ツリーメニュー領域で選択したポータル管理グループを削除します。なお、削除する前に確認ダイアログが表示されます。

[表示順序設定]

ポータル管理グループの表示順序を設定するための、ポータル管理グループ [表示順序設定] 画面が表示されます。詳細は、「10.2.4 [表示順序設定] 画面」を参照してください。

ツリーメニュー領域

ポータル管理グループがツリー形式で表示されます。

メイン領域については、タブごとに以下に説明します。

なお、ここではポータル管理グループ設定画面に表示される七つのタブのうち、次の四つのタブだけを説明します。

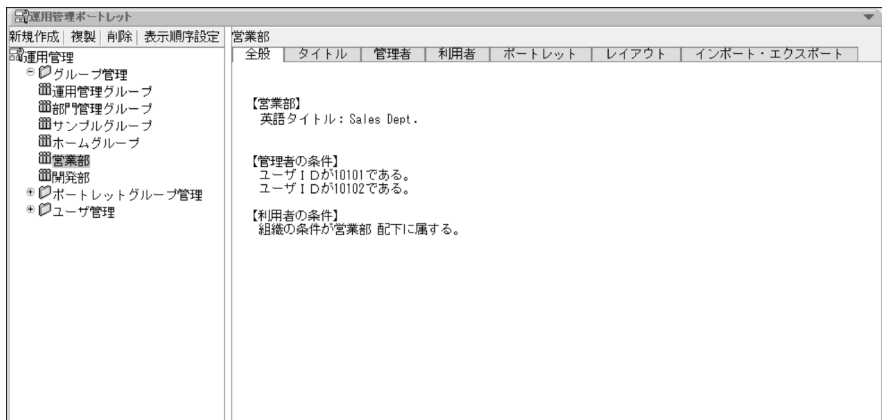
- [全般] タブ
- [タイトル] タブ
- [管理者] タブ
- [利用者] タブ

残りの三つのタブについては、次の個所を参照してください。

- [ポートレット] タブ:「10.3 ポートレットを管理するための画面」
- [レイアウト] タブ:「10.4 レイアウトを管理するための画面」
- [インポート・エクスポート] タブ:「10.5 インポート・エクスポートするための画面」

(1) [全般] タブ (ポータル管理グループ設定画面)

図 10-12 [全般] タブ (ポータル管理グループ設定画面)



ツリーメニュー領域で選択したポータル管理グループの情報を参照するためのタブです。

【ポータル管理グループのタイトル】

【 】の中に、ポータル管理グループのタイトルが表示されます。

[英語タイトル]

ポータル管理グループの英語タイトルが表示されます。

【管理者の条件】

ポータル管理グループに設定されている管理者の条件が表示されます。

【利用者の条件】

ポータル管理グループに設定されている利用者の条件が表示されます。

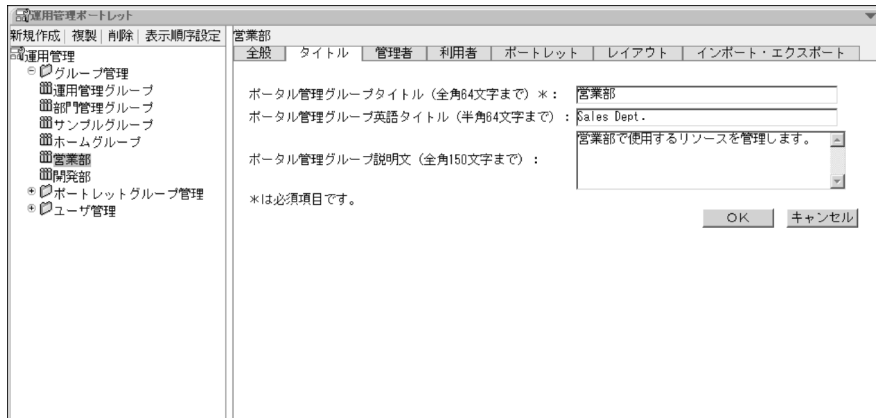
参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルが [英語タイトル] の下に表示されます。

(2) [タイトル] タブ (ポータル管理グループ設定画面)

ツリーメニュー領域で選択したポータル管理グループの、各種言語のタイトルおよび説明文を変更するためのタブです。このタブは運用管理者にだけ表示されます。

図 10-13 [タイトル] タブ (ポータル管理グループ設定画面)



[ポータル管理グループタイトル] テキストボックス < 指定必須 >

ポータル管理グループの日本語タイトルが表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、64文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポータル管理グループ英語タイトル] テキストボックス < 指定任意 >

ポータル管理グループの英語のタイトルが表示されます。変更する場合は、半角 64文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポータル管理グループ説明文] テキストボックス < 指定任意 >

ポータル管理グループの説明文が表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、150文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) を含む内容は設定できません。

[OK] ボタン

ポータル管理グループのタイトルおよび説明文が変更されて、[全般] タブに戻ります。

[キャンセル] ボタン

ポータル管理グループのタイトルおよび説明文が変更されないで、[全般] タブに戻ります。

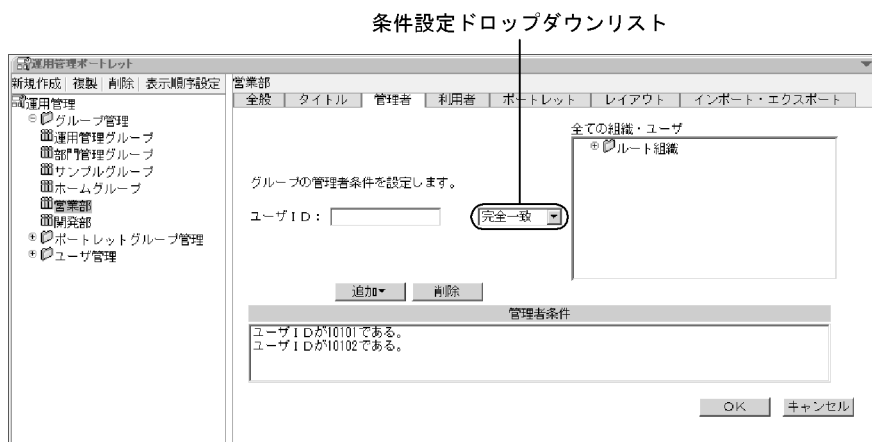
参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルを指定するためのテキストボックスが [ポータル管理グループ英語タイトル] テキストボックスの下に表示されます。

(3) [管理者] タブ (ポータル管理グループ設定画面)

ポータル管理グループの管理者 (部門管理者) を変更するためのタブです。部門管理者は、条件を設定することで決定されます。条件が設定されていない場合は、すべての利用者が部門管理者の権限を持つことになります。なお、このタブは運用管理者にだけ表示されます。

図 10-14 [管理者] タブ (ポータル管理グループ設定画面)



[ユーザID] テキストボックス < 指定任意 >

部門管理者の条件に設定するユーザIDを指定します。

ユーザIDを指定する方法には、次の2とおりがあります。

- [ユーザID] テキストボックスに直接指定する
- [全ての組織・ユーザ] ツリー領域からユーザIDを選択してテキストボックスに表示させる

条件設定ドロップダウンリスト < 指定任意 >

[ユーザID] テキストボックスに指定したユーザIDに対する条件を、次の三つから選択します。

- 前方一致

ユーザIDと文字列の前方が一致するユーザを検索する条件です。

例えば、ユーザIDが「taro」の場合、「taro2」は該当しますが、「hanako」は該当しません。

- 完全一致
ユーザ ID と完全に一致しているユーザ ID だけが該当する条件です。
- 一致しない
ユーザ ID と異なっているユーザ ID が該当する条件です。

なお、「taro」に「完全一致」して、かつ「taro」に「一致しない」と指定した場合、すべての利用者が部門管理者の権限を持つこととなります。

[全ての組織・ユーザ] ツリー領域

組織およびユーザがツリー形式で表示されます。ここでユーザを選択すると、[ユーザ ID] テキストボックスにユーザ ID を指定できます。

[追加] ボタン

[ユーザ ID] テキストボックスと条件設定ドロップダウンリストで設定した条件が、[管理者条件] 一覧領域に追加されます。

[削除] ボタン

[管理者条件] 一覧領域で選択した条件が削除されます。

[管理者条件] 一覧領域

部門管理者の条件が一覧で表示されます。この一覧に表示されている条件すべてに該当するユーザが、部門管理者の権限を持ちます。

[OK] ボタン

部門管理者の条件が設定されて、[全般] タブに戻ります。

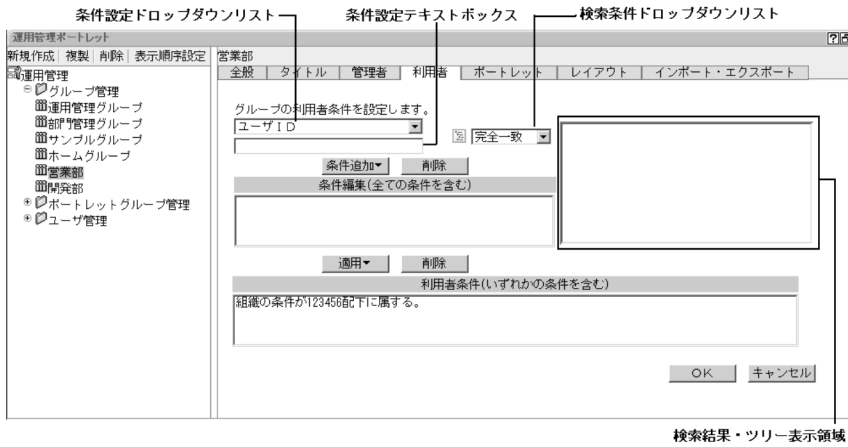
[キャンセル] ボタン

部門管理者の条件が設定されないで、[全般] タブに戻ります。

(4) [利用者] タブ (ポータル管理グループ設定画面)

ポータル管理グループの利用者を変更するためのタブです。利用者は条件を設定することで決定されます。条件が設定されていない場合は、すべてのユーザが利用者の権限を持つこととなります。なお、このタブは運用管理者にだけ表示されます。

図 10-15 [利用者] タブ (ポータル管理グループ設定画面)



条件設定ドロップダウンリスト < 指定任意 >

条件設定テキストボックスに指定する利用者の条件を選択します。利用者の条件を設定する項目には、次の六つがあります。

- ユーザ ID
- ユーザ名 (システム管理者が定義した場合だけ設定することができます)。
- 役職
- ユーザ定義項目 (システム管理者が定義した項目です。例えば、電話番号やメールアドレスなど。)
- 組織 ID
- グループ

条件設定テキストボックス < 指定任意 >

条件設定テキストボックスに指定できる文字は、条件設定ドロップダウンリストの選択項目によって次のとおり異なります。

「ユーザ ID」の場合：

利用者の条件に設定するユーザ ID を指定します。指定するには、直接入力する方法と、ツリーボタンを使用して検索結果・ツリー表示領域からユーザ ID を選択する方法があります。

その他の項目の場合：

利用者の条件に設定する内容を指定します。全角・半角どちらも指定できます。ただし、次の文字は指定できません。

- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 引用符「 ” 」(JIS X0201 での 0x22)
- アポストロフィ「 ’ 」(JIS X0201 での 0x27)
- 縦棒「 | 」(JIS X0201 での 0x7c)

指定するには、直接入力する方法と、検索ボタンを使って検索結果・ツリー表示領域から選択する方法があります。「組織 ID」を指定する場合は、ツリーボタンを使用して選択する方法もあります。

検索ボタン ()

テキストボックスに設定した文字を含む値が、検索結果・ツリー表示領域に一覧表示されます。検索ボタンが使用できるのは、ユーザ ID 以外の項目の場合です。なお、システム管理者の設定によっては、検索ボタンが表示されないことがあります。

ツリーボタン ()

検索結果・ツリー表示領域に、組織やユーザをツリー形式で表示します。ユーザ ID と組織のどちらのツリーボタンをクリックしたかによって、検索結果・ツリー表示領域に表示される内容が異なります。

- ユーザ ID の場合
組織およびユーザ (ユーザ名および ID) が表示されて、ユーザを選択できます。
- 組織 ID の場合
組織 (組織名および ID) が表示されて、組織を選択できます。

検索条件ドロップダウンリスト < 指定任意 >

各テキストボックスに指定した値に対する条件を、次の四つから選択します。

- 前方一致
値と文字列の前方が一致するユーザを検索する条件です。
- 完全一致
値と完全に一致しているユーザだけが該当する条件です。
- 一致しない
値と異なっているユーザが該当する条件です。
- 部分一致
値と文字列の一部が一致するユーザを検索する条件です。

検索結果・ツリー表示領域

検索ボタンまたはツリーボタンをクリックした場合に、テキストボックスに入力する候補となる値が表示されます。

- 検索ボタンをクリックした場合
「役職名」および「ユーザ定義項目」の場合、テキストボックスに指定した文字を含む名称が一覧表示されます。クリックすると、テキストボックスに名称が入力されます。
「組織 ID」の場合、テキストボックスに指定した文字を含む組織 ID が一覧表示されます。クリックすると、テキストボックスに組織 ID が入力されます。
「グループ」の場合、テキストボックスに指定した文字を含むグループ ID が一覧表示されます。クリックすると、テキストボックスにグループ ID が入力されます。
- ツリーボタンをクリックした場合
組織やユーザがツリー形式で表示されて、選択できます。「ユーザ ID」の場合は

10. 運用管理の画面

組織およびユーザが表示されて、ユーザを選択することでユーザ ID をテキストボックスに指定できます。

「組織 ID」の場合は組織だけが表示されて、組織を選択することで組織 ID をテキストボックスに指定できます。

[条件追加] ボタン

設定した条件が、[条件編集] 一覧領域に追加されます。

[削除] ボタン ([条件編集] 一覧領域の上部)

[条件編集] 一覧領域で選択した条件が削除されます。

[条件編集] 一覧領域

利用者の条件が一覧で表示されます。この一覧に表示されている条件すべてに該当するユーザが、利用者の権限を持ちます。

なお、この一覧領域は条件を編集するための領域です。編集した条件を反映させるためには [適用] ボタンをクリックし [利用者条件] 一覧領域に追加する必要があります。

[適用] ボタン

設定した条件が、[利用者条件] 一覧領域に追加されます。

[削除] ボタン ([利用者条件] 一覧領域の上部)

[利用者条件] 一覧領域で選択した条件が削除されます。

[利用者条件] 一覧領域

利用者の条件が一覧で表示されます。この一覧に表示されている条件のいずれかに該当するユーザが、利用者の権限を持ちます。

[OK] ボタン

利用者の条件が設定されて、[全般] タブに戻ります。

[キャンセル] ボタン

利用者の条件が設定されないで、[全般] タブに戻ります。

10.3 ポートレットを管理するための画面

ここでは、ポートレットの生成、アクセス権の設定、基本情報の編集、および削除時に使用する画面について説明します。

10.3.1 ポートレット一覧表示画面

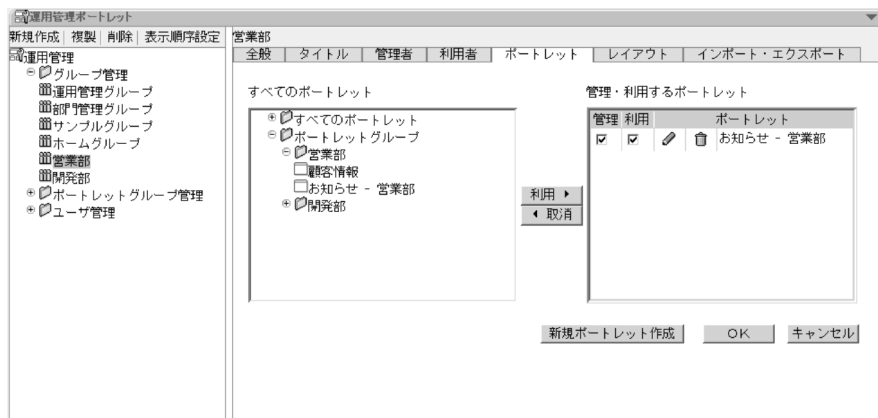
ポートレット一覧表示画面とは、ポータル管理グループ設定画面の [ポートレット] タブの画面です。この画面で、ポータル管理グループで管理・利用するポートレットを登録したり、アクセス権を設定したりします。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「6.2 ポートレットを設定する」
- 「6.5 ポートレットを削除する」

ポートレット一覧表示画面の各項目について説明します。なお、この画面は運用管理者と部門管理者で表示される項目が異なります。

図 10-16 ポートレット一覧表示画面（運用管理者の場合）



[すべてのポートレット] ツリー領域 < 運用管理者にだけ表示 >

現在選択しているポータル管理グループで利用できるポートレットをツリー形式で表示します。

[利用] ボタン < 運用管理者にだけ表示 >

[すべてのポートレット] ツリー領域で、現在選択しているポータル管理グループで管理または利用したいポートレットを選択します。そのあと、このボタンをクリックすると、[管理・利用するポートレット] 一覧領域のいちばん下にポートレットが追加されます。

[取消] ボタン < 運用管理者にだけ表示 >

現在選択しているポータル管理グループで管理または利用するのを取りやめたい

10. 運用管理の画面

ポートレットがある場合に使用するボタンです。

[管理・利用するポートレット]一覧領域でポートレットを選択して、このボタンをクリックすると、[管理・利用するポートレット]一覧領域から削除されます。

なお、選択したポートレットから生成したポートレットがある場合、生成したポートレットも削除されます。

[管理・利用するポートレット]一覧領域 <部門管理者の場合は[利用するポートレット]と表示>


現在選択しているポータル管理グループで管理または利用するポートレットが、登録順に一覧で表示されます。

[管理]チェックボックス <運用管理者にだけ表示>

チェックを入れると、そのポートレットを部門管理者が管理できるようになります。


[利用]チェックボックス

チェックを入れると、そのポートレットを利用者が利用できるようになります。

編集ボタン ()

ポートレットの基本情報を編集するための、[ポートレット編集]画面が表示されます。詳細は、「10.3.2 [ポートレット編集]画面(共通の画面項目)」を参照してください。

なお、このボタンは編集できる権限があるポートレットにだけ表示されます。

削除ボタン ()

ポートレットを削除します。なお、次のポートレットの場合、削除ボタンは表示されません。

- ほかのポータル管理グループで作成したポートレット
- Portal Manager で作成したポートレット
- テンプレート型ポートレット
- 標準 API ポートレット

ポートレット

ポートレットタイトルが表示されます。

[新規ポートレット作成]ボタン

ポートレットを新規に作成するための、新規ポートレット作成画面が表示されます。詳細は、「10.3.6 [新規ポートレット作成]画面」を参照してください。

[OK]ボタン

設定した情報が反映されて、ポータル管理グループ設定画面の[全般]タブに戻ります。

[キャンセル]ボタン

設定した情報が反映されないで、ポータル管理グループ設定画面の[全般]タブに戻ります。

10.3.2 [ポートレット編集]画面(共通の画面項目)

[ポートレット編集]画面とは、ポートレットの基本情報を編集するための画面です。ポートレット一覧表示画面で、基本情報を編集したいポートレットの編集ボタンをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「6.3 ポートレットの基本情報を設定・変更する」

[ポートレット編集]画面は、ポートレットの種類によって表示される項目が異なります。ここでは、すべてのポートレットの種類で共通の画面項目について説明します。

ポートレット種類ごとに異なる固有の画面項目については、次の個所を参照してください。

- 「10.3.3 [ポートレット編集]画面(日立 API ポートレットの画面項目)」
- 「10.3.4 [ポートレット編集]画面(Web Page / Web App / Multi Web ポートレットの画面項目)」
- 「10.3.5 [ポートレット編集]画面(Web コンテンツポートレットの画面項目)」

注 File ポートレットには固有の画面項目がないため、共通の画面項目の説明だけを参照してください。

図 10-17 [ポートレット編集]画面(共通の画面項目)

[生成元ポートレットID]

生成元ポートレットの名称が表示されます。

[ポートレットID]テキストボックス <指定必須>

ポートレット名が表示されます。変更する場合は、半角英数字 32 文字以内で指定してください。記号、全角文字、空白、制御文字(タブおよび改行)は指定できません。

[ポートレットタイトル]テキストボックス <指定任意>

ポートレットのタイトルが表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、

80 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポートレット英語タイトル] テキストボックス < 指定任意 >

ポートレットの英語タイトルが表示されます。変更する場合は、半角 80 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポートレット説明文] テキストボックス < 指定任意 >

ポートレットの説明文が表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、80 文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) を含む内容は設定できません。

[初期値に戻す] ボタン

変更した値が、[ポートレット編集] 画面を表示したときの値にすべて戻ります。

[完了] ボタン

変更した値が反映されて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

変更した値が反映されないで、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルを指定するためのテキストボックスが [ポートレット英語タイトル] テキストボックスの下に表示されません。

10.3.3 [ポートレット編集] 画面 (日立 API ポートレットの画面項目)

ここでは、[ポートレット編集] 画面の、日立 API ポートレット固有の画面項目を説明します。共通の画面項目については、「10.3.2 [ポートレット編集] 画面 (共通の画面項目)」を参照してください。

編集対象として日立 API ポートレットを選択した場合の、[ポートレット編集] 画面を次

に示します。

図 10-18 [ポートレット編集] 画面 (日立 API ポートレットの画面項目)

日立APIポートレット固有の画面項目

The screenshot shows a web-based form titled 'ポートレット編集' (Portlet Edit). It contains several input fields and a list of parameters. The fields are: '生成元ポートレットID:' (Sample1), 'ポートレットID(半角32文字まで)*:' (HitachiAPISample), 'ポートレットタイトル(全角80文字まで):' (日立APIサンプル), 'ポートレット英語タイトル(80文字まで):' (日立APIサンプル), and 'ポートレット説明文(全角80文字まで):' (日立APIポートレットのサンプルです。). Below these is a section 'その他のパラメータ' (Other Parameters) with a table-like structure showing '設定項目' (Setting Item) as 'hptl.NewWindowMode' and '設定値' (Setting Value) as 'true'. There are '追加' (Add) and '削除' (Delete) buttons. At the bottom, there are '初期値に戻す' (Reset to Default), '完了' (Complete), and 'キャンセル' (Cancel) buttons. A red box highlights the parameter list area, with a label 'パラメーター一覧領域' (Parameter List Area) pointing to it.

パラメーター一覧領域

[その他のパラメータ]

日立 API ポートレットの任意の設定項目 (タイトルバーの別画面表示ボタンの有無や、ポートレットのヘルプの URL など) を編集できます。任意の設定項目とは、ポートレット定義ファイル (jetspeed-config.jcfg) に記載されている name 属性値と value 属性値のことです。ポートレット定義ファイルの詳細は、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。デフォルト値は、編集対象のポートレットの設定値です。

[設定項目] テキストボックス < 指定任意 >

設定項目に対応する name 属性値を指定します。

指定例: hptl.NewWindowMode

[設定値] テキストボックス < 指定任意 >

設定項目に対応する value 属性値を指定します。

指定例: true

[追加] ボタン

[設定項目] および [設定値] テキストボックスに指定した値を基に、パラメーター一覧領域にパラメータを追加します。

追加されるパラメータの例: hptl.NewWindowMode = true

[削除] ボタン

パラメーター一覧領域で選択したパラメータを削除します。

パラメーター一覧領域

パラメータが登録順に表示されます。デフォルト値は、編集対象のポートレットのパラメータです。

なお、すでに登録されているパラメータの内容を変更したい場合は、まずパラメーター

10. 運用管理の画面

覧領域でパラメタを選択します。[設定項目]および[設定値]テキストボックスに表示される値を編集してから[追加]ボタンをクリックすると、パラメタの内容が変更されます。

10.3.4 [ポートレット編集]画面 (Web Page / Web App / Multi Web ポートレットの画面項目)

ここでは、[ポートレット編集]画面の、Web Page ポートレット、Web App ポートレット、Multi Web ポートレット固有の画面項目について説明します。共通の画面項目については、「10.3.2 [ポートレット編集]画面 (共通の画面項目)」を参照してください。

(1) Web Page ポートレットの画面項目

編集対象として Web Page ポートレットを選択した場合の、[ポートレット編集]画面を次に示します。

図 10-19 [ポートレット編集]画面 (Web Page ポートレット)

Web Pageポートレット固有の画面項目

コンテンツフィルタリング条件領域

Web Page ポートレット固有の画面項目を説明します。

[コンテンツ URL] テキストボックス <指定任意>

ポートレットに表示するコンテンツの URL を指定します。デフォルト値は、編集対象のポートレットの URL です。

[コンテンツフィルタリング コメント] <指定任意>

[コンテンツ URL] テキストボックスに指定した URL のコンテンツのうち、編集対象のポートレットに表示する部分を、コメント文を利用して絞り込みたい場合に指定します。

[開始] テキストボックス

編集対象のポートレットに表示したい部分の開始コメント文を指定します。

指定例：<!-- renraku_kaishi -->

[終了] テキストボックス

編集対象のポートレットに表示したい部分の終了コメント文を指定します。

指定例：<!-- renraku_syuryo -->

[追加] ボタン

[開始] または [終了] テキストボックスに入力したコメント文を基に、コンテンツフィルタリング条件領域に条件を追加します。

追加される条件の例：<!-- renraku_kaishi --> ~ <!-- renraku_syuryo -->

[削除] ボタン

コンテンツフィルタリング条件領域で選択した条件を削除します。

コンテンツフィルタリング条件領域

条件が登録順に表示されます。デフォルト値は、編集対象のポートレットの条件です。

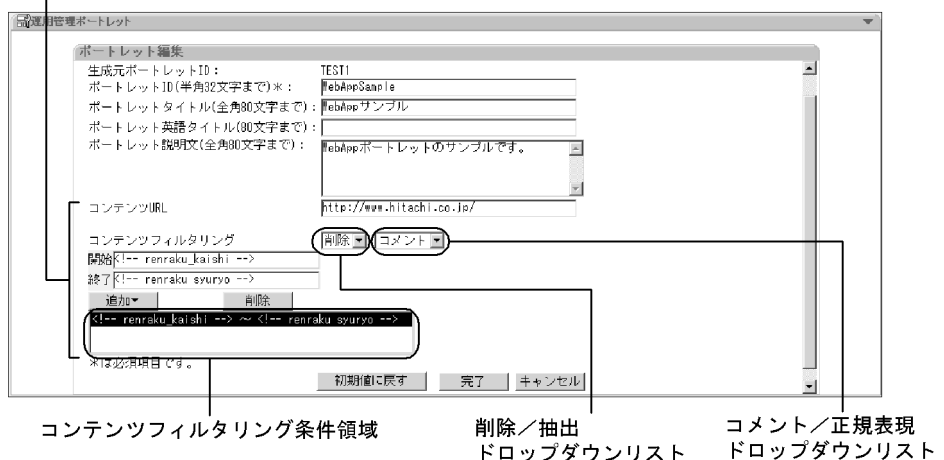
なお、すでに登録されている条件の内容を変更したい場合は、まずコンテンツフィルタリング条件領域で条件を選択します。[開始] および [終了] テキストボックスに表示される値を編集してから [追加] ボタンをクリックすると、条件の内容が変更されます。

(2) Web App ポートレットの画面項目

編集対象として Web App ポートレットを選択した場合の、[ポートレット編集] 画面を次に示します。

図 10-20 [ポートレット編集] 画面 (Web App ポートレット)

Web Appポートレット固有の画面項目



Web App ポートレット固有の画面項目を説明します。

10. 運用管理の画面

[コンテンツ URL] テキストボックス < 指定任意 >

ポートレットに表示するコンテンツの URL を指定します。デフォルト値は、編集対象のポートレットの URL です。

[コンテンツフィルタリング] < 指定任意 >

[コンテンツ URL] テキストボックスに指定した URL のコンテンツのうち、編集対象のポートレットに表示する部分を絞り込みたい場合に指定します。

削除 / 抽出ドロップダウンリスト

不要な部分を削除する方法と必要な部分を抽出する方法のうち、どちらの方法でコンテンツを絞り込むのかを選択します。

コメント / 正規表現ドロップダウンリスト

コメント文と正規表現のうち、どちらを指定してコンテンツを絞り込むのかを選択します。

[開始] テキストボックス

編集対象のポートレットに表示または削除したい部分の開始場所を、コメント文または正規表現で指定します。

コメント文の指定例：<!-- renraku_kaishi -->

正規表現の指定例：

[終了] テキストボックス

編集対象のポートレットに表示または削除したい部分の終了場所を、コメント文または正規表現で指定します。

コメント文の指定例：<!-- renraku_syuryo -->

正規表現の指定例：

[追加] ボタン

[開始] または [終了] テキストボックスに指定した値を基に、コンテンツフィルタリング条件領域に条件を追加します。このボタンは、コメント / 正規表現ドロップダウンリストで [コメント] を選択している場合だけ表示されます。

追加される条件の例 (コメント文) : <!-- renraku_kaishi --> ~ <!--

renraku_syuryo -->

[削除] ボタン

コンテンツフィルタリング条件領域で選択した条件を削除します。このボタンは、コメント / 正規表現ドロップダウンリストで [コメント] を選択している場合だけ表示されます。

コンテンツフィルタリング条件領域

条件が登録順に表示されます。デフォルト値は、編集対象のポートレットの条件です。この領域は、コメント / 正規表現ドロップダウンリストで [コメント] を選択している場合だけ表示されます。

なお、すでに登録されている条件の内容を変更したい場合は、まずコンテンツフィルタリング条件領域で条件を選択します。[開始] および [終了] テキストボックスに表示される値を編集してから [追加] ボタンをクリックすると、条件の内容が変更されます。

(3) Multi Web ポートレットの画面項目

編集対象として Multi Web ポートレットを選択した場合の,[ポートレット編集]画面を次に示します。

図 10-21 [ポートレット編集]画面 (Multi Web ポートレット)

Multi Webポートレット固有の画面項目

The screenshot shows a window titled '新規ポートレット作成' (New Portlet Creation) with the following fields and values:

- 生成元ポートレットID: TEST2
- ポートレットID (半角92文字まで)*: MultiWebSample
- ポートレットタイトル(全角80文字まで): MultiWebサンプル
- ポートレット英語タイトル(80文字まで):
- ポートレット説明文(全角80文字まで): MultiWebポートレットのサンプルです。
- ポートレットのURL:

HTML:	http://www.hitachi.co.jp/
CHTML:	
HDML:	
- コンテンツフィルタリング: 正規表現
- 開始: `<a href = http://www.hitachi.co.jp/`
- 終了: `>/a>`

At the bottom, there are three buttons: '初期値に戻す' (Reset to Default), '完了' (Finish), and 'キャンセル' (Cancel). A note at the bottom states: '*は必須項目です。' (Required items are marked with *).

Multi Web ポートレット固有の画面項目を説明します。

[ポートレットの URL] テキストボックス <指定任意>

ポートレットの URL を指定します。ポートレットが対応しているデバイスに応じて,[HTML],[CHTML],[HDML]のどれか、またはすべてのテキストボックスに指定してください。デフォルト値は、編集対象のポートレットの URL です。

[コンテンツフィルタリング 正規表現] <指定任意>

[ポートレットの URL] テキストボックスに指定した URL のコンテンツのうち、編集対象のポートレットに表示する部分を、正規表現を利用して絞り込みたい場合に指定します。

[開始] テキストボックス

編集対象のポートレットに表示したい部分の開始場所を正規表現で指定します。

指定例: `<a href = http://www.hitachi.co.jp/`

[終了] テキストボックス

編集対象のポートレットに表示したい部分の終了場所を正規表現で指定します。

指定例: `>/a>`

10.3.5 [ポートレット編集]画面 (Web コンテンツポートレットの画面項目)

編集対象として Web コンテンツポートレットを選択した場合の,[ポートレット編集]画面を次に示します。

図 10-22 [ポートレット編集]画面 (Web コンテンツポートレット)

メニュー領域

[基本情報]

基本情報設定画面が表示されます。この画面で、Web コンテンツポートレットの基本情報（ポートレット名など）を編集できます。

[セッションキャッシュ]

キャッシュコンポーネントパラメタ設定画面が表示されます。この画面で、Web コンテンツポートレットで表示するコンテンツのキャッシュの有効期間と保存数を設定できます。システムキャッシュメニューが表示されている場合はこのメニューは表示されません。キャッシュの設定については「6.6 Web コンテンツポートレットを作成する」を参照してください。

[システムキャッシュ]

キャッシュコンポーネントパラメタ設定画面が表示されます。この画面で、Web コンテンツポートレットで表示するコンテンツのキャッシュの有効期間と保存数を設定できます。セッションキャッシュメニューが表示されている場合はこのメニューは表示されません。キャッシュの設定については「6.6 Web コンテンツポートレットを作成する」を参照してください。

[変数設定]

変数設定コンポーネントパラメタ設定画面が表示されます。この画面で、コンテンツを取得する際に必要な情報を変数として設定できます。

[アクセスサイト n]

Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面が表示されます。この画面で、Web コンテンツポートレットで表示するコンテンツを取得する際に必要な情報を設定できます。

[正規表現の切り出し n]

正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面が表示されます。この画面で、Web コンテンツポートレットが取得したコンテンツを正規表現で切り出し

て表示するための設定ができます。

[正規表現の抽出 *n*]

正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面が表示されます。この画面で、Web コンテンツポートレットが取得したコンテンツを正規表現で抽出して表示するための設定ができます。

[ソート]

ソートコンポーネントパラメタ設定画面が表示されます。この画面で、正規表現で抽出された情報を並べ替える設定ができます。

[テンプレート適用]

テンプレート適用パラメタ設定画面が表示されます。この画面で、加工されたコンテンツデータにテンプレートを適用することで HTML ファイルを生成する設定ができます。

メイン領域

メニュー領域でクリックしたメニューに応じた画面が表示されます。メニュー領域でメニューをクリックする前は、基本情報設定画面が表示されます。

メニュー領域でメニューをクリックすると表示される画面を次に説明します。

(1) 基本情報設定画面

図 10-23 基本情報設定画面

ポートレット編集

基本情報

ポートレット ID (半角32文字まで)*: WebContentsSample

ポートレットタイトル(全角80文字まで): Webコンテンツサンプル

ポートレット英語タイトル(80文字まで):

ポートレットタイトル(zh-CN)(80文字まで):

ポートレット説明文
(全角80文字まで/改行入力不可):

ポートレット横幅サイズ: 指定なし

画面モードフラグ:
 最小化 最大化 閉じる
 レイアウト不可

表示方法:

*は必須項目です。

保存 完了 キャンセル

[ポートレット ID]

編集するポートレットの名称が表示されます。

[ポートレットタイトル] テキストボックス < 指定任意 >

編集するポートレットのタイトルが表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、80文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)

10. 運用管理の画面

- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポートレット英語タイトル] テキストボックス < 指定任意 >

編集するポートレットの英語タイトルが表示されます。変更する場合は、半角 80 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[ポートレット説明文] テキストボックス < 指定任意 >

編集するポートレットの説明文が表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、80 文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) を含む内容は設定できません。

[ポートレット横幅サイズ] ドロップダウンリスト < 指定任意 >

編集するポートレットの横幅サイズが表示されます。変更する場合は、[指定なし]、[サイズ小]、[サイズ中] または [サイズ大] を選択できます。

[画面モードフラグ] チェックボックス < 指定任意 >

編集するポートレットのタイトルバーに表示されるボタンの設定が表示されます。変更する場合は、[最小化]、[最大化]、または [閉じる] ボタンを設定できます。

[表示方法] チェックボックス < 指定任意 >

編集するポートレットが、[ポートレットの選択] 画面に表示されるポートレットとして設定されているかどうかが表示されます。[レイアウト不可] にチェックを入れると、[ポートレットの選択] 画面上に表示されないで、特定のポートレットからだけ呼び出せるポートレットになります。

[保存] ボタン

編集した内容が一時保存されます。

[完了] ボタン

編集した内容が反映されて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

編集した内容が反映されないで、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

(2) キャッシュコンポーネントパラメタ設定画面

図 10-24 キャッシュコンポーネントパラメタ設定画面

[このコンポーネントを使用する] チェックボックス < 指定任意 >
このコンポーネントを使用する場合はチェックします。

[キャッシュ有効期限] テキストボックス < 指定任意 >
キャッシュの有効期限を半角数字で指定します。単位は秒です。指定できる値は 1 ~ 86,400 です。

[保持キャッシュ数] テキストボックス < 指定任意 >
保持するキャッシュの最大数を半角数字で指定します。アクセスした URL 単位にキャッシュを保存します。コンテンツ取得元のアクセスサイト数より大きい数を指定してください。保持キャッシュ数が不足した場合は、最初に保持したキャッシュを破棄します。指定できる値は 1 ~ 100 です。

[インスタンスキャッシュのクリア] ボタン
編集する Web コンテンツポートレットの、インスタンスごとのキャッシュをクリアします。

[全体キャッシュのクリア] ボタン
編集する Web コンテンツポートレットの、すべてのキャッシュをクリアします。

[保存] ボタン
編集した内容が一時保存されます。

[完了] ボタン
編集した内容が反映されて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン
編集した内容が反映されないで、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

注 セッションキャッシュおよびシステムキャッシュで共通の画面です。

(3) 変数設定コンポーネントパラメタ設定画面

図 10-25 変数設定コンポーネントパラメタ設定画面

[このコンポーネントを使用する] チェックボックス < 指定任意 >
このコンポーネントを使用する場合はチェックします。

[変数 n]

変数の値を取得する方法を指定します。取得する方法は以下の二つから選択できます。ユーザ編集クラスを指定する場合は、[UOC を使用] を選択してください。

- UOC を使用
- Form 認証フィールド値から取得

[変数名] テキストボックス < 指定任意 >

変数名を定義します。使用できる文字は半角英数字およびアンダーバー (_) で、英字から始まる必要があります。64 文字以内で指定してください。

[Form 認証フィールド値指定] ドロップダウンリスト < 指定任意 >

Form 認証フィールド値から取得する場合に、取得するアクセスサイトとフィールドを指定します。なお、ユーザ編集クラスを使用し取得する場合は、本項目は表示されません。

[クラス名] テキストボックス < 指定任意 >

ユーザ編集クラスを使用し取得する場合に、呼び出すクラスのクラス名を指定します。クラス名にはパッケージ名を含めた名称を指定してください。なお、Form 認証フィールド値から取得する場合は、本項目は表示されません。

[メソッド名] テキストボックス < 指定任意 >

ユーザ編集クラスを使用し取得する場合に、呼び出すクラスのメソッド名を指定します。なお、Form 認証フィールド値から取得する場合は、本項目は表示されません。

[メソッド引数] テキストボックス < 指定任意 >

ユーザ編集クラスを使用し取得する場合に、呼び出すメソッドに渡す引数を指定します。複数の値を引数として渡す場合は、カンマ(,)で区切って指定してください。なお、Form 認証フィールド値から取得する場合は、本項目は表示されません。

(4) Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面

図 10-26 Web コンテンツアクセスコンポーネントパラメタ設定画面

[このコンポーネントを使用する] チェックボックス < 指定任意 >

このコンポーネントを使用する場合はチェックします。アクセスサイト 1 の場合はこの項目は表示されません。

[Form 認証用 URL] テキストボックス < 指定任意 >

フォーム認証の認証先 URL を指定します。[Form 認証用 URL でコンテンツを取得する] にチェックをつけた場合は、指定必須です。

[Form 認証用 URL でコンテンツを取得する] チェックボックス < 指定任意 >

フォーム認証の認証先 URL で取得したコンテンツを使用する場合にチェックをつけます。

[コンテンツ取得用 URL] テキストボックス < 指定必須 >

取得するコンテンツの URL を指定します。Form 認証用 URL で [コンテンツを取得] にチェックをつけた場合は指定できません。

[ログアウト用 URL] テキストボックス < 指定任意 >

コンテンツを取得後にログアウトを行う場合にアクセスする URL を指定します。

[Basic 認証] ラジオボタン < 指定任意 >

アクセスサイトに接続する際に Basic 認証を有効にするか、無効にするか選択します。

[Proxy ホスト] テキストボックス < 指定任意 >

10. 運用管理の画面

プロキシサーバのホストを指定します。指定しない場合、コンテンツ取得 URL に直接接続します。

[Proxy ポート番号] テキストボックス < 指定任意 >

プロキシサーバのポート番号を指定します。Proxy ホストが設定して Proxy ポート番号を設定しない場合、ポート番号は 80 を指定したものとみなされます。

[Proxy ユーザ ID] テキストボックス < 指定任意 >

プロキシサーバのユーザ ID を指定します。

[Proxy パスワード] テキストボックス < 指定任意 >

プロキシサーバのパスワードを指定します。

[Form 認証失敗とみなす文字列] テキストボックス < 指定任意 >

Form 認証に失敗したと判断する文字列を指定します。この項目は、Form 認証用 URL が入力された場合は指定必須です。

[Form 認証情報] ラジオボタン < 指定必須 >

フォーム認証で使用するユーザ ID およびパスワードについて、ポータルと同じものを使用するか、利用者が入力したものを使用するかを選択します。初期状態では「ポータルと同じ」を選択状態とします。選択した項目によって、表示される設定項目が変わります。

- 「ポータルと同じ」を選択した場合
設定項目に [ユーザ ID のフィールド名] および [パスワードのフィールド名] が表示されます。
- 「ユーザが入力」を選択した場合
設定項目に [Form 認証レルム名] および [Form 認証フィールド *n*] が表示されます。

[ユーザ ID のフィールド名] テキストボックス < 指定任意 >

フォーム認証で使用するポータルのユーザ ID に対応するフィールド名を指定します。

[パスワードのフィールド名] テキストボックス < 指定任意 >

フォーム認証で使用するポータルのパスワードに対応するフィールド名を指定します。

[Form 認証レルム名] テキストボックス < 指定任意 >

フォーム認証で使用する情報を保存するキー名称 (レルム名) を指定します。レルムとは、同一の認証ポリシーを適用する範囲のことです。Form 認証情報で「ユーザが入力」を選択した場合は必ず指定してください。

[Form 認証フィールド *n*]

フォーム認証で使用するフィールドの情報を指定します。

[表示名] ドロップダウンリスト

フォーム認証画面で表示するときの表示名を選択します。選択した項目によって、表示される設定項目が変わります。

- 「固定値を使用」を選択した場合
設定項目に [認証ページフィールド名] テキストボックス、および [固定値] テキストボックスが表示されます。
- 「固定値を使用」以外を選択した場合
設定項目に [認証ページフィールド名] テキストボックス、および [パスワード属性を適用する] チェックボックスが表示されます。

[認証ページフィールド名] テキストボックス < 指定任意 >
フォーム認証で使用するフィールド名を指定します。

[固定値] テキストボックス < 指定任意 >
フォーム認証で使用する表示名を指定します。

[パスワード属性を適用する] チェックボックス < 指定任意 >
この項目がパスワード属性を適用する場合はチェックを入れます。

[アクセスサイトに送信する Cookie]

利用者のブラウザから送信された Cookie のうち、アクセスサイトに送信する Cookie の条件を指定します。アクセスサイトに接続するときに、この条件をすべて満たす Cookie をアクセスサイトに送信します。

[キー] テキストボックス < 任意指定 >
Cookie のキーを指定します。指定したキーと一致する Cookie をアクセスサイトに送信します。

[ドメイン名] テキストボックス < 任意指定 >
Cookie のドメインを指定します。ドメインを指定した場合、アクセスサイトのドメインと一致する場合に Cookie を送信します。

[パス] テキストボックス < 任意指定 >
Cookie のパスを指定します。パスを指定した場合、アクセスサイトのパスと一致する場合に Cookie を送信します。

[Secure 属性] ドロップダウンリスト

Cookie の Secure 属性の有効 / 無効を選択します。Secure 属性を有効に設定した場合、HTTPS 通信でアクセスサイトに接続する場合に Cookie を送信します。

[Cookie のドメイン] テキストボックス < 指定任意 >

利用者のブラウザに送信する Cookie に設定するドメイン名を指定します。アクセスサイトから Cookie が送られてきた場合、受信した Cookie を Web コンテンツポートレットから利用者のブラウザへ送信します。このとき、ドメイン名については「Cookie のドメイン」の値を設定します。ただし、「Cookie のドメイン」に指定したドメイン名とポータルサーバのドメイン名が一致していない場合は、ブラウザから Cookie の受信を拒否されます。

10. 運用管理の画面

[保存] ボタン

編集した内容が一時保存されます。

[完了] ボタン

編集した内容が反映されて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

編集した内容が反映されないで、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

注 HTTPS 通信でプロキシ接続をする場合、運用管理ポートレットからプロキシに関する設定をすることはできません。システム管理者が、ユーザ定義ファイル (usrconf.properties) に設定を追加することで、Proxy 接続ができるようになります。詳細は、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」の Web コンテンツポートレットを使用する場合の注意事項の説明を参照してください。

(5) 正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面

図 10-27 正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面

ポートレット編集

基本情報
セッションキャッシュ
素数設定
アクセスサイト1
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4
正規表現の抽出1
正規表現の抽出2
正規表現の抽出3
正規表現の抽出4
アクセスサイト2
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4
正規表現の抽出1
正規表現の抽出2
正規表現の抽出3

アクセスサイト1>正規表現の切り出し1

このコンポーネントを使用する。

切り出し設定

入力キー名: contents0

開始位置: <body[^>]*>

終了位置: </body>

出力キー名: contents0_area1

項目切り出し設定

入力キー名: contents0_area1

開始位置: <a%\$

終了位置:

出力キー名: contents0_field1

ネスト構造の切り出し方法: 考慮しないで切り出す

保存 完了 キャンセル

[このコンポーネントを使用する] チェックボックス < 指定任意 >

このコンポーネントを使用する場合はチェックします。

[切り出し設定]

Perl5 形式の正規表現で、コンテンツからデータを切り出します。

[入力キー名] テキストボックス < 指定任意 >

処理対象とする入力データのキー名を指定します。通常は、アクセスサイトから取得したコンテンツが格納されているキー名 (アクセスサイト 1 の場合は contents0) を指定します。半角 42 文字以内で指定してください。この項目は、開始位置または終了位置を指定した場合だけ指定必須です。

[開始位置] テキストボックス < 指定任意 >

切り出し開始位置を正規表現で指定します。省略した場合は、コンテンツの先

頭が開始位置になります。初期設定値は「<body[^>]*>」です。

[終了位置] テキストボックス < 指定任意 >

切り出し終了位置を正規表現で指定します。省略した場合は、コンテンツの末尾が終了位置になります。初期設定値は「</body>」です。

[出力キー名] テキストボックス < 指定任意 >

処理結果を出力するキー名を指定します。半角 42 文字以内で指定してください。この項目は、開始位置または終了位置を指定した場合だけ指定必須です。

[項目切り出し設定]

Perl5 形式の正規表現で、コンテンツから繰り返しデータを切り出します。なお、[切り出し設定] で開始位置と終了位置が指定されている場合、その範囲内でデータを切り出します。指定されていない場合は、コンテンツの開始から終了までの間でデータを切り出します。

[入力キー名] テキストボックス < 指定任意 >

処理対象とする入力データのキー名を指定します。通常は、切り出し設定の出力キー名を指定します。半角 42 文字以内で指定してください。この項目は、開始位置および終了位置を指定した場合だけ指定必須です。

[開始位置] テキストボックス < 指定任意 >

切り出し開始位置を正規表現で指定します。初期設定値は「<a¥s」です。この項目は、終了位置を指定した場合は指定必須です。

[終了位置] テキストボックス < 指定任意 >

切り出し終了位置を正規表現で指定します。初期設定値は「」です。この項目は、開始位置を指定した場合は指定必須です。

[出力キー名] テキストボックス < 指定必須 >

処理結果を出力するキー名を指定します。半角 42 文字以内で指定してください。この項目は、開始位置および終了位置を指定した場合だけ指定必須です。

[ネスト構造の切り出し方法] ドロップダウンリスト

切り出し対象の項目がネスト構造になっている場合に、切り出しの方法を選択します。切り出す方法は次の四つから選択できます。なお、ネスト構造の切り出し方法の詳細については、「6.6.6 取得したコンテンツを加工する」を参照してください。

- 考慮しないで切り出す
ネスト構造を考慮しないで、開始位置から最初に見つけた終了位置までを切り出します。
- 最上位階層のみを切り出す
ネスト構造の最も外側の階層だけを切り出します。
- 最下位階層のみを切り出す
ネスト構造の最も内側の階層だけを切り出します。
- 各階層ごとに切り出す
ネスト構造のすべての階層を各階層ごとに切り出します。

10. 運用管理の画面

[保存] ボタン

編集した内容が一時保存されます。

[完了] ボタン

編集した内容が反映されて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

編集した内容が反映されないで、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

(6) 正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面

図 10-28 正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面

ポートレット編集

基本情報
セッションキャッシュ
変数設定
アクセスサイト1
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4
正規表現の抽出1
正規表現の抽出2
正規表現の抽出3
正規表現の抽出4
アクセスサイト2
正規表現の切り出し1
正規表現の切り出し2
正規表現の切り出し3
正規表現の切り出し4

アクセスサイト1 > 正規表現の抽出1

このコンポーネントを使用する。

抽出設定

入力キー名: contents0_field1

出力キー名: site0_1

出力1
開始位置: href#s*=%s* 終了位置: [""]

出力2
開始位置: <a[^>]*> 終了位置:

出力3
開始位置: 終了位置:

出力4
開始位置: 終了位置:

出力5
開始位置: 終了位置:

出力6
開始位置: 終了位置:

出力7
開始位置: 終了位置:

出力8
開始位置: 終了位置:

[このコンポーネントを使用する] チェックボックス < 指定任意 >

このコンポーネントを使用する場合はチェックします。

[入力キー名] テキストボックス < 指定任意 >

処理対象とする入力データのキー名を指定します。通常は、項目切り出し設定の出力キー名を指定します。半角 42 文字以内で指定してください。この項目は、開始位置または終了位置を指定した場合だけ指定必須です。

[出力キー名] テキストボックス < 指定任意 >

処理結果を出力するキー名を指定します。半角 42 文字以内で指定してください。この項目は、開始位置または終了位置を指定した場合だけ指定必須です。

[出力 *n*]

抽出の開始および終了位置を、Perl5 形式の正規表現で指定します。

[開始位置] テキストボックス < 指定任意 >

抽出開始位置を正規表現で指定します。デフォルト値は、[出力 1] は「href#s*=%s*[""]」、[出力 2] は「<a[^>]*>」です。

[終了位置] テキストボックス < 指定任意 >

抽出終了位置を正規表現で指定します。デフォルト値は、[出力 1] は「[""]」、[出力 2] は「」です。

[保存] ボタン

編集した内容が一時保存されます。

[完了] ボタン

編集した内容が反映されて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

編集した内容が反映されなくて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

(7) ソートコンポーネントパラメタ設定画面

図 10-29 ソートコンポーネントパラメタ設定画面

[このコンポーネントを使用する] チェックボックス < 指定任意 >

このコンポーネントを使用する場合はチェックします。

[入力キー名] テキストボックス < 指定必須 >

処理対象とする入力データのキー名を指定します。抽出設定の出力キー名を指定します。半角 42 文字以内で指定してください。

[n 番目のキー] ドロップダウンリスト < 指定必須 >

ソートするデータを選択します。正規表現での抽出コンポーネントパラメタ設定画面で指定した出力項目ごとに設定します。

[昇順 / 降順] ドロップダウンリスト < 指定必須 >

昇順でソートするか、降順でソートするかを指定します。

[データ型] ドロップダウンリスト < 指定必須 >

ソートするデータ型を選択します。指定できるデータ型は数値または文字列です。

[保存] ボタン

編集した内容が一時保存されます。

[完了] ボタン

編集した内容が反映されて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

10. 運用管理の画面

[キャンセル] ボタン

編集した内容が反映されないで、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

(8) テンプレート適用パラメタ設定画面

図 10-30 テンプレート適用パラメタ設定画面

[使用するテンプレート] ドロップダウンリスト <指定必須>

使用するテンプレートを選択します。テンプレートはシステム共通のテンプレート、ポートレットで使用するテンプレートの順で、それぞれテンプレートの追加順に表示されます。なお、システム共通のテンプレートにはテンプレート名の前後に<>が付いて表示されます。

[インポート]

テンプレートをインポートするための設定をします。

[テンプレート名] テキストボックス

インポートするテンプレートの名称を指定します。半角英数字 32 文字以内で指定してください。すでに同一名称のテンプレートが存在する場合は、上書きされます。

[ファイル] テキストボックス

インポートするテンプレートをフルパスで指定します。[参照] ボタンをクリックして、[ファイルの選択] ダイアログで指定することもできます。

[システム共通で使用する] チェックボックス <指定任意>

システム共通で使用するテンプレートの場合にチェックをつけます。

[インポート] ボタン

テンプレートをインポートします。

[エクスポート]

テンプレートをエクスポートするための設定をします。

[テンプレート名] ドロップダウンリスト

エクスポートするテンプレートを選択します。テンプレートは名称順に表示されます。

[エクスポート] ボタン

テンプレートをエクスポートします。

[削除するテンプレート]

インポートしたテンプレートを削除するための設定をします。

[テンプレート名] ドロップダウンリスト

削除するテンプレートを選択します。

[削除] ボタン

テンプレートを削除します。

[ポータル内画面遷移] ラジオボタン < 指定必須 >

ポータル内画面遷移を行うかどうかを指定します。行う場合は「有効」を、行わない場合は「無効」を指定します。デフォルト値は「無効」です。また、選択した項目によって、表示される設定項目が変わります。

- 「有効」を選択した場合
[リンク先ターゲット] がドロップダウンリストで表示されます。
- 「無効」を選択した場合
[リンク先ターゲット] がテキストボックスで表示されます。

[リンク先ターゲット] ドロップダウンリスト < 指定任意 >

[ポータル内画面遷移] ラジオボタンで「有効」を選択した場合、アクセスサイトから取得したコンテンツのリンク先ターゲットを選択します。リンク先ターゲットは次の二つから選択できます。

- `_self`
リンク先をリンク元と同じフレームに表示します。
- `_top`
フレームを解除して、リンク先をウィンドウ全体に表示します。

[リンク先ターゲット] テキストボックス < 指定任意 >

[ポータル内画面遷移] ラジオボタンで「無効」を選択した場合、アクセスサイトから取得したコンテンツのリンク先ターゲットを指定します。

[ページ送り対象データ] テキストボックス

ページ送りをするときに対象とする入力データのキー名を指定します。半角 42 文字以内で指定してください。ページ送りの対象データを指定することで、ページ送りで使用する変数が使用できます。ページ送りの変数については、「6.6.7 テンプレートを作成する」を参照してください。

[1 ページあたりの表示件数] テキストボックス < 指定任意 >

ページ送りをするときの 1 ページあたりの表示件数を指定します。指定できる値の範囲は 1 ~ 100 です。

10. 運用管理の画面

[保存] ボタン

編集した内容が一時保存されます。

[完了] ボタン

編集した内容が反映されて、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

編集した内容が反映されないで、ポートレット一覧表示画面に戻ります。

10.3.6 [新規ポートレット作成] 画面

[新規ポートレット作成] 画面とは、システム管理者が Portal Manager ですでに登録されているポートレットを基に、新しいポートレットを作成するための画面です。

ポータル管理グループ設定画面の [新規ポートレット作成] ボタンをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「6.1 ポートレットを生成する」
- 「6.6 Web コンテンツポートレットを作成する」

[新規ポートレット作成] 画面の各項目について説明します。

図 10-31 [新規ポートレット作成] 画面



作成元ポートレット一覧領域

作成元ポートレット一覧領域

新規ポートレットの作成元となるポートレットが一覧表示されます。表示される順序は、ポートレット名の昇順 (A ~ Z, a ~ z の順) です。

ただし、次のポートレットは作成元にはできないため、一覧に表示されません。

- 分散ポートレット
- 標準 API ポートレット
- 運用管理ポートレットから新規作成したポートレット

[ポートレットID]

ポートレット名が表示されます。作成元にしたいポートレット名のアンカーをクリックすると、ポートレットの属性を設定する画面が表示されます。表示される画面は、作成元ポートレットの種類によって異なります。画面の詳細は、次の個所を参照してください。

- 「10.3.2 [ポートレット編集]画面(共通の画面項目)」
- 「10.3.3 [ポートレット編集]画面(日立APIポートレットの画面項目)」
- 「10.3.4 [ポートレット編集]画面(Web Page / Web App / Multi Webポートレットの画面項目)」
- 「10.3.5 [ポートレット編集]画面(Webコンテンツポートレットの画面項目)」

[タイトル]

ポートレットのタイトルが表示されます。

[説明]

ポートレットの説明が表示されます。

[キャンセル] ボタン

ポートレット一覧表示画面に戻ります。

10.4 レイアウトを管理するための画面

ここでは、標準画面レイアウトを管理するために使用する画面について説明します。

10.4.1 レイアウト一覧表示画面

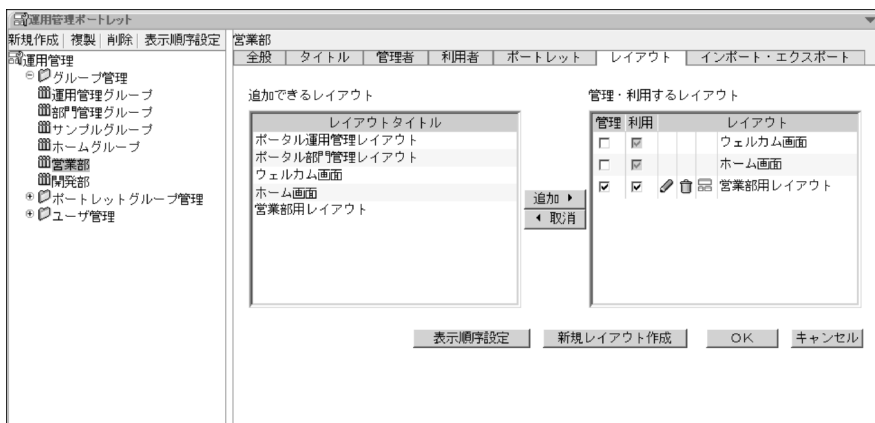
レイアウト一覧表示画面とは、ポータル管理グループ設定画面の [レイアウト] タブの画面です。この画面で、ポータル管理グループで管理・利用する標準画面レイアウトを登録したり、削除したりします。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.2 標準画面レイアウトのアクセス権を設定する」
- 「7.8 標準画面レイアウトを削除する」

レイアウト一覧表示画面の各項目について説明します。なお、この画面は運用管理者と部門管理者で表示される項目が異なります。

図 10-32 レイアウト一覧表示画面（運用管理者の場合）



[追加できるレイアウト] 一覧領域 < 運用管理者にだけ表示 >

現在選択しているポータル管理グループで利用できる標準画面レイアウトが一覧表示されます。

[追加] ボタン < 運用管理者にだけ表示 >

[追加できるレイアウト] 一覧領域で、現在選択しているポータル管理グループで管理または利用したい標準画面レイアウトを選択します。そのあと、このボタンをクリックすると、[管理・利用するレイアウト] 一覧領域のいちばん下に標準画面レイアウトが追加されます。

[取消] ボタン < 運用管理者にだけ表示 >

現在選択しているポータル管理グループで管理または利用するのを取りやめたい標準画面レイアウトがある場合に使用するボタンです。

[管理・利用するレイアウト] 一覧領域で標準画面レイアウトを選択して、このボタンをクリックすると、[管理・利用するレイアウト] 一覧領域から削除されます。

[管理・利用するレイアウト] 一覧領域 < 部門管理者の場合は [利用するレイアウト] と表示 >


現在選択しているポータル管理グループで管理または利用するポートレットが、登録順に一覧で表示されます。

[管理] チェックボックス < 運用管理者にだけ表示 >

チェックを入れると、そのポートレットを部門管理者が管理できるようになります。


[利用] チェックボックス

チェックを入れると、そのポートレットを利用者が利用できるようになります。

編集ボタン ()


標準画面レイアウトの基本情報を編集するための、[レイアウト情報設定] 画面が表示されます。詳細は、「10.4.3 [レイアウト情報設定] 画面」を参照してください。

なお、このボタンは、現在選択しているポータル管理グループで作成された標準画面レイアウトにだけ表示されます。

削除ボタン ()

標準画面レイアウトを削除します。

なお、このボタンは、現在選択しているポータル管理グループで作成された標準画面レイアウトにだけ表示されます。

ポートレット配置設定ボタン ()

標準画面レイアウトにポートレットをどのように配置するかを設定するための、[ポートレット配置設定] 画面が表示されます。詳細は、「10.4.2 [ポートレット配置設定] 画面」を参照してください。

なお、このボタンは、現在選択しているポータル管理グループで作成された標準画面レイアウトにだけ表示されます。

[表示順序設定] ボタン

標準画面レイアウトの表示順序を設定するための、レイアウト表示順序設定画面が表示されます。詳細は、「10.4.5 レイアウト表示順序設定画面」を参照してください。

[新規レイアウト作成] ボタン

標準画面レイアウトを新規に作成するための、[レイアウト新規作成] 画面が表示されます。詳細は、「10.4.4 [レイアウト新規作成] 画面」を参照してください。

[OK] ボタン

設定した情報が反映されて、ポータル管理グループ設定画面の [全般] タブに戻ります。

10. 運用管理の画面

[キャンセル] ボタン

設定した情報が反映されないで、ポータル管理グループ設定画面の [全般] タブに戻ります。

10.4.2 [ポートレット配置設定] 画面

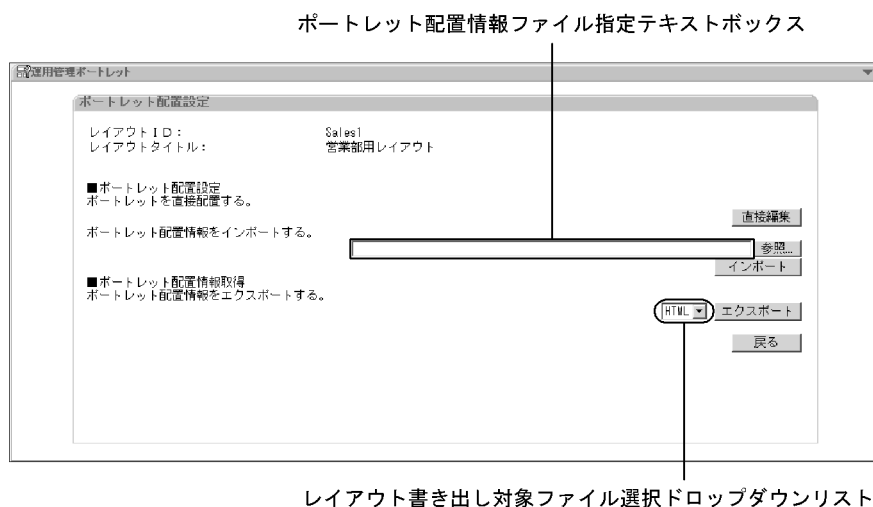
[ポートレット配置設定] 画面とは、標準画面レイアウトに表示するポートレットの配置を設定するための画面です。

この画面の表示方法、およびこの画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.4 標準画面レイアウトを編集する」
- 「7.5 拡張レイアウトを編集する」
- 「7.7 標準画面レイアウトをエクスポート・インポートする」

[ポートレット配置設定] 画面の各項目について説明します。

図 10-33 [ポートレット配置設定] 画面



[レイアウトID]

レイアウト一覧表示画面でポートレット配置設定ボタンをクリックされた、標準画面レイアウトの名称が表示されます。

[レイアウトタイトル]

レイアウト一覧表示画面でポートレット配置設定ボタンをクリックされた、標準画面レイアウトのタイトルが表示されます。

[ポートレット配置設定]

標準画面レイアウトの、ポートレットの配置を設定するための項目です。GUI上で直接編集する方法と、ポートレット配置情報ファイルを読み込んで（インポート）

設定する方法の2とおりがあります。ただし、インポートできるのは、拡張レイアウト形式のポートレット配置情報ファイルだけです。

ポートレット配置情報ファイルの詳細は、「7.5.1 ポートレット配置情報ファイルの作成」を参照してください。

[直接編集] ボタン

ポートレットの配置を GUI 上で編集するための、[カスタマイズ対象指定画面] が表示されます。詳細は、「10.4.6 [カスタマイズ対象指定画面]」を参照してください。

ポートレット配置情報ファイル指定テキストボックス

インポートしたい拡張レイアウト形式のポートレット配置情報ファイルの格納場所を、フルパスで指定します。[参照] ボタンをクリックして、[ファイルの選択] ダイアログで格納場所を指定することもできます。

[インポート] ボタン

ポートレット配置情報ファイル指定テキストボックスで指定されたファイルをインポートします。そのあと、インポートしたファイルの [レイアウト編集画面] を表示します。詳細は、「10.4.8 [レイアウト編集画面] (拡張レイアウト)」を参照してください。

[ポートレット配置情報取得]

標準画面レイアウトのポートレットの配置情報をファイルに出力 (エクスポート) します。エクスポートしたファイルを編集してから再度インポートすることで、ポートレットの配置を変更できます。

レイアウト書き出し対象ファイル選択ドロップダウンリスト

HTML と PSML のどちらかを選択します。デフォルト値は HTML です。

[エクスポート] ボタン

レイアウト書き出し対象ファイル選択ドロップダウンリストで選択された形式のファイルにエクスポートします。

ただし、選択した標準画面レイアウトが拡張レイアウト形式以外の場合は、レイアウト書き出し対象ファイル選択ドロップダウンリストでの指定に関係なく、PSML ファイルにエクスポートします。

[戻る] ボタン

レイアウト一覧表示画面に戻ります。

10.4.3 [レイアウト情報設定] 画面

[レイアウト情報設定] 画面とは、標準画面レイアウトの基本情報 (レイアウトの名称や説明文など) を設定するための画面です。

この画面の表示方法、およびこの画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.3 標準画面レイアウト情報を設定する」

10. 運用管理の画面

[レイアウト情報設定] 画面の各項目について説明します。

図 10-34 [レイアウト情報設定] 画面

[レイアウト ID]

編集する標準画面レイアウトのレイアウト名が表示されます。

[レイアウトタイトル] テキストボックス < 指定必須 >

編集する標準画面レイアウトのタイトルが表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、64文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[レイアウト英語タイトル] テキストボックス < 指定任意 >

編集する標準画面レイアウトの英語タイトルが表示されます。変更する場合は、半角 64 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)

[レイアウト説明文] テキストボックス < 指定任意 >

編集するポータルの説明文が表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、150文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f) を含む内容は設定できません。

[画面表示種別] ドロップダウンリスト < 指定任意 >

標準画面レイアウトの表示種別を、次の三つから選択します。

- 通常表示

ポータルを初めて利用したユーザがログインしたときに表示されます。この表示

種別の標準画面レイアウトは、利用者が任意に追加および削除できます。

- 強制表示
利用者がログインしたときに、必ず表示されます。この表示種別の標準画面レイアウトは、利用者が削除することはできません。
- 非表示（選択可能）
ポータルを初めて利用したユーザがログインしたときには、表示されません。この表示種別の標準画面レイアウトは、利用者が任意に追加および削除できます。

[OK] ボタン

設定した内容が反映されて、レイアウト一覧表示画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

設定した内容が反映されないで、レイアウト一覧表示画面に戻ります。

参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルを指定するためのテキストボックスが [レイアウト英語タイトル] テキストボックスの下に表示されません。

10.4.4 [レイアウト新規作成] 画面

[レイアウト新規作成] 画面とは、標準画面レイアウトを新規に作成するための画面です。

この画面の表示方法、およびこの画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.1 標準画面レイアウトを作成する」

[レイアウト新規作成] 画面の各項目について説明します。

図 10-35 [レイアウト新規作成] 画面

[レイアウト ID] テキストボックス < 指定必須 >

標準画面レイアウトのレイアウト名を、半角英数字 64 文字以内で指定してください。ただし、次の場合は設定が無効になりますので、ご注意ください。

- すでに存在するレイアウト ID を指定した場合
大文字・小文字は区別されません。すでに「layout1」というレイアウト ID が存在している場合、「Layout1」という ID は設定できません。
- レイアウト ID として指定できない文字列を指定した場合
レイアウト ID には、次の文字列を指定できません。
 - ・記号、全角文字、空白、制御文字（タブおよび改行）が含まれる文字列
 - ・「WPL」から始まる文字列
 - ・「default」という文字列

[レイアウトタイトル] テキストボックス < 指定必須 >

標準画面レイアウトのタイトルを指定します。全角・半角に関係なく、64 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字（JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf）
- 半角制御文字（JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f）
- 未定義文字（JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff）

[レイアウト英語タイトル] テキストボックス < 指定任意 >

標準画面レイアウトの英語タイトルを指定します。半角 64 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字（JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf）
- 半角制御文字（JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f）
- 未定義文字（JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff）

[レイアウト説明文] テキストボックス < 指定任意 >

標準画面レイアウトの説明文が表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、150文字以内で指定してください。

ただし、半角制御文字（JIS X0201での0x00～0x1f）を含む内容は設定できません。

[画面表示種別] ドロップダウンリスト <指定任意>

標準画面レイアウトの表示種別を、次の三つから選択します。

- 通常表示
ポータルを初めて利用したユーザがログインしたときに表示されます。この表示種別の標準画面レイアウトは、利用者が任意に追加および削除できます。
- 強制表示
利用者がログインしたときに必ず表示されます。この表示種別の標準画面レイアウトは、利用者が削除することはできません。
- 非表示（選択可能）
ポータルを初めて利用したユーザがログインしたときには表示されません。この表示種別の標準画面レイアウトは、利用者が任意に追加および削除できます。

[OK] ボタン

標準画面レイアウトが新規に作成されて、レイアウト一覧表示画面に戻ります。作成された標準画面レイアウトは、[管理・利用するレイアウト] 一覧領域のいちばん下に追加されます。

[キャンセル] ボタン

標準画面レイアウトが作成されないで、レイアウト一覧表示画面に戻ります。

なお、この画面で [OK] ボタンをクリックした時点では、作成された標準画面レイアウトは基本的な情報だけが設定された状態であり、まだ実際に使用することはできません。使用する前には、標準画面レイアウトにどのようにポートレットを配置するか、だれが標準画面レイアウトを管理したり利用したりするか、などを設定する必要があります。詳細は次の個所を参照してください。

- 「7.2 標準画面レイアウトのアクセス権を設定する」
- 「7.4 標準画面レイアウトを編集する」

参考

日本語および英語以外の言語をサポートしている場合は、その言語のタイトルを指定するためのテキストボックスが [レイアウト英語タイトル] テキストボックスの下に表示されません。

10.4.5 レイアウト表示順序設定画面

ポータル管理グループに設定されている標準画面レイアウトの順序を変更するための画

10. 運用管理の画面

面です。ポータル管理グループでの設定順を変更することで、標準画面レイアウトが合成されたときの表示位置を変更できます。

この画面の表示方法、およびこの画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.6 標準画面レイアウトの表示順序を変更する」

レイアウト表示順序設定画面の各項目について説明します。

図 10-36 レイアウト表示順序設定画面



[レイアウトタイトル] 一覧領域

選択したポータル管理グループに設定されている標準画面レイアウトが、一覧で表示されます。デフォルトでは、ポータル管理グループで管理または利用するレイアウトとして追加した順になります。

[上へ] ボタン

[レイアウトタイトル] 一覧領域で選択した標準画面レイアウトを、一つ上に移動します。この一覧で一つ上に移動すると、標準画面レイアウトを合成したときに一つ左側に表示されることとなります。

[下へ] ボタン

[レイアウトタイトル] 一覧領域で選択した標準画面レイアウトを、一つ下に移動します。この一覧で一つ下に移動すると、標準画面レイアウトを合成したときに一つ右側に表示されることとなります。

[戻る] ボタン

設定した内容を反映して、レイアウト一覧表示画面に戻ります。

! 注意事項

ここで設定した標準画面レイアウトの表示順は、設定後にログインしたユーザの画面に反映されます。ログインしているユーザの画面の表示順は変更できません。

10.4.6 [カスタマイズ対象指定画面]

カスタマイズの対象となる標準画面レイアウトを指定する画面です。

この画面の表示方法、およびこの画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.4.1 カスタマイズする標準画面レイアウトの選択」

[カスタマイズ対象指定画面] の各項目について説明します。

図 10-37 [カスタマイズ対象指定画面]



[デバイス] ドロップダウンリスト

カスタマイズする標準画面レイアウトのデバイスを、次の三つから選択します。

- PC (HTML)
- i モード (CHTML)
- EZweb (HDML)

[レイアウト名称] または [レイアウトグループ] ドロップダウンリスト

カスタマイズする標準画面レイアウトを選択します。次のどれかを選択してください。

- [ウェルカム画面]
標準のウェルカム画面です。
- [default]
すべてのポータル管理グループで使用できる標準のホーム画面として、uCosminexus Portal Framework が提供している標準画面レイアウトです。

10. 運用管理の画面

- ユーザが登録した標準画面レイアウト
運用管理者または部門管理者が作成して登録した標準画面レイアウトです。

注 このドロップダウンリストは、システム管理者の設定によって、「レイアウト名称」または「レイアウトグループ」と表示されます。

[設定] ボタン

指定した標準画面レイアウトを編集するための [レイアウト編集画面] が表示されます。[レイアウト編集画面] の詳細は、「10.4.7 [レイアウト編集画面]」を参照してください。

[終了] ボタン

指定した内容を反映しないで、[カスタマイズ対象設定画面] を表示する前の画面に戻ります。

10.4.7 [レイアウト編集画面]

標準画面レイアウトのレイアウト形式、タブ、およびポートレットの配置について設定するための画面です。

- レイアウト形式の指定
標準画面レイアウトのレイアウト形式を指定します。
- タブの編集
タブ形式の場合、タブの追加や名称変更をします。
- ポートレットの配置
ポータルに表示するポートレットを移動、追加、および削除します。レイアウト形式が行列形式、またはタブ形式で行列形式のタブを使用する場合、行ベースと列ベースを変更できます。

この画面の表示方法、およびこの画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

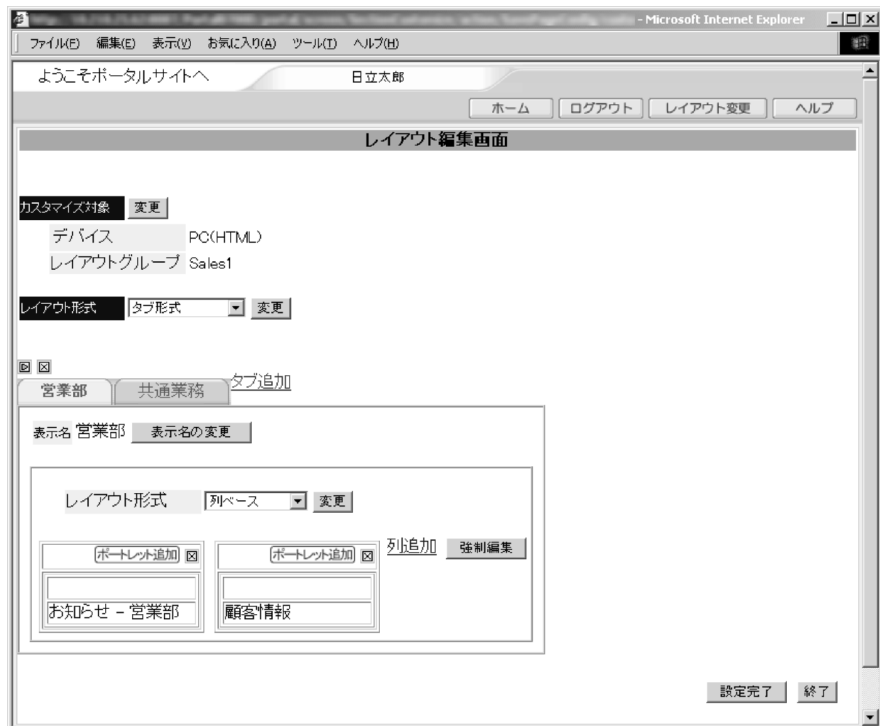
- 「7.4.2 標準画面レイアウトのレイアウト形式の選択」
- 「7.4.3 タブの編集」
- 「7.4.4 表示するポートレットの設定」
- 「7.4.5 行および列の編集」

[レイアウト編集画面] および画面の各項目を説明します。

図 10-38 [レイアウト編集画面](標準のカスタマイズの場合)



図 10-39 [レイアウト編集画面](シンプルカスタマイズの場合)



[カスタマイズ対象] 領域

[カスタマイズ対象指定画面] で設定した内容 (デバイスおよびレイアウトグルー

プ)が表示されます。内容を修正したい場合は、[変更]ボタンをクリックして[カスタマイズ対象指定画面]に戻ってください。

[カスタマイズ対象指定画面]の詳細は、「10.4.6 [カスタマイズ対象指定画面]」を参照してください。

[レイアウト形式] ドロップダウンリスト

標準画面レイアウトのレイアウト形式を選択します。ドロップダウンリストでレイアウト形式を選択したあと、必ず[変更]ボタンをクリックしてください。選択したレイアウト形式が反映されて、対応する画面に切り替わります。

ドロップダウンリストで選択できるレイアウト形式は、標準画面レイアウトのデバイスによって異なります。レイアウト形式の詳細は、「2.5.3 標準画面レイアウトの形式」を参照してください。

なお、「タブ形式」を選択して[変更]ボタンをクリックすると、一つ目のタブの名称を設定するダイアログが表示されます。

タブの編集ボタン ()

タブ名称を変更するためのダイアログが表示されます。このボタンは、レイアウト形式がタブ形式で、すでにタブが作成されている場合、かつ標準のカスタマイズで画面を表示している場合に表示されます。シンプルカスタマイズで画面を表示している場合は、[表示名の変更]ボタンでタブ名称を変更します。

タブの左移動ボタン ()

タブを左に一つ移動します。このボタンは、レイアウト形式がタブ形式で、すでにタブが複数作成されている場合に表示されます。

タブの右移動ボタン ()

タブを右に一つ移動します。このボタンは、レイアウト形式がタブ形式で、すでにタブが複数作成されている場合に表示されます。

タブの削除ボタン ()

タブを削除します。このボタンは、レイアウト形式がタブ形式で、すでにタブが複数作成されている場合に表示されます。

[タブ追加] アンカー

選択したタブの右に、タブを追加します。タブ名称を入力するダイアログが表示されます。

[表示名]

現在選択しているレイアウトのタブ名称を表示します。レイアウト形式がタブ形式の場合、かつシンプルカスタマイズで画面を表示している場合に表示されます。

[表示名の変更] ボタン

タブ名称を変更するためのダイアログが表示されます。このボタンは、レイアウト形式がタブ形式で、すでにタブが作成されている場合、かつシンプルカスタマイズで画面を表示している場合に表示されます。

[レイアウト形式] ドロップダウンリスト

レイアウト形式に応じて、より詳細な設定を選択します。例えば行列形式の場合は、行ベースか列ベースかを選択します。このドロップダウンリストは、レイアウト形式がタブ形式、行列形式、およびユーザ登録形式の場合に表示されます。

ドロップダウンリストでレイアウト形式を選択したあと、必ず [変更] ボタンをクリックしてください。選択したレイアウト形式が反映されて、対応する画面に切り替わります。

強制表示タブ

強制表示タブが設定されている場合は、強制表示タブが網掛けされて表示されます。

[ポートレット追加] ボタン

選択した行または列にポートレットを追加します。

行または列の削除ボタン ()

行または列を削除します。複数の行または列がある場合に表示されます。

[列追加] または [行追加] アンカー

列ベースの場合は [列追加] アンカー、行ベースの場合は [行追加] アンカーが表示されます。行または列を追加します。

ポートレットの上移動ボタン ()

ポートレットを上の一つ移動します。このボタンは、列ベースで、一つの列に複数のポートレットが設定されている場合に表示されます。

ポートレットの下移動ボタン ()

ポートレットを下の一つ移動します。このボタンは、列ベースで、一つの列に複数のポートレットが設定されている場合に表示されます。

ポートレットの左移動ボタン ()

ポートレットを左の一つ移動します。このボタンは、行ベースで、一つの行に複数のポートレットが設定されている場合に表示されます。

ポートレットの右移動ボタン ()

ポートレットを右の一つ移動します。このボタンは、行ベースで、一つの行に複数のポートレットが設定されている場合に表示されます。

ポートレットの削除ボタン ()

ポートレットを削除します。複数のポートレットがある場合に表示されます。

強制表示ポートレット

網掛けされているポートレットは、強制表示ポートレットです。強制表示ポートレットは、利用者が削除することはできません。

[強制編集] ボタン

[強制レイアウト編集画面] が表示されます。

10. 運用管理の画面

[スタイル変更] ボタン

[スタイル編集画面] が表示されます。このボタンは、標準のカスタマイズで画面を表示している場合にのみ表示されます。

[設定完了] ボタン

設定した内容が反映されます。

[終了] ボタン

[レイアウト編集画面] を終了して、[ポートレット配置設定] 画面に戻ります。[終了] ボタンをクリックする前に [設定完了] ボタンをクリックしていない場合は、設定内容が反映されません。

10.4.8 [レイアウト編集画面] (拡張レイアウト)

レイアウト形式に拡張レイアウト形式を指定した場合に、標準画面レイアウトに関する情報を設定する画面です。この画面はシンプルカスタマイズで表示されます。

[レイアウト編集画面] (拡張レイアウト用) で設定する項目を次に示します。なお、この画面では、レイアウト形式の変更はできません。

- タブの編集

レイアウト形式にタブ形式を指定している場合、タブの名称を変更します。

- ポートレットの配置

ポータルに表示するポートレットを追加、移動、および削除します。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.5.3 ポートレットの配置の設定」

[レイアウト編集画面] (拡張レイアウト用) および画面の項目を説明します。

図 10-40 [レイアウト編集画面](拡張レイアウト用)

エリアID

タイトルコントロール
ドロップダウンリスト

変更可能エリア

変更不可エリア

(凡例)
 ○: 通常ポートレットエリア
 (---): 自動追加ポートレットエリア

[カスタマイズ対象] 領域

[カスタマイズ対象指定画面] で設定した内容 (デバイスおよびレイアウトグループ) が表示されます。内容を修正したい場合は、[変更] ボタンをクリックして [カスタマイズ対象指定画面] に戻ってください。

[カスタマイズ対象指定画面] の詳細は、「10.4.6 [カスタマイズ対象指定画面]」を参照してください。

[レイアウト形式]

「拡張レイアウト形式」と表示されます。拡張レイアウトを使用する場合、レイアウト形式は変更できません。拡張レイアウト形式の詳細は、「2.5.3 標準画面レイアウトの形式」を参照してください。

タブ

レイアウト形式がタブ形式の場合に表示されます。

[表示名]

現在、選択しているレイアウトのタブ名称を表示します。レイアウト形式がタブ形式の場合に表示されます。

[表示名の変更] ボタン

タブ名称を変更するためのダイアログが表示されます。このボタンは、レイアウト形式がタブ形式で、すでにタブが作成されている場合に表示されます。

変更可能エリア

利用者が任意に配置を変更したり、削除したりしてよいポートレットを設定するエリアです。変更可能エリアは、通常ポートレットエリアと自動追加ポートレットエリアで構成されています。変更可能エリアの詳細は、「2.6.1(1)(a) 変更可能エリア」を参照してください。

通常ポートレットエリア

利用者が任意に配置を変更したり、削除したりしてよいポートレットを設定するエリアです。利用者が変更可能エリアをカスタマイズしたあとで、管理者がこのエリアのポートレットの配置を設定し直しても、利用者の画面には反映されません。

自動追加ポートレットエリア

自動追加ポートレットを設定するエリアです。変更可能エリア内の上と下にあります。このエリアに設定したポートレット（自動追加ポートレット）は、利用者が変更可能エリアをカスタマイズしたあとでも、利用者の画面に強制的に表示できます。

[レイアウト編集画面] では、自動追加ポートレットは網掛けされて表示されず。自動追加ポートレットの詳細は、「2.6.1(2)(b) 自動追加ポートレット」を参照してください。

また、自動追加ポートレットを配置した場合、利用者のポータル画面で自動追加ポートレットがどのように動作するかについては、「7.5.4 自動追加ポートレットの配置」を参照してください。

[自動追加ポートレット] アンカー

[ポートレットの選択] 画面が表示されます。この画面で、自動追加ポートレットエリアに追加するポートレットを選択します。

変更可能エリア内の上にある自動追加ポートレットエリアで、このアンカーをクリックした場合は、このアンカーのすぐ下（自動追加ポートレットエリア内のいちばん上）に、自動追加ポートレットが追加されます。

一方、変更可能エリア内の下にある自動追加ポートレットエリアで、このアンカーをクリックした場合は、このアンカーのすぐ上（自動追加ポートレットエリア内のいちばん下）に、自動追加ポートレットが追加されます。

変更不可エリア

利用者に配置を変更させたくないポートレットを設定するエリアです。[レイアウト編集画面] では、変更不可エリアは網掛けされて表示されます。変更不可エリアの詳細は、「2.6.1(1)(b) 変更不可エリア」を参照してください。


変更可能エリアと変更不可エリアで共通の画面項目

エリア ID


エリアを特定するための識別子である，エリア ID が表示されます。

[ポートレット追加] ボタン


選択した列にポートレットを追加します。

ポートレットの上移動ボタン ()

ポートレットを上の一つ移動します。このボタンは，自動追加ポートレットエリア内および通常ポートレットエリア内で複数のポートレットが設定されている場合に表示されます。

ポートレットの下移動ボタン ()

ポートレットを下の一つ移動します。このボタンは，自動追加ポートレットエリア内および通常ポートレットエリア内で複数のポートレットが設定されている場合に表示されます。

ポートレットの削除ボタン ()

ポートレットを削除します。

タイトルコントロールドロップダウンリスト

ポートレットのデザインを選択します。このドロップダウンリストには，システム管理者が設定したポートレットのデザイン名称が表示されます。デフォルトでは，「標準」が表示されます。

[編集可] チェックボックス

ポートレットの編集可否を設定します。ポートレットの編集を許可する場合，チェックボックスにチェックを入れます。チェックボックスにチェックを入れた場合，ポートレットのタイトルバーに編集ボタンを表示します。このチェックボックスは，システム管理者が設定したポートレットの属性によって表示されない場合があります。

[すべての利用者に設定を反映する。] チェックボックス

変更した標準画面レイアウトを，利用者のポータル画面に強制的に反映する場合にチェックを入れます。詳細は，「7.5.5 拡張レイアウトのリニューアル」を参照してください。

[設定完了] ボタン

設定した内容が反映されます。

[終了] ボタン

[レイアウト編集画面] を終了して，[ポートレット配置設定] 画面に戻ります。[終了] ボタンをクリックする前に [設定完了] ボタンをクリックしていない場合は，設定内容が反映されません。ポートレット配置情報ファイルをインポートしてこの画面を表示した場合は，ファイルのインポートがキャンセルされます。

10.4.9 [ポートレットの選択]画面

標準画面レイアウトに表示するポートレットを選択するための画面です。この画面に表示されるポートレットは、その標準画面レイアウトが属するポータル管理グループで管理できるポートレットだけです。

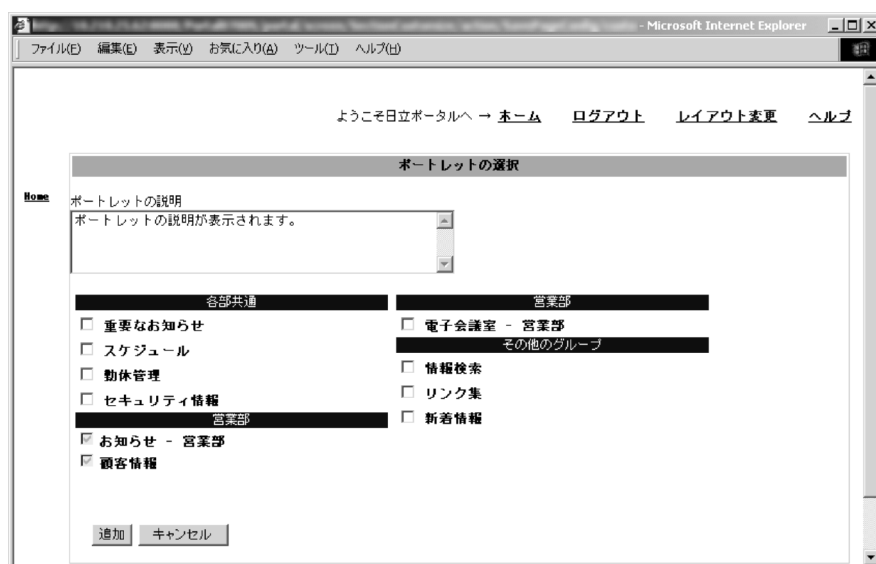
この画面の表示方法、およびこの画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.4.6 ポートレットの選択」

[ポートレットの選択]画面の画面項目は使用するカスタマイズの種類によって異なります。カスタマイズの種類ごとに画面項目を説明します。

(1) [ポートレットの選択]画面（標準のカスタマイズ）

図 10-41 [ポートレットの選択]画面（標準のカスタマイズ）



[ポートレットの説明]テキストボックス

ポートレット名にマウスを当てると、ポートレットの説明が表示されます。次の説明が表示されます。

- 説明文が設定されているポートレットの場合
ポートレットの説明が表示されます。
- 説明文が設定されていないポートレットの場合
「ポートレットの説明はありません。」と表示されます。
- ポートレット名以外にマウスがある場合
「ポートレットの説明が表示されます。」と表示されます。

ポートレットグループ名

ポートレットグループ名の下に、ポートレットの一覧が表示されます。ポートレ

トグループに所属していないポートレットは、[その他のグループ] に表示されます。ポータル画面に表示したいポートレットを選択します。

[追加] ボタン

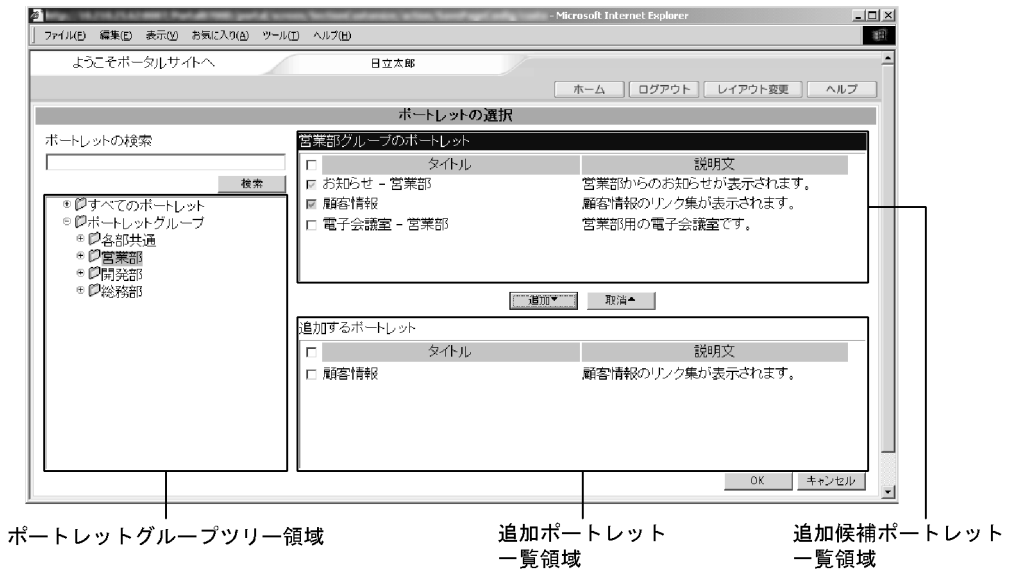
選択したポートレットを追加して、[レイアウト編集画面] に戻ります。

[キャンセル] ボタン

設定内容を反映しないで、[レイアウト編集画面] に戻ります。

(2) [ポートレットの選択] 画面 (シンプルカスタマイズ)

図 10-42 [ポートレットの選択] 画面 (シンプルカスタマイズ)



ポートレットグループツリー領域

追加ポートレット
一覧領域

追加候補ポートレット
一覧領域

[ポートレットの検索] テキストボックス

ポートレットを検索するためのキーワードを入力します。全角・半角に関係なく、80 文字以内で指定してください。

[検索] ボタン

[ポートレットの検索] テキストボックスで入力したキーワードを、ポートレット名または説明文に含んでいるポートレットが検索されます。検索結果は、追加候補ポートレット一覧領域に表示されます。

ポートレットグループツリー領域

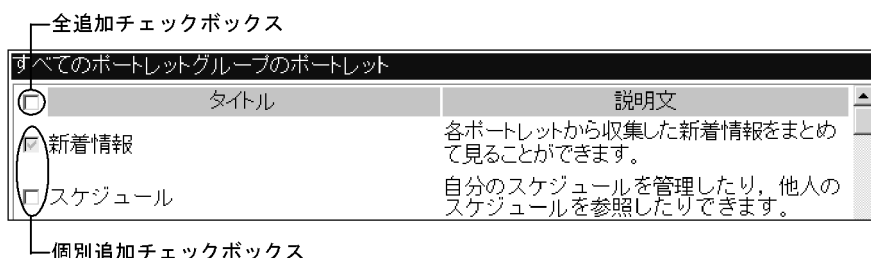
利用できるポートレットグループがツリー形式で表示されます。ポートレットグループ名をクリックすると、そのポートレットグループに分類されているポートレットが、追加候補ポートレット一覧領域に表示されます。

追加候補ポートレット一覧領域

検索されたポートレット、またはポートレットグループツリー領域でクリックしたポートレットグループに分類されているポートレットのポートレット名、および説

明文が一覧表示されます。

チェックボックス



個別追加チェックボックスにチェックを入れると、追加するポートレットを一つずつ選択できます。また、全追加チェックボックスにチェックを入れると、表示されているポートレットをすべて選択できます。

ただし、すでに利用しているポートレット、および追加ポートレット一覧領域に表示されているポートレットは選択できません。

[追加] ボタン

追加候補ポートレット一覧領域で選択したポートレットを、追加ポートレット一覧領域に追加します。

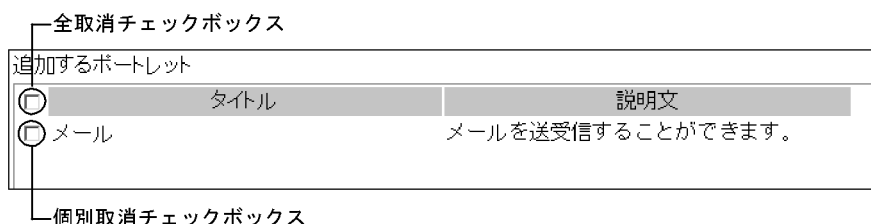
[取消] ボタン

追加ポートレット一覧領域で選択したポートレットの追加を取り消します。

追加ポートレット一覧領域

追加するポートレットのポートレット名、および説明文が表示されます。

チェックボックス



個別取消チェックボックスにチェックを入れると、追加を取り消すポートレットを一つずつ選択できます。また、全取消チェックボックスにチェックを入れると、表示されているポートレットをすべて選択できます。

[OK] ボタン

追加ポートレット一覧領域のポートレットを追加して、[レイアウト編集画面] に戻ります。

[キャンセル] ボタン

設定内容を反映しないで、[レイアウト編集画面] に戻ります。

10.4.10 [スタイル編集画面]

ポートレットの表示スタイルに関する情報を設定するための画面です。[スタイル編集画面]で設定する項目を次に示します。

- スタイルの指定
ポートレットのタイトルや枠を表示する設定をします。
- 配色の指定
ポートレットの背景やタイトルの色を変更します。[プレビュー]ボタンをクリックするとサンプルが表示されます。
- サイズの指定
ポートレット間隔を設定します。

この画面の表示方法、およびこの画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.4.7 ポートレットの表示スタイルの設定」

[スタイル編集画面]の各項目について説明します。

図 10-43 [スタイル編集画面](タイトル付きまたは枠付きの場合)



図 10-44 [スタイル編集画面](タイトルなし・枠なしの場合)



[スタイル編集]

[スタイル] ドロップダウンリスト

ポートレットのスタイルを指定します。ポートレットを最大化した場合は、どのスタイルを選択してもタイトル付き・枠なしのスタイルとなります。ポートレットを最大化していない場合に、指定できるポートレットのスタイルを次の表に示します。

表 10-1 ポートレットのスタイル (ポートレットを最大化していない場合)

ポートレットのスタイル	タイトルバー	ポートレットの周りの枠
タイトル付き	有り	無し
タイトルなし・枠付き	無し	有り
タイトルなし・枠なし	無し	無し

注 配色の設定でポートレットの背景色は設定できません。

タイトルなし・枠なしのスタイルを選択しても、配色の設定でポートレットの背景色を設定できます。

[スタイル] ドロップダウンリストでポートレットのスタイルを選択したあと、

必ず [変更] ボタンをクリックしてください。選択したスタイルが反映されて、対応する画面に切り替わります。

[配色]

ポートレットの色を設定します。画面に表示されている色から選択できます。設定済みの色は [現在の色] に表示されます。レイアウト形式によって設定できる内容が異なります。レイアウト形式と設定できる内容を次の表に示します。

表 10-2 レイアウト形式と設定できる内容 (ポートレットの色)

レイアウト形式	ポートレットの背景 / 最大化時のポートレットの背景	タイトルの背景	選択中のタブの背景	未選択のタブの背景	枠線
タブ形式	1				
行列形式	1		×	×	
ユーザ登録形式	1		×	×	
フロー形式	1		×	×	
グリッド形式	1		×	×	
CHTML カード形式	×	×	×	×	×
HDML カード形式	×	×	×	×	×

(凡例) : 表示する × : 表示しない

注 1 ポートレットのスタイルが [タイトル付き] または [タイトルなし・枠付き] の場合表示されます。

[選択中のタブの背景] ラジオボタン

選択しているタブの背景色を指定します。ポートレットのレイアウト形式が「タブ形式」の場合に表示されます。

[タイトルの背景 未選択のタブの背景] ラジオボタン

タイトルの背景色、または未選択のタブの背景色を指定します。

この項目は、ポートレットのレイアウト形式が「タブ形式」の場合に表示されます。

レイアウト形式が「タブ形式」、「CHTML カード形式」、「HDML カード形式」以外の場合は [タイトルの背景] ラジオボタンに変わります。

[ポートレットの背景] ラジオボタン

タイトル付きまたは枠付きの場合、ポートレットのコンテンツおよびポートレットを最大化した場合の背景色を指定します。

[最大化時のポートレットの背景] ラジオボタン

タイトルなし・枠なしの場合、ポートレットを最大化した場合のポートレットの背景色を選択します。

[枠線] ラジオボタン

10. 運用管理の画面

ポートレットの枠の色を変更します。ポートレットのスタイルが [タイトルなし・枠付き] の場合に表示されます。

[現在の色] ラジオボタン

現在選択している背景色が表示されます。

[サイズ]

ポートレットの表示間隔の指定，およびタブのサイズを設定します。表示するレイアウト形式によって設定できる内容が異なります。レイアウト形式と設定できる内容を次の表に示します。

表 10-3 レイアウト形式と設定できる内容 (ポートレット・タブのサイズ)

レイアウト形式	ルーラー	ポートレット間隔	枠線
タブ形式			
行列形式	×		
ユーザ登録形式	×		
フロー形式	×	×	
グリッド形式	×		
CHTMLカード形式	×	×	×
HDMLカード形式	×	×	×

(凡例) : 表示する × : 表示しない

注 ポートレットのスタイルが [タイトルなし・枠付き] の場合表示されます。

[ルーラー] ドロップダウンリスト

タブ形式の場合，ルーラーのサイズを指定します。指定できるルーラーのサイズは，0，1，2，3，5，10，20，30 (ドット) です。

[ポートレット間隔] ドロップダウンリスト

ポートレットの間隔を指定します。指定できるポートレット間隔は，0，2，4，8，16，24 (ドット) です。

[枠線] ドロップダウンリスト

ポートレットの枠のサイズを指定します。ポートレットのスタイルが [タイトルなし・枠付き] の場合に表示されます。

設定できる値は，0，1，2，3，5，10，20，または30です。

[プレビュー] ボタン

[プレビュー表示] に設定内容のプレビューを表示します。

[変更] ボタン

設定内容を反映して，[レイアウト編集画面] に戻ります。

[キャンセル] ボタン

設定内容を反映しないで、[レイアウト編集画面] に戻ります。

10.4.11 [強制レイアウト編集画面]

標準画面レイアウトに強制的に表示するタブおよびポートレットを設定するための画面です。[強制レイアウト編集画面] で設定できる項目を次に示します。

- 強制表示タブの編集
強制表示タブのタブ名の変更，レイアウト形式の指定，および強制表示タブの削除をします。
- 強制表示タブに表示するポートレットの指定
強制タブ内に表示するポートレットを指定します。
- 強制表示タブに表示するポートレットの配置
強制表示タブに表示するポートレットの配置を指定します。
- 強制表示ポートレットの指定
強制表示するポートレットを指定します。次のような指定もできます。
 - ポートレットを複数指定して，指定した配置に従って並べて表示できます。
 - 現在の標準画面レイアウトで選択されているポートレットも指定できます。
 - 強制表示ポートレットは，画面の比率に関係なく指定できます。例えば，ユーザ登録形式でポートレットサイズを small に設定している強制表示ポートレットを，large の列または行に表示することもできます。
 - タブ形式の場合は，タブごとに指定できます。
- 強制表示ポートレットの配置
強制表示ポートレットの配置を指定します。

この画面の表示方法，およびこの画面を使用する操作については，次の個所を参照してください。

- 「7.4.8(1) 強制表示タブの設定」
- 「7.4.8(2) 強制表示ポートレットの設定」

[強制レイアウト編集画面] の各項目について説明します。なお，使用しているカスタマイズによって，表示される項目は異なります。

図 10-45 [強制レイアウト編集画面](標準のカスタマイザ)



図 10-46 [強制レイアウト編集画面](シンプルカスタマイザ)



[カスタマイズ対象]

[デバイス]

カスタマイズ対象画面で指定した、標準画面レイアウトのデバイスが表示されます。

[レイアウトグループ]

カスタマイズ対象画面で指定した、標準画面レイアウトの名称が表示されます。

[強制タブ追加] アンカー

強制表示タブの名称を指定するダイアログが表示されます。ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、指定した名称の強制表示タブが追加されます。このアンカーは強制表示タブが作成されていない場合に表示されます。

[強制タブ削除] ボタン

強制表示タブが削除されます。このアンカーは、強制表示タブが作成されている場合に表示されます。

[レイアウト] ドロップダウンリスト

強制表示タブのレイアウト形式を選択します。このドロップダウンリストは、強制表示タブを選択している場合に表示されます。

10. 運用管理の画面

ドロップダウンリストでレイアウト形式を選択したあと、必ず [選択] ボタンをクリックしてください。選択したレイアウト形式が反映されて、対応する画面に切り替わります。

タブ名称変更ボタン ()

タブ名称を変更するための画面が表示されます。タブ名称を変更する場合は、ほかのタブと異なる名称を、全角・半角に関係なく、64文字以内で指定してください。このボタンは、強制表示タブを選択している場合に表示されます。

[配置] ドロップダウンリスト

強制表示ポートレットの配置を選択します。このドロップダウンリストは、強制表示タブではないタブを選択している場合に表示されます。

ドロップダウンリストで配置を選択したあと、必ず [変更] ボタンをクリックしてください。

[表示名]

現在、選択しているレイアウトのタブ名称を表示します。なお、レイアウト形式がタブ形式以外の場合は、レイアウト名称が表示されます。

[表示名の変更] ボタン

表示名 (タブ名称) を変更するためのダイアログが表示されます。ただし、レイアウト形式がタブ形式以外の場合は、表示名を変更できません。

[ポートレット追加] ボタン

[ポートレットの選択] 画面が表示されます。[ポートレットの選択] 画面でポートレットを選択すると、強制表示ポートレットとして追加されます。

[設定完了] ボタン

設定した内容が反映されます。

[戻る] ボタン

[レイアウト編集画面] に戻ります。[戻る] ボタンをクリックする前に [設定完了] ボタンをクリックしていない場合は、設定内容が反映されません。

10.5 インポート・エクスポートするための画面

インポート・エクスポートするための画面は、ポータル管理グループ設定画面の[インポート・エクスポート]タブに表示される操作メニューをクリックすると表示されます。ここでは、操作メニューをクリックすると表示される画面について説明します。

10.5.1 レイアウトインポート画面

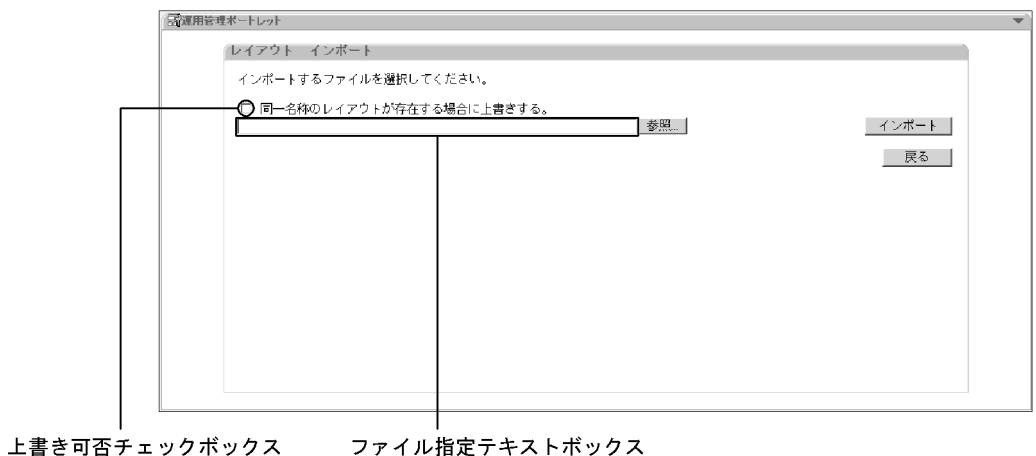
レイアウトインポート画面とは、標準画面レイアウトの情報が出力されているレイアウトリソースファイルを読み込むための画面です。ポータル管理グループ設定画面の[インポート・エクスポート]タブで、[レイアウトのインポート]アンカーをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.7.2 標準画面レイアウトのインポート」

レイアウトインポート画面の各項目について説明します。

図 10-47 レイアウトインポート画面



上書き可否チェックボックス

インポートするレイアウトリソースファイルのレイアウトと同一名称のレイアウトがある場合、上書きするかどうかを指定します。

上書きしない場合は、インポートするレイアウトのレイアウト名の末尾に番号を付けて新規に作成されます。番号は、1からの連番が自動的に付けられます。ただし、番号が付けられることでレイアウト名が32文字以上になる場合、インポートがエラーになりますのでご注意ください。

ファイル指定テキストボックス

10. 運用管理の画面

インポートするレイアウトリソースファイルをフルパスで指定します。[参照] ボタンをクリックして、[ファイルの選択] ダイアログで指定することもできます。

[インポート] ボタン

レイアウトリソースファイルをインポートします。

インポートに失敗した場合は、レイアウトリソースファイルに問題があると考えられます。詳細は、「7.7.2 標準画面レイアウトのインポート」を参照してください。

[戻る] ボタン

ポータル管理グループ設定画面の [インポート・エクスポート] タブに戻ります。

10.5.2 レイアウトエクスポート画面

レイアウトエクスポート画面とは、標準画面レイアウトの情報をレイアウトリソースファイルに出力するための画面です。ポータル管理グループ設定画面の [インポート・エクスポート] タブで、[レイアウトのエクスポート] アンカーをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「7.7.1 標準画面レイアウトのエクスポート」

レイアウトエクスポート画面の各項目について説明します。

図 10-48 レイアウトエクスポート画面



エクスポート対象レイアウト選択ドロップダウンリスト

エクスポート対象レイアウト選択ドロップダウンリスト

レイアウトリソースファイルに情報を出力したい標準画面レイアウトを選択します。選択できるのは、次の条件を満たす標準画面レイアウトだけです。

- 操作対象のポータル管理グループで作成された標準画面レイアウトである
- ポートレット配置情報を設定している
- 管理権限がある

[エクスポート] ボタン

レイアウトリソースファイルをエクスポートします。[ファイルのダウンロード] ダイアログが表示されるので、保存時のファイル名および保存場所を指定してください。

[戻る] ボタン

ポータル管理グループ設定画面の [インポート・エクスポート] タブに戻ります。

10.5.3 ポートレットインポート画面

ポートレットインポート画面とは、ポートレットリソースファイルを読み込むための画面です。ポータル管理グループ設定画面の [インポート・エクスポート] タブで、[ポートレットのインポート] アンカーをクリックすると、この画面が表示されます。

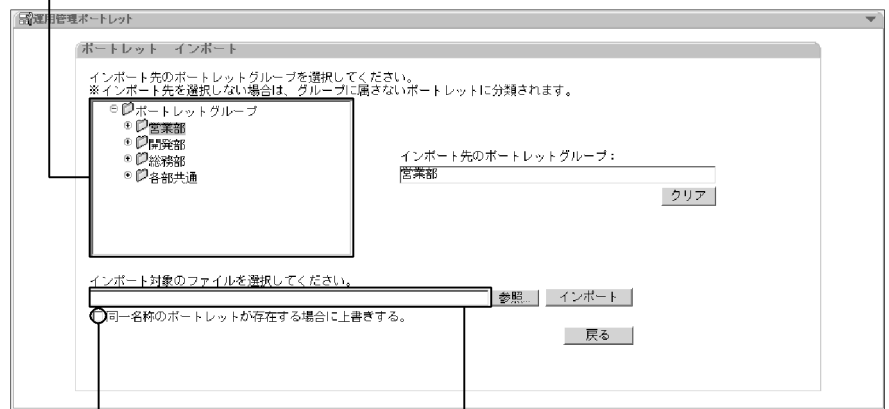
この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「6.4.2 ポートレットのインポート」

ポートレットインポート画面の各項目について説明します。

図 10-49 ポートレットインポート画面

ポートレットグループツリー領域



上書き可否チェックボックス

ファイル指定テキストボックス

ポートレットグループツリー領域

インポートするポートレットを分類するポートレットグループを選択します。選択したポートレットグループ名が、[インポート先のポートレットグループ] テキストボックスに表示されます。

[クリア] ボタン

ポートレットグループツリー領域の選択状態、および [インポート先のポートレットグループ] テキストボックスに表示されている内容がクリアされます。

ファイル指定テキストボックス

10. 運用管理の画面

インポートするポートレットリソースファイルをフルパスで指定します。[参照] ボタンをクリックして、[ファイルの選択] ダイアログで指定することもできます。

[インポート] ボタン

ポートレットリソースファイルをインポートします。

インポートに失敗した場合は、ポートレットリソースファイルに問題があると考えられます。詳細は、「6.4.2 ポートレットのインポート」を参照してください。

上書き可否チェックボックス

インポートするポートレットリソースファイルのポートレットと同一名称のポートレットがある場合、上書きするかどうかを指定します。

上書きしない場合は、インポートするポートレットのポートレット ID の末尾に番号を付けて新規に作成されます。番号は、1 からの連番が自動的に付けられます。ただし、番号が付けられることでポートレット ID が 32 文字以上になる場合、インポートがエラーになりますのでご注意ください。

[戻る] ボタン

ポータル管理グループ設定画面の [インポート・エクスポート] タブに戻ります。

10.5.4 ポートレットエクスポート画面

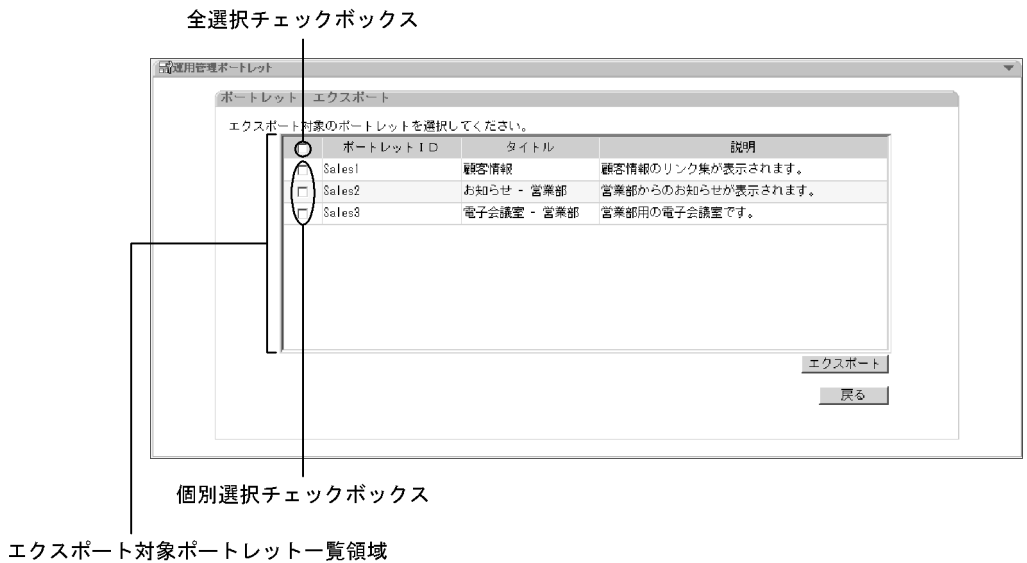
ポートレットエクスポート画面とは、ポートレットの情報をポートレットリソースファイルに出力するための画面です。ポータル管理グループ設定画面の [インポート・エクスポート] タブで、[ポートレットのエクスポート] アンカーをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面の表示方法、およびこの画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「6.4.1 ポートレットのエクスポート」

ポートレットエクスポート画面の各項目について説明します。

図 10-50 ポートレットエクスポート画面



エクスポート対象ポートレット一覧領域

ポートレットリソースファイルに情報を出力したいポートレットを選択します。
この一覧に表示されるのは、次の条件を満たしているポートレットだけです。

- 操作対象のポータル管理グループで生成されたポートレットである
- 管理権限がある

全選択チェックボックス

一覧に表示されているポートレットをすべて選択します。

個別選択チェックボックス

ポートレットを選択します。

[エクスポート] ボタン

エクスポート対象ポートレット一覧領域で選択した、ポートレットリソースファイルのエクスポートします。[ファイルのダウンロード] ダイアログが表示されるので、保存時のファイル名および保存場所を指定してください。

[戻る] ボタン

ポータル管理グループ設定画面の [インポート・エクスポート] タブに戻ります。

10.6 ユーザを管理するための画面

ここでは、ユーザおよび組織を管理するために使用する画面について説明します。

10.6.1 ユーザ管理トップ画面

ユーザ管理トップ画面とは、ユーザおよび組織を管理するための最初の画面です。ツリーメニュー領域の [ユーザ管理] を選択すると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「8.1 組織を新規作成する」

ユーザ管理トップ画面の各項目について説明します。

図 10-51 ユーザ管理トップ画面



共通メニュー領域

管理するためのメニューが表示されます。

[新規作成]

組織を新規に作成するための、[新規組織作成] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.4 [新規組織作成] 画面」を参照してください。

[新規作成] をクリックするときツリーメニュー領域でどの項目を選択しているかによって、組織がどの階層に作成されるかが変わります。

- [ユーザ管理] または [ルート組織] を選択している場合
組織が最上位に作成されます。

- 組織を選択している場合

選択している組織の下位に、組織が作成されます。

[削除]

ツリーメニュー領域で削除したい組織を選択した状態でこのメニューをクリックすると、組織が削除されます。

ツリーメニュー領域

[ユーザ管理] の [+] をクリックすると、[ルート組織] が表示されます。[ルート組織] の [+] をクリックすると、登録されている組織が表示されます。

ツリーメニュー領域で選択した項目に応じて、メイン領域に表示される内容が次のように異なります。

[ルート組織] を選択した場合

どの組織にも属していないユーザを設定するためのルート組織設定画面が表示されます。詳細は、「10.6.2 ルート組織設定画面」を参照してください。

組織名を選択した場合

その組織の情報、および属するユーザを設定するための組織情報設定画面が表示されます。詳細は、「10.6.3 組織情報設定画面」を参照してください。

メイン領域

ユーザ管理についての主な機能の説明が表示されます。

10.6.2 ルート組織設定画面

ルート組織設定画面とは、どの組織にも属していないユーザを追加または削除するための画面です。ツリーメニュー領域で [ユーザ管理] の下位の [ルート組織] を選択すると、この画面が表示されます。

ルート組織設定画面には、[全般] タブと [ユーザ] タブがあります。[全般] タブは、ルート組織設定画面で操作できる機能を説明している画面です。

この項では、[ユーザ] タブについて説明します。

この画面の [ユーザ] タブを使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「8.4 ユーザを新規作成する」
- 「8.5 ユーザ情報を変更する」
- 「8.6 ユーザを削除する」

なお、共通メニュー項目およびツリーメニュー領域については、「10.6.1 ユーザ管理トップ画面」を参照してください。

ルート組織設定画面の [ユーザ] タブの各項目について説明します。

図 10-52 [ユーザ] タブ (ルート組織設定画面)



ユーザー一覧表示領域

どの組織にも属していないユーザが表示されます。表示される順序は、ユーザIDの昇順 (A ~ Z, a ~ z) です。

[選択] チェックボックス

削除したいユーザのチェックボックスにチェックを入れて、[ユーザ削除] ボタンをクリックすると、そのユーザが削除されます。

ユーザID アンカー

ユーザ情報を参照または変更したいユーザのユーザIDアンカーをクリックすると、[ユーザ情報変更] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.9 [ユーザ情報変更] 画面」を参照してください。

[新規ユーザ作成] ボタン

ユーザを新規に追加するための、[新規ユーザ作成] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.5 [新規ユーザ作成] 画面」を参照してください。

[ユーザ削除] ボタン

ユーザー一覧表示領域でチェックボックスにチェックが入っているユーザを削除してよいか確認する画面が表示されます。この画面で [OK] ボタンをクリックすると、ユーザが削除されます。

10.6.3 組織情報設定画面

組織情報設定画面とは、組織の情報、および属するユーザを変更するための画面です。ツリーメニュー領域で組織名を選択すると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「8.2 組織情報を変更する」
- 「8.4 ユーザを新規作成する」
- 「8.5 ユーザ情報を変更する」
- 「8.6 ユーザを削除する」

なお、共通メニュー項目およびツリーメニュー領域については、「10.6.1 ユーザ管理
トップ画面」を参照してください。

組織情報設定画面および画面の各項目について、タブごとに説明します。

(1) [全般] タブ (組織情報設定画面)

組織情報設定画面の [全般] タブを次に示します。

図 10-53 [全般タブ] (組織情報設定画面)



【組織名】

ツリーメニュー領域で選択した組織名が表示されます。

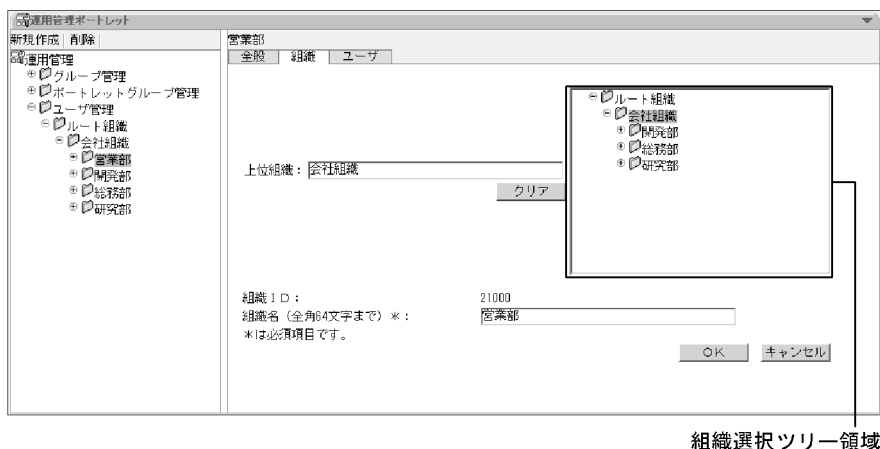
[組織 ID]

ツリーメニュー領域で選択した組織の ID が表示されます。

(2) [組織] タブ (組織情報設定画面)

組織情報設定画面の [組織] タブを次に示します。

図 10-54 [組織] タブ (組織情報設定画面)



組織選択ツリー領域

[上位組織] テキストボックス

上位組織を変更する場合は、このテキストボックスに組織名を指定します。指定するには、組織選択ツリー領域から組織名（または組織 ID）を選択します。直接入力できません。

[クリア] ボタン

[上位組織] テキストボックスに指定されている組織 ID、および組織選択ツリー領域の選択状態をクリアします。

組織選択ツリー領域

上位組織として選択できる組織を、ツリー形式で表示します。ツリーメニュー領域で選択した組織、および選択した組織の下位組織は表示されません。システム管理者の設定によって、組織名ではなく組織 ID が表示される場合があります。

[組織 ID]

ツリーメニュー領域で選択した組織の組織 ID が表示されます。

[組織名] テキストボックス < 指定必須 >

ツリーメニュー領域で選択した組織の、組織名が表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、64 文字以内で指定してください。

[OK] ボタン

設定した内容が反映されて、組織情報設定画面の [全般] タブに戻ります。

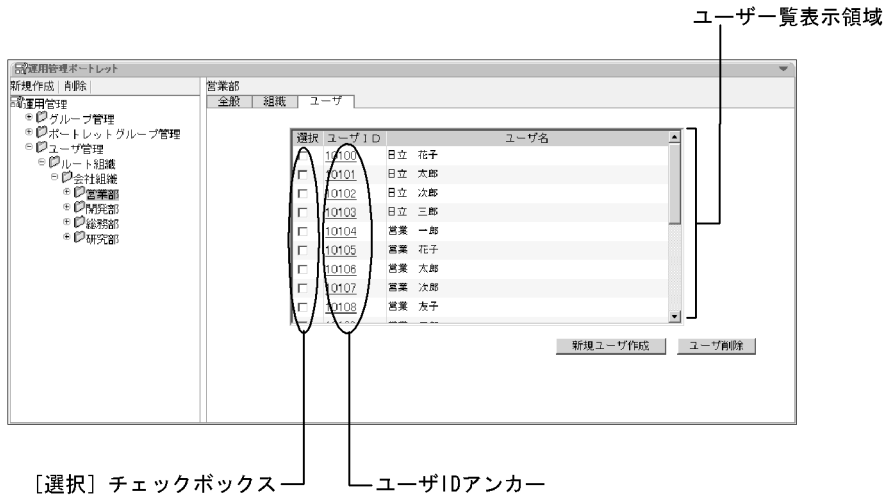
[キャンセル] ボタン

設定した内容が反映されないで、組織情報設定画面の [全般] タブに戻ります。

(3) [ユーザ] タブ (組織情報設定画面)

組織情報設定画面の [ユーザ] タブを次に示します。

図 10-55 [ユーザ] タブ (組織情報設定画面)



ユーザー一覧表示領域

選択した組織に所属するユーザが表示されます。表示される順序は、ユーザ ID の昇順 (A ~ Z, a ~ z) です。

[選択] チェックボックス

削除したいユーザのチェックボックスにチェックを入れて、[ユーザ削除] ボタンをクリックすると、そのユーザが削除されます。

ユーザ ID アンカー

ユーザ情報を参照または変更したいユーザのユーザ ID アンカーをクリックすると、[ユーザ情報変更] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.9 [ユーザ情報変更] 画面」を参照してください。

[新規ユーザ作成] ボタン

ユーザを新規に追加するための、[新規ユーザ作成] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.5 [新規ユーザ作成] 画面」を参照してください。

[ユーザ削除] ボタン

ユーザー一覧表示領域でチェックボックスにチェックが入っているユーザを削除してよいか確認する画面が表示されます。この画面で [OK] ボタンをクリックすると、ユーザが削除されます。

10.6.4 [新規組織作成] 画面

[新規組織作成] 画面とは、組織を新規に追加するための画面です。ツリーメニュー領域で [ユーザ管理], [ルート組織], または組織名を選択して、共通メニュー領域の [新規作成] をクリックすると、この画面が表示されます。

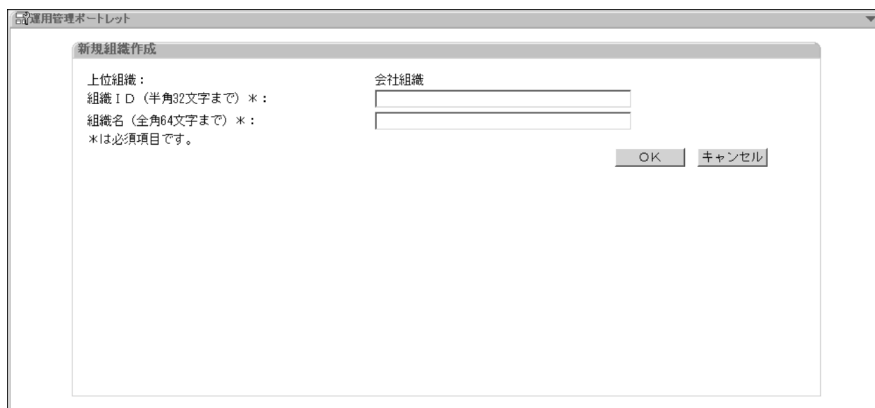
この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

10. 運用管理の画面

- 「8.1 組織を新規作成する」

[新規組織作成] 画面の各項目について説明します。

図 10-56 [新規組織作成] 画面



[上位組織]

上位組織がある場合は、上位組織の組織名が表示されます。

[組織 ID] テキストボックス < 指定必須 >

組織 ID を指定します。半角英数字 32 文字以内で指定してください。ただし、記号、全角文字、空白、制御文字（タブおよび改行）は指定できません。

[組織名] テキストボックス < 指定必須 >

組織名を指定します。全角・半角に関係なく、64 文字以内で指定してください。ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字（JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf）
- 半角制御文字（JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f）
- 未定義文字（JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff）

[OK] ボタン

組織が新規に作成されて、作成された組織の [全般] タブが表示されます。また、作成された組織は、ツリーメニュー領域に追加されます。

[キャンセル] ボタン

組織が新規に作成されないで、ユーザ管理トップ画面に戻ります。

10.6.5 [新規ユーザ作成] 画面

[新規ユーザ作成] 画面とは、ユーザを新規に追加するための画面です。ルート組織設定画面または組織情報設定画面の [ユーザ] タブで、[新規ユーザ作成] ボタンをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

• 「8.4 ユーザを新規作成する」

[新規ユーザ作成] 画面の各項目について説明します。

図 10-57 [新規ユーザ作成] 画面

The screenshot shows a web form titled '新規ユーザ作成' (New User Creation) within a 'システム運用管理ポータル' (System Management Portal) window. The form includes the following elements:

- 所属組織 (Organization):** A dropdown menu showing '21000 営業部' (21000 Sales Dept). A '所属組織設定' (Organization Setting) button is to its right.
- ユーザID (半角32文字まで) * (User ID):** An empty text input field.
- ユーザ名 (84文字まで) * (Username):** An empty text input field.
- パスワード (半角32文字まで) * (Password):** An empty text input field.
- パスワード再入力 (半角32文字まで) * (Password Re-entry):** An empty text input field.
- 役職 (Role):** An empty text input field.
- Buttons:** '所属組織設定', '役職設定', 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).
- Footer:** 'sn' and '*は必須項目です。' (asterisk indicates required items).

ユーザ定義項目テキストボックス

[所属組織]

ユーザが所属する組織の組織 ID および組織名が表示されます。

[所属組織設定] ボタン

ユーザが所属する組織を変更するための、[所属組織設定] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.6 [所属組織設定] 画面」を参照してください。

[ユーザ ID] テキストボックス < 指定必須 >

ユーザ ID を指定します。半角英数字 32 文字以内で指定してください。

[ユーザ名] テキストボックス < 指定必須 >

ユーザ名を指定します。全角・半角に関係なく、64 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)
- 引用符 「 ” 」 (JIS X0201 での 0x22)
- アポストロフィ 「 ’ 」 (JIS X0201 での 0x27)
- 縦棒 「 | 」 (JIS X0201 での 0x7c)

[パスワード] テキストボックス < 指定必須 >

パスワードを指定します。半角英数字 32 文字以内で指定してください。

[パスワード再入力] テキストボックス < 指定必須 >

[パスワード] テキストボックスに指定したパスワードを、再度このテキストボックスに指定します。

10. 運用管理の画面

[役職] < 指定任意 >

ユーザの役職を指定します。[役職設定] ボタンをクリックすると表示される [役職設定] 画面で、役職を選択してください。

なお、この項目はシステム管理者の設定によって表示されない場合があります。

[役職設定] ボタン

[役職設定] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.7 [役職設定] 画面」を参照してください。

ユーザ定義項目テキストボックス < 指定任意 >

システム管理者が任意に定義したユーザ情報の項目（電話番号やメールアドレスなど）を指定します。全角・半角に関係なく、64文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角制御文字（JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f）
- 引用符「 ”」（JIS X0201 での 0x22）
- アポストロフィ「 ’」（JIS X0201 での 0x27）
- 縦棒「 |」（JIS X0201 での 0x7c）

この項目は、システム管理者によって定義されている場合だけ表示されます。

[設定] ボタン

ユーザ定義項目に複数の値を設定するための、[ユーザ定義項目設定] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.8 [ユーザ定義項目設定] 画面」を参照してください。

なお、このボタンが表示されるのは、複数の値を設定できるユーザ定義項目がある場合だけです。

[OK] ボタン

ユーザが新規に追加されて、この画面を表示する前の画面（ルート組織設定画面または組織情報設定画面の [ユーザ] タブ）に戻ります。

[キャンセル] ボタン

ユーザが新規に追加されないで、この画面を表示する前の画面（ルート組織設定画面または組織情報設定画面の [ユーザ] タブ）に戻ります。

10.6.6 [所属組織設定] 画面

[所属組織設定] 画面とは、ユーザの所属組織を変更するための画面です。[新規ユーザ作成] 画面または [ユーザ情報変更] 画面で [所属組織設定] ボタンをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「8.4 ユーザを新規作成する」
- 「8.5.1 所属組織を変更する」

[所属組織設定] 画面の各項目について説明します。

図 10-58 [所属組織設定] 画面



[全組織] ツリー領域

サーバに登録されているすべての組織の名称がツリー形式で表示されます。なお、システム管理者の設定によっては、組織名ではなく組織 ID が表示される場合があります。

[追加] ボタン

[全組織] ツリー領域で選択した組織を、[所属組織] 一覧領域のいちばん下に追加します。

[削除] ボタン

[所属組織] 一覧領域でチェックボックスにチェックが入っている組織を削除します。

[所属組織] 一覧領域

ユーザが所属する組織が一覧表示されます。

[選択] チェックボックス

削除したい組織のチェックボックスにチェックを入れて、[削除] ボタンをクリックすると、その組織が [所属組織] 一覧領域から削除されます。

[OK] ボタン

設定した内容が反映されて、この画面を表示する前の画面 ([新規ユーザ作成] 画面または [ユーザ情報変更] 画面) に戻ります。

[キャンセル] ボタン

設定した内容が反映されないで、この画面を表示する前の画面 ([新規ユーザ作成] 画面または [ユーザ情報変更] 画面) に戻ります。

10.6.7 [役職設定] 画面

[役職設定] 画面とは、ユーザの役職を変更するための画面です。[新規ユーザ作成] 画面または [ユーザ情報変更] 画面で [役職設定] ボタンをクリックすると、この画面が

10. 運用管理の画面

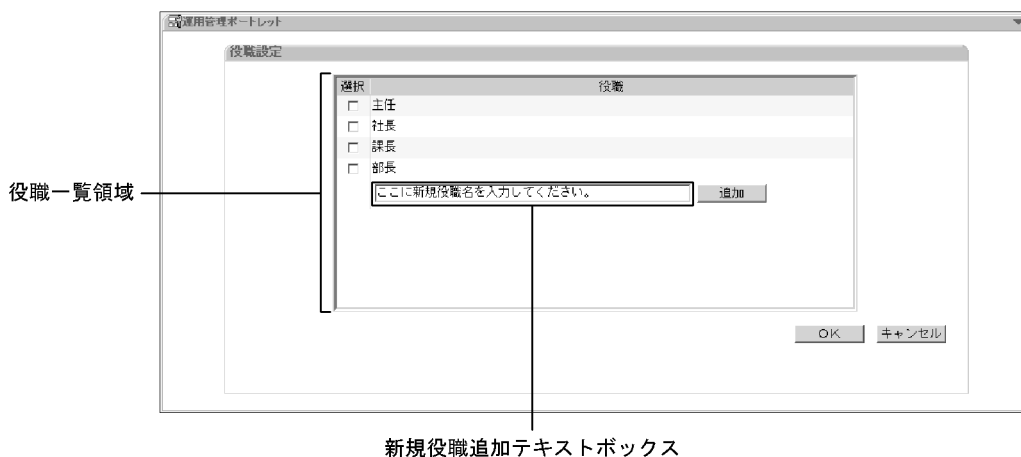
表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「8.4 ユーザを新規作成する」
- 「8.5.4 役職を変更する」

[役職設定] 画面の各項目について説明します。

図 10-59 [役職設定] 画面



役職一覧領域

役職が役職名の昇順に一覧表示されます。

[選択] チェックボックス

設定したい役職のチェックボックスにチェックを入れます。

新規役職追加テキストボックス < 指定任意 >

新規に追加したい役職がある場合は、このテキストボックスに役職名を入力したあと、[追加] ボタンをクリックします。

全角・半角に関係なく、64 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 引用符 「 ” 」 (JIS X0201 での 0x22)
- アポストロフィ 「 ’ 」 (JIS X0201 での 0x27)
- 縦棒 「 | 」 (JIS X0201 での 0x7c)

[追加] ボタン

新規役職追加テキストボックスに指定した役職が、役職一覧の最後に追加されます。

[OK] ボタン

設定した内容が反映されて、この画面を表示する前の画面 ([新規ユーザ作成] 画面

または [ユーザ情報変更] 画面) に戻ります。

[キャンセル] ボタン

設定した内容が反映されないで、この画面を表示する前の画面 ([新規ユーザ作成] 画面または [ユーザ情報変更] 画面) に戻ります。

10.6.8 [ユーザ定義項目設定] 画面

[ユーザ定義項目設定] 画面とは、ユーザ定義項目に複数の値を設定するための画面です。[新規ユーザ作成] 画面または [ユーザ情報変更] 画面で [設定] ボタンをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「8.4 ユーザを新規作成する」
- 「8.5.5 ユーザ定義項目を変更する」

[ユーザ定義項目設定] 画面の各項目について説明します。

図 10-60 [ユーザ定義項目設定] 画面



ユーザ定義項目テキストボックス

選択したユーザ定義項目に設定したい値を入力します。

全角・半角に関係なく、LDAP または DB で指定できる項目名の最大文字数以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 引用符 「 ” 」 (JIS X0201 での 0x22)
- アポストロフィ 「 ’ 」 (JIS X0201 での 0x27)
- 縦棒 「 | 」 (JIS X0201 での 0x7c)

10. 運用管理の画面

[追加] ボタン

[ユーザ定義項目名] テキストボックスに入力した設定値を追加します。追加した設定値は、設定値一覧領域のいちばん下に表示されます。

[削除] ボタン

削除したい設定値を設定値一覧領域で選択して、このボタンをクリックすると、設定値が削除されます。設定値は複数選択できます。

設定値一覧領域

設定値が追加された順に一覧表示されます。

[OK] ボタン

設定した内容が反映されて、この画面を表示する前の画面 ([新規ユーザ作成] 画面または [ユーザ情報変更] 画面) に戻ります。ただし、設定値の数が最大数を超過している場合はエラーになります。設定値の最大数は、システム管理者の設定によって異なります。

[キャンセル] ボタン

設定した内容が反映されないで、この画面を表示する前の画面 ([新規ユーザ作成] 画面または [ユーザ情報変更] 画面) に戻ります。

10.6.9 [ユーザ情報変更] 画面

[ユーザ情報変更] 画面とは、ユーザ情報 (所属組織、ユーザ名、パスワードなど) を変更するための画面です。ルート組織設定画面または組織情報設定画面の [ユーザ] タブで、ユーザ ID アンカーをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「8.5 ユーザ情報を変更する」

[ユーザ情報変更] 画面の各項目について説明します。

図 10-61 [ユーザ情報変更] 画面

The screenshot shows a dialog box titled 'ユーザ情報変更' (User Information Change) within a '運用管理ポータル' (System Management Portlet) window. The dialog contains the following fields and buttons:

所属組織:	20000 会社組織	所属組織設定
ユーザID:	10101	パスワード変更
ユーザ名 (64文字まで) *:	<input type="text" value="日立 太郎"/>	役職設定
役職:		設定
Telephone	0123-4567	

*は必須項目です。

Buttons at the bottom: OK, キャンセル

[所属組織]

ユーザが所属する組織の組織 ID および組織名が表示されます。

[所属組織設定] ボタン

ユーザが所属する組織を変更するための、[所属組織設定] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.6 [所属組織設定] 画面」を参照してください。

[ユーザ ID]

ユーザ ID が表示されます。

[パスワード変更] ボタン

パスワードを変更するための [パスワード変更] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.10 [パスワード変更] 画面」を参照してください。

[ユーザ名] テキストボックス < 指定必須 >

ユーザ名が表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、64 文字以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角カナ文字 (JIS X0201 での 0xa1 ~ 0xdf)
- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 未定義文字 (JIS X0201 での 0x7f ~ 0xa0 または 0xe0 ~ 0xff)
- 引用符「 ”」(JIS X0201 での 0x22)
- アポストロフィ「 ’」(JIS X0201 での 0x27)
- 縦棒「 |」(JIS X0201 での 0x7c)

なお、この項目はシステム管理者の設定によって表示されない場合があります。

[役職]

ユーザの役職が表示されます。変更したい場合は、[役職設定] ボタンをクリックすると表示される [役職設定] 画面で、役職を選択してください。

なお、この項目はシステム管理者の設定によって表示されない場合があります。

[役職設定] ボタン

[役職設定] 画面が表示されます。詳細は、「10.6.7 [役職設定] 画面」を参照してください。

ユーザ定義項目テキストボックス < 指定任意 >

システム管理者が任意に定義したユーザ情報の項目 (電話番号やメールアドレスなど) が表示されます。変更する場合は、全角・半角に関係なく、LDAP または DB で指定できる項目名の最大文字数以内で指定してください。

ただし、次の文字を含む内容は設定できません。

- 半角制御文字 (JIS X0201 での 0x00 ~ 0x1f)
- 引用符「 ”」(JIS X0201 での 0x22)
- アポストロフィ「 ’」(JIS X0201 での 0x27)
- 縦棒「 |」(JIS X0201 での 0x7c)

10. 運用管理の画面

この項目は、システム管理者によって定義されている場合だけ表示されます。

[設定] ボタン

ユーザ定義項目に複数の値を設定するための、[ユーザ定義項目設定]画面が表示されます。詳細は、「10.6.8 [ユーザ定義項目設定]画面」を参照してください。

なお、このボタンが表示されるのは、複数の値を設定できるユーザ定義項目がある場合だけです。

[OK] ボタン

設定した内容が反映されて、この画面を表示する前の画面（ルート組織設定画面または組織情報設定画面の[ユーザ]タブ）に戻ります。

[キャンセル] ボタン

設定した内容が反映されないで、この画面を表示する前の画面（ルート組織設定画面または組織情報設定画面の[ユーザ]タブ）に戻ります。

10.6.10 [パスワード変更]画面

[パスワード変更]画面とは、ユーザのパスワードを変更するための画面です。[ユーザ情報変更]画面で[パスワード変更]ボタンをクリックすると、この画面が表示されます。

この画面を使用する操作については、次の個所を参照してください。

- 「8.5.3 パスワードを変更する」

[パスワード変更]画面の各項目について説明します。

図 10-62 [パスワード変更]画面

運用管理ポータル

パスワード変更

ユーザID: 10101

パスワード (半角92文字まで) *: *****

パスワード再入力 (半角92文字まで) *: *****

*は必須項目です。

OK キャンセル

[ユーザID]

ユーザIDが表示されます。

[パスワード] テキストボックス <指定必須>

パスワードを指定します。半角英数字 32 文字以内で指定してください。

[パスワード再入力] テキストボックス <指定必須>

[パスワード] テキストボックスに指定したパスワードを、再度このテキストボックスに指定します。

[OK] ボタン

パスワードが変更されて、[ユーザ情報変更] 画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

パスワードが変更されないで、[ユーザ情報変更] 画面に戻ります。

付録

付録 A 標準画面レイアウトの合成

付録 B Collaboration - Online Community Management を使用する場合のアクセス権の設定

付録 C ディレクトリサーバから DB へのデータの移行

付録 D ディレクトリサーバまたは DB の切り替え

付録 E PSML ファイルのインポート・エクスポート時に出力されるメッセージ

付録 F 各バージョンの変更内容

付録 G このマニュアルの参考情報

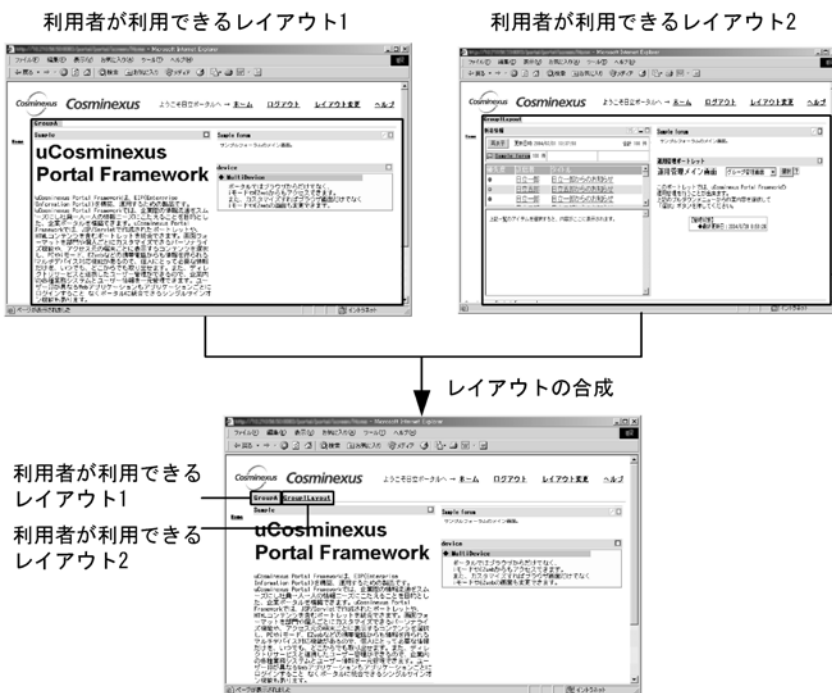
付録 H 用語解説

付録 A 標準画面レイアウトの合成

標準画面レイアウトの合成機能は、利用者が利用できる標準画面レイアウトを合成して表示する機能です。利用者は、タブを選択することにより各標準画面レイアウトを参照できます。なお、標準画面レイアウトの合成は、携帯端末（CHTMLおよびHDML）の場合は適用できません。

標準画面レイアウトの合成について、次の図に示します。

図 A-1 標準画面レイアウトの合成



付録 A.1 標準画面レイアウトの合成規則

標準画面レイアウトの合成規則が適用される標準画面レイアウトの種類、レイアウト形式が異なる場合の合成規則、および標準画面レイアウトの合成順序について説明します。

(1) 標準画面レイアウトの種類

標準画面レイアウトの合成規則が適用される標準画面レイアウトの種類を次に示します。

表 A-1 標準画面レイアウトの合成規則の適用

項番	標準画面レイアウトの種類	説明	標準画面レイアウトの合成規則の適用
1	運用管理者が定義した標準画面レイアウト	運用管理者が運用管理ポートレットで作成した標準画面レイアウトです。	
2	運用管理者が定義していない標準画面レイアウト（従来から使用している標準画面レイアウト）	運用管理者が以前作成して、現在は削除した標準画面レイアウト、または Cosminexus Portal Framework 02-02 以前のバージョンから使用している標準画面レイアウトです。	×
3	利用者が定義した標準画面レイアウト	Cosminexus Portal Framework 02-03 で利用者がカスタマイズ画面で追加した標準画面レイアウト（タブ）です。	×

（凡例）

- : 適用されます。
- ×
- × : 適用されません。

（2）レイアウト形式が異なる場合の合成規則

レイアウト形式が異なる標準画面レイアウトを合成する場合、行列形式、フロー形式、およびグリッド形式は、合成時にタブ形式に変換されます。また、合成元の標準画面レイアウトは、合成先の標準画面レイアウトの左側に合成されます。合成元の標準画面レイアウトとは、標準画面レイアウトを合成する前から使用している標準画面レイアウトです。合成先の標準画面レイアウトとは、合成するときに追加する標準画面レイアウトです。レイアウト形式が異なる場合の、標準画面レイアウトの合成規則を次の表に示します。

表 A-2 標準画面レイアウトの合成規則（レイアウト形式が異なる場合）

合成元	合成先	
	タブ形式	行列形式、フロー形式、グリッド形式
タブ形式	合成元のタブ一覧を、合成先のタブ一覧の左側に連結します。	合成先をタブ一覧に変更して、合成元のタブを左側に連結します。
行列形式、フロー形式、グリッド形式	合成元をタブ形式に変換して、合成先のタブ一覧の左側に連結します。	合成元および合成先をタブ形式に変換して、合成元を合成先のタブ一覧の左側に連結します。

注 強制表示タブは、常に最も右側に合成されます。

（3）標準画面レイアウトの合成順序

標準画面レイアウトの合成は、運用管理者が運用管理ポートレットで設定した標準画面レイアウトの表示順に従います。標準画面レイアウトの表示順を設定する方法については、「7. 標準画面レイアウトを管理する」を参照してください。

標準画面レイアウトを合成するときは、表示されているタブの一覧の後方から、標準画面レイアウトの表示順序の情報に従って自分の標準画面レイアウトより先に表示する標準画面レイアウトの位置が検索されます。検索されると、その検索位置に標準画面レイアウトが挿入されます。

標準画面レイアウトの合成順序を、次の標準画面レイアウトの合成パターンの例で説明します。

表 A-3 標準画面レイアウトの合成パターンの例

項番	標準画面レイアウトの分類	標準画面レイアウト名（レイアウトタイトル）	含まれる標準画面レイアウト
1	運用管理者が定義した標準画面レイアウト	「全社レイアウト」	「全社」タブ
2		「事業部 A レイアウト」	「事業部 A1」タブ 「事業部 A2」タブ
3		「部 A レイアウト」	「部 A」タブ
4	運用管理者が定義していない標準画面レイアウト（従来から使用している標準画面レイアウト）	-（未定義のため標準画面レイアウト名はありません）	「layout1」タブ
5	利用者が定義した標準画面レイアウト	-（利用者が定義するため標準画面レイアウト名はありません）	「お気に入り」タブ

例えば、「全社レイアウト」と「部 A レイアウト」が表示されている状態で、新規に「事業部 A レイアウト」を合成する場合、標準画面レイアウトを後方から検索して、「事業部 A」よりも左側に表示する「全社レイアウト」の直後に「事業部 A レイアウト」が挿入されます。このため、「全社レイアウト」、「事業部 A レイアウト」、「部 A レイアウト」の順番で表示されることになります。

標準画面レイアウトの合成例を次に示します。

表 A-4 標準画面レイアウトの合成例

項番	標準画面レイアウト合成前の表示順序	挿入する標準画面レイアウト	標準画面レイアウト合成後の表示順序	説明
1	「全社」 「事業部 A1」 「事業部 A2」	「部 A レイアウト」	「全社」 「事業部 A1」 「事業部 A2」 「部 A」	後方に挿入される例 1： 「部 A レイアウト」は、「事業部 A2」の右側に挿入されます。

項番	標準画面レイアウト合成前の表示順序	挿入する標準画面レイアウト	標準画面レイアウト合成後の表示順序	説明
2	「事業部 A1」 「事業部 A2」 「部 A」	「全社レイアウト」	「全社」 「事業部 A1」 「事業部 A2」 「部 A」	前方に挿入される例： 「全社レイアウト」はどのレイアウトよりも左側に表示する必要がありますので、最も左側に挿入されます。
3	「全社」 「部 A」	「事業部 A レイアウト」	「全社」 「事業部 A1」 「事業部 A2」 「部 A」	後方に挿入される例 2： 「事業部 A レイアウト」は、「全社」レイアウトの右側に挿入されます。
4	「部 A」 「全社」	「事業部 A レイアウト」	「部 A」 「全社」 「事業部 A1」 「事業部 A2」	利用者がタブの位置を切り替えた場合の例： 「事業部 A レイアウト」は、「全社レイアウト」の右側に挿入されます。
5	「全社」 「事業部 A1」 「事業部 A2」 「layout1」 「お気に入り」	「部 A レイアウト」	「全社」 「事業部 A1」 「事業部 A2」 「部 A」 「layout1」 「お気に入り」	利用者がタブを追加した場合の例： 「部 A」は、運用管理者が定義していない標準画面レイアウトの「layout1」や、利用者が定義した標準画面レイアウトの「お気に入り」タブには関係しないで、「事業部 A レイアウト」の右側に挿入されます。

付録 A.2 タブの合成規則

タブ名称の生成規則，およびタブ名称が競合した場合の規則について説明します。

(1) タブ名称の生成規則

タブ名称は，次の規則に従って生成されます。

- タブ形式の場合
タブ形式の場合，タブ名称が使用されます。
- タブ形式以外の場合
タブ形式以外の場合，レイアウトタイトルがタブ名称になります。レイアウトタイトルは，運用管理ポートレットの [レイアウト管理画面] で設定する [レイアウトタイトル] です。
- レイアウトタイトルが取得できない場合
レイアウトタイトルが取得できない場合は，管理者が従来管理していた標準画面レイアウトを削除した場合です。この場合，標準画面レイアウト名を設定します。
- 標準画面レイアウト名が設定できない場合
レイアウトタイトルが取得できなくて，かつ標準画面レイアウト名が設定されていない場合は，「タブ 1」というタブ名称が付けられます。なお，決定したタブ名称がほかのタブ名称と重複する場合は，タブ名称の競合規則に従って，タブ名称が付けられま

す。

(2) タブ名称の競合規則

標準画面レイアウトを合成するとき、タブ名称が重複する場合があります。その場合、追加するタブの名称が自動的に変更されます。

タブ名称が重複した場合の規則を次に示します。

- 重複したタブ名称の後ろに、「-」(ハイフン)と数字(1から始まる半角数字で競合しなくなるまでカウントアップされたもの)が付けられます。
例:「全社」「事業所 A」「課 A」に、「事業所 A」というタブを追加する場合「事業所 A-1」というタブ名称が設定されます。
- 重複したタブ名称の後方に数字を含む場合は、その数字を含めてカウントアップされた数字が付けられます。
例:「タブ-1」「タブ-2」に、「タブ-1」を追加する場合「タブ-3」というタブ名称が設定されます。
- いったん数字が付けられたタブでも、運用管理者または部門管理者によってタブの表示位置を変更された場合、再度数字を付け直されます。表示位置の変更については、「7.6 標準画面レイアウトの表示順序を変更する」を参照してください。
- 強制表示ポートレットのタブ名称が、ほかのタブ名称と競合した場合は、エラーとなります。このため、重複しないタブ名称に変更してください。

付録 A.3 スタイルの合成規則

スタイルを編集すると、すべてのタブおよびポートレットに変更が適用されます。標準画面レイアウトを合成する場合は、右側(後方)に連結した標準画面レイアウトのスタイル情報が有効になります。また、一般利用者がスタイルを編集した場合は、どのタブを選択していても、すべてのタブにスタイルが適用されます。強制表示タブのスタイル情報は適用されません。

標準画面レイアウトを合成するとき、どちらの標準画面レイアウトのスタイルが適用されるかを次に示します。

表 A-5 スタイル設定の合成規則

項番	スタイル情報	レイアウト A: タブ形式 レイアウト B: タブ形式	レイアウト A: タブ形式 レイアウト B: タブ形式 以外	レイアウト A: タブ形式 以外, レイアウト B: タブ形式	レイアウト A: タブ形式以外, レイアウト B: タブ形式以外
1	選択中のタブの色	レイアウト B	レイアウト A	レイアウト B	標準設定
2	タイトル色	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B
3	ポートレットの背景色	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B
4	枠線の色	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B

項番	スタイル情報	レイアウト A：タブ形式 レイアウト B：タブ形式	レイアウト A：タブ形式 レイアウト B：タブ形式 以外	レイアウト A：タブ形式 以外， レイアウト B：タブ形式	レイアウト A：タ ブ形式以外， レイアウト B：タ ブ形式以外
5	ルーラーの幅	レイアウト B	レイアウト A	レイアウト B	標準設定
6	ポートレット間隔	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B
7	枠線の太さ	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B	レイアウト B

(凡例)

レイアウト A：合成先の標準画面レイアウト（画面の左側に表示される標準画面レイアウト）

レイアウト B：合成元の標準画面レイアウト（画面の右側に表示される標準画面レイアウト）

標準設定：標準で定義されている配色やサイズが適用されます。

注

タブ形式の場合だけ編集するスタイルです。

付録 B Collaboration - Online Community Management を使用する場合のアクセス権の設定

uCosminexus Portal Framework では、Collaboration - Online Community Management に対応しているポートレットにアクセス権を設定できます（コミュニティの作成と同時に作成されるポータル管理グループに対して、自動的にポートレットのアクセス権が設定されなくなります）。このため、別のポータル管理グループによってポートレットのアクセス権を設定する必要があります。

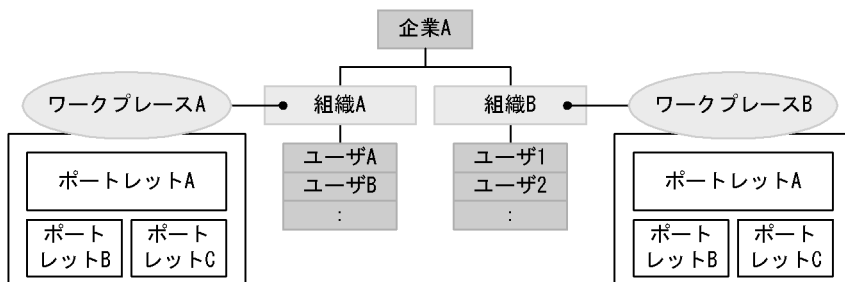
ここでは、次に示す場合のアクセス権の設定について説明します。

- すべてのコミュニティで同じポートレットを表示する場合
- コミュニティごとに個別のポートレットを表示する場合

付録 B.1 すべてのコミュニティで同じポートレットを表示する場合

すべてのコミュニティで同じポートレットを表示する場合のアクセス権の設定について、次に示す図を使用して説明します。

図 B-1 組織構成（すべてのコミュニティで同じポートレットを表示する場合）



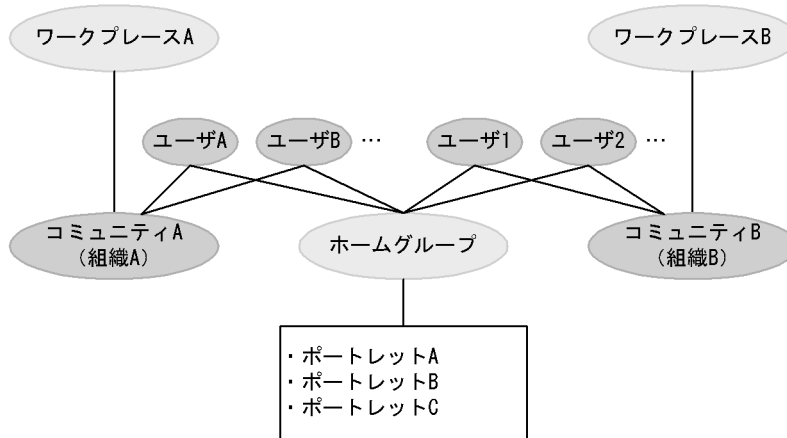
この図は、企業 A の組織 A と組織 B に所属する社員（ユーザ）に、同じポートレット（ポートレット A、ポートレット B、およびポートレット C）を表示することを示します。なお、ワークスペースとは、同じコミュニティ¹に参加しているコミュニティメンバ²間で共有する作業場のことです。

注 1 コミュニティとは、同じ目的や問題意識を持つ人の集まりのことで、この図では、組織 A と組織 B がそれぞれコミュニティとなります。

注 2 コミュニティに参加している人のことで、この図では、ユーザ A、ユーザ B、ユーザ 1、およびユーザ 2 がコミュニティメンバとなります。

この図に示した組織構成でのアクセス権設定の概念を、次の図に示します。

図 B-2 アクセス権設定の概念 (すべてのコミュニティで同じポートレットを表示する場合)



この図に従ってコミュニティを作成してポートレットのアクセス権を設定する場合、次のようになります。

1. Collaboration - Online Community Management で次の表に示すコミュニティを作成します。

表 B-1 作成するコミュニティ (すべてのコミュニティで同じポートレットを表示する場合)

項番	コミュニティ名	ワークスペース名	コミュニティメンバ
1	コミュニティ A	ワークスペース A	ユーザ A, ユーザ B, ...
2	コミュニティ B	ワークスペース B	ユーザ 1, ユーザ 2, ...

2. 運用管理ポートレットで次の表に示すグループを作成します。

表 B-2 作成するグループ (すべてのコミュニティで同じポートレットを表示する場合)

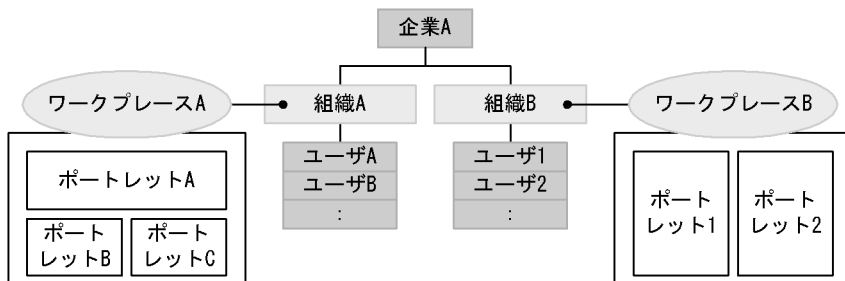
項番	グループ名	利用権限	所属ポートレット
1	ホームグループ	全ユーザ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポートレット A ・ ポートレット B ・ ポートレット C

表に示したコミュニティとグループを作成すると、利用権限のあるユーザが全ユーザであるため、すべてのコミュニティ (コミュニティ A およびコミュニティ B) とホームグループが対応することになります。ホームグループのポートレット利用権限によって、ワークスペース A およびワークスペース B を利用するユーザに、ポートレット A, ポートレット B, およびポートレット C が表示されます。

付録 B.2 コミュニティごとに個別のポートレットを表示する場合

コミュニティごとに個別のポートレットを表示する場合のアクセス権の設定について、次に示す図を使用して説明します。

図 B-3 組織構成（コミュニティごとに個別のポートレットを表示する場合）



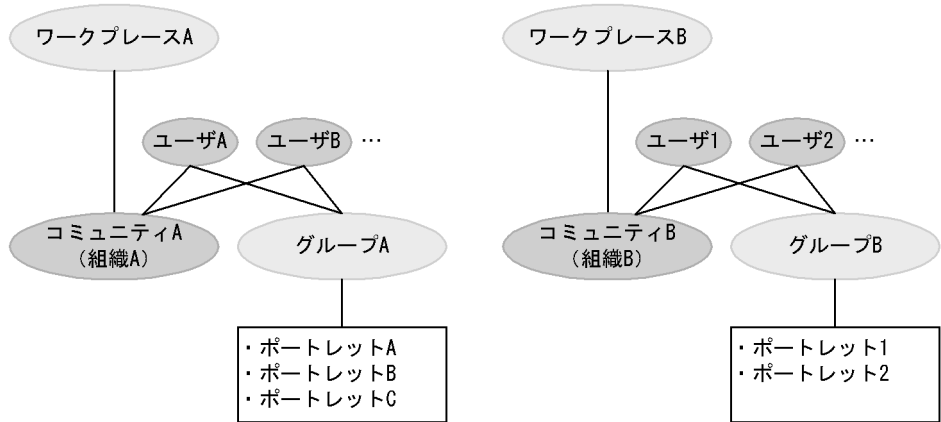
この図は、企業 A の組織 A と組織 B に所属する社員（ユーザ）に、組織ごとに個別のポートレットを表示することを示します。組織 A の社員にはポートレット A、ポートレット B、およびポートレット C を、組織 B の社員にはポートレット 1 およびポートレット 2 を表示します。なお、ワークスペースとは、同じコミュニティ¹に参加しているコミュニティメンバ²間で共有する作業場のことです。

注 1 コミュニティとは、同じ目的や問題意識を持つ人の集まりのことで、この図では、組織 A と組織 B がそれぞれコミュニティとなります。

注 2 コミュニティに参加している人のことで、この図では、ユーザ A、ユーザ B、ユーザ 1、およびユーザ 2 がコミュニティメンバとなります。

この図に示した組織構成でのアクセス権設定の概念を、次の図に示します。

図 B-4 アクセス権設定の概念 (コミュニティごとに個別のポートレットを表示する場合)



この図に従ってコミュニティを作成してポートレットのアクセス権を設定する場合、次のようになります。

1. Collaboration - Online Community Management で次の表に示すコミュニティを作成します。

表 B-3 作成するコミュニティ (コミュニティごとに個別のポートレットを表示する場合)

項番	コミュニティ名	ワークスペース名	コミュニティメンバ
1	コミュニティ A	ワークスペース A	ユーザ A, ユーザ B, ...
2	コミュニティ B	ワークスペース B	ユーザ 1, ユーザ 2, ...

2. 運用管理ポートレットで次の表に示すグループを作成します。

表 B-4 作成するグループ (コミュニティごとに個別のポートレットを表示する場合)

項番	グループ名	利用権限	所属ポートレット
1	グループ A	ユーザ A, ユーザ B, ...	<ul style="list-style-type: none"> • ポートレット A • ポートレット B • ポートレット C
2	グループ B	ユーザ 1, ユーザ 2, ...	<ul style="list-style-type: none"> • ポートレット 1 • ポートレット 2

注 1. で作成したコミュニティのコミュニティメンバと同じユーザを追加します。

表に示したコミュニティとグループを作成すると、コミュニティメンバであるユーザと利用権限のあるユーザが同であるため、コミュニティ A とグループ A が、コミュニティ B とグループ B がそれぞれ対応することになります。グループごとのポートレット利用

権限によって、ワークスペース A を利用するユーザにはポートレット A、ポートレット B、およびポートレット C が、ワークスペース B の利用するユーザにはポートレット 1 およびポートレット 2 が表示されます。

付録 C ディレクトリサーバから DB へのデータの移行

ポータル運用中に、ディレクトリサーバから DB にデータを移行する手順を次に示します。

1. uCosminexus Portal Framework を運用停止状態にします。
運用停止状態とは、一般のユーザがログインできない状態にすることです。
なお、uCosminexus Portal Framework では、ディレクトリサーバがレプリケーション機能を使用している場合は、サブライバ更新することを前提としています。
負荷分散のため、uCosminexus Portal Framework を複数のサーバで起動させるクラスタ構成を構築している場合、すべてのサーバの uCosminexus Portal Framework を終了してください。
2. ポータル管理グループ定義ファイルに記述した共通項目名の設定を変更します。
ポータル管理者が、Portal Manager のユーザ情報の設定画面で、共通項目名の属性名および接続先の設定を変更します。ポータル管理グループ定義ファイルの設定の変更方法については、「5.3 ポータル管理グループ情報を編集する」を参照してください。
3. uCosminexus Portal Framework を再起動します。
手順 2. で設定した内容が有効になります。

付録 D ディレクトリサーバまたは DB の切り替え

ポータル運用中に、ディレクトリサーバまたは DB を切り替える手順を次に示します。

1. uCosminexus Portal Framework を運用停止状態にします。
運用停止状態とは、一般のユーザがログインできない状態にすることです。
なお、uCosminexus Portal Framework では、ディレクトリサーバがレプリケーション機能を使用している場合は、サブライバ更新することを前提としています。
負荷分散のため、uCosminexus Portal Framework を複数のサーバで起動させるクラスタ構成を構築している場合、すべてのサーバの uCosminexus Portal Framework を終了してください。
2. ポータル管理グループ定義ファイルに関連する属性について、リポジトリの設定を変更します。
ポータル管理者が、ディレクトリサーバまたは DB に関するすべてのリポジトリの設定（「接続情報」、「構成情報」、および共通項目名の設定項目を含む「マッピング情報」）を、Portal Manager で変更します。
3. uCosminexus Portal Framework を再起動します。
手順 2. で設定した内容が有効になります。

付録 E PSML ファイルのインポート・エクスポート時に出力されるメッセージ

ここでは、運用管理ポートレットの [ポートレット配置設定] 画面で PSML ファイルのインポート・エクスポートするときに出力されるエラーメッセージについて説明します。なお、このメッセージは、[ポートレット配置設定] 画面上に出力されます。

PSML ファイルのインポート・エクスポート時に出力されるエラーメッセージを次の表に示します。

表 E-1 PSML ファイルのインポート・エクスポート時に出力されるエラーメッセージ

項番	メッセージ	説明	対処方法
1	PSML ファイルのフォーマットが不正です。	インポートした PSML ファイルが壊れている、または PSML 形式ではありません。	PSML ファイルのフォーマットに修正してください。
2	指定できないレイアウト形式です。	インポートした PSML ファイルが拡張レイアウト形式ではありません。	拡張レイアウト形式の PSML ファイルをインポートしてください。
3	タブが複数存在します。	インポートした PSML ファイルがタブ形式であり、かつタブが複数指定されています。	タブ形式以外のレイアウト形式に変更、またはタブを一つだけに変更してください。
4	入れ子が 5 段以上あります。	拡張レイアウト形式の入れ子が 5 段以上あります。	拡張レイアウト形式の入れ子を 4 段までに変更してください。
5	エリア ID が指定されていません。	エリアにエリア ID が指定されていません。	PSML ファイルで、該当するエリアにエリア ID を設定してください。
6	エリア ID に重複があります (ID=xxxxx)。	レイアウト内のエリア ID が重複しています。	レイアウト内でエリア ID は一意にしてください。
7	エリア ID が不正です (ID=xxxxx)。	指定されたエリア ID が指定できない書式で設定されています。	エリア ID を正しい書式に変更してください。
8	パラメタの指定に誤りがあります (parameter=xxxxx)。	PSML ファイルでの拡張レイアウトまたはエリアのパラメタの指定に誤りがあります。	パラメタ xxxxxx に正しい値を設定してください。
9	インポートするファイルを指定してください。	インポートする PSML ファイルが指定されていません。	インポートする PSML ファイルを指定してください。

項番	メッセージ	説明	対処方法
10	ファイルの取得に失敗しました。	指定した PSML ファイルがない、または PSML ファイルのサイズが異常なため、ファイルの取得に失敗しました。	インポートできる PSML ファイルを指定してください。
11	レイアウトが作成されていないためエクスポートできません。	レイアウトが作成されていない状態でエクスポートしようとしています。	レイアウトが作成されているレイアウトでエクスポートしてください。
12	レイアウト取得中にエラーが発生しました。	レイアウト取得中にエラーが発生しました。	ポータルログに出力されているメッセージを参照して、エラーを排除してください。ポータルログについては、マニュアル「uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド」を参照してください。

注 「xxxxx」の部分には、該当する値が表示されます。

付録 F 各バージョンの変更内容

変更内容 (3020-3-H72-40) uCosminexus Portal Framework 08-70, および
uCosminexus Portal Framework - Light 08-70

追加・変更内容

Web コンテンツポートレットのテンプレートに関する記述を修正しました。

変更内容 (3020-3-H72-30) uCosminexus Portal Framework 08-03, および
uCosminexus Portal Framework - Light 08-03

「はじめに」の記載の一部を「このマニュアルの参考情報」に移動しました。

変更内容 (3020-3-H72-20) uCosminexus Portal Framework 08-02, および
uCosminexus Portal Framework - Light 08-02

追加・変更内容

Web コンテンツポートレットの変数の設定で、ユーザ編集クラスの格納先の記述を追加しました。

付録 G このマニュアルの参考情報

付録 G.1 関連マニュアル

関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

uCosminexus Portal Framework システム管理者ガイド (3020-3-H71)

uCosminexus Portal Framework 全体の機能概要について説明しています。また、ポータル全体の管理者（システム管理者）が実施する作業（ポータルの構築方法、ポータルのカスタマイズ方法、ポートレットの登録方法、およびポータルの起動方法）について説明しています。

uCosminexus Portal Framework ポートレット開発ガイド (3020-3-H73)

ポートレットの開発方法、および開発時に使用する API について説明しています。

uCosminexus Portal Framework ユーザーズガイド (3020-3-H74)

エンドユーザがポータルを使用するときの操作方法（ポータルへのログイン方法、ポータル画面のカスタマイズ方法、およびナビゲーションメニューの操作方法）について説明しています。

付録 G.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名称を次に示す略称で表記しています。

表記	製品名
Java(TM)	Java
Java(TM) 2 Platform, Enterprise Edition	J2EE
Java(TM) Authentication and Authorization Service	JAAS
Java(TM) Servlet	Servlet またはサーブレット
JavaServer Pages(TM)	JSP

付録 G.3 このマニュアルで使用する英略語

このマニュアルで使用する主な英略語を次に示します。

英略語	正式名称
API	Application Programming Interface
CHTML	Compact Hypertext Markup Language
DB	Database
DN	Distinguished Name
HDML	Handheld Device Markup Language

英略語	正式名称
HTML	Hypertext Markup Language
HTTP	Hypertext Transfer Protocol
JIS	Japan Industrial Standard
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol
LDIF	LDAP Data Interchange Format
OID	Object Identifier
OS	Operating System
PC	Personal Computer
PSML	Portal Structure Markup Language
RDF	Resource Description Framework
RSS	RDF Site Summary
URI	Uniform Resource Identifier
URL	Uniform Resource Locator
XML	Extensible Markup Language

付録 G.4 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ $1,024$ バイト, $1,024^2$ バイト, $1,024^3$ バイト, $1,024^4$ バイトです。

付録 H 用語解説

(英字)

File ポートレット

HTML, CHTML, HDML のどれかで記述されたコンテンツを、ポータル画面に表示するためのポートレットです。

iframe ポートレット

uCosminexus Portal Framework で提供しているアクセサリポートレット（環境を設定するだけでそのまま使用できるサンプル）の一つで、Web コンテンツをインラインフレーム内に表示するポートレットです。各ユーザが、表示するコンテンツを選択できます。

LDAP (Lightweight Directory Access Protocol)

ディレクトリサーバにアクセスするための通信プロトコルです。

Portal Manager

ポータルの構築やカスタマイズ、ポートレットの登録などを GUI 上で実施するための構築支援 GUI ツールです。

RSS (RDF Site Summary)

RSS は RDF 形式で記述した Web サイトのコンテンツを要約したファイルです。XML で記述されています。なお、RDF は Web ページでコンテンツの構成を記述するためのメタデータの規格です。

Web コンテンツポートレット

外部の Web サーバからコンテンツを取得し、ポータル画面に表示するためのポートレットです。取得したデータは、あらかじめ設定した抽出方法やソート方法などに従って加工して表示されます。取得できるコンテンツは、HTML, RSS, または XML で記述されたページです。

Web ポートレット

HTML で記述された Web ページをポータルに取り込み、ポータル画面に表示するためのポートレットです。ポータルプロジェクト内のローカルコンテンツ、および外部の Web サーバのコンテンツをポータルに統合できます。

(ア行)

ウェルカム画面

ポータルに最初にアクセスしたときに表示される画面（ログイン前の画面）です。ポータルユーザ全員に知らせたい情報などを表示します。

運用管理者

ポータルの運用を管理する権限を持つユーザです。システム管理者によって任命されます。運用管理ポートレットを使用して、ポータルの運用管理に必要なすべての情報（ポータル管理グループ、

ポートレット、および標準画面レイアウト)を設定できます。
また、ほかのユーザを「部門管理者」に任命して、運用管理権限の一部を委譲できます。

運用管理ポートレット

運用管理者がポータルを運用管理するためのポートレットです。日立 API ポートレットにより作成されます。

エリア

拡張レイアウト形式の、ポートレットを配置する一つの行または列のことです。エリアには、利用者がポートレットの配置を変更できる変更可能エリアと、配置を変更できない変更不可エリアがあります。変更不可エリアのポートレットの配置を変更できるのは、運用管理者と部門管理者だけです。

エリア ID

エリアを特定するための識別子のことです。エリア ID は、運用管理者または部門管理者が設定します。

(カ行)

拡張レイアウト形式

行列形式を組み合わせるポートレットを表示できるレイアウト形式です。拡張レイアウト形式では、例えば、行の中に列を入れ子にするなど、より複雑にポートレットを配置できます。また、利用者がポートレットの配置を変更できるかどうかを、ポートレットを配置する一つの行または列(エリア)ごとに設定できます。

カスタマイズ

ログインしたあとに表示される標準のポータル画面のコンテンツや標準画面レイアウトを、ユーザごとに変更することです。

カスタムポートレット

JSP やサーブレットの技術を用いて独自に作成したコンテンツを、ポータル画面に表示するためのポートレットです。動的なページを作成したり、企業独自の業務システムをポータルに統合したり、既存のアプリケーションと連携したりできます。標準 API ポートレットと日立 API ポートレットがあります。

コンテンツフィルタリング

Web ポートレットが表示するコンテンツを一定の条件で部分的に削除または抽出することです。

(サ行)

サプライヤ更新

ディレクトリサーバでレプリケーション機能を使用している場合の、データの更新方法です。ディレクトリサーバの環境をマルチサーバ構成で構築している場合、ディレクトリサーバをサプライヤとコンシューマに分けて設定します。サプライヤはマスタデータを保持し、コンシューマはサプライヤのデータのレプリカを保持します。マルチサーバ構成ではデータを更新した場合、すべてのディレクトリサーバのデータを更新する必要があります。レプリケーション機能を使用すると、あ

るディレクトリサーバのデータを更新したとき、自動的にほかのディレクトリサーバのデータも更新されます。サプライヤ更新では、データが更新されたときにサプライヤがコンシューマへデータを押し出すことによって、すべてのディレクトリサーバのデータを更新します。

システム管理者

ポータル全体を管理する権限を持つユーザです。ポータルの構築、ポートレットの登録、および Portal Manager でポータル全体に関する情報を設定します。また、ほかのユーザを運用管理者に任命できます。

自動追加ポートレット

運用管理者または部門管理者が変更可能エリアにだけ設定できるポートレットのことです。このポートレットは、変更可能エリアの最上部または最下部に表示されます。また、利用者の画面に強制的に表示できますが、利用者が自由に移動・削除できます。このため、新規に追加されたポートレットを紹介したい場合などに有効です。

シンプルカスタマイザ

レイアウトカスタマイズ画面の種類の一つです。レイアウトカスタマイズ画面とは、ポータル画面の各種設定（ポートレットの配置など）を変更するための画面です。

シンプルカスタマイザは、標準的なレイアウトカスタマイズ画面よりも画面デザインを直感的にわかりやすくして、表示をグラフィカルなデザインにしたものです。拡張レイアウト形式の標準レイアウトは、シンプルカスタマイザでだけ作成できます。

なお、レイアウトカスタマイズ画面としてシンプルカスタマイザが表示されるかどうかは、システム管理者の設定によります。

(夕行)

タイトルバー

uCosminexus Portal Framework が合成するタイトルバーのことです。

ディレクトリサーバ

情報を階層構造で一元管理するサーバです。uCosminexus Portal Framework では、LDAP を使用したディレクトリサーバで、ユーザ情報を管理します。

テンプレート型ポートレット

ポートレットの生成元としてだけ使用するポートレット。Web コンテンツポートレットの生成元ポートレットである hptlParsedHTML ポートレットや hptlStaticParsedHTML ポートレットなどのことです。

(八行)

パーソナライズ

パーソナライズとは、ポータル画面の表示形式および表示するコンテンツを、ユーザごとまたはグループごとに変更することです。パーソナライズには、運用管理者または部門管理者によるポータルの標準画面レイアウトの設定と、各ユーザによるポータルの標準画面レイアウトのカスタマイズがあります。

日立 API ポートレット

カスタムポートレットの一つで、uCosminexus Portal Framework の API を用いて作成したポートレットです。

標準 API ポートレット

カスタムポートレットの一つで、Java Portlet Specification 1.0 に従って作成されたポートレットです。

標準画面レイアウト

同じポータル管理グループに所属するユーザのポータル画面に表示される画面のレイアウトです。表示されるポートレットやポートレットの配置、画面の配色などが設定されています。運用管理者または部門管理者が作成して、ポータル管理グループに設定します。

標準のカスタマイズ

レイアウトカスタマイズ画面の種類の一つです。レイアウトカスタマイズ画面とは、ポータル画面の各種設定（ポートレットの配置など）を変更するための画面です。

標準のカスタマイズは、拡張レイアウト形式以外のレイアウト形式を設定するときに、すべてのカスタマイズ機能を使用できます。

なお、レイアウトカスタマイズ画面として標準のカスタマイズが表示されるかどうかは、システム管理者の設定によります。

部門管理者

ポータルの運用を管理する権限を持つユーザです。運用管理者によって、ポータル管理グループごとに設定されます。運用管理ポートレットを使用して、ポータル管理グループ内のリソース（ポートレットおよび標準画面レイアウト）についての情報を設定できます。ただし、リソースの管理権限は設定できません。

分散ポートレット

ほかのポータル上に配置されたポートレットを自ポータルに取り込み、ポータル画面に表示するためのポートレットです。

変更可能エリア

拡張レイアウト形式のエリアの一つです。変更可能エリアでは、利用者がポートレットを追加、移動および削除できます。

変更不可エリア

拡張レイアウト形式のエリアの一つです。変更不可エリアは、管理者が利用者に必ず参照させたいポートレットを配置するための領域です。このため、変更不可エリアでは、利用者がポートレットを追加、移動および削除することはできません。

ポータル

幾つかのポートレットで構成された Web サイトです。さまざまな情報を統合したインターネットやイントラネットの入り口になります。

ポータル管理グループ

リソース（ポートレットおよび標準画面レイアウト）のアクセス権を管理するためのグループです。リソースの管理者および利用者を定義します。リソースの管理者は、リソースの内容を編集したり、アクセス権を変更したりできます。リソースの利用者は、ポータル画面にリソースが表示されて、リソースを参照したり使用したりできます。

ポータル構築者

ポータルをインストールし、初期構築を行うユーザです。

ポータルサーバ

uCosminexus Portal Framework を実行して動作している servlet のことです。

ポータルプロジェクト

ポータルを識別するためのディレクトリ名です。一つのポータルをポータルプロジェクトとして運用します。

ポータル利用者

ポータルを使用する人のことです。

ポータルレット

ポータル上で動作するアプリケーションコンポーネントです。

ポータルレット開発者

ポータルに表示するコンテンツを開発するユーザです。

ポータルレットグループ

ポータルレットを分類するためのグループです。システム管理者が Portal Manager で作成できます。ポータルに表示するポータルレットの数が多くなった場合、ポータルレットグループごとにまとめておくと、ポータルレットを管理しやすくなります。ポータルレットは、必ず一つのポータルレットグループに属します。

ポータルレットコンテンツ

ポータルレットとして定義されているコンテンツのことです。

ポータルレットタイトル

ポータルレットのタイトルのことです。

ポータルレット配置情報ファイル

ポータルの標準画面レイアウトを定義するファイルです。PSML で記述します。拡張レイアウトの場合は、HTML で記述することもできます。

ホーム画面

ウェルカム画面からログインしたときに表示されるユーザのホーム画面です。uCosminexus Portal Framework では、運用管理者または部門管理者管理者によって、標準のホーム画面を設定することもできます。標準のホーム画面を設定すると、ユーザが所属している組織や役職ごとに異なるホーム画面を表示できます。

(ラ行)

リソース

ポータル上でアクセス権を管理される情報の単位である、ポータルレットおよび標準画面レイアウトのことです。リソースのアクセス権は、ポータル管理グループごとに設定されます。

リポジトリ

ユーザ情報、組織単位情報などが格納されているデータストアです。ディレクトリサーバ、DBなどの総称です。

レイアウトカスタマイズ機能

ポータル画面のレイアウトをカスタマイズする機能です。ポータル画面に表示するポートレットやポートレットの配置などを設定できます。レイアウトカスタマイズ機能の画面（レイアウトカスタマイズ画面）には、管理者用と利用者用の2種類があります。

管理者用レイアウトカスタマイズ画面は、運用管理ポートレットから表示されます。この画面では、運用管理者または部門管理者が、同じポータル管理グループに属するユーザのポータル画面に表示される共通のレイアウト（標準画面レイアウト）をカスタマイズします。

利用者用レイアウトカスタマイズ画面は、各ユーザのポータル画面の[レイアウト変更]アンカーまたはボタンから表示されます。この画面では、各ユーザが自分のポータル画面を利用しやすいようにカスタマイズします。

レイアウト情報

ディレクトリサーバのユーザエンタリ内にある uCosminexus Portal Framework 専用オブジェクトクラス hptluser 下の hptlPersonalizeInfo 属性内の「レイアウトグループ」(layoutid) の内容です。

索引

C

Collaboration - Online Community
Management を使用する場合のアクセス
権の設定 286

F

File ポートレット〔用語解説〕 298

I

iframe ポートレット〔用語解説〕 298

L

LDAP〔用語解説〕 298

M

Multi Web ポートレットの画面項目 211

P

Portal Manager 298
PSML ファイルのインポート・エクスポート
時に出力されるエラーメッセージ 293
PSML ファイルのインポート・エクスポート
時に出力されるメッセージ 293

R

RSS〔用語解説〕 298

W

Web App ポートレットの画面項目 209
Web Page ポートレットの画面項目 208
Web コンテンツアクセスコンポーネントパラ
メタ設定画面 217
Web コンテンツポートレット〔用語解説〕
298
Web コンテンツポートレットの基本情報を設
定する 72

Web コンテンツポートレットを作成する 70
Webコンテンツポートレットを新規作成する
72
Web ポートレット〔用語解説〕 298

い

入れ子が 4 段ある場合の拡張レイアウトの概
要図 118

う

ウェルカム画面〔用語解説〕 298
運用管理機能の障害対策 47
運用管理者〔用語解説〕 298
運用管理の流れ 12
運用管理ポートレット〔用語解説〕 299
運用管理ポートレットの画面階層 40
運用管理ポートレットの画面構成 38
運用管理ポートレットを使用するための設定
43

え

エリア〔用語解説〕 299
エリア ID〔用語解説〕 299

か

拡張レイアウト形式 28
拡張レイアウト形式〔用語解説〕 299
拡張レイアウト形式とその他のレイアウト形
式との機能差異 26
拡張レイアウトの作成手順 111
拡張レイアウトのリニューアル 131
拡張レイアウト変更の反映範囲 132
拡張レイアウトを編集する 111
カスタマイズ〔用語解説〕 299
〔カスタマイズ対象指定画面〕 237
カスタムポートレット〔用語解説〕 299
〔管理者〕タブ（ポータル管理グループ設定
画面） 198

き

- 基本情報設定画面 213
- キャッシュコンポーネントパラメタ設定画面 215
- キャッシュを設定する〔Web コンテンツポートレット〕72
- 行および列の編集 99
- 強制表示タブ 103
- 強制表示タブ内のレイアウト適用 107
- 強制表示タブに表示するポートレットの設定 106
- 強制表示タブの削除 106
- 強制表示タブの設定 104
- 強制表示タブの追加 105
- 強制表示タブの名称変更 106
- 強制表示ポートレット 103
- 強制表示ポートレットの設定 107
- 強制表示ポートレットの追加 108
- 強制表示ポートレットの配置の設定 108
- 強制表示ポートレットの編集 101
- 強制表示ポートレットのレイアウト適用 110
- 〔強制レイアウト編集画面〕253
- 行列形式の行・列の削除 101
- 行列形式の行・列の追加 100
- 行列形式の標準画面レイアウトの変更 100

く

- グループ管理トップ画面 189

こ

- コミュニティごとに個別のポートレットを表示する場合 288
- コンテンツフィルタリング〔用語解説〕299

さ

- サブライヤ更新〔用語解説〕299

し

- システム管理者〔用語解説〕300
- 自動追加ポートレット〔用語解説〕300
- 自動追加ポートレットの配置 127

- 取得したコンテンツを加工する〔Web コンテンツポートレット〕78
- 取得するコンテンツを設定する〔Web コンテンツポートレット〕78
- 〔所属組織設定〕画面 270
- 所属組織を変更する 145
- 〔新規組織作成〕画面 267
- 〔新規ポートレット作成〕画面 226
- 〔新規ユーザ作成〕画面 268
- シンプルカスタマイザ〔用語解説〕300

す

- スタイルの合成規則 284
- 〔スタイル編集画面〕249
- すべてのコミュニティで同じポートレットを表示する場合 286

せ

- 正規表現切り出しコンポーネントパラメタ設定画面 220
- 正規表現抽出コンポーネントパラメタ設定画面 222
- 〔全般〕タブ（組織情報設定画面）265
- 〔全般〕タブ（ポータル管理グループ設定画面）196
- 〔全般〕タブ（ポートレットグループ設定画面）186

そ

- ソートコンポーネントパラメタ設定画面 223
- 組織情報設定画面 264
- 組織情報を変更する 141
- 〔組織〕タブ（組織情報設定画面）265
- 組織を削除する 142
- 組織を新規作成する 140

た

- 大規模システムの場合の運用管理例 36
- タイトルコントロールの設定 127
- 〔タイトル〕タブ（ポータル管理グループ設定画面）196

[タイトル]タブ(ポートレットグループ設定画面) 186
 タイトルバー〔用語解説〕300
 タブ形式の標準画面レイアウトの変更 100
 タブの移動 96
 タブの合成規則 283
 タブの削除 96
 タブの追加 97
 タブの編集 95
 タブの名称変更 96

て

ディレクトリサーバ〔用語解説〕300
 デバイス 94
 テンプレート型ポートレット 300
 テンプレート適用パラメタ設定画面 224
 テンプレートを作成する〔Web コンテンツポートレット〕82
 テンプレートを適用する〔Web コンテンツポートレット〕87

は

パーソナライズ〔用語解説〕300
 [パスワード変更]画面 276
 パスワードを変更する 146

ひ

日立 API ポートレット〔用語解説〕301
 [表示順序設定]画面 193
 表示するポートレットの設定 97, 124
 標準 API ポートレット〔用語解説〕301
 標準画面レイアウト 20
 標準画面レイアウト〔用語解説〕301
 標準画面レイアウト情報を設定する 92
 標準画面レイアウトのアクセス権を設定する 91
 標準画面レイアウトのインポート 136
 標準画面レイアウトのエクスポート 135
 標準画面レイアウトの形式 23
 標準画面レイアウトの合成 280
 標準画面レイアウトの適用 110

標準画面レイアウトの表示順序を変更する 134
 標準画面レイアウトのレイアウト形式の選択 94
 標準画面レイアウトを管理する 89
 標準画面レイアウトを削除する 137
 標準画面レイアウトを作成する 90
 標準画面レイアウトを編集する 93
 標準のウェルカム画面の設定 44
 標準のカスタマイズ〔用語解説〕301
 標準のホーム画面の設定 44

ふ

部門管理者〔用語解説〕301
 分散ポートレット〔用語解説〕301

へ

変更可能エリア〔用語解説〕301
 変更不可エリア〔用語解説〕301
 変更不可エリアでだけ選択できるポートレットの配置 125
 編集可否の設定 127
 変数設定コンポーネントパラメタ設定画面 216
 変数を設定する〔Web コンテンツポートレット〕73

ほ

ポータル〔用語解説〕301
 ポータル管理グループ 15
 ポータル管理グループ〔用語解説〕301
 ポータル管理グループ情報を編集する 59
 ポータル管理グループ新規作成画面 190
 ポータル管理グループ設定画面 194
 ポータル管理グループの表示順序を設定する 61
 ポータル管理グループのユーザを設定する 57
 ポータル管理グループ複製画面 191
 ポータル管理グループを管理する 55
 ポータル管理グループを削除する 62
 ポータル管理グループを新規作成する 56

- ポータル管理グループを複製する 60
 - ポータル構築者〔用語解説〕 302
 - ポータルサーバ〔用語解説〕 302
 - ポータルプロジェクト〔用語解説〕 302
 - ポータル利用者〔用語解説〕 302
 - ポートレット 16
 - ポートレット〔用語解説〕 302
 - ポートレット一覧表示画面 203
 - ポートレットインポート画面 259
 - ポートレットエクスポート画面 260
 - ポートレット開発者〔用語解説〕 302
 - ポートレットグループ 14
 - ポートレットグループ〔用語解説〕 302
 - ポートレットグループ管理トップ画面 182
 - ポートレットグループ情報を編集する 51
 - ポートレットグループ新規作成画面 183
 - ポートレットグループ設定画面 184
 - ポートレットグループにポートレットを登録・削除する 52
 - ポートレットグループを管理する 49
 - ポートレットグループを削除する 53
 - ポートレットグループを新規作成する 50
 - ポートレットコンテンツ〔用語解説〕 302
 - ポートレット色の選択 103
 - ポートレットスタイルの選択 102
 - ポートレットタイトル〔用語解説〕 302
 - [ポートレット]タブ(ポートレットグループ設定画面) 188
 - ポートレット・タブのサイズ選択 103
 - ポートレットの移動 99, 124
 - ポートレットのインポート 68
 - ポートレットのエクスポート 67
 - ポートレットの基本情報を設定・変更する 66
 - ポートレットの強制表示の設定 103
 - ポートレットの削除 99, 124
 - ポートレットの選択 101
 - [ポートレットの選択]画面 246
 - ポートレットの追加 99, 124
 - ポートレットの配置の設定 123
 - ポートレットの表示スタイルの設定 102
 - ポートレット配置情報ファイル 112
 - ポートレット配置情報ファイル〔用語解説〕 302
 - ポートレット配置情報ファイルのインポート 122
 - ポートレット配置情報ファイルのエクスポート 122
 - [ポートレット配置設定]画面 230
 - ポートレット表示属性として設定できる項目 126
 - ポートレット表示属性の設定 126
 - [ポートレット編集]画面(Web Page/Web App/Multi Web ポートレットの画面項目) 208
 - [ポートレット編集]画面(Web コンテンツポートレットの画面項目) 211
 - [ポートレット編集]画面(共通の画面項目) 205
 - [ポートレット編集]画面(日立 API ポートレットの画面項目) 206
 - ポートレットを管理する 63
 - ポートレットを削除する 69
 - ポートレットを生成する 64
 - ポートレットを設定する 65
 - ホーム画面〔用語解説〕 302
- ## や
-
- [役職設定]画面 271
 - 役職を変更する 147
- ## ゆ
-
- ユーザ管理トップ画面 262
 - ユーザ情報 35
 - [ユーザ情報変更]画面 274
 - ユーザ情報を変更する 145
 - [ユーザ]タブ(組織情報設定画面) 266
 - [ユーザ定義項目設定]画面 273
 - ユーザ定義項目を変更する 147
 - ユーザ名を変更する 145
 - ユーザを管理する 139
 - ユーザを削除する 149
 - ユーザを新規作成する 143

り

- リソース〔用語解説〕 302
- リポジトリ〔用語解説〕 303
- 〔利用者〕タブ（ポータル管理グループ設定画面） 199

る

- ルート組織設定画面 263

れ

- レイアウト一覧表示画面 228
- レイアウトインポート画面 257
- レイアウトエクスポート画面 258
- レイアウトカスタマイズ機能〔用語解説〕 303
- レイアウト情報〔用語解説〕 303
- 〔レイアウト情報設定〕画面 231
- 〔レイアウト新規作成〕画面 233
- レイアウトのリニューアル 131
- レイアウト表示順序設定画面 235
- 〔レイアウト編集画面〕 238
- 〔レイアウト編集画面〕（拡張レイアウト） 242